ロンドンのスタイリストからモスクワのスケーターまで。世界のシティボーイ345人をスナップ。

POPEYE®

Magazine for City Boys

ISSUE 886
2021 FEBRUARY
¥880

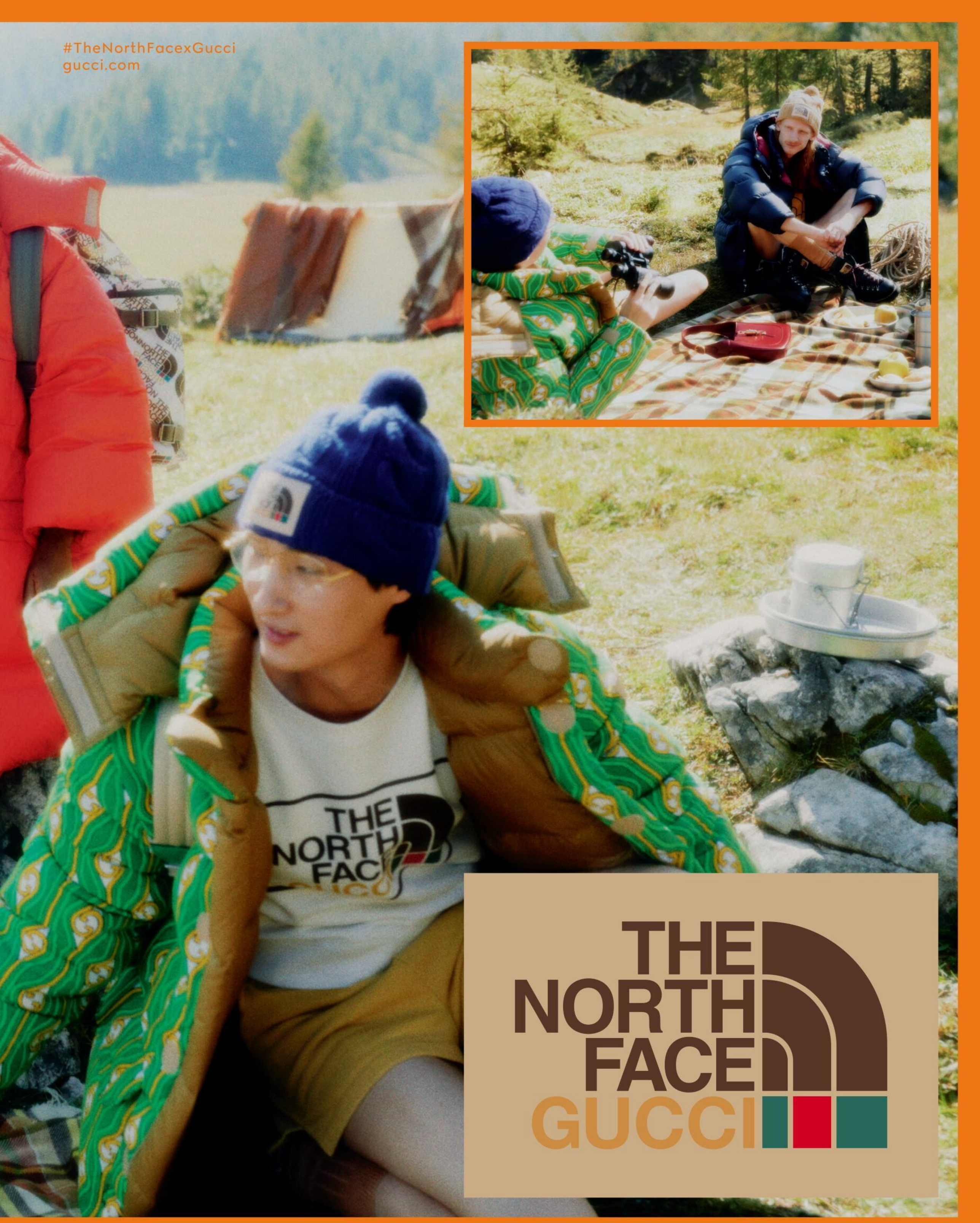
2021年2月号（毎月9日発行）1月9日発売　昭和52年4月27日 第三種郵便物認可　第46巻 第2号

STYLE SAMPLE 2021 2

思ってもみなかった着方があるもんだ。

THE NORTH FACE

#TheNorthFacexGucci
gucci.com



CONTENTS

2021 FEBRUARY ISSUE 886

特集

STYLE SAMPLE 2021

018 TAKE SNAPS OF CITY BOYS IN YOUR NEIGHBORHOOD
僕の近所のシティボーイ。
センスがいい人たちが認める、自分の周りのおしゃれな友達、って気になるよね。

034 World Snap！
MOSCOW / BERLIN / NY / LONDON / LA / LIVINGSTON MANOR / STOCKHOLM
スーツもキャンプもワークアウトも。世界中の街を探して出合った、13のスタイル。

054 1 WEEK STYLE
シティボーイたちの1週間。
PARIS / LONDON / NY / TORONTO
その服どこの？　何で着てるの？　4者4様、7日間の着こなしを追いかけてみよう。

064 ARCHIVES in HOME
あのシティボーイのコレクションを拝見！
3000点を家に抱えるニューヨーカーの話。

068 My Style Icon Archive
あの人のスタイル・アイコン・アーカイブ。
親の影響も、好きな雑誌も、憧れのスターも。今のスタイルに行き着くまでの4人の物語。

073 All Japan Snap！
今年の冬はみんなどんな服着てる？
札幌／東京／大阪／京都／神戸／松山／福岡／熊本　日本全国8都市でスナップ！

007 POP × EYE
091 POPEYE JOURNAL
大人になるもんか。 聞き手・池田エライザ
ゲスト・リリー・フランキー
ONGAKU 三題噺 松永良平
本と映画のはなし。 山口洋佑
気分はジャンヌ・ダルク～華麗なる平和活動日誌～ しまおまほ
POP-EYE CINEMA 三宅 唱
ステイホームショッピング セク山
Bonjour Paris ラムダン・トゥアミ
アセンションプリーズ！ TAMURA KING
聞こえるニューヨーク HEARD ON THE STREET PETER ARKLE
099 popeye notes
103 TET'S ROOM 西山 徹
104 MADMEN 滝本 誠
105 のみ歩きノート 牧野伊三夫
106 二十歳のとき、何をしていたか？ 第7回 濱家隆一
108 続・味な店 平野紗季子
110 POPEYE FORUM
112 東京タイアップデート 大根 仁
113 青春狂の詩 岡宗秀吾
114 私の BEST 3 DISHES 小林雄一
115 T-SHIRT TO WATCH 映画とTシャツと私 野村訓市
116 TO DO LIST
118 superrrrrrr ART WALL
120 HELLO MY NAME IS...
129 こんな仕事があったのか
130 シティボーイの憂鬱 & 次号予告

◎「SING IN ME」は都合により休載させていただきます。
◎「リリー・フランキーの珍道中絵日記」は都合により休載させていただきます。

『ポパイ』電子版はじめました！
Amazon kindleストアなどの電子書店で購入可。
NTTドコモの「dマガジン」（雑誌読み放題サービス）でも読めます。

https://magazineworld.jp/popeye/
@popeye_magazine_official
@POPEYE_Magazine
@mhpopeye

COVER TITLE DESIGN: SEIICHI HORIUCHI

PUBLISHER NOBUAKI SHIBASAKI
EDITOR IN CHIEF YUJI MACHIDA
DEPUTY EDITOR HIROYUKI AOYAMA, MASAKI YONEYAMA
SENIOR EDITOR KENTA ENOMOTO, KAZUTO YANO

EDITOR TAKAHIRO TSUNODA, DAIKEI FUKUSHIMA, KEN MIYAMOTO, KOHEI YANAGISAWA, AYUMI TAGUCHI
CONTRIBUTING EDITOR TAMIO OGASAWARA, KOSUKE IDE, KOJI TOYODA, KEISUKE KAGIWADA, RYOKO IINO, NEO IIDA

ART DIRECTOR TARO KAMBE
DESIGNER MONET TERUMOTO, TAKUMI OTA, KATSUYOSHI MAWATARI
ASSISTANT DESIGNER NOA WATANABE

PROOFREADING SHUCHINSHA
MEDIA PROMOTION DEPT. HIDEYUKI MASE, MOMOKO ISHII, YASUAKI SUGIMOTO, YOTARO MAKIYAMA
CIRCULATION RYO MIYAKITA

PRODUCTION YUICHIRO HACHISUKA
PUBLICITY SHIGETOMO NAGATA

※本誌編集ページに掲載されている商品価格は、特別な表記がある場合を除き、すべて税別価格となります。

※新型コロナウイルス感染拡大防止策にともない、記載の営業情報等に変更のある可能性があります。事前にご確認ください。また、マスクを外して撮影をする場合は、ソーシャルディスタンスをとるなど安全に配慮しています。

©マガジンハウス2021禁・無断転載　®Hearst Holdings,inc.

自由の原石。
部活に夢中だった高校時代。そこから受験に一念発起、
学生生活を謳歌して、社会人になると仕事に没頭。
働き方が変わってからは、趣味の時間が増えていって、
遊びながら働いたり、働きながら遊んだり。
結婚したら都心に家を借りて、子どもが
生まれたら、どこかへ移り住むのも
いいかもね。会社を辞めたら。
子どもが独立したら。老後になったら。
人生はどうなるかわからない。
だからこそ、どうとでもつかえるクルマを。
まるでダイヤモンドのように、
シーンによって輝き方は変わっても、
持つ人を輝かせることには変わらない。
そんなオールマイティさが
キラリと光るクルマです。
その手でどうぞ、お確かめください。
The new
T-Roc
車両本体価格 384.9万～453.9万円（税込）
※写真は細部で日本仕様と異なる場合があります。
●表示価格は2020年8月7日現在の消費税込みメーカー希望小売価格（参考価格）です。オプション装着価格、付帯品価格、保険料、税金（消費税を除く）、登録に伴う諸費用、リサイクル料金は含まれておりません。別途必要となります。販売価格は正規ディーラーが独自に定めておりますので、お問い合わせください。
●フォルクスワーゲンに関するお問い合わせは 0120-924-411
www.volkswagen.co.jp

photo: Shunya Arai styling: Shinichi Sakagami
grooming: HORI edit: Ryoko Iino

アクティブな着こなしで朝の街に出かけよう。特別なニット帽をかぶって。

気分新たな2021年のはじまり。こんなにも朝が清々しい時季ってないから、今こそ早起きを頑張ろうと思っている。スポーティなアイテムやアウトドアものをデイリーユースに着こなして、コーヒーとか朝食を買いに行ったり、散歩したり。もちろんそのまま出かけたっていい。目が覚めるようなヴィヴィッドな色も取り入れたら気分は健康的、そろそろランニングするかって気にもなる（かもしれない）。そしてポンポンが付いたケーブル編みのニットキャップは、見間違いではなく正真正銘の〈グッチ〉と〈ザ・ノース・フェイス〉のコラボレーション。ロゴマークまでコラボで作ったのは史上初。アーバン・アウトドアなニットキャップで都市の冬を歩く。ニットキャップ¥43,000（グッチ／グッチ ジャパン カスタマーサービス☎0120-88-1921）※国内の期間限定ショップとグッチ公式オンラインショップ（gucci.com）で展開　その他は私物

RETRO
&
FUTURE
PRESENT
CAMPAIGN
2020/12/1 - 2021/3/31
CONVERSE
converse.co.jp

オレンジジュースみたいな色のスウェットパーカをたまには着てみたくなって。

アメリカのスポーツウェアの老舗〈ラッセル〉のスウェットは、オレンジジュースみたいなイエローが唯一無二。普段は手に取らないこんな元気な色合いを着てみたくなるのもニューイヤーだからか。ネイビーのオーセンティックな〈ラコステ〉のポロシャツと、ブラックのナイロンパンツ(古着屋さんで探そう)、そして晴れやかなブルーをさしたらちゃんと都会的。スウェットパーカ¥6,500(ラッセルアスレチック/プロップス ストア アネックス☎03·6455·5388) ロングスリーブのポロシャツ¥14,000(ラコステ/ラコステお客様センター☎0120·37·0202) Tシャツ¥980※税込み(ギルダン/アークティーズ☎03·5466·1338) ユーズドの〈ナイキ〉のナイロンパンツ¥8,900(ステップ アヘッド☎03·6379·4394) リブソックス¥500(レイルロードソックス/サンタモニカ 渋谷店☎03·3462·1984) ユーズドの〈ナイキ〉のスニーカー「AIR ALPHA FORCE II」¥15,800(WITH BOX☎03·6434·5464) バックパック¥19,000(LENO×OUTDOOR PRODUCTS/グッドスタンディング☎03·6447·2478) ユーズドのキャップ¥7,000(シエスタ☎03·6804·3817) その他は私物

SINCE 1983
ManhattanPortage
NEW YORK, NEW YORK USA

ニューヨーカーだって きっとこういう格好で 早起きを謳歌しているだろう。

今しがたスポーツやってきました、みたいなアクティブな着こなしのお手本といえばJFKジュニア。それを'90sフレーバーに心惹かれた今シーズンの〈カルバン・クライン ジーンズ〉のキャップでアレンジしてみたり。足元は黒のスエードシューズ。スポーティな格好とは意外と、いや抜群に相性がいいし、ネオンカラーだって品よくまとまる。気持ちだけはニューヨーカー。クルーネックスウェット¥2,990※税込み（ギャップ／ギャップ新宿フラッグス店☎03-5360-7800） ユーズドの〈ナイキ〉のナイロンジャケット¥12,800（WITH BOX☎03-6434-5464） Tシャツ¥980※税込み（ギルダン／アークティーズ☎03-5466-1338） ユーズドのナイロン素材のミリタリートレーニングパンツ¥7,800（VOSTOK☎03-3470-2221） ソックス¥1,600（スタンス／ビリーズ原宿☎03-5413-6946） スエードシューズ¥15,000（エアウォーク／シエスタ☎03-6804-3817） キャップ¥5,800（カルバン・クライン ジーンズ／カルバン・クライン カスタマーサービス☎0120-657-889） その他は私物

自然のなかで、人間も巣づくりをする。

家族に、明日に、平和に心馳せながら。

あなたの巣へ、おかえりなさい。

「住む」より「楽しむ」BESSの家

株式会社アールシーコア BESS 本部　〒153-0042 東京都目黒区青葉台1-4-5　www.bess.jp

BESS

アメリカのおじさんみたいな渋いアウトドアブルゾンは、僕たちにもちょうどいい。

早朝のセントラルパークにはそれこそいろんないでたちのランナーがいる。なかには、こういう渋いアウトドアブルゾンで走る人もちらほらいるらしく、そこに着目した「DAMAGEDONE 2ND」はさすが。アメリカで企業の作業着や制服を作っている〈TRI-MOUNTAIN〉は、ネイビーと襟のグリーンの組み合わせが妙に洒落ている。こんなロゴがどこにもなくて気軽な上着を探していた。好きでいくつも持っているお馴染みの〈ポロ ラルフ ローレン〉のキャップも、落ち着いた着こなしに映える晴れやかなブルーを新調。ナイロンブルゾン¥8,000（TRI-MOUNTAIN／DAMAGEDONE 2ND☎03-6434-0287） スウェットパーカ¥9,000（ナイキ スポーツウェア／NIKE カスタマーサービス☎0120-6453-77） サーマルタートル¥8,900（ヘルスニット／ハイ！ スタンダード☎03-3464-2109） コンバットショートパンツ¥24,000（アークエアー／グリニッジ ショールーム☎03-5774-1662） キャップ¥8,000（ポロ ラルフローレン／ラルフ ローレン☎0120-3274-20） その他は私物

MORE HAPPINESS!

FROM TOKYO TO THE WORLD & TO THE FUTURE.

JAPAN ▸ TOKYO ▸ ▸ SHIBUYA

大人が学ぶ、デザイン専門校

東京デザインプレックス研究所は、次代の「プロフェッショナルデザイナー」を育成する「東京発コンテンポラリーデザインの複合型教育機関」として、デザイン業界で抜群の就・転職実績を誇ります。講師にはトップクリエイター / 現役デザイナーが集結し、少人数制・対面型・実践形式による授業を展開。国内最先端プログラムは、全11専攻・65コース / 昼間部・夜間部・土日集中クラスで編成されており、大人（社会人・大学生・フリーターなど）を短期間で即戦力に導いています。

［募集専攻］ グラフィック /DTP・Web クリエイティブ・クリエイティブデザイン・インテリアデザイン・商空間デザイン・CAD/3DCG・デザインストラテジー・UI/UX など **［クラス］** 夜間部 / 昼間部 / 土 or 日集中 / 1 年制 **［受講期間］** コースにより 3ヵ月〜1 年間 **［授業形式］** 対面型 **［校舎］** 渋谷駅徒歩 5 分　※カリキュラム詳細は学校パンフレットに掲載

2021年 1月生 / 4月生 募集中

学校案内パンフレット無料送付中！

フリーダイヤルまたは Web サイトより資料をご請求ください

0120-456-539　**https://www.tokyo-designplex.com/**

〒 150-0043 東京都渋谷区道玄坂 2-10-7 新大宗ビル 2 号館 9F

TOKYO DESIGNPLEX INSTITUTE
東京デザインプレックス研究所

DAIWA PIER39

釣り好きなら知らない人はいないフィッシングギアの〈DAIWA〉が、2020年春夏シーズンに立ち上げたアパレルコレクション〈DAIWA PIER39〉。釣り“も”できる快適なシティウェアが揃い、この一見クラシックなゴルフジャケットも、前身頃には二層構造のフラップポケットが、内側にはルアーケースも入る大きなメッシュポケットがそれぞれ付いたフィッシング仕様(釣り具が入るのだから、街で着る僕たちにも頼もしいのは確実)。縦横に伸びるストレッチのポリエステル素材はドライタッチでシワになりにくく、マットなブラックのおかげもあって定番アイテムもスポーティでモダンな雰囲気。共地の2プリーツのイージートラウザーズとセットアップで着るとさらに新鮮。どちらも〈BEAUTY&YOUTH〉限定アイテム。1月中旬〜下旬にかけてオフィシャルオンラインストアにて先行受注開始予定。Tech Golf Jacket ¥30,000、Tech 2P Easy Trousers ¥21,000(ともにダイワピア39)、ストール¥10,000(ビューティ&ユース)、デザートブーツ¥23,000(クラークス/すべてビューティ&ユース ユナイテッドアローズ渋谷公園通り店☎03-5428-1893) その他は私物

「最近イタリア語を独学中」と話すのは、15歳の宮原絵燈くん。「料理好きで、いつかイタリアで食の旅をしたくて。得意料理もカルボナーラやトマトソース系のパスタです」。そもそも料理に興味を持ったのは、お母さんの影響。「料理上手な母の姿がかっこよかった。小3から手伝いを始めて、今も最低週1回はキッチンにいます」。これまた独学で小5の頃にはフランベをマスター（すごい！）。「人に決められるのが嫌いで、何でも自分で考えてやってみたいんです。自分の味を作って、人に美味しいと言われたときが嬉しい」。そんな彼の将来の夢は「料理ができる悪役のアクション俳優」。自分で決めただけあって具体的だし、オリジナリティ強め。意志も固い。これだけ明確なら本当に叶えられそうだ。

THE CITY BOY

BEAUTY&YOUTH UNITED ARROWS

VOL. 21

Kaito Miyahara
(student)

photo: Shunya Arai
styling: Shinichi Sakagami
grooming: Hori
edit: Ryoko Iino

POPEYE 886

FEBRUARY

STYLE SAMPLE 2021

NY / LA / PARIS / LONDON / TEL AVIV /
MOSCOW / BERLIN / LIVINGSTON MANOR /
STOCKHOLM / TORONTO / SAPPORO /
TOKYO / KYOTO / OSAKA / KOBE /
MATSUYAMA / FUKUOKA / KUMAMOTO

今回もスタイルのある人を探して、世界の18都市でスナップ！
モスクワとかテルアビブとか、普段なかなか行く機会がない街でも撮れたし、
NYではA24の映画に関わるスタッフや仲間が集まってくれて、
彼らの独特な古着の選び方や着こなしはすごく新鮮で面白かった。
LAでは〈ブレインデッド〉のカイルがA$AP NASTを撮影に呼んでくれて、
ベルリンの小さなラジオ局には10代のDJが集まって放課後みたいなノリで。
いろいろあったけど、スタイルはみんな個性があって、服がよく似合っている。
その理由は人それぞれだし、相変わらずファッションに答えはないけれど、
自分らしい服とかスタイルって何なのか、2021年も考えてみるか。

illustration: Loribelle Spirovski

パンツの丈には特段にこだわりがあるようで、どれも基本的にはワンクッションで裾上げしているようだ。

ハワイで作った、自分の名前を入れたハワイアンジュエリーがお気に入り。アクセサリーは服を選ばないシルバーオンリー。

in NEW YORK

A24の映画やイケてるMVの衣装を手掛けるミヤコと仲間たちは簡単に真似できないスタイルの持ち主だ！

INTRODUCED BY
Miyako Bellizzi 32 *Costume Designer, Stylist*

ミヤコ・ベリッツィ｜1988年、サンフランシスコ生まれ。ファッションの広告やエディトリアル、Jay-ZやKali UchisのMV制作などで活躍。映画監督のサフディ兄弟との仕事も多く、『グッド・タイム』『アンカット・ダイヤモンド』の衣装を担当。

Jacket —— used
Fleece Shirt · Eddie Bauer (used)
Shirt —— used
Pants —— Marithé + François Girbaud (used)
Shoes —— Dr. Martens

「今回紹介するみんなはそれぞれ感性は違うけど、近い考え方を持っているの。流行りのブランドや新作よりもずーっと古着が好きで、すでに存在してきた服に独自の新たな価値を見いだしてスタイルを考えているんだけど、それってとってもクリエイティブでクールじゃない？　誰かのためではなく、自分のためにファッションを楽しむ人たちね。NYでは、そういう人たちのユニークなエナジーにいつも刺激を受けているわ」

#1

Aaron Wiggs 33
『Supreme』Staff,
「BLM Side Walk Sale」Co-founder

Jacket —— Supreme
Sweater — Supreme
Pants —— Supreme
Shoes —— Solovair
Hat —— KB Ethos (used)

「'90年代のNYのスケートシーンを思わせる格好のエーロンはこの街のファッションを語る上で欠かせないわ。昨年の夏に彼が主催した『BLM Side Walk Sale』にいた人たちのスタイルはバラエティに富んでいて、まさにNYらしいマーケットだった」

左／バギーなシルエットが好みでいつも大きめのパンツを購入する。右／「僕のスタイル・アイコンであるマイルス・デイビスがかぶっていそう」だというレザーハットが愛用の一品。

#2

Emma Kohlman 31
Artist

Jacket —— Ganni
Shirt —— Merritt
Pants —— used
Shoes —— Ganni
Necklace — Mama Jewelry

「カラフルで明るい服を着るエマのスタイルはいつもハッピーで、彼女のエナジーをそのまま映し出してる。すごいのは、たとえ時間がなくて適当につかんだ服を着て「それ合わせちゃう？」みたいな着こなしでもなぜか素敵に仕上がってしまうこと」

左／『Jack Hanley Gallery』での、彼女の個展のポスター。中／デザイナーズブランドの服にも見えるこのパンツはスリフトショップで見つけたブランド不明のデッドストック。右／個展の最終日のお祝いに彼氏がくれたバラも安全ピンでアクセサリーにしてしまう！

TAKE SNAPS OF CITY BOYS IN YOUR NEIGHBORHOOD

TAKE SNAPS OF CITY BOYS IN YOUR NEIGHBORHOOD

僕の近所のシティボーイ。

服が似合う人ってどんな人で、何でカッコいいの？
まずは世界各地のスタイルのある7人に、
身の回りのクールな友達を紹介してもらおう。

撮影前。窓からボーイフレンドに声をかけるミヤコの愛車は'80年代の〈キャデラック〉「セダン・ド・ヴィル」。映画の現場で使われていて一目惚れし、プロデューサーに無理を言って譲ってもらったんだって。時間があると決まって、昔のR&Bやジャズなどを聴きながら街を流しているらしいよ。

photo: Ryuta Hironaga　text: Shimpei Nakagawa

上／彼が「ペリー」と呼ぶ〈ペレ・ペレ〉のジャケットは何着か持っていてその中でもお気に入りの一枚。下／〈ロビンズ・ジーン〉は2000年代中盤にLAのセレブを中心に一世を風靡。

#6

Bruno Di Corcia 27

Costume Designer

- Jacket — Pelle Pelle (used)
- Zipup Sweatshirt — Ralph Lauren (used)
- T-Shirt — Greenpeace (used)
- Pants — Robin's Jean
- Shoes — Adidas

「私の仕事のヘルプもしてくれるブルーノは、生まれも育ちもマンハッタンのど真ん中っていう生粋のニューヨーカー。定番と流行を上手に融合するような、いわゆる都会的な洗練さも理解した上で、まるで天邪鬼みたいにあえていなたく外してくるところにセンスがあると思うの」

39か国以上に拠点を置く自然保護団体「Greenpeace」のヴィンテージTシャツは見かけるたびに買うらしい。

#8

John Paul Lopez 27

Filmmaker

- Jacket — used
- Sweater — Britches Great Outdoors (used)
- Pants — Calvin Klein (used)
- Shoes — Lugz
- Eyewear — Mykita × Maison Margiela

「私のボーイフレンドのJPはサフディ兄弟のアシスタントをつとめていて現場が一緒になることが多いの。面白いのは彼と私は靴以外はほとんどサイズが同じだから互いの服を着ることもよくある。彼のジャケットやパンツも私のものね(笑)」

一目惚れしてやっと手に入れた〈Mykita〉×〈Maison Margiela〉のメガネはお気に入り。

50セントで買ったオイルド加工のハットは軍の放出品。7年前に買った〈バーバリー〉のレインジャケットと合わせて。「今日は雨だと思って防水でキメてきたのにな。むしろ降らなくて残念(笑)」

#7

Angie Chavez 35

Retail Manager, Collector

- Jacket — Burberry
- T-Shirt — Guggenheim Museum (used)
- Boots — Prada
- Hat — used
- Sunglasses — Fendi (used)

「ザ・NYな女の子といえばアンジーだと思う。彼女は'90sのNYのストリートにいたシティガールを体現していると感じててこのページにぴったりだなって。'80〜'90sの〈グッチ〉や〈フェンディ〉〈プラダ〉などを集める彼女らしいコーディネートね」

左／ミヤコが仕事でメキシコに行った際に買ってきたスターリングシルバーのリングも一緒に使っている。右／'90年代にラッパーに愛された庶民的ワークブーツ〈ラグズ〉を愛用。

TAKE SNAPS OF CITY BOYS IN YOUR NEIGHBORHOOD

彼女のスタイルを象徴するのは自身のジュエリーブランド〈エル・ジャーディン〉のジャラつけ。ミヤコと同じく、アクセサリーはシルバーしかつけない主義みたい。

#3

Lizz Jardim 32

Jewelry Designer

Jacket —— Arthur Chapnik (used)
Skirt —— used
Bag —— used
Sunglasses - Roberi & Fraud
Jewerly —— L.Jardim

「よくスリフティングに一緒に行く、私と同じくヴィンテージが大好きなリズ。印象が強めの柄物・色物に目がない彼女だけど、ブロックとタータンという異なるチェックの組み合わせを、上下を同じ3色にしてまとめているのが本当に上手ね」

自宅の壁には無類のデニム好きな彼に友人がプレゼントしてくれたというコラージュが。

#4

Alex Lee 29

Artist

Jacket —— Jean Paul Gaultier (used)
Sweatshirt - Champion (used)
Skirt —— used
Pants —— Iceberg (used)
Shoes —— Mephisto

「スタイルに関して、彼が私の一番のインスピレーション源かもしれない。スカートには彼のジェンダーレスな考え方・生き方が反映されているし、長年使い古された服も彼のカスタムや着方で新たな価値を得たように感じられるの」

「最も快適なウォーキングシューズを作りたい」とフランスで誕生した〈Mephisto〉の「バラクーダ・ゴア」は、彼にとってのベストかつオンリーワンな一足。一度履いたらもうこれしかいらないってくらい歩き心地がいいとか。

#5

Dominick Barcelona 28

Stylist

Jacket —— Eytys
Zipup Sweatshirt — Adidas
Pants —— Levi's
Shoes —— Prada
Hat —— used

「'70sのカルチャーに影響を受けているヴィンテージ好きのドミニク。特にデニムとそのシルエットには思い入れが強くて、今日はお気に入りの一本と、光沢のあるショートジャケットに、〈プラダ〉ね。彼の佇まいに近未来というか、少し先を行っている雰囲気を感じるのは私だけかな!?」

エナメル加工のジャケットはスウェーデン発のユニセックスブランド〈エイティーズ〉。

「スタイルはパンツから決める」と言って選んだデニムも、初の大仕事の記念に買った〈Prada〉のシューズもよく似合うね。

#5

Jordan Page 35

<Colour Plus Companie> Designer, Vintage Dealer

Cap —— Stone Island
T-Shirt —— Colour Plus Companie
Bandana — L.L.Bean (used)
Pants —— Ralph Lauren
Shoes —— Timberland (used)

「'70年代以降のヴィンテージの目利きで、とても頼りにしている友人でもあるジョーダンは服のシルエットに対する視点がとてもいいの。特にオーバーサイズのボクシーなスタイルを見つけてくるのが得意。この古着のシャツもよく似合ってるわよね」

#4

Omer Raviv 25

『BODE』Retail Manager

Jacket —— Bode
T-Shirt —— Bode
Pants —— Bode × Green River Project
Shoes —— Dries Van Noten

「スウェットパンツをもエレガントに着こなすことができるのがオメアね！　チャイナタウンにお店をオープンしたときの一番最初のスタッフでもあるし、いつもハッピーでリラックスした雰囲気があるから〈BODE〉のバイブスとぴったりなのよ」

#7

Nick Joseph Reyes 25

<BODE> 58 Hester St. Manager

Jacket —— Bode
T-Shirt —— Uniqlo
Pants —— Bode
Shoes —— Comme Des Garçons

「最近お店で働き始めたニックは、本当に知り合いが多いの。この愛嬌のある笑顔からもわかるでしょ？　デザイナーものと〈BODE〉を組み合わせるところが他のスタッフとは違う。特に〈ギャルソン〉や〈ヨウジ〉のような日本ブランドが好きみたい」

#6

Patrick Roberts 35

<BODE> E-commerce Merchandiser

Beanie —— used
Jacket —— Tomorrowland
Shirt —— Trade Mark Tomorrowland
T-Shirt —— Tomorrowland
Shoes —— Gucci

「パトリックとは〈トレードマーク〉というブランドのSOHOのお店で買い物中に知り合ったの。ハイプなものもヴィンテージも自分なりにミックスしてオリジナリティのある格好をいつもしてる。落ち着いたアーシーな色使いもいいわよね」

「私のチームはどんなことでも楽しむ、リラックスした人たちばかりよ。このブルックリンのスタジオには最近移ってきたばかりで、1階には私のフィアンセの工房もあるの。その両方で働いてる子たちも多いし、彼のいとこも私を手伝ってくれる。NYはそうやって今まで以上にコミュニティが親密になってると思う。ファッションも温もりのあるものが求められてるかな。まあでも、そういうNYの一面はいつの時代もあるものだとも思うけどね」

TAKE SNAPS OF CITY BOYS IN YOUR NEIGHBORHOOD

#2

Payton Hari 24

Upholsterer for Takhar Textile Arts

Cap —— Yankees (used)
Jacket —— Bode
Hoodie —— Green River Project
Pants —— Wrangler (used)
Shoes —— used

「私のフィアンセのいとこで『グリーン リバー プロジェクト』という内装を手掛けるスタジオでも働いているから、作業しやすい格好が基本で、たまに服にペイントが付いてるわ！ ファッションも学んでたからそこに洒落たアイテムをうまく取り入れるの」

#1

Saji Abude 23

Freelance Embroiderer

Sweatshirt - Cliff
T-Shirt —— Curry Up
Pants —— Bode
Shoes —— Dr. Martens
Necklace — Honeymoon, Kapital

「サジは１年半くらい前から手縫いの刺繍を担当してくれてるんだけど、男性でもイヤリングとかネックレスとかをよくつけていて、アクセサリー使いがとても上手なのよね。時代を特定させないタイムレスなスタイルを体現してる人でもあるわ」

#3

Lillian Whittaker 21

<BODE> Coordinator

Jacket —— Bode
Sweater — used
Shirt —— Polo Ralph Lauren
Pants —— Levi's (used)
Shoes —— Acne (used)

「〈BODE〉とヴィンテージとをうまくミックスするのがリリアンは得意よ。キッズ用のセーターがよくマッチしてる。最近特にネットでのヴィンテージハンティングにハマってるみたいで、次はどんなものを彼女が見つけてくるのかなって毎回楽しみなの」

in NEW YORK

**手作り感が漂うNYの新星ブランドの〈BODE〉、気になってなかった？
デザイナーのエミリーに、アトリエで働く仲間を紹介してもらったよ。**

INTRODUCED BY

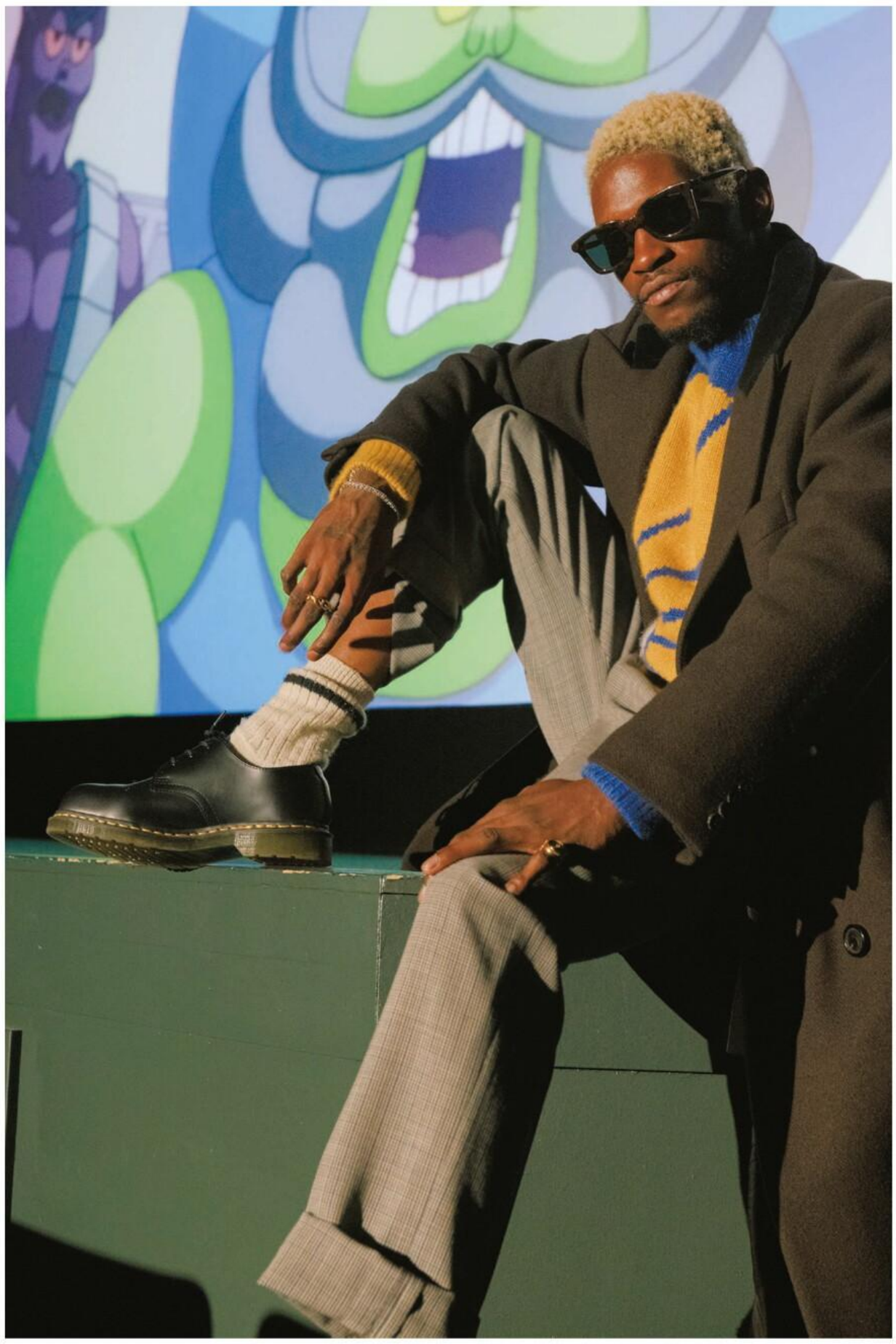
Emily Bode 31

エミリー・ボーディ｜ジョージア州出身。2016年にブランド〈BODE〉をスタート。アンティークの生地を中心に使い、リユーズすること、自給自足、古くから伝わるクラフトや歴史的なテクニックを守ることをテーマにした服作りをしている。

<BODE> Designer

Jacket —— Geoffrey Beene (used)
Tank Top — used
Pants —— Bode
Shoes —— Swedish Clogs (used)

photo: Akira Yamada　coordination: Shimpei Nakagawa　text: Momoko Ikeda



ナストの後ろのスクリーンでは、鋭意製作中であるBrain Deadによる短編映画を流していたよ。早く観たい！

#2

A$AP Nast 30

Artist

Coat —— Unused
Sweater —— The Elder Statesman
Pants —— Lanvin
Shoes —— Comme des Garçons × Dr.Martens

「ご存じ、エイサップ・モブのラッパー、ナストだ。ロッキーの従兄弟だね。ファッションが好きで、洋服がよく似合うし、本当にクールだよね。３年前くらいに共通の友人を通じて知り合ったんだ。彼とハングアウトするのが楽しいよ」

この日のスタイルで特にお気に入りはシューズで、「川久保玲はクイーンだ」と言っていた。〈コム デ ギャルソン〉をかなりリスペクトしているみたい。〈アンユーズド〉のコートは東京を訪れたときに買ったもの。

「今日集まってくれたのは、僕も含めてみんな似たようなことに興味があって、創造性をシェアできる人たち。映画館を始めたからさ、〈ブレインデッド〉はここで上映するためのフィルムを今たくさん作っていて、製作に関わっている人もいるよ。映画もそうだけど、僕は音楽も、スポーツも遊びも、フードなんかも含めて、自分たちが好きなあらゆることをみんなと共有したいから、このシアターがLAにおいていろんなカルチャーを生み出すセンターになってほしいし、携わってくれる仲間たちからは毎日刺激をもらっているよ」

右・上／パーカはアメリカのバンド・SALEMのマーチで、ハットも８年前に買ったとあるガソリンスタンドのグッズ。ネックレスはスポーティな日本のブランド〈D.TT.K〉。下／昨夏の限定コラボ。モデルは「ML860」。

#3

Henry Laufer 30

Musician

T-Shirt —— Flip Skateboards (used)
Pants —— Engineered Garments
Shoes —— New Balance × Dime
Necklace —— D.TT.K
Ring —— Brain Dead

「SHLOHMO（シュローモ）というソロ・プロジェクトをやっているトラックメーカー。彼のファンだったから仲良くなれてよかったし、2019年のアルバムも素晴らしい。〈ブレインデッド〉でも音楽でたくさんコラボしているよ」

in LOS ANGELES

〈ブレインデッド〉が昨年オープンした映画館は
もうチェックしてる？ 面白そうでしかないよね。
いつも遊んでる仲間をカイルが呼んでくれたよ！

フェアファックスで1942年から続いていた老舗の映画館を引き継ぎ、昨年10月に土日営業の「BRAIN DEAD STUDIOS」を開業！取材時はショートフィルム『KARMA & DESIRE』を上映していて、今後の予定はインスタグラム(@braindeadstudiosfairfax)で告知していくって。●611 N Fairfax Ave., Los Angeles, CA ☎なし 11:00～18:00 月～金・祝休

〈パルメットーズ〉の古着のデニムジャケットは、ガールフレンドがスタッズでリメイクしたんだって。

#1
Daniel Gross
Brain Dead Studios Manager & Film Programer

●
Jacket —— Palmetto's
T-Shirt —— Brain Dead
Pants —— Target
Shoes —— Dr. Martens

「彼はこの映画館のマネージャーで、上映プログラムは彼と一緒に考えているよ。頭がよくて、尊敬しているし、ここに絶対欠かせない人。ハリウッドの業界ならではの事情にも知見があって、やっちゃうとヤバいことも教えてくれるんだ」

INTRODUCED BY
Kyle Ng 34
<Brain Dead> Co-founder

カイル・ウン｜1986年、サンフランシスコ生まれ。2014年にエド・デイビスと〈Brain Dead〉をスタート。映画はホラーの大ファンで、リドリー・スコット監督の『エイリアン』が大好き。最近はクライミングとペイントボールにハマり中。

Fleece —— Brain Dead × The North Face
Pants —— Brain Dead
Shoes —— Brain Dead × Converse
Cap —— used
Eyewear —— Oakley

上／〈blackmeans〉の定番のポーチを財布にしている。下／昨年11月に発表した〈コンバース〉との3回目のコラボ「Chuck 70」。

photo: Asato Iida coordination: Megumi Yamano

in PARIS

シックなパリジャン・パリジェンヌ、といったらいま、何を着てるのかな？『HOLIDAY』の編集長に聞いてみよう。

「〈エルメス〉の高品質なメルトンのビッグコートの下に、ヴィンテージのスタジャンを着る、という遊び心があり、正直で礼儀正しく、親切で優しいこの男性は、ちょっと待ってください、私の友達です(笑)。私は次のページにいますが、今回紹介するのは彼のような、私が大好きな人たちです。実は私は、いまのパリジャンにもう少し個性的な服装をしてほしいと思っているのです。白いスニーカー、はき古したデニム、くたっとしたジャケット、ネイビーのカラーリング。正直言って、少し怠惰だと思います。その点、この7人は冒険的で洗練されています、そして彼らは、服の中にいる彼ら自身がとても自然に見えるのです」
(『HOLIDAY』編集長　マーク・ボウジェ)

#1

Pierre Alexis Corson 36

<John Lobb> Communication Director

Coat ―― Hermès
Jacket ―― used
Sweater ―― Hermès
Pants ―― Levi's (used)
Bag ―― Hermès

「〈エルメス〉、ヴィンテージ、〈A.P.C.〉〈ラルフ ローレン〉〈ユニクロ〉に、靴は決まって〈John Lobb〉なのがピエールのスタイルです。今日も美しい『501』が似合っています。マナーのよい人柄と装いがしっかり重なっているのです」

上／自身が勤める〈John Lobb〉のシングルモンクの名品「VERDI」。実はヴィンテージで、だいぶ状態がいい。下／ダボつかず、いいサイズ感のスタジャンは、東京で見つけた古着。

photo: Mari Shimmura　coordination: Masae Takanaka

#5

Djavan Santos 30

Artist & Musician

- Shirt —— Brain Dead
- Pants —— Raf Simons
- Shoes —— Salewa
- Cap —— Brain Dead
- Belt —— Brain Dead

「SHLOHMOと同じく、クリエイティブ集団・WEDIDITのメンバー。彼はD33J（ディージェイ）というミュージシャンでもあり、僕はその音楽が大好きなんだ。世界中をあちこち共に旅して、いろんな冒険を一緒にしてきた仲間でもあるんだよ」

上／ハラコ素材のスタッズベルトは〈ブレインデッド〉。下／〈サレワ〉のハイキングブーツ「WILDFIRE EDGE」は、ブランドの拠点・イタリアの昔の人が履いていそうな感じが好みとか。

#4

Courtland Donaldson 35

『Supreme』Sales Manager

- Fleece —— Supreme
- Shirt —— Supreme
- Pants —— Noah
- Shoes —— New Balance
- Eyewear —— Celine

「コートランドは思いやりがある男で、友達として最高さ。LAの『シュプリーム』があるフェアファックスに僕らのスタジオができて、歩いてすぐに会えるようになって嬉しいよ。クライミングやスケートをよく一緒にやるんだ」

#8

Tucker Phillips 31

Director

- Fleece —— Patagonia
- Shirt —— Virgil Normal
- Pants —— Carhartt
- Shoes —— Nike SB × Soulland

「愛犬のOlyを連れてきたタッカーとは、クライミングやスケート、スノボ、そして今はフィルム作りと、大体のことを一緒にやってきた。最も近い友達の一人だよ。彼はアウトドアが好きで、〈パタゴニア〉のフリースをいっつも着ているよ」

コペンハーゲンの〈ソウルランド〉とのコラボ「DUNK High FRI.day Part2」を愛用。

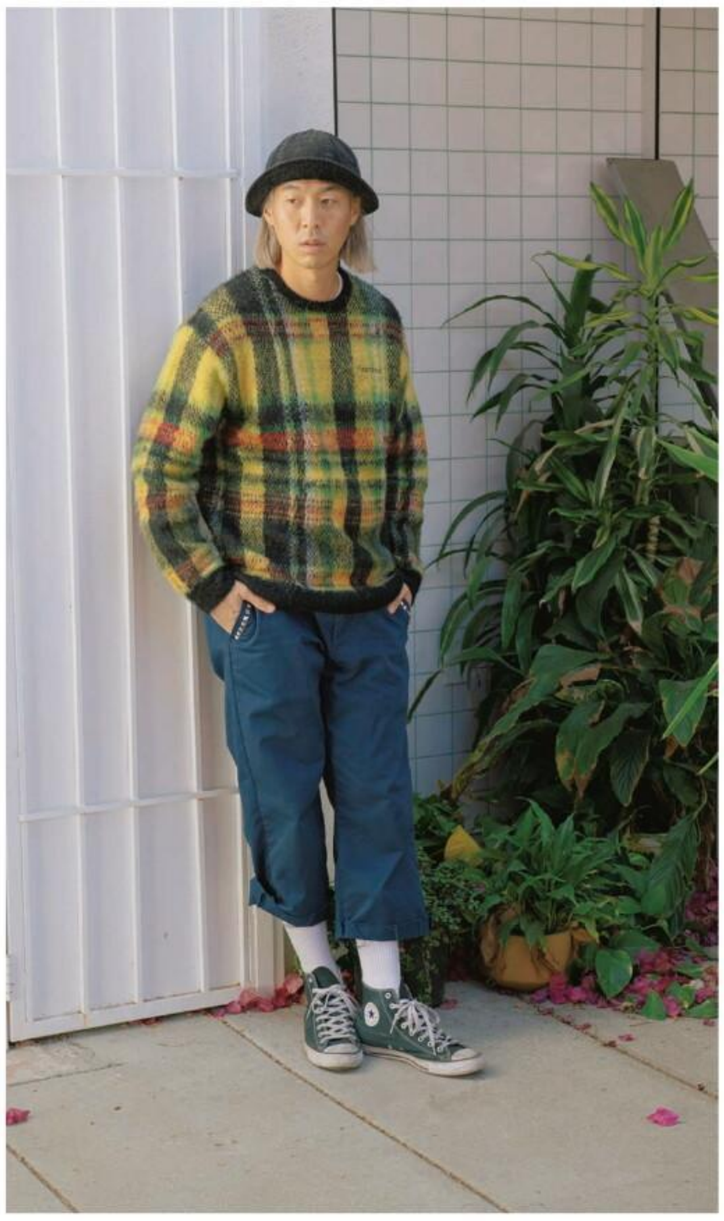
#7

Steve Lee 37

『Supreme』Shop Staff, Model

- Sweater —— Supreme
- Pants —— Supreme
- Shoes —— Converse
- Hat —— Supreme

「スティーブはロッククライミング仲間で、他にも何でも遊べるベストな関係なんだ。着ているニットは、彼がティーンを過ごしてきた'90sを思い出させてくれる一番のお気に入りらしいんだけど、そんなファッションセンスが好きだね」



#6

Casey San Agustin 29

Designer & Vintage Reseller

- Jacket —— used
- Shirt —— used
- Pants —— remake
- Shoes —— Hoka One One
- Cap —— Outdoor Research

「ケイシーは服のデザインもするし、質のいい古着を探して販売もしているよ。リメイクとか、手先が器用なところを尊敬しているんだ。僕らは月に1回は一緒にペイントボールをやっている仲間で、彼は見かけによらず負けず嫌いなんだ」

パンツは自らパッチワークと刺繍をしてリメイク。手作業は瞑想にもなっていいそうだ。

はくのはこの「105」と「107」だけ。ヴィンテージはシカゴの古着屋『GOOD FARM』でよく買うとか。

#6

Raphaël Malkin 30

Journalist

Jacket —— Dickies
Pants —— orSlow
Socks —— J. Crew
Shoes —— G.H. Bass UK
Bandana — used

「ラルフは彼の時間の半分をアメリカで過ごしています。スタイルにもその生き方が表れているし、自然体で、とてもクール。デニムは〈オアスロウ〉が彼の定番です。パリではお洒落なカフェなんかに行っている場合じゃない、自分の住まいがある18区の『Café d'Albert』には本当のパリがある、と彼はよく話します」

#4

Edouard Martin-Rilhac 27

『Atelier Franck Durand』 Staff

Coat —— used
Shirt —— Uniqlo
Pants —— Husbands
Shoes —— Converse
Scarf —— Husbands

「エドゥアルドはカフェやウェブなど、HOLIDAYの雑誌以外の動きにも携わります。彼の賢さと、エネルギーと、笑顔が大好きです。彼は映画『クレイマー、クレイマー』『すぎ去りし日の…』の'70sのスタイルからインスピレーションを得ています」

〈ハズバンズ〉のパンツをみんなはいているのが印象的だけど、エドゥアルドはさらにマフラーも！

#5

Marion 40

<Boucheron> Image Director

Sweater — Comptoir des Cotonniers
Shirt —— Balenciaga
Pants —— Uniqlo
Shoes —— Birkenstock
Socks —— Falke

「マリオンは〈ブシュロン〉のエディトリアルや広告など、すべてのビジュアルを統括しています。彼女ほど正直で、一貫性があり、信頼できる人はいないし、そのスタイルのシンプルさが大好きです。私の人生における最愛の人でもあります」

#7

Franck Durand 51

『Atelier Franck Durand』 Art Director

Jacket —— Holiday Boileau
Shirt —— Ralph Lauren
T-Shirt —— Uniqlo
Pants —— Husbands
Shoes —— Alden
Watch —— Rolex

「フランクは、我らのボス。彼はHOLIDAY全体のクリエイティブ・ディレクターです。私は長年一緒に働いてきましたが、いつだって快適そうにしている彼の服装は、シンプルで、簡潔で、エレガント。パレ・ロワイヤルの斜向かいにある『ハズバンズ』とその服がオススメのようです」

上／〈ロレックス〉の1980年の「OYSTER PERPETUAL」。ベルトは自分で布帛に替えた。左／〈オールデン〉の定番「990」に、上質な〈バーリントン〉のソックスを。

TAKE SNAPS OF CITY BOYS IN YOUR NEIGHBORHOOD

上／スエードで品があるトートバッグは〈L.L.Bean〉のヴィンテージ。パリの古着屋『Le Vif Boutique』で発見。下／今日の腕時計は〈Audemars Piguet〉の「Royal Oak」のオートマティック。フェイスが小ぶりなヴィンテージものも好き。

INTRODUCED BY

Marc Beaugé 40

Jacket —— Abercrombie & Fitch (used)
Shirt —— Daniel Lévy
Pants —— Husbands
Scarf —— Johnstons of Elgin
Shoes —— Clarks UK

『Holiday magazine』
『L'étiquette magazine』 Editor in Chief

マーク・ボウジェ｜1980年、パリ生まれ。素敵な旅とライフスタイルを伝える『HOLIDAY』と、スタイリッシュなメンズファッションを提案する『L'étiquette』（今年は英語版も出す予定）、パリを拠点にする2つの雑誌の編集長。

#3

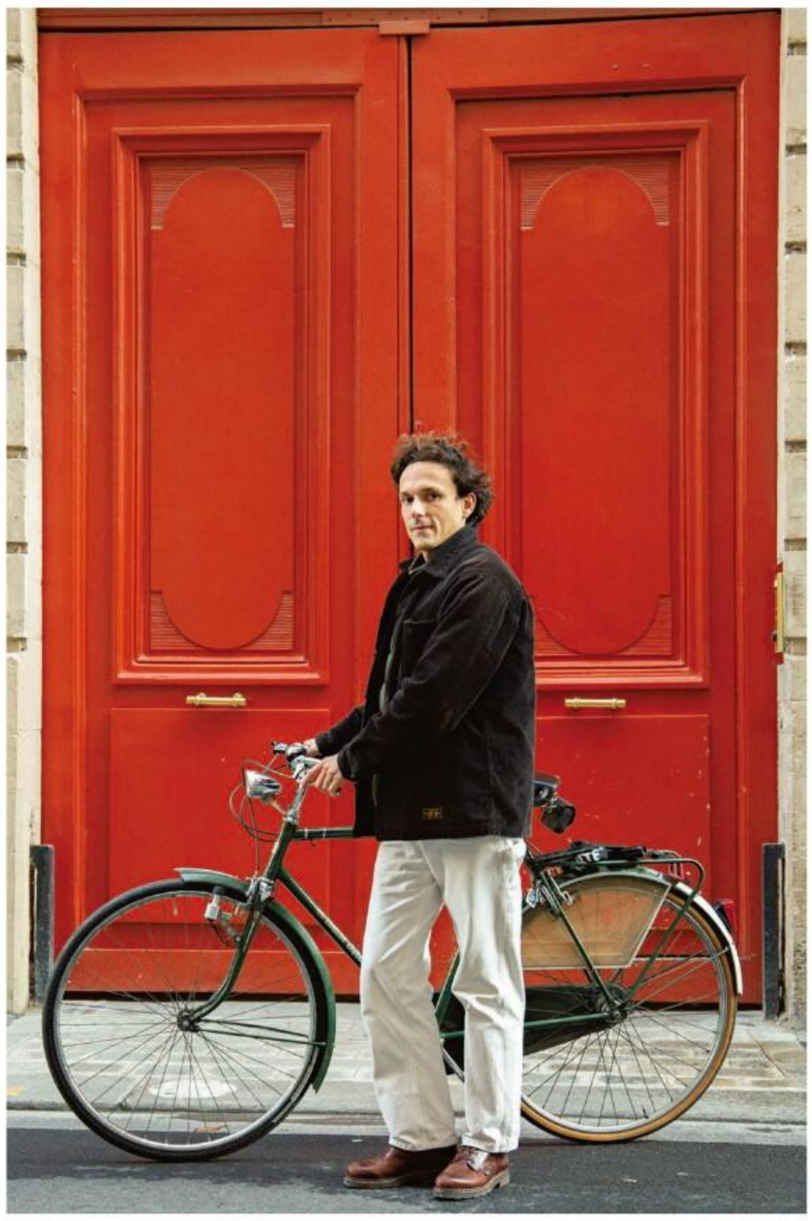
Maxime Buaud 20

『HUSBANDS』 Staff

Suit —— Husbands
Shirt —— Husbands
Shoes —— Husbands
Tie —— Husbands
Watch —— Michel Herbelin (used)

「マキシムは『仕事を探している』と私に相談してきて、フレンチ・トラッドに興味がある人には最適な『ハズバンズ』を紹介し、いま働いています。ヴィンテージの腕時計を集める一方、『Guerrisol』で安価な古着の山の中から'60s・'70sのコスチュームを見つけてチェックしているようです。その姿勢には感銘を受けますし、明るい未来が期待できます」

上／ 1947年創業の〈ミシェル エルブラン〉の'70s。下／〈ハズバンズ〉のスーツは、シャツの一番上のボタンを外して着るのがマキシム流。



ワイナリーの労働者のためのブーツがベースの「Bergerac」。履き込まれたオイルヌバックの様子がいいね。

#2

Marin Muteaud 28

『Holiday magazine』
『L'étiquette magazine』
Art Director

Jacket —— Neighborhood
Vest —— Barbour
Pants —— Stan Ray USA
Shoes —— Paraboot
Bike —— Motobecane Union Safari (used)

「〈バブアー〉、〈リーバイス〉や〈スタンレー〉のワークパンツ、〈パラブーツ〉か〈ガゼル〉のスニーカー。これがマランのユニフォームです。本人はそうと気付いていませんが、彼はとてもスタイリッシュな男なのです。僕たちはお互いをとても信頼して、共に雑誌を作っています」

シンガポールからやってきた才女の右手には、フェイクファーでドローストリング仕様のミニポシェットも。

#7

Jermine Chua 21
Shop Staff, Student

Coat —— Namacheko
Knit Dress – Paula Canovas Del Vas
Bag —— Marni
Shoes —— Comme des Garçons

「ジャーメインはセントラル・セント・マーチンズの学生。彼女はすごく『MACHINE-A』なルックだね！　メンズの〈ナマチェコ〉のコートと、2017年・ロンドン発の〈ポーラ カノヴァス デル ヴァス〉のニットロングドレスで、暖かいセンスが光っているよ」

美しいコートの襟に実はゴツめチェーンが。ちなみに彼はShia LaBeoufとA$AP Nastのスタイルが好き。

#6

Stevens Croulbois 24
Shop Staff

Coat —— Raf Simons
Sweater — Namacheko
Shirt —— YMC
Pants —— Maison Margiela
Shoes —— Maison Margiela

「スティーブンスは最近この店のファミリーに加わったんだ。総柄のニットは、スウェーデンで育ったクルド人の兄妹が2016年にベルギーで立ち上げた〈ナマチェコ〉。白シャツを合わせたバランスもいいし、これは僕自身も着てみたいコーディネートだね」

パリを拠点にする〈ワイ プロジェクト〉のカーディガンは、ネックにゴールドチェーンがついている。

#5

Rachel Chen 24
Shop Staff, Student

Coat —— MM6
Cardigan — Y/Project
Skirt —— Noir Kei Ninomiya
Shoes —— Urban Outfitters
Bag —— Innerraum

「レイチェルはデザイン学科の学生で、若いデザイナーの服を好んで着るんだ。シルエットが美しいコートと〈ノワール ケイ ニノミヤ〉のスカートは相性抜群。ドイツの〈インナーラム〉のバッグでプラスするゴールドのアクセント・ユニークさもいいね」

「ロンドンのAngelのアンティークマーケットで安く買ったリングのダイヤは鑑定したら本物だった(笑)」

#10

Harry Tibble 22
Shop Staff

Coat —— Raf Simons
Inner —— Helmut Lang
Pants —— Maison Margiela
Shoes —— Maison Margiela
Ring —— used

「ハリーは店の仕事の傍ら、ブランドのヴィンテージを集めて売っているから知識が豊富なんだ。今日もコートを主役にしながらもトーンダウンさせてタイムレスな装いだね。人目を引くことは難しいけど、彼のスタイルには自信が感じられるし、それは貴重なこと」

スタブロス曰く、「〈フィア オブ ゴッド×エルメネジルド ゼニア〉は今シーズン最高のコラボの一つ」。

#9

Gianandrea Lazzari 27
Assistant Shop Manager

Coat —— Fear of God × Ermenegildo Zegna
Jacket —— Fear of God × Ermenegildo Zegna
Shirt —— A-Cold-Wall*
Pants —— Levi's (used)
Shoes —— Guidi

「ジャナンドレアは10代の頃、イタリア代表のバスケットボール選手だったんだよ。彼は質のいいテーラリングの服を、異なる色・素材でレイヤードするのが好き。デニムとの組み合わせはスマートなチョイスで、トレンドの'90sの雰囲気を醸し出しているね」

'90sにロンドンのクラブシーンを席巻したレイブイベント『DREAMSCAPE』のクルージャケット。

#8

Mia Poirier 42
Business Manager

Jacket —— Dreamscape
Dress —— Peter Do
Shoes —— Prada

「『Dover Street Market』でも働いていたミアとは一番多くの時間を過ごしてきていて、僕らが『MACHINE-A』の両親、って感じ(笑)。エレガントな〈ピーター ドゥ〉のレザードレスに、彼女の宝物のMA-1を羽織れば、まさにクラブに行く前の上品なルックだ」

TAKE SNAPS OF CITY BOYS IN YOUR NEIGHBORHOOD

日本の〈TOGA〉のベルトや〈BED J.W. FORD〉のリングも。ブーツもそうだけど、シルバーが大好き。

in LONDON

『MACHINE-A』のスタッフに会って、モードファッションのいまを知りたい！

「僕が考えるいいスタイルというのは、個性があることに尽きるよ。独自の感性でブランドをミックスし、自分を表現している人が好きだし、ファッションには楽しみながら自分自身を気持ちよくするチャンスがたくさんあるからね。だから僕は若手や新しいブランドをいち早く入れて、この店を本当の意味で包括的で多様性のある場にしたい。今回紹介するスタッフは誰にも負けない強い個性とスタイルの持ち主だと思うよ」

#1 Nana Watanabe 24
Shop Staff

Jacket —— Peter Do
Sweater —— Raf Simons
Skirt —— JW Anderson
Shoes —— Maison Margiela
Pierce —— Jiye Shin

「ナナは異なる色と質感を絶妙なバランスで上手にミックスするね。NYの〈ピーター ドゥ〉のジャケットはスペーサーファブリック生地でとても独特。光沢のあるプリーツスカートでバランスをとり、グリッターの効いた足袋ブーツでスタイルを完成させているよ」

INTRODUCED BY

Stavros Karelis 37
『MACHINE-A』Founder & Buying Director

スタブロス・カレリス｜1983年、ギリシャ生まれ。2013年、ソーホーにセレクトショップ『MACHINE-A』をオープンした名物バイヤー。ラグジュアリーブランドも学生デザイナーも同居する、というコンセプトでメンズ・レディスも分けずに商品を展開。
Instagram: @machine_a

Cape —— Raf Simons
Sweater —— Raf Simons
Pants —— 1017 Alyx 9sm
Shoes —— Raf Simons

「僕のスタイルは、絶対的な存在の〈ラフ・シモンズ〉に、他のブランドをミックスするイメージ。この〈アリクス〉のバイカーパンツは5年ほど前から愛用中さ」

イヤリングと同じく〈MM6〉のシルバーのペアクリップも独特で、スタイルのいいアクセントになっている。

#4 Leslie Marie Albuerne 33
Shop Manager

Coat —— Maison Margiela
Knit Dress – Peter Do
Earring —— MM6
Bag —— MM6
Shoes —— Maison Margiela

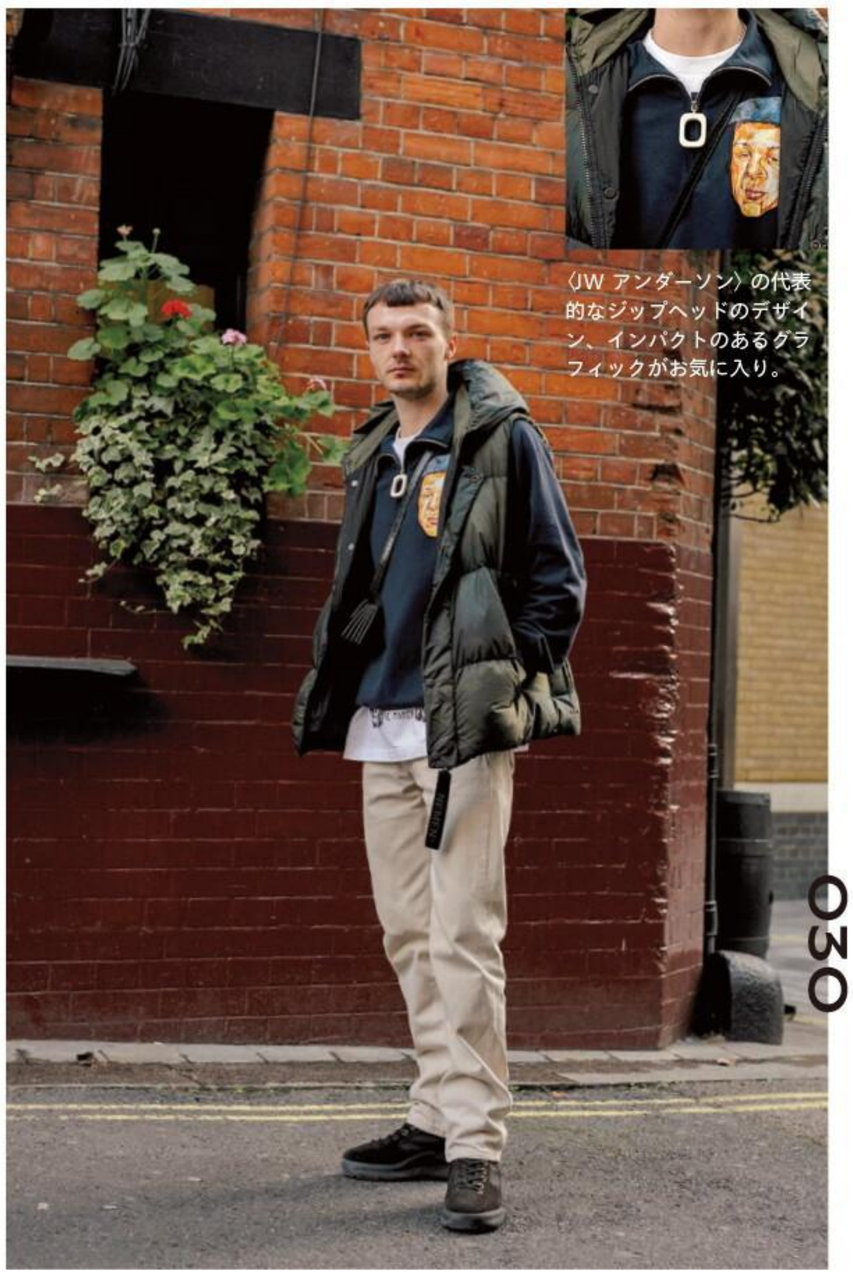
「店長のレスリーは音楽に相当精通していて、ミュージシャンの顧客に強いよ。化学繊維に独特なテクスチャー加工がなされたこのコートは、彼女にとって万能で、タイムレスな一生ものだね。全身を黒にして、このコートを際立たせるアイデアが素敵だ」

2007年に始動したロンドンの〈マーティン ローズ〉。このコラボデザインには自らも携わり愛着があるそう。

#3 Hugo Gibbon 28
E-Commerce Manager

Jacket —— Kiko Kostadinov × Asics
Hoodie —— C.E
Pants —— JW Anderson × Uniqlo
Shoes —— GR10K
Hat —— Martine Rose × Machine-A

「ヒューゴはよく試行錯誤されたいい着こなしをするよ。『MACHINE-A』ではブランドの本当の初期から扱ってきた〈キコ・コスタディノフ〉と、僕も大好きな〈C.E〉というペアリングがいい。〈マーティン ローズ〉のバケットハットで全体がまとまったね」



〈JW アンダーソン〉の代表的なジップヘッドのデザイン、インパクトのあるグラフィックがお気に入り。

#2 Ollie Berg 25
E-Commerce Staff

Vest —— Nemen
Sweatshirt – JW Anderson
T-Shirt —— C.E
Pants —— Levi's
Shoes —— Yeezy

「オリーは若々しいストリートファッションが好き。〈JW アンダーソン〉のスウェットに、2012年にイタリアで始動した〈ネーメン〉のダウンベスト、それもタイダイを合わせたのがいいね。強いて言うと冬らしく帽子をプラスしたほうがよかったかな(笑)」

photo: Jack Orton　coordination: Takaaki Miyake, Kaori Oyama

〈アディッシュ〉と製作したチャリティT。収益は国内のアラブ少数民族のための人権団体に寄付された。

#3

Addam Yekutieli 34

Artist

T-Shirt —— Adish × Know Hope
Jeans —— Levi's
Shoes —— Vans × Quasi
Cap —— Public Land Store
Watch —— Santa Cruz Skateboards

「Know Hope名義で活動するアーティストのアダムとは、コラボレーションアイテムも作る仲。Tシャツとデニム、〈VANS〉と、ブレずにシンプル&クラシックに徹しているところがいい」(アミット)。「実は僕、制作アシスタントをやってたこともあるんだ」(エヤル)

#4

Maya Sarid 26

Fashion Design Student, Digital Marketing Manager

Coat —— Noir Kei Ninomiya
Cardigan — Vivienne Westwood
Pants —— Tres Tlv
Boots —— Ganni
Bag —— Alex Andra

「シェンカル工科デザイン大学で学ぶ傍ら〈アディッシュ〉のデザインやコレクションのコンサルタントも手掛けるマヤは、異なるシルエットの合わせ方がうまい」(アミット)。「このコートは値が張るけど自分の将来への投資と、奮発して買ったって」(エヤル)

中綿の入ったバッグはファッション学生のブランド〈アレックス・アンドラ〉のもの。

〈アディッシュ〉のビジュアル撮影を手掛けてきたダニエル。愛用のカメラは〈Mamiya〉の「RZ 67」。

#6

Dor Abu 20

Skater, Model

Hoodie —— Adish
Pants —— Huf
Shoes —— Dc Shoes
Skateboard —— Polar Skate Co.

「ドーは僕らのレギュラーモデル。フーディは彼との初仕事記念にプレゼントしたんだ」(アミット)。「そのときのスタイリストPatrick Weldeに影響を受けて他のスケーターとは違う自分のスタイルを探すようになったそうだよ」(エヤル)

「テルアビブ美術館」に隣接する屋外パーク「Gold a Spot」がお気に入りのスケートスポット。

#5

Daniel Jackont 27

Photographer

Sweater — Adish
Pants —— Nili Lotan
Shoes —— Converse

「フォトグラファーのダニエルは型にはまらないスタイルが持ち味。ベドウィン族からインスパイアされたセーターに、イスラエル人デザイナーによるNYのウィメンズブランド〈ニリ・ロタン〉のパンツを選ぶあたりがさすが」(アミット)

TAKE SNAPS OF CITY BOYS IN YOUR NEIGHBORHOOD

in TEL AVIV

中東にはどんな若者がいるんだろう？
イスラエル第2の都市テルアビブで
活動するブランド〈ADISH〉の
デザイナー二人が仲間たちを紹介！

一度はおいで。

テルアビブ
よいとこ

INTRODUCED BY

Amit Luzon[27] & Eyal Eliyahu[27]

<ADISH> Designer

Hoodie — Adish
Pants — Comme des Garçons Shirt
Necklace — gift from Grandmother
T-Shirt — Adish
Pants — Dickies Construct
Shoes — Vans × Julian Klincewicz

アミット・ルソン（左）　エヤル・エリヤフ（右）｜共に1993年、テルアビブ生まれ。二人は15歳の頃からの親友。パレスチナの刺繍職人との出会いを経て、2018年に〈アディッシュ〉を始動。アミットはテニス、エヤルはスケートが趣味。

上／刺繍はパレスチナの女性によるもの。家族代々柄を受け継ぐのだそう。下／エヤルのペンダントは祖母から。チャームにはヘブライ語で「Hai」（Live）というメッセージが。

「テルアビブは365日ノンストップな街。目まぐるしく変化するその一方、歴史も残されている、独特のバランス感がある。なんてことないストリートにバウハウス建築が佇んでたりね。再開発が進む今、“新”と“旧”のごちゃ混ぜ加減が絶妙で、面白いことになってるよ」（アミット）。「街並みも人もひとクセある、“Ugly-hot”な感じがたまらない。クリエイティブなヤツらもわんさか。なかでも僕らのブランドに携わる“ファミリー”は最高にクール！」（エヤル）

#2

Amit Re'em[26]

Brand consultant, Photographer, DJ

Hoodie — Adish for Dover Street Market
Pants — Junya Watanabe Man
Shoes — Nike
Bag — CDG × Stüssy
Bike — Cult

「写真やデザインなど多方面で才能を発揮するクリエイター。人脈もハンパないから頼りにしてる」（エヤル）。「オーバーサイズTと日本のブランドのミックスがトレードマーク。LAの〈UNION〉のクリス・ギブスに影響を受けているようだ」（アミット）

エルサレムビーチ沿いは日差しが強いから〈L'Art de L'Automobile〉のキャップは必携。

#1

Shay Lee Nissim[31]

Stylist

Jacket — Adish
Pants — Adish
Shoes — Marni
Bag — Calvin Klein
Earrings — Ruby Star

「シェイリーには〈アディッシュ〉のルックも手伝ってもらっている。メンズとレディスの垣根を越えたスタイリングが持ち味」（アミット）。「中東テイストの取り入れ方もうまい。今日はイスラエルブランドのジュエリーを合わせてるね」（エヤル）

フリンジのベルトはベドウィン族の伝統的なスタイル。〈アディッシュ〉のワークショップで作った。

photo: Orit Pnini　text: Hiroko Yabuki　coordination: Amit Luzon, Eyal Eliyahu

ゴーシャと共に2016年にスタート。旗艦店では〈Iggy〉〈Brain Dead〉などもセレクト。●Ulitsa Bol'shaya Molchanovka, 30/7, Moscow, Russia　11:00～21:00、金・土・日～22:00　無休

MOSCOW

〈RASSVET〉のスケーターたち。

**ブランドの名前は知ってるけど、
いったいどんなヤツらが集まっているんだ？
ショップに“ラスベートファミリー”が大集合！**

①
Yaroslav Kondratev 22
<Rassvet> Team Rider
●
Shirt —— Rassvet
Jeans —— Polar Skate Co.
Shoes —— Adidas

②
Pasha Kryukov 31
Videographer
●
Jacket —— Barbour
Jeans —— Rassvet
Shoes —— Solovair × Noah

③
Nikita Dedov 28
<Rassvet> Team Rider / 『oktyabr』 Shop Staff
●
Cardigan —— Noname.Skateboards
Jeans —— Noname.Skateboards
Shoes —— Nike

④
Tolia Titaev 26
<Rassvet> Designer
●
Sweater —— Ralph Lauren
Pants —— Oktyabr
Shoes —— G.H.Bass

⑤
Vladislav Bakanov 23
<Rassvet> Social Media Director
●
Sweatshirt - Noname.Skateboards
Jeans —— Uniqlo
Shoes —— Nike

⑥
Stas Zholudev 31
Custom Bike Builder
●
Sweatshirt - Noname.Skateboards
Jeans —— Levi's
Beanie —— Noname.Skateboards

⑦
Ruslan Malygin 28
Skateboarder / 『oktyabr』 Store Manager
●
Sweater —— Uniqlo
Pants —— Carhartt
Shoes —— Nike

⑧
Anton Salynov 20
<Rassvet> Marketing Manager
●
Jacket —— Carhartt Wip
Shirt —— Carhartt Wip
Boots —— Danner

⑨
Igor Boiko 22
『oktyabr』 Buyer
●
Sweatshirt - Richardson
Pants —— Stüssy
Cap —— Awake Ny

⑩
Ilya Nikitin 27
Assistant Photographer
●
Jacket —— Fred Perry
Pants —— Uniqlo
Boots —— Windstone

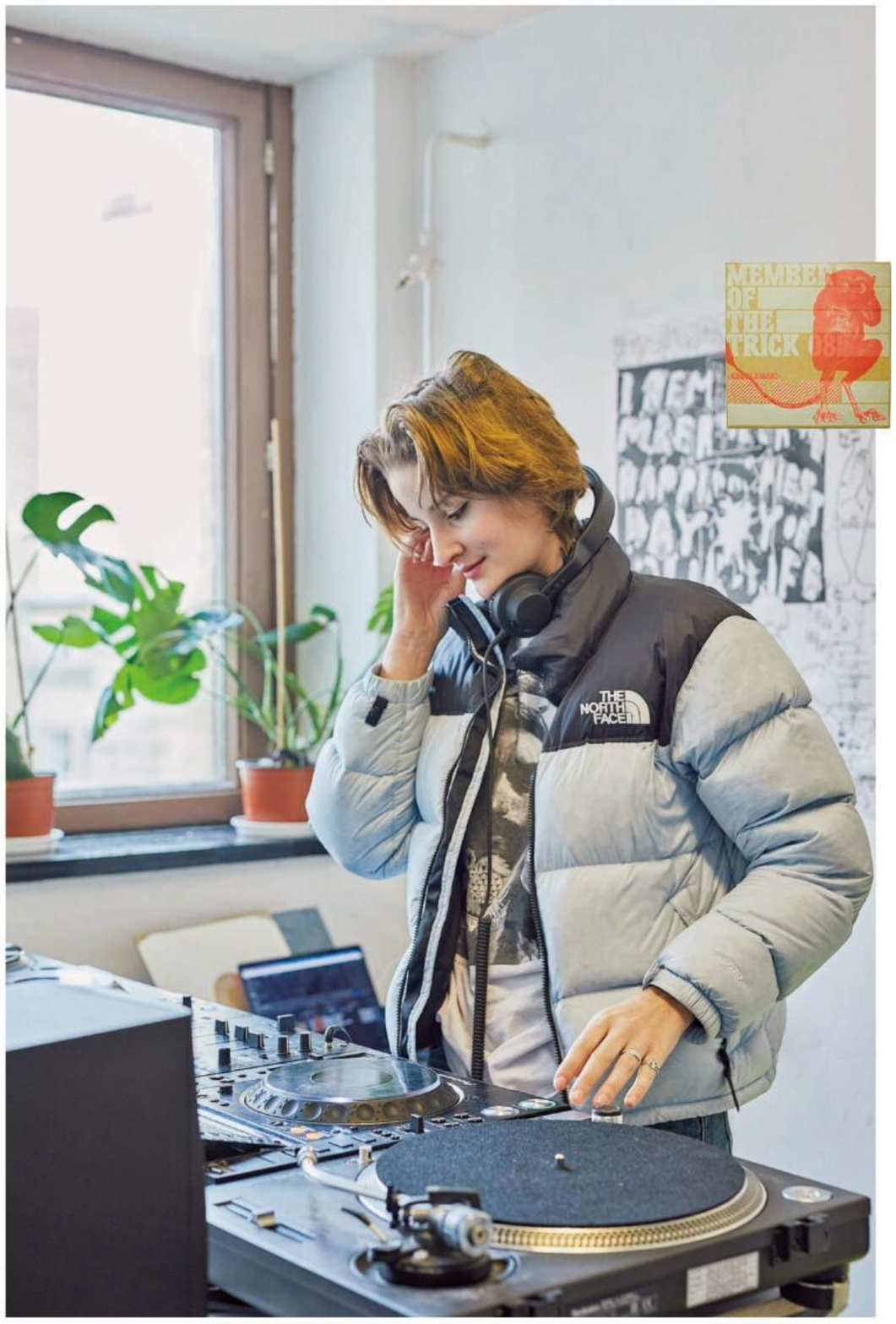
ニューヨークの〈Supreme〉、ロンドンの〈Palace Skateboards〉。いい街にはいいスケートブランドがある。それでいうと、僕らにとってまだ未開拓感が拭えないモスクワには〈ラスベート〉だ。「もともとスケートは人気だったんだけど、独立系の店はなくてね。それでゴーシャ・ラブチンスキーに『ローカルのブランドを作りたい』って話したら、賛同してくれて一緒に始めたんだ。2018年に開いた路面店『oktyabr』（オクトーバー）は、スケーターやストリートブランド好きが集まるハブになったと自負してるよ」とデザイナーのトリア・ティタエヴ。彼が、チームライダーから裏方まで、「ほぼ毎日店で喋ってる」という面々をショップに集めてくれた。

World Snap!

どの時代のどんなご時世でも、好きな服を好きなように着ていたい。
世界の7都市を探し回って出合った、13のスタイルとスナップの記録。

モスクワで行われた〈ラスベート〉ファミリーの撮影舞台裏。お店は繁華街、ライオンアルバートエリアにある。この日の最高気温は0℃を下回る超極寒なのに意外と薄着の人もいる……。

photo: Pavel Kryukov　text: Hiroko Yabuki　special thanks: Dover Street Market Ginza



Pauline Barck 18
Pau / High School Student

- Down —— The North Face
- T-Shirt —— Map Of Africa
- Pants —— Levi's
- Boots —— used
- Ring —— from her family

ソロモンの『Member Of The Trick 08』より「Keep Control」。DJであるお父さんから初めてレッスンを受けた思い出の曲。

ハウスミュージックが大好き、ニーナ・クラヴィッツに憧れるパウリーネのモットーは、シンプル・イズ・ベスト。この日は大好きなDJユニット・Map Of AfricaのTシャツをイン。「好きな古着屋は『rack'n white』。リングはお母さんとおばあちゃんのお下がりなの」

left
Philipp MacHill 18
PANORAMA / Musician

- Jacket —— used
- Sweater —— used
- Pants —— used
- Boots —— used
- Accessories —— used

right
Gabriel Menginger 18
PANORAMA / Musician

- Coat —— used
- Shirt —— used
- T-Shirt —— used
- Pants —— used
- Boots —— used

彼らのスタイルにも影響を与えているDAFの『Alles ist gut』よりタイトル曲。「歌の皮肉っぷりがたまらないし、無知を象徴してる一曲」

ジム・モリソン好きなフィリップとデヴィッド・ボウイ好きなガブリエル。実験的なテクノとジャーマンEBMを融合させたテクノデュオ・PANORAMAの2人は、まるで'80年代のベルリンを彷彿とさせる古着スタイルで登場。シックであることが鉄則なんだって。

Oscar Stahlberg 18
WYTE.CO / DJ, Producer

- Jacket —— used
- Hoodie —— rausch.
- Pants —— Diligent
- Shoes —— Dior
- Scarf —— rausch.

2011年にセルフプロデュースした自作の1st EP。なかでも3曲目の「Techno Trance」は、今の自分の音楽性の基礎を築いた作品。

9歳の頃からDJをしているオスカーは、カジュアルなバギールックとハイウエストがトレードマーク。愛用しているフーディとスカーフは友人のブランドで、コラボレーションも展開している。「最近はクリーンな着こなしにハマってて、大胆に白を取り入れたモノトーンスタイルを極めてるんだ」

Claire Theresin 18
clairenoa / Barista

- Coat —— Pull&Bear
- Sweater —— New Yorker
- Pants —— used
- Shoes —— Dr. Martens
- Necklace —— used

ケルンのDJデュオComputerjockeysによるアニメソング「マイゴールデンボーイ」のリミックス。「彼らが手掛けるアニソンがベスト」

エリカ・バドゥを愛するクレアのスタイリングルールは、カジュアル、コンフォータブル、そして友達とかぶらないこと。「After School Radioはインスタグラム経由で知ったの。それで親友のパウリーネも誘ったわ。最近はベルリン出身のDJ兼プロデューサー・Paul Souljoyceにハマってるの」

Jesaja Krössin 17
WBS70 / High School Student

- Vest —— Rover & Lakes
- Hoodie —— Souvenir Official
- T-Shirt —— Uniqlo
- Pants —— Nike ACG
- Boots —— J'hayber

Acrid Abeyance『For Your Safety』のラストを飾る「B747」。「まさに名曲。踊らずにはいられなくなるグループが大好きなんだ」

最年少DJでムードメーカーのイェザヤ。〈ナイキ ACG〉のスキーパンツや偶然見つけたというオードヌングスアムト(ドイツの市公安局)のキャップで遊び心をプラス。「音楽もエクスペリメンタルなテクノやアンビエントが好き。トレンドや周りの人に左右されず、自分自身でいることが大事なんだ」

WORLD SNAP!

BERLIN

After School Radioのティーンエイジ DJたち。

ベルリンじゃDJも放課後の遊びらしく、イケてる10代がラジオでプレイしてる。彼らがリアルに好きな服と曲って？

Abraham Brooks 19

Uly99 / University Student

- Down —— Wellensteyn
- Sweater —— Levi's
- T-Shirt —— Souvenir Official
- Pants —— used
- Shoes —— Pierre Balmain

UKヒップホップ・プロデューサーNaïveのシングル曲「Joy is」。「イントロが大好きだし、それに続くテンポも最高にイカしてる」

ファウンダーのレアンダーとは高校からの付き合いで、After School Radioの立ち上げメンバーでもあるアブラハム。フロリダの破天荒ラッパー、コダック・ブラックを参考にしていて、この日着てきた光沢のあるダウンジャケットのように、ちょっと大胆なエッセンスを取り入れるのが好きみたい。

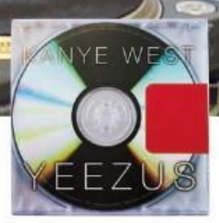
Finn Killing 18

DJ Killing / High School Student, Model

- Jacket —— Hein Gericke
- Sweater —— used
- T-Shirt —— Climate Change
- Pants —— South Pole
- Boots —— Blundstone

DFP「Hallelujah」のCybernotixミックス。「とってもソウルフルな一曲。テクノ特有のハードさがなくてポジティブなバイブスなんだ」

DJ、モデル、コラージュアーティストとマルチに活躍するフィン。ドイツ人映画監督のライナー・ヴェルナー・ファスビンダーや俳優のウド・キアをこよなく愛する彼のスタイルは、何だか渋い雰囲気。「ラッキーなことに、僕の服ってストリートで拾ったり、人からもらったものが多いんだよね」



Leander Lehnert 19

Lemsche / <Souvenir Official> Art Director

- Coat —— used
- Hoodie —— Souvenir Official
- Pants —— used
- Shoes —— Prada (used)
- Cap —— Claire Barrow

カニエ・ウェストの『Yeezus』(海賊盤) より「On Sight」をチョイス。「スタートを飾る最高な曲。つべこべ言わず、まずは聴いてみて！」

カジュアルとハイファッションの古着MIXが得意だというレアンダー。アートディレクションを務める〈Souvenir Official〉のフーディに、古着のコート、スラックスまですべてブラウンで冬っぽいね。「落ち着いた色が好き。身長が2mを超えるから、古着のほうがベストなサイズを見つけられるんだ」

After School Radio

2019年11月に発足したベルリンのユースにフォーカスした音楽プロジェクト。発起人であるレアンダー・レーナルトと、ユースを応援したいというコミュニティラジオ「CCTV Radio」のファウンダー、ジモン・カイザー（上）がタッグを組んで実現した。「CCTV Radio」のプログラムとして発信される他、SoundCloudにてミックステープを気まぐれに更新中。Instagram: @radioafterschool

photo: Shinji Minegishi　text: Yukiko Yamane

Richard Masciantonio 30

Head Patternmaker at Martin Greenfield

Jacket —— Martin Greenfield
Shirt —— Individualized Shirts
Pants —— Martin Greenfield
Shoes —— L.L.Bean (used)

「5年ほどマーティンのところで働いているんだけれど、ここではクラシックな仕立てだけじゃなくて、ヴィンテージのワークウェアやメキシカンシャツをトラッドとミックスしたりして実験的なスタイルを探求することもできるんだ。今日の僕のパンツみたいに少し丈を短くしてトム・ブラウンぽいモダンなスタイルもできるよ」

Alex Goulet 32

Vintage Researcher

Jacket —— Martin Greenfield
Shirt —— Rockmount Ranch Wear (used)
Pants —— Martin Greenfield
Tie —— used
Shoes —— G.H.Bass

「親戚の結婚式のために作ったんだけど、使い勝手のいいクラシックなスタイルのものが1つ欲しかったからスタッフにあれこれ相談にのってもらいながら作ったよ。サイズを測るところから完成までは2か月かかった。そのプロセスを楽しんだよ。生地はイタリアの〈ロロ・ピアーナ〉のウール生地を選んだんだ。光沢がいいよね」

Mac Huelster 38

Stylist

Jacket —— Martin Greenfield
Shirt —— Ralph Lauren
Cardigan —— J.C. Penney (used)
Pants —— Martin Greenfield
Shoes —— G.H.Bass

「友達の結婚式のために3年前に作ったんだ。フォーマルだけどほら、中にカラフルなニットを着たりすれば一気にカジュアルにもなるしさ。ここはダークネイビーのシアサッカーとか、レアな生地があるのもいいよね。そういえば、ボディビルダーみたいな体型の人が満足そうにスーツを作ってるのを見たこともある。スタイルを押し付けるんじゃなくてどんな人にも似合う一着が手に入るのがここのすごいところだよ」

Teddy Boxberger 36

<Azulado Boots> Creative Director

Jacket —— Martin Greenfield
Shirt —— bespoke
Pants —— A.P.C.
Shoes —— Lucchese Boots
Cap —— Azulado Boots

「イタリアンコットンのこのジャケットは軽くて出張でも使い勝手がいいんだ。裏地も同じ生地にして電車通勤中のヨーロッパの教授みたいなカジュアルな雰囲気にしたんだ。大統領のスーツは黒が定番、という中でオバマがベージュを着て話題になったけど、あれもここで作ったもの。そういう逸話を聞いて作りたくなったんだ」

NEW YORK

NYならではのカスタムスーツ。

70年以上スーツを作り続けてきたテーラー、マーティン・グリーンフィールド御大が2019年、御年91歳で惜しまれつつも引退。その伝統は、若い世代の作り手と顧客にきっちりバトンタッチされているぞ！

Martin Greenfield

100年以上の歴史がある元テーラーの工場を受け継ぎ、1977年に創業。だから'30年代のパターンも残っているのだけど、ここでは顧客の要望がすべて。ルールに縛られがちなスーツの世界で、シンプルなものから舞台用のスーツまで何でも対応。

Alex Dondero 34
<LOOK Studio> Owner

Jacket —— Martin Greenfield
Shirt —— L.L.Bean
Pants —— Martin Greenfield
Shoes —— Gucci
Watch —— Rolex

「自分の結婚式のために作ったのがこのスーツだ。あの日以来着るのは今日が2回目だね(笑)。マーティンのところでは細部まで自分の好きにできるのが最高でさ、こういうサンドカラーのものがずっと欲しくてようやく作れた。ボタンもゴールドにこだわったんだ。ちなみに白いシャツはいろいろ試したけど〈エルエルビーン〉が一番」

Jack Eisenberg 27
Director of CLEARING gallery

Jacket —— Martin Greenfield
Shirt —— Brooks Brothers
Pants —— Martin Greenfield
Shoes —— Common Projects

「アーティストのカルヴァン・マーカスが着てたスーツがここので、それに影響されて作りたくなった。クラシックだけれど、アートフェアでも着られるようなちょっと洒落たものが欲しいってオーダーした。季節問わず年中着られるスーツにもしたかった。細身のシルエットでスニーカーと合わせても品があるルックになるんだよね」

「自分で染めたタイダイの裏地を使ったんだ。淡いけどパンチもある色合いになったね。おじいちゃんが持っていたイニシャル入りのベルトは家宝みたいなもので、時計は〈ロレックス〉。祝いの場にふさわしいだろ？」

photo: Akira Yamada　coordination: Shimpei Nakagawa　text: Momoko Ikeda

愛車は〈Xiaomi〉の電動キックボード「Pro M365」。「自分のチームのユニに着替えたよ」

Isaac Cambridge 26
Photographer

Shirt —— Arsenal FC
Jacket —— Asos
Pants —— Asos
Shoes —— Nike

〈エイソス〉のカーゴパンツの裾をドローコードで締めて、アクティブに街を走るアイザック。「アーセナルのトップチームが2016-'17シーズンに使ったトレーニング用だ。こういうサッカーシャツを着るというのはモダンなスタイルだね」。足元は清潔感のある真っ白な「エア フォース1」で。

「これは"ラッキーバッジ"。僕がこれを着ないとアーセナルはいつも負けちゃうんだ」

Grace Cuthbertson 24
Office Worker, 「Victoria Park Vixens FC」FW

Shirt —— England National Team
Coart —— Burberry
Scarf —— Burberry
Pants —— Dickies
Shoes —— Salomon

休日は友達とチームで蹴っているというグレースのお気に入りは、'98年フランスW杯のイングランド代表。これはキッズサイズで、ワークパンツにタックインして〈バーバリー〉をバサッと身にまとうとすごくお洒落！「〈サロモン〉の「XA PRO 3D」もスポーツ感が出ていいよね。クイックレースで紐を結ばなくていいし、歩きやすいし」

「代表のロゴ、スリーライオンズは胸の大きなバッジだけでなくボタンにも刻まれてるの」

LONDON

フットボールシャツを着るならヴィンテージ！

ロンドンじゃみんな必ずファンなわけで、最近の彼らの着方を見たら、昔のユニフォームはもうどこでも十分街着でいける気になるよ。

もろにGunners（アーセナルのサポーター）な二人は、深すぎる愛ゆえに非公認グッズやヴィンテージウェアを扱う「Eighteen86」を運営中（クラブも黙認してるとか）。「このシャツは普段は額に入れているほど高価だよ」というエドはよく見るとソックスも赤。「僕はブラウンのパンツに合わせてアウェーにしたよ」とマクスウェル。

Ed Fenwick 31
Right / Filmmaker, 「Eighteen86」Co-Founder

Shirt —— Arsenal FC
Down —— Norse Projects
Jacket —— Levi's
Pants —— Carhartt
Shoes —— Salewa

Maxwell Giles 31
Left / Art Director, 「Eighteen 86」Co-Founder

Shirt —— Arsenal FC
Down —— mont-bell
Pants —— Carhartt
Shoes —— Nike
Scarf —— Arsenal FC

上／「1997-'98シーズンはバッジの縁にゴールド、襟元に赤いラインが入っていていいデザイン」 下／「1994〜'96年くらいかな。バックのゴシック体もこの時代ならでは」

Felicia Pennant 29
『SEASON zine』Editor in Chief

Shirt —— Chelsea FC
Coat —— ASOS
Skirt —— H&M
Shoes —— Dr. Martens
Bag —— Telfar

フェリシアは女子チームや小さなフットボール・コミュニティに目を向ける『SEASON zine』の編集長で、チェルシーのファン。「2016年シーズンのこれが歴代の中でもダントツ！　パジャマみたいでかわいいでしょ？　いつもスカートにタックインしてるわ」

「チームのロゴがエンボス加工されたデザインが目を引くし、Vネックでとても好き」

photo: Jack Orton　coordination: Takaaki Miyake

WORLD SNAP!

@CALIFORNIA
Jonah Hill 37
Movie Director

'60年代から続くアメリカのミュージカル『ハロー・ドーリー！』のグッズを愛するジョナ・ヒル。 4年前はフーディを着てチェスターコート＆ショーツでお散歩。昨年4月はキャップをかぶり、スケートブランド〈ロッティーズ〉のショーツをはいて〈カルト〉のBMXでお出かけ。妹のビーニー・フェルドスタインが2017年の公演に出演したことが嬉しすぎたみたい。帽子の色落ち具合を見ると相当宣伝しているね。

@NEW YORK
Mac DeMarco 30
Musician

アメリカの長寿番組『ザ・トゥナイト・ショー』に出演するマック・デマルコ。昨年の春頃から、ボトムスは〈カーハート〉のペインターデニム、靴は〈ヴァンズ〉のオーセンティックが定番で、トップスにいろんなマーチを着ている様子。この日は親友の故マック・ミラーのキャップ、そしてスウェットは東京にあるフリーメイソンのグッズ専門店『ストレンジ ラブ』の店長・廣瀬剛さん曰く、「ロゴのデザインを見ると、NYのグランドロッジのものにも見えますね。アメリカで作られたものでしょう」。

@LOS ANGELES
Harry Styles 26
Musician

ハリー・スタイルズはトラヴィス・スコットなどの音楽系マーチのフーディが大好き。LAでは自身が所属するレーベル「コロンビアレコード」のパーカに〈ナイキ〉のショーツやソックスと〈アディダス〉のスニーカーをはき、カリフォルニアのブランド〈フリー＆イージー〉のお気に入りのキャップをかぶって、軽快にハイキング。

@NEW YORK
Bill Murray 70
Actor

自称“ナンバーワンのシカゴ・カブスファン”で、なんと約63年も声援を送り続けているビル・マーレイ。NYのジョン・F・ケネディ国際空港でも、もちろん愛するチームのキャップをかぶっていた。帽子の“C”のロゴとチェック柄のシャツのさりげない色合わせもいい感じだけど、チームカラーのレッドを意識した、愛の表れに違いない。

@LOS ANGELES
Shia LaBeouf 34
Actor

ランニングのときもはいている、お気に入りの〈ナイキ〉のレギンスを身に着けても、どこか元気がなさそうなスーパー帰りのシャイア。どうやら元恋人への暴力行為が騒ぎになっているからで、プリントされた“GOOD DEED”（よい行い）という言葉にあやかって、アメリカ人歌手のハリー・ハドソンのパーカを着ている。しかも、彼との交流は全くないとか。マーチはときに、今の気持ちを表現するのにいいのかもしれない。

@LOS ANGELES
Gio Galicia 17
Right / Actor

Sunny Suljic 15
Left / Actor

'90年代が舞台の青春映画『mid90s ミッドナインティーズ』の試写会に参加した主演の2人。サニー・スリッチはスケボーに焦点を当てたポッドキャスト〈ナインクラブ〉のスウェットに〈シュプリーム〉のポーチ。一方のジオ・ガリシアは〈ピクサー〉のパーカに〈ツイッター〉の帽子。スケート帰りにプレミア上映に来ちゃったような雰囲気があっていい感じ。

@LONDON
Timothée Chalamet 25
Actor

2011年にNYで上演された舞台『4000 マイルズ』のリハーサルのためにロンドンを訪れていたティモシー。ノッティングヒルを散歩するときも、ジャケットとパンツは大好きなリサイクルナイロン素材の〈プラダ〉で、靴は〈ニューバランス〉の「990 v5」モデル。キャップは最近密かにファンと噂されているサッカーチーム、チェルシーFCだ。

EVERY WHERE

マーチャンダイズはデイリーウェアだ!

好きこそ己のスタイルなれ？ デザインが気分を代弁するから？
グッズを身にまとう心地よさに気づいている人、最近増えたよね。

photo: Aflo, Getty Images [Mac, Timothée]　text: Shintaro Kawabe

Jakob Leonard 31
<Arc'teryx> Store Staff

Jacket —— Arc'teryx
T-Shirt —— Patagonia
Shorts —— Patagonia
Inner Shorts — District Vision
Shoes —— Hoka One One

「長距離のバイキングが好きで、この夏には自転車でNYから故郷のオハイオ州まで行ったよ。インナーの〈ディストリクト ヴィジョン〉はNYの新しいブランドなんだけど、長時間はいてても気持ちいいし、小物用のポケットが付いてたりして便利！」

Josh Ilyas 27
Art Consultant

Jacket —— Mont-bell
T-Shirt —— Stüssy × Eric Elms
Leggings — King Kog × Kinfolk
Shoes —— Giro
Cap —— Golden Saddle Cyclery × Intelligentsia Coffee

「最近は自転車に寝袋とか積んでサイクリングしつつキャンプすることもあるよ。〈ジロ〉のグローブや〈オークリー〉のサングラスとか、小物は派手な色を選びがちかな！ 〈Universal Colours〉の自転車用のバッグも体と一体化して使いやすいよ」

Jens Alsterklint 32
Personal Trainer

T-Shirt —— Under Armour
Shorts —— STLR
Leggings — Under Armour
Shoes —— Nike
Cap —— STLR

「近くに住んでいるし、週3回はパーソナルトレーニングを教えるためにここに来るね。クライアントが来る前には自分も縄跳びでウォームアップしてるよ。ランニング、ウェート、ヨガを交ぜた運動プランを1週間で構成できれば最高だね」

Manny Mutuc 27
Small Business Owner

Jacket —— Lululemon Lab
Vest —— Nike
Shorts —— Nike
Inner Shorts — District Vision
Shoes —— Nike

「冬はレイヤードをして着込むけど、カナダの〈ルルレモン ラボ〉のジャケットは動きやすいし素材が軽いのがいい。〈100%〉のサングラスは高機能で色のバリエーションも多いから気に入ってる。冬でもNYは日差しは強いから欠かせないんだよね！」

Nacim Abiadh 29
Art Studio Staff

Jacket —— NikeLab × Gyakusou
T-Shirt —— Tom Sachs × Nike Space Camp
Shorts —— NikeLab × Gyakusou
Shoes —— Nike
Socks —— Nike × Tom Sachs

「この近くに住んでるから、自分の庭みたいに使ってるよ。ウェアは薄さと軽さにこだわっていて、〈ギャクソウ〉のアイテムはその点が最高。ジャケットも小さくポケットサイズにたためる。靴下はトム・サックスと〈ナイキ〉のスペシャルだよ」

Andrew Mann 34
Tatoo Artist

T-Shirt —— Palace × Rapha
Shorts —— Eliel
Shoes —— Lake
Helmet —— Kask
Bike —— Pinarello

「自転車には週6は乗ってるね。北上してベアマウンテンまで行くなんてこともしょっちゅうだよ。シティを走り抜けて自然に出ていく感じがいいんだよね。自転車のためにコアエクササイズをしてるけど、それは自宅ですることが多いかな」

WORLD SNAP!

NEW YORK

ますますワークアウトするニューヨーカーたち。

ここはブルックリンのマッカレン・パーク。
コロナ禍でジムに行きにくいのなら大空の下で、
友達やパーソナルトレーナーと快適にハッスル！

Kyle Kivijarvi 35
Creative Consultant

Sweatshirt — Champion (used)
Vest — Patagonia (used)
Shorts — Champion
Shoes — Adidas
Eyewear — Oakley

「コロラドでキャンプしつつヴィンテージのスポーツウェアの掘り出し物を見つけて、早速今日着てるよ。'90年代のギアはデザインが特によくて機能も十分だと思うね。小物は今日の靴「ZX8000」みたいにカラフルだと元気が出るよ」

Yavez Anthonio 28
Director & Photographer

T-Shirt — NikeLab × Gyakusou
Jacket — NikeLab × Gyakusou
Pants — Patta
Shoes — Nike
Cap — Nike ACG

Kat Conde 28
Fashion showroom wholesale

T-Shirt — Lululemon
Vest — Uniqlo
Shorts — Nike × Sacai
Shoes — Hoka One One
Beanie — Arc'teryx

「最近はパーソナルトレーナーを付けてここでエクササイズしてるよ。黒のウェアを着る人が多いけど、僕は断然ブラウン派なんだよね。〈ギャクソウ〉はデザインが他とひと味違うのがいいよね」（Yavez）。「ウェアは体のラインが出ないものが好み。たまにしか運動しないから〈ホカ〉の「BONDI 6」だと普段も使えるのがいいの」（Kat）

Brandon Nunn 28
Art Director

Jacket — The North Face × Junya Watanabe
Vest — The North Face
T-Shirt — Telfar
Pants — Polo Sport
Shoes — Salomon

「昔はよくバスケしてたけど、最近は友達のパーソナルトレーナーに外でクラスをしてもらってる。Black Lives Matterのメッセージ入りのアイテムをエクササイズで着るのが気に入ってるんだ。今もパーク内に同じように着てる人がいるよね！」

ブルックリンのグリーンポイントとウイリアムズバーグの狭間にあるこのマッカレン・パークには、芝生や遊歩道に加えて、トラック付きのランニングエリアが昨年完成。筋力トレーニングなどの施設まで整っていて、行くだけでやる気になれる人気エクササイズスポットだ。

photo: Omi Tanaka　text: Momoko Ikeda

#1
Linda Zhuang 25
2F Shop Staff

- Top — Balenciaga
- Skirt — Comme des Garçons Comme des Garçons
- Shoes — Bottega Veneta
- Necklace — Darcy Bae
- Charm — Yves Salomon

#2
Kelvin Keng 28
Basement Floor Shop Staff

- Jacket — Comme des Garçons Homme Plus
- Shirt — Comme des Garçons Homme Plus
- Shorts — Comme des Garçons Homme Plus
- Shoes — George Cox

#3
Alana Benavides 30
2F Shop Staff

- Hoodie — Stray Rats
- T-Shirt — used
- Pants — Junya Watanabe
- Sandals — Brain Dead × Reebok
- Ring — Brain Dead

#4
Gabriel Herrera 30
3F Floor Manager

- Jacket — Junya Watanabe Man
- Pants — Junya Watanabe Man
- T-Shirt — used
- Shoes — Comme des Garçons Homme Deux × Dr. Martens
- Necklace — Yoruba Beads

#5
Drew Romero 29
4F Floor Manager

- Jacket — Comme des Garçons Homme
- Shirt — Comme des Garçons Homme Plus
- Pants — Jil Sander
- Shoes — Comme des Garçons Homme Deux × Dr. Martens
- Cap — mont-bell

#6
Shanese Powe 24
Basement Floor Shop Staff

- Jacket — Simonett
- Skirt — Zara
- Shoes — Comme des Garçons PLAY × Converse
- Jewelry — custom

#7
Amir Gamble 30
Senior Sales & VIP Team Staff

- Jacket — Awesome Boy (used)
- Sweater — Comme des Garçons Homme
- Pants — Comme des Garçons Homme
- Shoes — ROA × Stüssy × Matthew Williams

#8
Juan Ortiz 28
6F Floor Manager

- Shirt — Junya Watanabe Man
- Pants — Jacquemus
- Leggings — Comme des Garçons Homme Plus
- Shoes — Comme des Garçons Homme Plus × Nike
- Necklace — Vivienne Westwood

#9
Charlotte Xiang 26
Merchandiser

- Top — DVF
- Shirt — Black Comme des Garçons
- Dress — DVF
- Shoes — Comme des Garçons × Nike
- Tights — Uniqlo

#10
Sabina Habib 22
Assistant Merchandiser

- Sweater — CDG
- Shirt — Lemaire
- Pants — Levi's (used)
- Shoes — Bottega Veneta
- Bracelet — Cartier

#11
Nikki Nguyen 23
Assistant Merchandiser

- Top — Junya Watanabe
- Bodysuit — Topshop
- Pants — Levi's (used)
- Shoes — Steve Madden
- Jewelry — Mejuri, Pennyweights, Xo Hanalei

#12
Jenny Lee 33
Merchandiser

- Coat — Junya Watanabe
- Sweater — Comme des Garçons Comme des Garçons
- Skirt — & Other Stories
- Shoes — Comme des Garçons Comme des Garçons × Dr. Martens
- Cap — Supreme

NYのスタッフは、ケルビン(2)みたいにハイファッション派でほぼすべて〈ギャルソン〉の人もいれば、インターネット・カルチャーを盛り込んだスタイルのリンダ(1)がいたり、はたまた毎日欠かさずアフリカのヨルバ族のネックレスを着けるのがお決まりのガブリエル(4)やファストファッションの〈ザラ〉をドレッシーに着こなすシャニーズ(6)もいて、街と同じくスタイルが多種多様。サビナ(10)はデニムを友達とシェアしていて、アイテムを共有するっていうファッションへのアプローチも新鮮かも。

LOS ANGELES

#1
Jeff Lamb 37
Store Manager

- Coat — Comme des Garçons Homme Deux
- Shirt — Prada
- Pants — Prada
- Shoes — Jil Sander
- Watch — Rolex

#2
Eric Michael Vargas 28
Assistant Store Manager

- Jacket — Junya Watanabe
- Shirt — Comme des Garçons Homme Plus
- Pants — Noir Kei Ninomiya
- Necklace — Kristopher Kites
- Harness — Rough Trade

#3
Chandler King 27
Zone 1 Sales Associate

- T-Shirt — handmade
- Skirt — Comme des Garçons
- Shoes — Salomon
- Ring — from her grandmother

#4
RYAN MIYAKE 28
Zone 4 Assistant Floor Manager

- Jacket — Comme des Garçons Homme Plus (used)
- Shirt — Comme des Garçons Homme Plus
- Skirt — Comme des Garçons Homme Plus
- Shoes — Comme des Garçons Homme
- Hat — Comme des Garçons Homme Plus

#5
Drew Curry 28
Assistant Floor Manager & Comme des Garçons Specialist

- Sweater — Maison Margiela
- Shirt — Comme des Garçons Homme Plus
- Pants — Comme des Garçons
- Shoes — custom

#6
Erin Martinez 34
Sales Associate, Noir + Young Creation

- Shirt — Junya Watanabe
- Pants — Eytys
- Shoes — Nike
- Earing — Sorelle NYC

#7
Christian Daniel 33
Zone 3 Manager

- Shirt — Comme des Garçons Homme Plus
- Shorts — Black Comme des Garçons
- Shoes — Dr. Martens
- Beanie — Supreme
- Socks — Comme des Garçons

#8
Calli Webb 25
Visual Merchandiser

- Shirt — Comme des Garçons
- Pants — Kwaidan Editions
- Shoes — Balenciaga
- Necklace — Varon

#9
Ellen Vu 23
Concierge

- Top — Noir Kei Ninomiya
- Bottom — Junya Watanabe (used)
- Shoes — Guidi

#10
Darcy Haylor
Zone 3 Sales Associate

- Jacket — used
- Shirt — Black Comme des Garçons
- Skirt — Noir Kei Ninomiya
- Shoes — Maison Margiela
- Harness — Junya Watanabe

お馴染みの『Rose Bakery』に青空が気持ちいいテラスがあるのはLAならでは。スタッフのみんなはさすが、モードファッションへの情熱があるけど、古着とミックスして仕事をしていて、ライアン(4)の'80sのジャケットやエレン(9)のパンツなんかは〈ギャルソン〉ブランドのヴィンテージだ。チャンドラー(3)のTシャツは自分で作ったものだし、その彼女自身はシンガーソングライターで、キャリー(8)は美大の学士(BFA)も取ってて、ダルシー(10)は香水を作っていたりと、多彩というか多才な面々。

NEW YORK

東海岸と西海岸のモードスタイルも比べてみよう。『ドーバー ストリート マーケット』でグループショット!

**同じ『ドーバー』でもアメリカの東は東、西は西で
スタッフのスタイルってものがあるんじゃない？
って思ったらそれどころか、一人一人が個性的で多彩だ。**

DOVER STREET MARKET LOS ANGELES

ダウンタウンのすぐ近く、インディペンデントな動きと都市開発が同時進行するアート・ディストリクトに2018年にオープン。1400㎡という広い1フロアのみ・天窓から自然光が注ぐという独自の設計で、アート作品の装飾も話題。昨年新たに、Zone 1に〈Supreme〉が入った。●606-608 Imperial St., Los Angeles, CA　11:00〜18:00、日12:00〜17:00　不定休

DOVER STREET MARKET NEW YORK

ファッションとはほぼ無縁のマレーヒル地区に2013年にオープン。アートスクールだったビルを改装して、全フロアを突き抜けるガラス張りのエレベーターが特徴的。〈Bianca Chandon〉やFuturaといった錚々たるメンツとのコラボアイテムがNY店限定で販売される企画も見逃せない。●160 Lexington Ave., New York, NY　11:00〜18:00、日12:00〜17:00　不定休

photo: Omi Tanaka [NY], IBUKI [LA]　coordination: Shimpei Nakagawa [NY, LA], Daiki Fukuoka [LA]　text: Momoko Ikeda [NY], POPEYE [LA]

Chris N 28
Creator

Jacket —— Ralph Lauren
Hoodie —— Ralph Lauren
T-Shirt —— Uniqlo
Pants —— Levi's
Shoes —— New Balance

「〈ラルフ ローレン〉のフーディはヘビーコットンで暖かく、外岩に来るときは便利だね」というクリスは、このコロナの時期にデビューして4か月。初のクライミングシューズはオールマイティな〈Evolv〉の「Kronos」。

Evan Bright 23
『Bodega』 *Merchandiser*

Jacket —— Stüssy
T-Shirt —— used
Pants —— Levi's (used)
Shoes —— Hoka One One
Cap —— Boston Red Sox

「パズルを解くのに必要な思考と、体の動きが繋がっているのが魅力です」と語るエヴァン。今日のスタイルで愛着があるのは「友達が古いソファの生地から作ってくれたトートバッグです」と外岩に来てもシティなペースで。

Justin Saldana 27
Entrepreneur

Sweatshirt —— Nature Child Sweater
T-Shirt —— Brain Dead
Pants —— Satta
Shoes —— Reebok Classic × Bronze 56K
Hat —— Mister Green

部屋着かってくらいリラックスしたスタイルのジャスティン曰く、「毎日着てる服が体を動かすのに一番楽だから、日常のままクライミングしてるよ」。日本の〈サッタ〉のペインターパンツは多目的にはけるお気に入り。

Jack Nielen 20
『Mister Green』 *Retail Manager*

Sweatshirt —— Mister Green
T-Shirt —— And-You
Pants —— Mister Green
Shoes —— Nike
Climbing shoes — La Sportiva

「仕事とクライミングとで着替えるのは靴だけです。この『ISPA OVERREACT』のサンダルはかなり快適ですよ」という最年少のジャックが、高校の頃から週1以上で4年間も岩に挑み続けているのは「強くなりたいから」。

Shern Surendar Sharma 38
Director

Vest —— Carhartt
T-Shirt —— Uniqlo
Pants —— Dickies
Shoes —— Converse
Beanie —— North Sea Clothing

週に3～4回登ること7年。足元をトップクライマーのフレッド・ニコルが監修した〈5.10〉「Dragon VCS」で固めたガチ派のスタイルは「あえてキャンバス地・ワックスコットン・デニムの服を。今どきのウェアより全然重いけど、肌が安全で、守られている安心感があり、私をより上に登らせてくれるのです」

Lucy Chen 30
「Pare Agency」 *Owner*

Jacket —— Patagonia
T-Shirt —— Story mfg.
Pants —— South2 West8
Shoes —— Merrell
Chalk Bag — Arc'teryx

「ロンドンの〈ストーリー mfg.〉はサステナビリティと天然染色にフォーカスしているからいつも着てるし、〈サウスツー ウェスト エイト〉のパンツは私のすべての趣味に適しているの」というルーシー。「クライミングのコミュニティって、お互い励まし合っても、競い合いがないところがいいよね」

Sam Jayne 33
Graphic Designer

Jacket —— The North Face Purple Label
Pants —— Carhartt
Shoes —— Birkenstock
Cap —— Jam
Eyewear — Noah

「自然の中にいるときの服は、大きくて快適だというのが重要だね。日本に行ったときに買ったこのアノラックはかなり調子いいよ」とサム。彼も使っているけど、クラッシュパッドは〈オーガニック〉がこの日は多かった。

LOS ANGELES

ますます登らずにはいられない、西海岸のロッククライマーたち。

ここはLAから車で1時間のストーニー・ポイント。LAの若者には、コロナでなかなかジムに行けなくても雄大な外岩がある。登る服は、普段着とほぼ一緒だね。

Jake Zielinski 24
<Brain Dead> Designer

Jacket —— The NorthFace × Brain Dead
Pants —— Dickies (used)
Shoes —— Asics
Cap —— Arc'teryx
Eyewear — Oakley

カイルもそうだけど、〈ブレインデッド〉の人たちはクライミング好きだね。ジェイクは週3で登るって。「成功よりもずっと多い失敗を楽しむ感覚は、スケートボードと同じだと思う。着る服もスケートのときと変わらないよ」

Karl Orotea 27
Photographer

Jacket —— Snow Peak
T-Shirt —— Gyakusou
Pants —— Gyakusou
Shoes —— Salewa
Cap —— Gyakusou

「快適さと動きやすさにおいて、すべての服にそれぞれの役割がある」と語るカールが岩場で信頼するのは〈ギャクソウ〉だ。「アレックス・オノルドのドキュメンタリー映画『フリーソロ』は観た？　あと白石阿島は最高だね」

Stoney Point Parkは1930年代からクライミングが始められ、イヴォン・シュイナードらも登っていたザ・クラシックな岩場だ。この壮観だけでも行く価値あり。●On Topanga Canyon Blvd., between Chatsworth St.&, CA-118, Chatsworth, CA 91311
夜明け〜日暮れ　無休

Ariel Stark-Benz 36
Designer, 『Mister Green Life Store』 Owner

T-Shirt —— Mister Green
Pants —— Mister Green
Shoes —— mont-bell
Cap —— Mister Green
Mask —— Mister Green

大麻のある洗練されたライフスタイル（カリフォルニアでは合法だ）を提案するショップ『ミスターグリーン』を営むアリエルは、定番の〈オーガニック〉のクラッシュパッドを背負って岩場へ。「もともとルーズフィットで高機能な服が好きだから、日常のスタイルのままで登ってるよ。僕がデザインしたこのパンツは特にお気に入り」

Benito Quñonez 27
『Bodega』 Buyer

Shirt —— Patagonia
T-Shirt —— Kapital
Pants —— South2 West8
Shoes —— Nike
Cap —— Mister Green

〈サウス ツー ウェスト エイト〉のパンツでバシバシ登るベニート。「耐久性の高いナイロンに3本針のステッチで頑丈だし、バギーで脚も動きやすいからね。僕が育ったユタ州ではボルダリングジムで子供の誕生日会をするんだよ」

アリエルのクライミングシューズは〈LA SPORTIVA〉「MIURA VS」。極小の岩の隙間も踏みやすく、攻めの登りに最適。

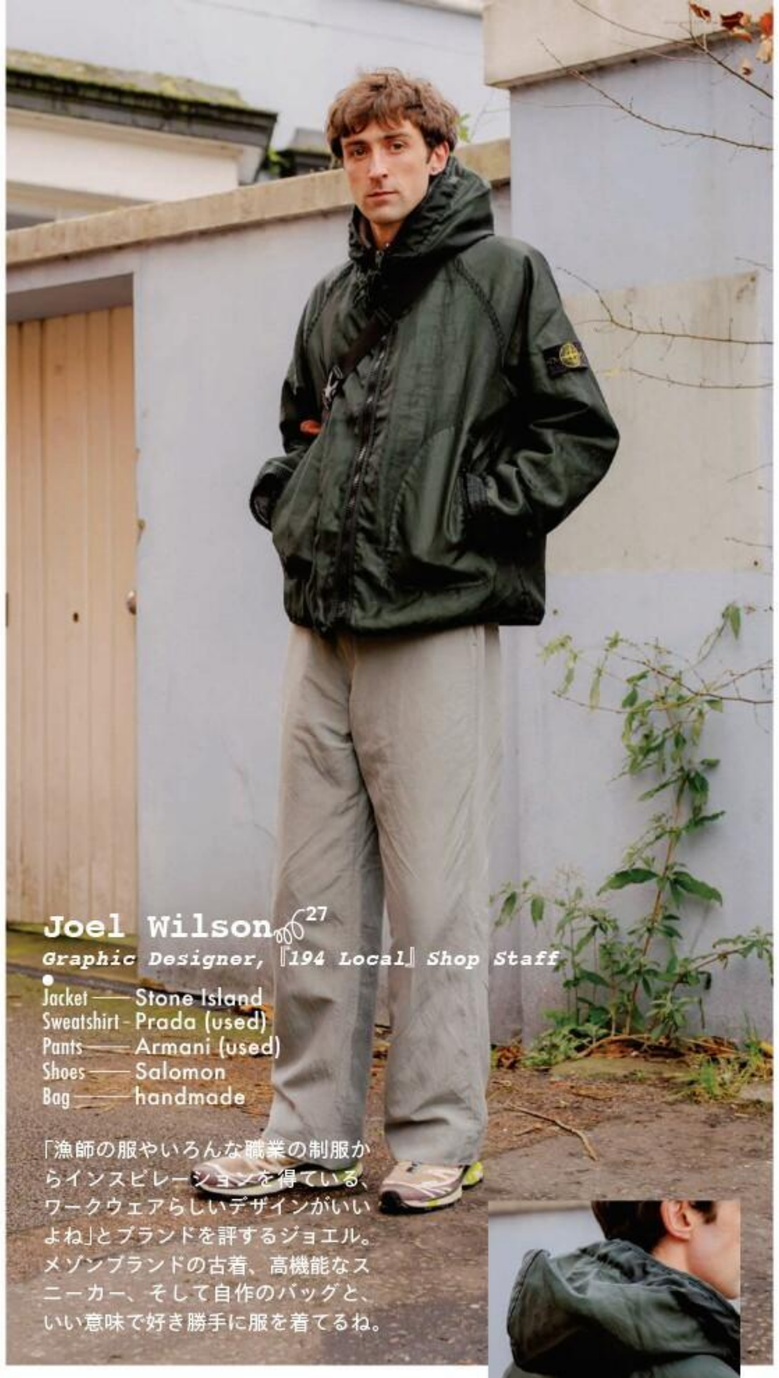
photo: Asato Iida　coordination: Daiki Fukuoka

Scott Jones 41
Art Director, Stylist

Set Up —— Stone Island
Sweatshirt - Camber
Cap —— Peter Storm
Shoes —— Nike

下のアルフィーと色違いのセットアップを着た大先輩。「俺が10代だった'90年代は、〈ストーン アイランド〉を着てパブに行くとセキュリティに追い出されるかバッジを取れと言われたな。当時のエッジは今のコレクションにも残っていると思うよ」

ベストの肩にあるジップの中には、背面と同じリップストップナイロン素材の長袖が収納されている仕様。



Joel Wilson 27
Graphic Designer, 『194 Local』 Shop Staff

Jacket —— Stone Island
Sweatshirt - Prada (used)
Pants —— Armani (used)
Shoes —— Salomon
Bag —— handmade

「漁師の服やいろんな職業の制服からインスピレーションを得ている、ワークウェアらしいデザインがいいよね」とブランドを評するジョエル。メゾンブランドの古着、高機能なスニーカー、そして自作のバッグと、いい意味で好き勝手に服を着てるね。

内側の色がほんのり透ける二重構造の素材。「表の薄い生地は昔のパラシュートに使われていたと聞くよ」

Carvin How 31
Stylist

Jacket —— Stone Island
Cardigan — Stone Island
Pants —— Military (used)
Shoes —— Prada

フロントにも袖にも、いろんな形状のポケットがたくさんついた珍しいデザインのジャケットがよく似合うカルヴィン。「〈ストーン アイランド〉にはヴィンテージの服を合わせるのがオレ流。ミリタリーのカーゴパンツは特に相性がいいと思う」

このコンパスロゴのバッジは'90年代までのヴィンテージの証し。端がグリーンのステッチで囲んである。

もう1スタイル！　目出し帽のようなディテールがあるフーディがついたジャケットは'90年代までのもの。

温度によって全く異なる色に変化する素材は衝撃をもって受け入れられた。これも、まだ暖かい秋口はイエローで、寒くなるとだんだんグリーンに。グラデーションの雰囲気もクールだ。

Alfie Whiteman 22
Football Player

Set Up —— Stone Island
Hoodie —— used
Shoes —— Roa
Cap —— Snow Peak

アルフィーはプレミアリーグのトッテナムの若手GK。1989年に発表され、〈ストーン アイランド〉の名を世界に広めた「Ice Jacket」の素材のセットアップでやってきた。「アーカイブピースをいくつか持ってるけど、あまり考えずにデニムとかとカジュアルに着てるよ。ブランドとサッカーの強い結びつきは知っているけど、僕は敬意を持ちながらもあまり意識し過ぎてなくて、あくまでもロンドンのユースカルチャーのファッションとして楽しんでいるよ」

上／「"No Season Jacket"という名前で、'80s後半から'90s前半にスポットで出たものらしいよ」　下／「公式のアーカイブ本にも色違いが出てるこのバックパックは群を抜いてレア！」

Elliot Cook 30
『194 Local』 Owner

Jacket —— Stone Island
Cardigan — Missoni (used)
T-Shirt —— Uniqlo
Pants —— South2 West8
Shoes —— Nike

フィッシャーマンジャケットのような、こういうショート丈のボックスシルエットのものはなかなか見ないから新鮮。「〈ストーン アイランド〉のヴィンテージは僕がやってる古着屋でも値が上がり続けていてこれも高いけど（笑）、古くなっても汚れてもカッコいいのがこのブランドを好きな理由。いつもバギーに着てスケートをするのにも愛用してるよ」

LONDON

2020年代の〈ストーン アイランド〉のリアル。

1982年、素材と染色の新開発に傾倒してイタリアで生まれ、
20世紀にはフーリガンの象徴になり、そして21世紀の今。
ロンドンの若者にとっては普通に、冬のオーセンティックだ。

Daniel Pacitti 22
Stylist, Fashion Consultant

Vest —— Stone Island (used)
Sweatshirt - C.P. Company
Pants —— Yohji Yamamoto
Shoes —— Needles
Beanie —— Adsum

ロンドンのラッパー・Slowthaiにもよく〈ストーン アイランド〉を着せていたダニエルは街でも有名なコレクター。「初期のものが世界中でなかなか見つからないのが残念だけど、ロンドンでは親から子へ、ストーリーとともに受け継がれて愛されている服。フーリガンのイメージはあるけど、このベストはフロントのポケットと大きなジップヘッドがすごくイカしてるし、僕らの世代にはとても親しみやすいブランドだよね」

「このヴィンテージのダウンはメタリックな素材感が面白い。〈ストーン アイランド〉は生地とデザインにおけるレファレンスとしての興味深さが魅力だね」。ロゴが白いバッジはより挑戦的な素材の限定品などについたものだとか。

ベストは1982年に創業したファーストシーズンの逸品。細やかに素材を切り替えたデザインがいいね。

photo: Jack Orton　coordination: Takaaki Miyake, Kaori Oyama

NEW YORK

大自然を求めないアウトドア。

**キャンプに行くなら！　とあれこれ考えがちだけど、
気負わず、エクササイズの延長くらいに思っておくとか
シティライフと少し切り替える程度でいいんだよねー。**

Elijah Cole 27
Model

- Vest —— Kapital
- Sweater —— Norse Projects
- Pants —— Battenwear
- Shoes —— Sperry

「ウッドストックとかに家族とキャンプしに行くことは結構あるね。でも服装はあくまでも街着で。日常の延長くらいの感じでアウトドアも考えたい。〈キャピタル〉の一張羅のベストも気温差のある郊外で役立つよ」

Jaeki Cho 31
『Hatchet Outdoor Supply Co.』Creative Director

- Sweater —— Manastash
- Vest —— Manastash
- Pants —— Klättermusen
- Shoes —— Hoka One One
- Hat —— Manastash
- Cast Iron Pot —— Snow Peak
- Grill Kit —— Logos
- Knife —— Leatherman
- Cook Set —— GSI
- Tent —— Big Agnes

「昨年シアトルのレーニア山を登る機会があって、初めてアウトドアらしいことをした。そこからハマってまだキャンプ歴1年目のペーペーだけど、最近はブルックリンのフロイド・ベネット・フィールドという近場の空港跡地でキャンプをしてるよ。緑はあまりないけど、〈Black Diamond〉のヘッドライトをつければ別世界のムード満点だよ」

Maya Thakrar 22
Student

- Jacket —— The North Face
- Pants —— Stan Ray
- Shoes —— Converse × Golf le Fleur
- Hat —— Arc'teryx
- Bag —— White Mountaineering

「タイラー・ザ・クリエイターとコラボしたコンバースの『Gianno』はハイキングにも使えるんだよね。日常から抜け出すこと自体がキャンプの楽しみで、ギアを完全に揃えなくても目的は十分果たせてるよね！」

Isabella Rojas 26
Climbing Coach, Content Creator

- Jacket —— Nanga
- Sweatshirt - Everlane
- Shoes —— Tokyo Design Studio New Balance
- Beanie —— Columbia
- Backpack — The North Face
- Sleeping Bag —— Nanga
- Chair —— Helinox
- Vacuum Bottle — Stanley
- Climbing Shoes — Scarpa
- Harness —— Black Diamond

「キャンプグッズをたくさん持ってるわけじゃないから泊まらないデイ・トリップが基本かな。クライミングしつつ、焚き火をしながらコーヒーで一休みするくらいの気楽なアウトドアがちょうどいい。〈Outdoor voices〉のパンツはストレッチが利いていてクライミングもしやすいのに見た目が普段着なのが好き。チョークも目立たないし（笑）」

トッドと同じ3wayの「Niobium」は、〈NB〉定番のトレイルランニングシューズ「MT801」のソールシステムだからハイキングにも最適。

Michael Ken Stewart 27
『Hatchet Outdoor Supply Co.』Producer

- Jacket —— Kaptain Sunshine
- Cardigan — Manastash
- Pants —— Manastash
- Shoes —— Danner
- Cap —— Hatchet Outdoor Supply Co.

「いつも遠出できるわけでもないから、電車に乗って行ける範囲でハイキングしたりしているよ。そしてそのまま街でも過ごせる格好が理想的。〈マナスタッシュ〉のヘンプのパンツは暖かいしラクでいいよ」

「ほら、防水ブーツ、外用のサンダル、室内履きと3役いけて本当に便利。これは別注カラーで、トゥのフックにゲーターを装着できる仕様」

Todd Nisbet
『Hatchet Outdoor Supply Co.』Manager

- Jacket —— Polo Golf
- T-Shirt —— Arc'teryx
- Pants —— Stan Ray
- Shoes —— Snow Peak × Tokyo Design Studio New Balance
- Bike —— Raleigh
- Helmet —— Cannondale
- Handlebar Bag — Oveja Negra, Sealline
- Seat Bag —— Specialized
- Tent —— The North Face

「3年前にエクササイズとして自転車を始めたけど、今じゃ道具を積んでキャンプまでするようになった。『Concrete Trails』っていうNYのバイクパッキングのコミュニティも運営してるよ。キャンプに出るときは必ずコットンのTシャツを重ね着するようにしてるよ。顔を拭いたり、物を束ねたりと何かと使い勝手がいいんだよな」

WORLD SNAP!

photo: Akira Yamada　text: Momoko Ikeda

LIVINGSTON MANOR

聖地でフライフィッシング。

NYから北へ、車を走らせること3時間。
自然が溢れるこの地にキャンプ場を造り、
毎日贅沢に魚と向き合う釣り人たちがいる。

網などのギアは車で10分先にある「キャッツキル フライフィッシング ミュージアム」のフリマが穴場。

ピークシーズンは春や秋だけど、釣り好きは冬でもトライする。「静かで瞑想してるみたいだよ！」

ダリルのリールは1856年から続く米国の老舗〈Orvis〉のバテンキル。

10代から日常的に着てるベスト。「釣り用だと知らずにね（笑）」

ここでは焚き火をしたりティピで寝泊まりしたりして自然に溶け込める。

“紳士のスポーツ”ゆえ、ハットを。1879年創業のイタリアの老舗のもの。

〈パタゴニア〉の釣り用のブーツ。「質の高さと永久保証なのがいい」

敷地内に流れるウィローモック川。清らかに澄んだ水に期待が高まる！

Darrell Hartman 39
Writer

- Sweater — L.L.Bean
- Waders — Patagonia
- Shoes — Patagonia
- Hat — Panizza
- Neck Warmer — Buff USA × National Geographic

Tom Roberts 36
「HOMESTEDT」Co-Founder

- Sweater — L.L.Bean
- Vest — used
- Waders — L.L.Bean
- Shoes — Patagonia
- Cap — Homestedt

Anna Åberg 34
「HOMESTEDT」Co-Founder

- Jacket — J.Crew
- T-Shirt — COS
- Overall — used
- Shoes — Dr. Martens
- Beanie — J.Crew

ブルックリンからアップステート（ニューヨーク州の北のエリア）へと引っ越してきた3人。「コロナ禍になってから自然を求める人は増えていて、このエリアの家も争奪戦だよ。ヨーロッパから初めてフライフィッシングがアメリカに伝わったとされる歴史的な地域でもあるから、釣り好きにはたまらないんだ」（トム）。「ガレージに置いてある使わなくなった古い釣り具やウェアを若い人たちに譲るコミュニティがあるのもいい。釣りは世代をつなぐスポーツだよ」（ダレル）

Livingston Manor Fly Fishing Club

2017年にスタートしたフィッシングクラブ。何もなかったこの土地を自分たちで改造して、釣りやキャンプなどができるクラブの拠点に大変身させた。宿泊できるロッジも、サウナ小屋もある。
●636 Old Route 17 Livingston Manor, NY 12758

photo: Akira Yamada　text: Momoko Ikeda

LOS ANGELES

いまこそインラインスケート、って話は本当なのかも!?

'80sにエクストリームなストリートカルチャーとして創生、'90sにはスキルを競うワールドシリーズも。そしていま、LAの〈THEM SKATES〉のスタイルが新たな火種に!

彼らがホームにするパークの一つ、Veterans Sports Park（1645 Valencia Ave., Tustin, CA）は〈THEM〉の店から車で8分ほど。スケートボーダーとの共用もすごくナチュラルだった！

THEM SKATES

TACO BELLが協賛してスタートした世界大会「National Inline Skate Series」の1996年シーズンを制したレジェンド、ジョン・ジュリオが、'90sから世界中を巡りスケーターと交流し続けカルチャーを育み、2017年に立ち上げ。オリジナルのスケートシューズとパーツ、アパレル、グッズを作り、オレンジ郡のサンタ・アナに店も構えている。Instagram: @themskates

#1
Sean Darst 31
Skater

Sweater — Dior
Shirt — used
Pants — Cords
Shoes — Them Skates

ショーンは小学生から始めてもう20年選手。'70sのヴィンテージシャツに〈ディオール〉のVネックニット、ブラウンがかるまで色落ちしたブラックデニムでグラインドをキメまくり。

#2
Jon Julio 43
<THEM SKATES> Founder

Jacket — used
T-Shirt — Them Skates
Pants — Stüssy
Shoes — Them Skates
Beanie — 49ers

ミリタリー調のジャケットにダブルニーのヒッコリーパンツで飛びまくるジョン。さすが世界王者。「コロナ禍でもローラーブレーダーは世界的に増えて、シーンが成長しているようです」

#3
Gregory Preston 29
Skateboard Shop Staff

Jacket — Carhartt
T-Shirt — Them Skates
Pants — Dickies
Shoes — Them Skates

普段はスケートショップで働くグレゴリーは定番のアメリカン・ワークスタイルで。格好はスケートボードと変わらないよね。「でも足にホイールがつくのは、サイボーグ気分で独特さ」

#4
Alex Miranda 42
Hash Maker

Hoodie — Them Skates
T-Shirt — Them Skates
Pants — Dickies
Shoes — Them Skates
Cap — Them Skates

スケート歴27年で、〈THEM〉の運営に関わるアレックス。キャップは小さな4ドットのロゴがクール＆キュートだし、フーディは古着のようにやれた素材感とグリーンの色味がいい感じ。

#5
Randy Spizer 40
Designer

Shirt — Brixton
Pants — Levi's
Shoes — Them Skates
Beanie — Kicker Fishing Brand

ランディは釣りとインラインスケートがライフワーク。「〈THEM〉はコーヒーも始めてさ。朝6時に店に集合して、みんなでお茶してからどこかで滑るのがこのチームの日常なんだよ」

#6
Chris Tinsley 32
Creative Project Manager

T-Shirt — 3Sixteen
Pants — Levi's
Shoes — Official Sunday Brunch × Them Skates
Cap — Filson

LAのインラインスケート・クルー「Official Sunday Brunch」とコラボした「909」をはくクリスも20年超えの経験者。「このシューズはジョンのデザインがいいし、滑っても最高だよ」

WORLD SNAP!

photo: IBUKI　coordination: Daiki Fukuoka

STOCKHOLM

そのスケシューどこの?
北欧生まれのニューブランドとスケーターたち。

今、洒落たスケーターがこぞって履いているらしい
北欧発の〈Last Resort AB〉。
仕掛け人の一人、サミ・トルピとその仲間が集合！

冬のストックホルムは日照時間がほぼゼロなほど悪天候続き。彼らが普段滑っているのも雨風をしのげるホテルのガレージだが、撮影日は奇跡的に晴れて市内のオブザヴァトリエルンデン広場で。

Last Resort AB

LAST RESORT AB

撮影に参加してくれたサミ・トルピと〈Polar Skate Co.〉を手掛けるポントゥス・アルヴが2020年にスタートさせたスケシューブランド。ダブルステッチのアッパーや、ミリ単位で調整したソール、綿100%のシューレースまですべて彼らがデザインしたスケーターによるスケーターのためのシューズ。「VM001」は1万円から。Instagram: @lastresortab

#1 Fritte Söderström 26
Photographer

Jacket — Engineered Garments
Hoodie — Fuct
Pants — Neighborhood
Shoes — Last Resort AB

「コーディネートのポイントは特にないけどモノトーンが好きだね」と話す割にブランドはちゃんと選んでいるフォトグラファーのフリット。なかでも〈ネイバーフッド〉がお気に入り。

#2 Sean Christiansen 30
Graphic Designer

Jacket — Aspesi
Hoodie — unknown
Pants — Polar Skate Co.
Shoes — Last Resort AB
Gloves — The North Face

〈マーシャル ヘッドホン〉でデザイナーを務めるショーンは友人が作ったパーカをメインにスケートしやすさ優先のコーディネート。「ソールがデッキに吸い付くような感覚が最高にいい」

#3 Daniel Westerberg 36
<Last Resort AB> Director

Jacket — Stüssy
Sweatshirt - Last Resort AB
Pants — Polar Skate Co.
Shoes — Last Resort AB
Beanie — Arket

ダニエルは〈ラストリゾートAB〉のブランドディレクター。「サミとは前身のシューズブランド〈3-3-20〉も一緒に立ち上げた。流行に左右されないデザインがこのブランドのモットーだよ」

#4 Axel Lindquist 25
Video Producer

Jacket — used
Shirt — used
Pants — District 46
Socks — Eva Skateboards
Shoes — Last Resort AB

スウェーデンのスケートブランド〈エヴァ スケートボード〉や〈ディストリクト46〉と古着をミックス。胸元には献血に10回行くと貰えるピンバッジをつけていたからきっといい人。

#5 Derrick Bryan Kimani 23
Student

Jacket — used
Shirt — used
Sweater — used
Jeans — used
Shoes — Last Resort AB

襟と袖をちょこっと出したシャツは、SFに住む曾祖母が着ていたもの。「素敵だねって褒めたらくれたんだ。デニムは白のペンキでペイントしてみた」とさりげなく靴の色味と合わせている。

#6 Sami Tolppi 39
<Last Resort AB> Designer

Jacket — US Military (used)
Shirt — Guatemala Shirt (used)
Pants — Polar Skate Co.
Shoes — Last Resort AB

「自分たちがパーフェクトだと思うまで試作を繰り返して完成したのが、今日みんなが履いている『VM001』。アウトソールやインソール、シューレースまですべて一からデザインしたんだ」

#7 Nils-Douglas Karlsson 24
Student

Sweatshirt - used
Pants — Polar Skate Co.
Shoes — Last Resort AB
Beanie — used

シューレースも付属のブラックに替えたワントーンスタイル。グリーンの髪色が映えてるね。「お気に入りは韓国のアニメ『プッカ』のビーニーで毎日かぶってる。日本では人気ないの？」

#8 Elias Mensi 22
<Eva Skateboards> Founder

Jacket — The North Face
Inner — used
Jeans — Wrangler
Shoes — Last Resort AB
Belt — used

カットオフしたバギージーンズをラフに着たエリアスは一番のお調子者。「俺も2020年に〈エヴァ スケートボード〉ってスケートブランドを始めたんだ。チェックしてくれよな！」

photo: Markus Karlsson Frost　coordination: Miki Osako　text: Shintaro Kawabe

かつての職場から学んだ、気分があがる正装。

本日はお堅いミーティングに出席するスペンサー。「〈ドリス・ヴァン・ノッテン〉にいたことで、スタイルをよく考え、気付きを得たよ。例えば、ただスーツを着てダンディにすればいいのではなく、個人的なことを大切にして混ぜてしまうほうが自分は気持ちがいいとかね。今日は〈フィップス〉のセットアップに、妹がサンフランシスコで営むマリファナショップ『モー グリーン』のパーカだ。こんな格好でレストランに行くこともあるよ」

上／16歳の頃から着ているとは思えないほど、“LIFEGUARD”の文字がくっきり。下／〈マーク・ジェイコブス〉時代にサンプルで作った靴下に、安全第一として履いているオレンジ色の〈アシックス〉のシューズ。

DAY 2

- Sweater — used
- Hoodie — unknown
- Pants — Kenzo (used)
- Shoes — Asics
- Cap — Phipps Gold Label

DAY 3

- Suit — Phipps
- Hoodie — Moe Greens
- Shoes — The North Face
- Cap — souvenir
- Pins — used

STYLE SAMPLE 2021

上／カリフォルニアのタホ湖に旅行で行ったときに、お土産で買ったキャップ。チェック柄のジャケットとの色合わせも渋い。下／アメリカの国旗とモンタナ州の旗が並んだ、ヴィンテージのピンズ。

愛車に乗るときは マイ・ヴィンテージウェアで。

「スケジュールによってコーディネートを決めているけど、一番大事なのは天候と自分の気持ちさ」とスペンサー。この日は快晴で、自転車を家から持ち出しアトリエまで向かうところ。「インナーのフーディは16歳のときから着ているし、スウェットパンツも10年以上はいている〈ケンゾー〉だよ。気に入った洋服はいつまでも着続けるタイプだね。そういった着古した服は体に馴染んでいるから、サイクリングするときにとても快適なんだ」

DAY 4

- Vest — Phipps
- Pants — Nike ACG
- Shoes — Salomon
- Cap — BC Nokia
- Bag — Millet × Phipps

右／フランスのアウトドアブランド〈ミレー〉とコラボのバックパックにバンダナを装備。左／直訳すると“森の番人”と書かれたワッペンは〈フィップス〉のオンラインショップ（phipps.international）で購入可能。

〈フィップス〉を着て、岩壁が立ち並ぶ森へ。

「クライミングをしに、パリ郊外のフォンテーヌブローへ向かうよ！」と昨日と別人のような格好。パイナップルの皮からできたフェイクレザーのベスト、半袖シャツ、カットソーといった自分のブランドの服には、〈ナイキACG〉も、一番のお気に入りだというフィンランドのバスケクラブ「BCノキア」のニット帽も、すんなりと馴染む。「僕にとって重要なのはスポーツウェアなんだ。そういうものからピンときて洋服を作るときもあるよ」

1 WEEK STYLE

シティボーイたちの1週間。

デザイナーからミュージシャンまで、
四者四様の7スタイル。
なんだかんだでポリシーがあって、
だからこそクール。

DAY 1

Jacket —— Phipps
T-Shirt —— Nascar (used)
Pants —— Levi's
Shoes —— Nike ACG
Cap —— Phipps Gold Label

プライベートもビジネスも。どっちも楽しむ紳士の装い。

デザインもよく、サステナブルなものづくりや製造工程にとことんこだわる〈フィップス〉のデザイナー、スペンサー。ジャケットのインナーにタンクトップを着てショーツをはいた服装をインスタで披露したり、彼のスタイルはとにかく自由。「僕にとってファッションとは、トレンドを追うためのものではなく、今何かが起きているその瞬間を捉えて表現するためのものなんだ。だから今日はロックダウン中の家で仕事をするときのコーディネートさ。はき慣らした〈リーバイス〉501のデニムやヴィンテージ品を着ていても、上質なものさえ羽織ればジェントルマンだろ？」

上／自動車メーカー〈ダッジ〉のグッズをお直し。下／車のレースを統括する団体・ナスカーのTシャツ。「どちらもアメリカンクラシックなモータースポーツものでお気に入りさ」

PARIS

Spencer Phipps 35

<PHIPPS> Designer

サンフランシスコ・NY・アントワープを経て、
パリで自由を手に入れた問答無用のナイスガイ。
古着・スポーツ・自然への愛が爽やか＆ディープ！

スペンサー・フィップス

1985年、サンフランシスコ生まれ。〈マーク・ジェイコブス〉パドリス・ヴァン・ノッテン〉を経て、2018年、パリを拠点に〈フィップス〉をスタート。「LVMH Prize for Young Fashion Designers 2019」のファイナリスト。Instagram: @spencerphipps

photo: Mari Shimmura　coordination: Masae Takanaka　text: Shintaro Kawabe

1

LONDON

Puma Blue 25

Singer-Songwriter

**イギリスのインディー・シーンで今聴きたいのは
この25歳のジャズ・ミュージックでしょ。
いや、音はもちろん、スタイルも気になるぞ。**

プーマ・ブルー

1995年、ロンドン生まれ。本名はJacob Allen。2014年、Puma BlueとしてBandcampでシングル「Only Trying 2 Tell U」のデモ版を発表。今年2月にファーストアルバム『In Praise of Shadows』をリリース予定。Instagram: @pumablue

「この〈Fender〉のテレキャスターは1962年の日本製のリイシュー版。20歳の誕生日あたりに、父親がなぜか思い切って買ってプレゼントしてくれたんだ。決して裕福な家庭じゃないのに、嬉しかったよ」

2

STYLE SAMPLE 2021

DAY 1

Cardigan — Manastash
Pants — Target
Shoes — Fila
Pierce — Justine Clenquet
Necklace — Sophie Buhai

創作を終えてひと息。
部屋着もしなやかな感じ。

ここ数年、ジャズは新鮮な変化を続けているよね。ヒップホップをはじめとするいろんなジャンルと融合し、若くて素晴らしいアーティストが続々。その動きの中心地の一つ、ロンドンにいるプーマ・ブルー（ことジェイコブ・アレン）の1週間をキャッチ！　待ち望まれているアルバムの制作を終えて、のんびりと過ごしているある日の朝からスタート。「午前から集中力があると、家でギターを弾くよ。リラックスしたいから『ターゲット』（アメリカの大型スーパー）で買ったなんでもないスウェットとかを着るけど、アクセサリーは基本的に毎日同じ。クリーンでミニマル、そして少しフェミニンなデザインが好きだね。女性ならではのエナジーを身に纏えるような感覚があって素敵だと思う」

朝一番のバスローブスタイル!?

「やぁ、おはよう。僕のモーニングコーディネートはどう？」と、自宅の浴室にて。「ボリューミーなロングダウンコートは寝袋じゃないぞ、ゴージャスなガウンだよ(笑)。スリッパはパリの最高級ホテル『ル ブリストル パリ』のものだね。〈フィップス〉以外の洋服はWalmart、Amazon、eBayなどでたくさん買っているから、3つのクローゼットはパンパンだし、あちこちに洋服のバッグを保管しているんだ。それでも、我が家は五つ星級さ」

DAY 5

- Coat — Phipps
- Hoodie — Phipps
- Pants — Russell Athletic
- Shoes — Le Bristol Paris

自宅のサロンは広々。本棚には'70年代にヨガや瞑想を広めた、アメリカ人教師ラム・ダスの書籍『BE HERE NOW』など、グラフィックやプリントのデザインを考えるときのインスピレーションとなる本を収納。

右／〈フィップス〉を購入すると付いてくるショッパーを、エコバッグにしている。左／楽で中綿素材が暖かいから、冬に外出するときはつい履いてしまうという〈ザ・ノース・フェイス〉のスリッポンシューズ。

DAY 7

- Sweater — Phipps
- Shirt — Phipps Gold Label
- Pants — Kenzo (used)
- Shoes — The North Face
- Cap — Nike ACG

買い出しコーディネートもパリでワンアップ。

ずーっと買い足している大好きなチェックシャツで、近所にお買い物へ。「今日着ているのは洋服の過剰生産を抑制するために始めた、ヴィンテージ品をカスタマイズするライン〈フィップス・ゴールド・レーベル〉のもので最近のお気に入り。僕は小さい頃から、スーパーに行くときもお洒落をしていたけど、パリに移住してからより一層ファッションを楽しむようになったね。今後もこの街で、クールでサステナブルな洋服を作り続けていくよ」

DAY 6

- Hoodie — souvenir
- T-Shirt — Nike
- Pants — Russell Athletic
- Shoes — Vibram
- Bandage — Fairtex

自宅でワークアウト！ 裾をサッパリと動きやすく。

空いた時間で運動ができるように家にトレーニング部屋も。「このスポーツスタイルのこだわりは、サンフランシスコで買ったお土産のパーカを〈ラッセル アスレチック〉のパンツにタックインして、ボトムスの裾をソックスに収めたこと。〈ビブラム〉の5本指シューズも地面を掴めて動きやすいぜ」ってまるで忍者のよう。〈フィップス〉のバンダナと、バンコクのムエタイの衣料品ブランド〈フェアテックス〉のバンデージもいい味出てる。

DIYも大好きで、ボルダリングの壁も自分で部屋の中に作った。工具は洋服屋さん並みに行きつけの、パリ市街地最大級のホームセンター『Leroy Merlin』で揃える。最近ハマっているキックボクシングや筋トレなどもここでやるんだとか。

右／6年間履き続ける愛用のブーツ。左／1928年にベルリンで創業し、映画館のスピーカーから始まった〈ベイヤーダイナミック〉の「DT770 PRO 80Ω」。「自宅用だけど、音を遮断するから外でも使うよ」

DAY 6

- Sweater — used
- Pants — used
- Shoes — Adidas
- Scarf — Barbour

ヨーロッパの人たちってよく墓地を歩くよね。

昨日も今日もで、ジェイコブは本当によく散歩をするんだね。「家の近くの墓地を歩くのが、神秘的で好きなんだ。今日は上下古着で、このセーターは袖のボリューム感が気に入っている。カーゴパンツは、ワークスタイルって馴染みがないけど、ゆったりしてるわりにシルエットがきれい。僕が持っている服はほとんどがチャリティショップや古着屋で見つけたもの。新作って少し気が引けちゃって、こういう買い物の仕方が今は気分なんだ」

〈バブアー〉お馴染みの英国らしいタータンチェックのマフラー。これが結構暖かいらしい。「ニットもしっかりしてるから、わりと寒い日でも帽子とこれを持っておけば歩くのも全然大丈夫なんだよね」

DAY 5

- Jacket — Asos
- Hoodie — unknown
- Pants — used
- Shoes — Rockwood
- Headphone — Beyerdynamic

閉塞感のある日も来る。そんなときは無心に黒。

楽曲の制作に行き詰まったら、一人でとにかく歩く。「こんなときは何も考えずに、全身ブラックで出かけてしまうよ。10代の頃はこういうロックな感じとか、サーファーやスケーターの格好も真似していろいろ通ってきた。これからはDavid BowieやJoseph Campbellみたいに、僕なりのエレガントなスタイルを確立していけたらいいな。自分にとってのスタイル・アイコンは、Björk、Red Hot Chili Peppers、Jeff Buckleyだね」

DAY 7

- Coat — Ganni
- Pants — used
- Shoes — Adidas
- Pierce — Justine Clenquet

シルエットがきれいなコートは肌みたいなもの。

またもやガールフレンドのアウターでやってきたジェイコブ。身長も同じくらいでお互いの服を着ているけど、彼女のほうがずっとお洒落なんだって。最終日はファッションについて語ってもらおうかな。「一番心地よい自分でいられるための“肌”みたいな役割が洋服にはあるんじゃないかな。自己表現の一種だから、僕は自然と、自分が作る音楽と対極にあるような格好をすることはない。だから今はニュートラルな色の組み合わせが多くなる」

ボリュームのあるフォルムで人気の〈アディダス〉「YUNG-1」は重宝している。衝撃吸収性の高いソールは街をよく歩くジェイコブに向いてるね。「とにかく履きやすいし、合わせる服を選ばない万能スニーカーだよ」

DAY 3

Down —— unknown
Sweatshirt - Levi's
Pants —— Adidas
Shoes —— Nike
Pierce —— Justine Clenquet

ガールフレンドの服を羽織って自然の中へ。

家の近くには広くてのびのびできる公園があって、よく散歩しに行くそう。「ロンドンは自然との距離が近くて素敵だね。キューガーデン、ハムステッドヒースは特にお気に入り。歩くときは、暖かさと動きやすさが最も大事だと思う。このダウンは僕のガールフレンドから借りたんだけど、全身がダボダボしすぎないように細身のトラックパンツをはいたんだ。スポーティでも、スッと品のある印象の服装をしていたいんだ」

「スニーカーは大好き。歩きやすいし、いろんなデザインの中から何を履くかでガラッと印象を変えられるのが楽しいね」。この日はパンツに合わせたエア・マックス96で、軽快に枯れ葉を蹴り上げていたよ。

上／古家具も扱うハックニーの『Arch 389』で購入。下／このエア・フォース 1はチャリティショップでなんと6ポンド。「アウトソールに“£6”ってマジックで描いてあったのに、消えちゃって残念(笑)」

DAY 2

Coat —— used
Sweatshirt - Asos
Pants —— used
Shoe —— Nike (used)

人によく会うときには色に気を配らないとね。

この日は外出の時間が多いから、頑張りすぎないけど気を使って服を選んだ。「僕はお洒落じゃないし、コーディネートというものは苦手だけど、何を着るかを考えるのは小さい頃から好きだった。いつもボトムスから決めるんだけど、きれいなパンツ、特にスラックスは僕に欠かせないよ。カジュアルな服と組み合わせてもスマートに見えるから」。今日は服のトーンを落ち着いた方向に統一させて、白いエア・フォース1でスッキリと。

DAY 4

Jacket —— used
Pants —— used
Shoes —— Adidas
Watch —— Newgate

偶然にも服のトーンさえフラットホワイトに!?

朝は決まって、イーストロンドンのコーヒーショップ『Bake Street』へ。「彼女と一緒に行って、フラットホワイトの砂糖入りを頼むのが日課なんだ。このショート丈のジャケットは動きやすいから、近所に出かけるくらいの用事にちょうどいいんだ。上着が明るい色だからボトムスは黒にしてコントラストを生んで、印象を引き締めてみた」。服は40着くらいしかないけど、黒から白へ色のトーンで分けて収納している。几帳面だね。

シンプルでジェイコブによく似合っている腕時計は、英国のブランド〈ニューゲート〉の「The Drumline」。「ちなみに、実は僕が人生で最初に熱中したのはドラムだったんだ。今はギターだけどね(笑)」

DAY 5

Jacket —— CSiLLAG
Hoodie —— CSiLLAG
Pants —— CSiLLAG
Shoes —— Russell Moccasin
Socks —— Uniqlo

上／〈RRL〉の前身といわれる〈ポロ カントリー〉のデニムをサンプリングして、ちょいバギーに。下／アッパーの甲と側面で硬さの違うスエードを選ぶ、外見に表れないこだわりが。ソールはビブラム。

トラッドさを引きずった シティ・ハイキング・スタイル。

公園に散歩しに行くコールはこの日、70年前のブランケット地で作ったダブルジップのブルゾンに、〈マーティン・グリーンフィールド〉に20年以上放置されていたコーデュロイ生地で仕立てたパンツ。カスタムオーダーで作った〈ラッセル モカシン〉は一番お気に入りの靴で、届くのが待ちきれずウィスコンシン州の工場へピックアップに行ったほど。「山を歩くときもこんな感じで」って、アウトドアでも普段とあんまり変わらないんだね。

'30sのフィッシャーマンジャケットからパターンを引用し、ダブルにしたスリーブと一枚布を羽織ったようなシルエットにこだわったそうで、彼が作ったアウターの中でも一、二を争う出来栄えなんだとか。

仕事もチャリも遊びも。 結局、全部変わらない。

〈LQQK〉の以前のスタジオ前で会った友人とチル。「お客さんの前でも恥ずかしくなくて、なおかつ自転車にも乗れて友達とも遊べる服を着ていたいし、作りたいよね」なんて話しているコールのジャケットは、イタリアンカシミヤがブレンドされたブランケット生地で作ったもの。シャツは〈マーティン・グリーンフィールド〉だし、モールスキンのパンツだし、もう望みは叶っているんじゃない？　帽子はたまに脱がないといけないかもね。

DAY 7

Jacket —— CSiLLAG
Pants —— CSiLLAG
Shirt —— Martin Greenfield
Shoes —— New Balance
Cap —— CSiLLAG

DAY 4

Jacket —— CSiLLAG
Hoodie —— CSiLLAG
Pants —— CSiLLAG
Shoes —— Allen Edmonds
Cap —— Martin Greenfield

FANELLI CAFE

1847年に創業し、現存するNYの飲食店では2番目に古い老舗カフェレストラン。Sohoのランドマーク的存在で映画の撮影ロケーションとしても有名。コールのおすすめはハンバーガー（$13.50）とチキンウィング（$7.75）。●94 Prince St., New York, NY　☎212-226-9412　10:00〜2:00　無休

時にはちょっとドレスアップ。 行きつけの老舗カフェレストランへ。

ソファに使われていたヴィンテージの生地でジャケットを作ってきたというコール。その中でも色合いがいいという一番のお気に入りを羽織って早めのディナーへ。ソーホーの『ファネリ カフェ』は大好きで、赤いチェックのテーブルクロスとブルーのトップスの鮮やかな対比が目を引いていた。〈チラーグ〉はまだコール自身用の一点ものばかりだけど、イチからの個人オーダーもOKとのこと。

DAY 6

Jacket —— CSiLLAG
Turtleneck - Daytimenovella
Pants —— CSiLLAG
Shoes —— New Balance
Cap —— Carhartt (used)

CHURCH STREET SURPLUS

1964年に創業した古着屋。オーナーは店を始める前は軍に従事していたリアルアーミーで、軍の放出品も豊富に扱う。●327 Church St., New York, NY　☎212-226-5280　11:00〜17:00　日休

名物店主が営む軍モノ屋で快適にディギング。

休日に訪れたこの古着屋は「『トレンドとは無縁だ』みたいな雰囲気の頑固そうなおじさんがやっていて、ミリタリーがメイン。スタンダードな掘り出し物が見つかったりするよ」とのこと。ジャケットは着つつも動きやすさ重視な装いの中でも、〈LQQK〉のメンバーがやってる〈デイタイムノヴェッラ〉のニットがお気に入り。「タートルネックのフワッとした絶妙な形と、イタリアンコットンのスムースな肌触りがいいね」

NEW YORK

Cole Star 29

<CSiLLAG> Founder / Fabric Sourcer

コール・スター

1991年、インディアナ州生まれ。アメリカにおける最高峰のテーラーのひとつで、1977年に創業した老舗のマーティン・グリーンフィールド（P38）に勤める傍ら、2018年に〈チラーグ〉（Instagram: @csillag_usa）をスタート。

**アメトラ、アイビーって言葉は最近もう聞かないって？
でもNYにはテーラリングの伝統をしっかり学んで
新しくブランドをやってるトラッド・ボーイがいるよ。**

上／〈チラーグ〉と〈マーティン グリーンフィールド〉のダブルタグ。下／諸説あるけど、「うちの創業者の発明らしいよ」というツータックは伝統あるディテールとしてきっちり踏襲して作っている。

DAY 2

- Jacket — CSiLLAG
- Shirt — Brooks Brothers (used)
- Pants — CSiLLAG
- Cap — Martin Greenfield
- Eyewear — Donna Karan (used)

この老舗のよさを伝える服で接客するのさ。

今日は〈マーティン・グリーンフィールド〉のパターンを使って、'70年代の生地で作った3つボタンのジャケットで仕事に。自作のスラックスもこのテーラーのスタイルへのオマージュだし、キャップは創業者に自らサラッと断って25個だけ作ったオフィシャル。コール流の、テーラーを代表するスタイルだ。「重要な顧客が来てもこれで大丈夫。ちなみにこの工房には100年以上分のパターンが保存されているんだよ」、ってスゴいね。

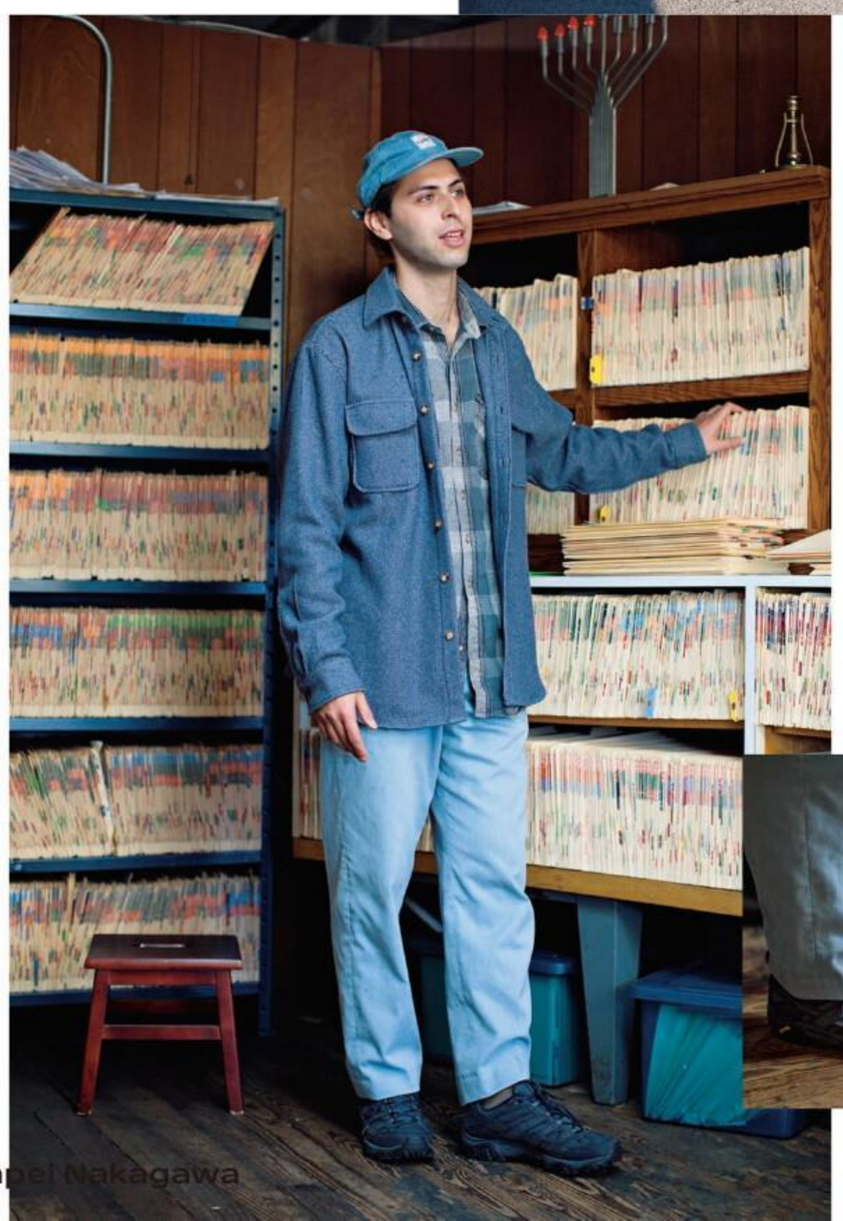
上／詳しい友人に依頼して組んでもらったヴィンテージの〈Colnago〉で毎日通勤。下／〈バーバリー〉といえばな裏地と暖かいキルティング、この長くも短くもない絶妙な丈も好きなポイント。

DAY 1

- Jacket — Burberry (used)
- Thermal — St. John's Bay (used)
- Shirt — CSiLLAG
- Pants — CSiLLAG
- Shoes — Allen Edmonds

工場にいても通勤でも快適だ。自作のパンツだからね。

自分のブランドを立ち上げた、とはいうものの、コールの本業はNYの名テーラーのスタッフ。スーツ作りに勤しむ傍ら、レアなヴィンテージ生地の収集に励み、気に入った柄や素材で一点ものを好きなように作る、というのが〈チラーグ〉の現段階だ。この日のパンツも、持っている〈ラルフ ローレン〉のデニムの型をサンプルしたもの。今の悩みは「どうしても量に限りのある生地ばかり好きで、自分の分しか作れない（笑）」こと。職場ではシャツにサーマルを重ねてカジュアルに仕事をして、一息つくなら屋上へ。「この'90sの〈バーバリー〉のコートは中に着込める大きなサイズでお気に入りなんだ」



DAY 3

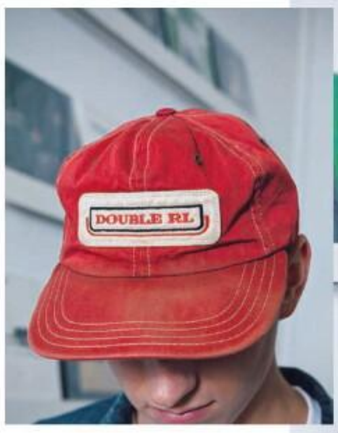
- Flannel Shirt — Carhartt (used)
- Shirt — CSiLLAG
- Pants — CSiLLAG
- Shoes — Merrell
- Cap — LQQK Studio

大統領から友人まで。顧客のサイズの管理人なのだ。

顧客の管理や取引はすべてコールが担当していて、彼のデスクがある部屋の棚には採寸データの台帳がぎっしり。歴代のアメリカ大統領からセレブ、友人まで、その全員分は壮観だ。はみ出た分を整理したり、たまったデスクワークをこなしたりする日はヴィンテージの〈カーハート〉と〈チラーグ〉のシャツ・オン・シャツでリラックスした格好に。「青系でまとめてスッキリしたかった」という気分もこの棚を見ればなるほどねって感じ。

右／ご近所仲間の〈LQQK〉はよく着るし、〈チラーグ〉のフーディのプリントも依頼している。左／〈メレル〉のハイキングシューズの定番「モアブ」は絶妙な色合いが好み。作業中も軽快そうだ。

photo: Akira Yamada　text: Shimpei Nakagawa



「彼はどんな服を着てもクラシックなアメリカンスタイルに見せることができるからすごい」とMr.ラルフ・ローレンを尊敬していることもあってこの'90sのヴィンテージキャップは相当気に入っている。

DAY 5

- Jacket —— Warehouse & Co.
- T-Shirt —— Muji
- Pants —— Supreme
- Shoes —— Clarks
- Cap —— RRL

とはいえ、アメリカンカジュアルな服も好き。

大好きなレコードはレーベル兼ショップの『Séance Centre』で、同じくらい好きな古着はほとんどがヤフオク！やeBay、Etsyで買うというイーサン。昨年の夏にマレーシアの古着屋さんで見つけて歓喜したのがこの〈RRL〉のキャップ。「初めてこのキャップを見かけたのがどこか忘れちゃったけど、すごくクラシックなデザインなんだ。ほら、〈Levi's〉タイプ1型のデニムジャケットと合わせるとアメリカンな雰囲気がするでしょ？」。

ミリタリージャケットは友人が半年前にプレゼントしてくれた。「カナダ軍のジャケットは〈カナダグース〉が作っているんだ。ライトな素材感とポケットがかっこいいし、メイド・イン・カナダなのも最高！」

DAY 4

- Jacket —— Canada Goose for Canadian Military
- Sweater —— L.L.Bean
- Pants —— Sunsea
- Shoes —— Asics
- Scarf —— Burberry

理想は『Min-Nano』のスタイリング。

「〈サンシー〉のパンツは『Min-Nano』のゴローさんがはいているのを見て欲しくなったんだ。裾がちょっと余る理想のシルエットを追い求めていろんなモデルを試したんだけど、この『519』モデルが僕にはぴったりだった。今日は仕事のミーティングがあるからセーターにウールスラックスと綺麗めスタイリングだね」。といってもランニングシューズとミリタリージャケットを合わせて、やっぱりストリートなファッションが好きみたい。

今、集めているのはヴィンテージの〈パタゴニア〉。

デザインの参考にもなるから暇さえあれば古着屋さんを覗くというイーサンの行きつけは『Expo Vintage Clothing』。「今日は'90年代、'00年代のアウトドアスタイルって感じのコーディネート。ここ数年、古い〈パタゴニア〉を集めているんだ。この『Retro Rhythm Hoody』もその一つ。環境に配慮しながら、上質で長く着られる服を作るのは素晴らしいことだよ。アメリカ製時代は着丈が短くてワイドなシルエットなのもいい」

日本の自動車メーカー「スバル」のロゴが入った「ボート・アンド・トート・バッグ」。「多分フォレスター2005-2008あたりを買った人がもらえたノベルティなんじゃないかな？とてもクールなデザインだね」

DAY 7

- Jacket —— Patagonia (used)
- Pants —— Goodenough (used)
- Boots —— Timberland × Engineered Garments
- Beanie —— LQQK Studio
- Bag —— L.L.Bean × Subaru (used)

DAY 6

- Jacket —— Arc'teryx (used)
- Hoodie —— LQQK Studio
- Pants —— Unused
- Shoes —— Clarks
- Socks —— Blohm

頑丈で、着込むほどに味わいが出る服が好きで、このパーカも〈キャンパー〉のずっしりとしたボディが気に入っている。「内側はカシミヤみたいに柔らかいのに、外側は硬い。スケボーでこけても破れなかった」

休日はリラックス＆ファンクショナル。

休みの日、友達との待ち合わせは『Sam James Coffee Bar』で。「スウェットにスラックス、それに防水ジャケットを合わせるのが定番だね。この〈アークテリクス〉のジャケットは2000年代初期のヴィンテージで、メイド・イン・カナダなんだ。アームホールも大きいルーズなシルエットのものは今は作ってないよね。これがいいのに」。リラックスできるけど機能的な服を着るのが、悪天候の日が多いトロントならではのスタイル。

1 WEEK STYLE

DAY 2

- Jacket —— Arc'teryx × Better Gift Shop
- Shirt —— Ben Davis
- Pants —— orSlow
- Shoes —— Canadian Military
- Cap —— Better Gift Shop

ミリタリーものは さりげなく身に着ける。

ショップに立つときはお気に入りの〈アークテリクス〉と〈ベター〉のコラボジャケットで。「14か15歳くらいのときに地元のスケートボーダーやバイクメッセンジャーから教えてもらって以来、大ファンなんだ。ずっと着てきたブランドとのコラボプロジェクトに関われたのは特別な経験だったよ」。足元はシンプルなスニーカー……と思いきや「ジャケットがミリタリーモチーフだから」とカナダ軍放出品のトレーニングシューズ！

「〈アークテリクス〉を象徴する始祖鳥をデジタルっぽくアレンジしたロゴデザインがポイントだよ」。ベースのモデルは中綿の入った「Atom LT」で、刺繍は東京の〈葵産業〉によるもの。

この〈ヴァンズ〉とのコラボシューズのデザインにはイーサンも携わった。「自分が関わったスニーカーを履くのはすごくエキサイティング。ブランドのキーカラー、ブルーとホワイトの配色にこだわったよ」

DAY 1

- Sweater —— C.E
- Pants —— Arc'teryx
- Shoes —— Vans × Better Gift Shop
- Cap —— LQQK Studio
- Skateboard —— Polar

滑るときは〈アークテリクス〉って決めてる。

10歳からスケートボードを始めたイーサン。スケートショップに通ったり雑誌を読み込んだりしたことで様々なブランドやスタイルがあることを知って、ファッションに興味を持つきっかけにもなった。滑るときにはくのはまさかの、地元カナダのアウトドアブランド〈アークテリクス〉の「クロニン パンツ」。「膝を曲げやすい機能的なデザインだからトリックを決めるときに動きやすいんだ。山だけではくのはもったいないよ」

4

TORONTO

Ethan Pylypiw 22

Better Gift Shop Staff / Designer

悪天候の日が多いからこそ機能的な服が街に映える。アヴィ・ゴールド率いる『Better Gift Shop』で働く若者はどうアウトドアブランドを着ているんだろう？

イーサン・ピリピュー

1998年、カナダのカルガリー生まれ。NYの〈LQQK STUDIO〉でインターンをしデザインや販売などストリートウェアのノウハウを学ぶ。現在はデザイナーとして働きながら時々、販売員としてお店にも立っている。

DAY 3

- Jacket —— Goofy Creation
- Sweatshirt —— Sasquatchfabrix.
- T-Shirt —— Joe Garvey
- Pants —— South2 West8
- Room Shoes —— Trooper America

常日頃、着ている 日本ブランド。

「トロントは世界中の料理が食べられるくらい暮らしている人種も様々。なのに友達としょっちゅう遭遇するようなコンパクトな街だから移動は自転車が多いね。〈グーフィー クリエイション〉（現〈コンフォータブル リーズン〉）のアノラックはポケットがたくさん付いていてバッグいらずだから自転車のときに便利なんだ。東京の『バックドア』という店でブランドを知って、トロントに戻ってから『メルカリ』で買ったよ」。部屋着としても着ているスウェットは〈サスクワッチファブリックス〉、パンツは〈サウス2 ウエスト8〉。アヴィの影響からか、イーサンは日本ブランド好き。

毎日のように乗っているロードバイクのフレームは'90年代の〈マングース〉「IBOC」。「トロントの冬は寒いから」と〈デサント〉のビーニーは深めにかぶる。スニーカーは〈ニューバランス〉の「990v4」。

photo: Aaron Wynia　coordination: Aki Takabatake　special thanks: Séance Centre [seance-centre.com]

02 BMX Helmet

フルフェイスが多いけど、1つだけ違和感が……。

BMXのヘルメットはジョシュにとってバイクギアを好きになるきっかけになった、大切なプロダクト。惚れ込んだときから、スリフトストアやジャンクショップなどで目にするたびにコツコツと買い続けて、10年以上たつそうだ。「顔が見えないほうがその人のパフォーマンスのみに焦点があたるから」と、集めるのは特にフルフェイスで、〈Oakley〉の「Factory Pilot」を中心に、〈ECKO〉などもちらほら。「思い思いにステンシルやデカール、エアブラシで自分のキャラクターを示すところもシンプルにかっこいい」。BMXのヘルメットに何食わぬ顔で紛れ込むのは、コレクターから買ったという〈Herman Miller〉のヴィンテージ。非売品らしいよ。

〈Herman Miller〉の建設作業に携わる人のみに配られるもの。

10歳のときに買ってもらった初めてのヘルメットも、今でも大事に保管している。

「Factory Pilot」を集める理由は「パイロット＝飛ぶというアイデアがかっこいいから」。少年のようだね。

左は'97年の「THETA LT」で、右は2019年にブランドの創業30周年を記念して発売された「ALPHA SV」の復刻版。

ブランドのハイスペックなイメージとは裏腹な、ローテクなナイロンのダウンジャケット。

01 Arc'teryx

詳細不明モデルも!? 偏愛が際立つベスト4。

自転車に乗る際の雨除けとして試しに購入してみたら、その機能性にどっぷりとハマり、気づけばジャケット以外にもパンツやアクセサリーなど合わせて〈Arc'teryx〉は100点超え。「今のところ一番思い入れがある4着」としてまず選んでくれたのは、左の2つ・ブルーとブラックのシェルジャケット。彼が「ゴールデンエラ」と呼ぶ、1989年創業当初の仕様のもので、左胸のロゴマークがゴールドで刺繍されている。イエローカラーのサイドワインダーは2000年代初頭に発売されたファーストモデルなんだって。そしてとりわけ珍品なのが'90sのダウンジャケット。たまたま出くわしただけで、コレクターの彼にも未だに詳細がわからず、情報筋に絶賛リサーチ中。

ヴィンテージではないものの、「エアブラシで描かれたジョブズなんて見たことない」。

「南部出身の俺にとってヒップホップ映画は『BELLY』よりも『I'M BOUT IT』派だ」

03 Printed T-Shirt

理想の自分を思い描けるグラフィックには手が出る。

350枚もあるコレクションから6枚を厳選。「活躍した分野は違えど、それぞれが伝説かつパイオニアでインスパイアされる」と〈Apple〉の創設者であるスティーブ・ジョブズに、F1レーサーのアイルトン・セナ、ラッパーのピンプ・シーのプリントをセレクト。そこに「この3人はみな妥協なしに"I'M BOUT IT"(やってやる)に生きたから」とラッパーのマスター・ピーによる自伝的映画の『I'M BOUT IT』のグッズを添えて、「当時タブーとされていたことをやってのけたことが彼らに通ずる」と〈BENETTON〉の'90sのコンドームTシャツや、'00s〈PRADA〉と建築家Rem Koolhaasの同性愛に触れたコラボレーションTシャツを。ジョシュの価値観が現出！

04 Shoes

ついつい"履いてしまう"信頼に足りる靴たち。

多すぎて埒が明かないので(笑)、ここでは普段履いているシューズをセレクト。公私共に仲が良い〈LQQK Studio〉がコラボした〈Vans〉のオーセンティックや、「俺にとってラグジュアリーの代名詞」というスイスの老舗〈BALLY〉の'90年代のローファー、〈NIKE〉の中でも上品なデザインで特に好きな「AIR HUARACHE LIGHT」に、ティンカー・ハットフィールドがデザインした中でも隠れた名作とされる'97年の「AIR ZOOM SPIRIDON」の復刻版(ちなみにオリジナルも所有)、親友からもらい思い入れの強い〈RALPH LAUREN〉の「POLO COUNTRY」のデザートブーツなど。選ぶ基準は明確にはないけど、わかるのはどの靴もきれいに手入れされていて、愛があるということ。

〈Danner〉の「CRATER RIM LIGHT」。グリーンのコーデュラナイロンがお気に入り。

うずたかく保管された靴はスニーカーやアウトドア用など分野別に分けて几帳面に整頓。

ロードバイクも愛するがゆえ、ビンディングシューズも重要。ただし、〈SIDI〉一択。

ARCHIVES in HOME

あのシティボーイのコレクションを拝見!

**好きなものを、ただただ集めて20年以上。
自宅に総数3000点を超える服と物がひしめく彼の眼には、
既存の評価に屈しない独自のセンスが宿っている！**

**誰かに「スゴい！」と言われる名品も好き。
でも、誰にもわかってもらえないもののほうが大切だったりさ。**

自転車11台、Tシャツ350枚、キャップ1000個、バイクジャージ200枚……。所狭しと好きなもので埋まるこの家の主は、昨年の秋、『ポパイ』の自転車スナップにも愛車の〈KLEIN〉で登場したジョシュ・マシューズだ。彼は〈COMMA〉のファウンダー、そしてNYのストリートシーンで有数のコレクターとして知られている。

「自分的には集めることが目的ではなく、ただ面白いと思ったものや好きなものを買っては売ってまた買って、本当のお気に入りは取っておくということを20年以上続けた結果がこれでさ」

コレクションに目をやると、ヴィンテージの〈Arc'teryx〉や〈POLO〉など一般的に〝価値が高い〟とされるものもあるけど、確かに誰も買わなそうなものもたくさんあって、興味深い。

「気になるものに出くわしたときは徹底的にリサーチするし、アーカイブしなきゃと思ってしまう」という彼の話には、確かにモノへの情熱と気概を感じるけど、続けて「そうじゃないと、情報がないままに、大切な何かが独りでに消えてしまうから」という言葉が意味深だ。実際にあれこれと見せてもらって思った。その「大切な何か」っていうのはもしかすると、何かを自分が心から好きになったからこそ見いだすことができる、自分だけの新しい価値や解釈なのかも、と。そしてそれは、他人にわからなくてもいいのかもしれない。ジョシュも時々、「自分にしかわからなくたっていい」みたいな顔して自信満々に説明してくれていたし。

リビングの壁には4台の〈KLEIN〉や、〈Ritchey〉など、クロモリオンリーで合計11台がかかっていてそのバイク愛は桁外れ。奥の棚やクローゼットはコレクションでいっぱいで、このリビングはまさに彼の心臓部。この日のスタイルはスウェットの上にバイクジャージを重ねるジョシュのスタンダード。バイクジャージはBMXで伝説とされる〈HUTCH〉の'80s、オフィサーパンツは英国軍の'60s、キャップは〈LQQK Studio〉、って感じ。

Profile

ジョシュ・マシューズ｜1984年、テキサス州生まれ。〈COMMA〉では服作りをはじめ、NYの気鋭の家具屋『Lichen』と〈LQQK Studio〉の事務所でインスタレーションを行うなど、多彩に活動。

photo: Akira Yamada　text: Shimpei Nakagawa

これはおまけ。〈BENETTON〉ベアは友人がくれて、右は〈Reebok〉と〈COMMA〉のコラボプロジェクトで製作。

10 Rolex T-Shirt

“ローリーT”が、マイ・スタンダード。

「ローリーは大好きだし、顧客へのギフトとしてTシャツをどんどん作るその気概も最高だよね」と、見かけるとつい買ってしまうという〈ROLEX〉のヴィンテージTシャツ(“ローリー”はブランドの愛称)。なかでもお気に入りは、「白鳥が並んでいるだけで、一見しただけではローリーだとわからないところがいい」という中央・下の一着。左上と右下は、'90年代に〈ROLEX〉が主催していた大学生の全米テニス大会の記念品。大切に2枚持ち。

1980年より2年に1度開催しているヨットレース「ROLEX SWAN CUP」の'93年の記念品。

正直、風をガンガン通してしまうため、インナーにシェルジャケットはマスト。NYの冬は厳しい。

09 Outer

重要なのは、バイクに乗りやすいか否か。

好きすぎて毎日のように着てしまう〈LQQK Studio〉のものや2000年代の〈Patagonia〉の「Classic Retro Cardigan」など、スウェットと相性の良いフリースが冬の定番で、'90sのカナディアン・エアフォースのフライトジャケットは「いつもとは気分を変えてくれるスーパーサブ」。暖かさ以上に動きやすさを求める、ハードな自転車乗りらしいチョイス。

雑にも見えるが(笑)、すべて大切に畳んで収納。一目で判別できるから、クリアケースを使うのが重要。

〈BMW〉のMエンブレムは2個持ち。〈LAND ROVER〉などカーエンブレムは大好物。

〈LQQK Studio〉が定期的に出すピンズは、全シリーズコンプリート。友情を感じるね。

12 Pins

無意識に集めてできた自分の趣味と感性の縮図。

バイク、車、時計と、好きなモノに関連したピンズたち。「こればかりはデイリーワークのように集め続けて、気がつけば同型同色の複数持ちは当たり前になった」。ドイツの自動車用音響機器メーカー〈BLAUPUNKT〉のもの(右の上から2番目)や、〈USPS〉(米国郵便公社)のサイクリングチームのグッズ(黄色いシャツ型のもの)なんかは、誰ともかぶらなそうだね。

11 Bike Jersey

なくてはならない、日々のユニフォーム。

「この服のレイヤードは俺のアイデンティティ。200着は持っている」というコレクションからグラフィカルな3点を引っ張り出してくれた。一番のお気に入りは左の〈KLEIN〉で、BMXライダーであり、MTBクロスカントリーシーンで活躍したTinker Juarezが所属していた'93年のチームジャージ。その他2つは「ブランド不明なんだけど、デザインがヤバイ」とチョイス。スリフティングのモノもあれば、その筋の人を通じて選手から直接買うこともあるってスゴくない!?

14 Other Style Sample

愛車に腰掛け、「俺がまさか〈PRADA〉を着ているなんて、誰も思わないだろう？　そうわからないように着るのがいいんだ」と、〈PRADA〉のインサレーションシャツに、2011年に閉業したディスカウントストア『Filene's Basement』のスタッフ用スウェット、ワークブーツみたいな形が好きなヴィンテージの〈Vasque〉「Skywalk」を。

「その日に何を着るかは、どの自転車で何をしに行くかで決める」というのがポリシーのひとつ。毎日動きやすさを意識していて、こちらは前述のフライトジャケットに、ワークウェア中心の庶民派ブランド〈WEAR GUARD〉の'90sのインサレーションシャツ、〈カーハート〉の'90sのアメリカ製パンツと〈COMMA〉のTシャツ、キャップ。

「これも一緒に撮ったらいいよ」と置いた、ピンズ入れにしている自転車ペダル〈TIME〉のケース。

13 Watch

ファミリーで代々使っていきたいものもある。

左から、〈ROLEX〉のサブマリーナーと、〈SEIKO〉の海外で限定展開されるネイビーボーイ。「かなりシンプルな理由だけど、俺は海が大好きで、だからダイバーズウォッチに自然と引き寄せられるのは仕方ない。その上で、腕時計は長く使える定番がよくて、ゆくゆくは子供に引き継ぎたいと考えてしまうよね、やっぱり」。その右は日常用だという、友達にもらった〈SUUNTO〉の「X-lander」と、〈G-Shock〉の「5600」。

見た目はポルシェ「911」だけど、'70sで最高速度255.3km/hのスーパーカー。

「『“目には目を”はよいことではない。でもまぁおあいこだよね』って意味のフレーズがお気に入りなんだ」

05 Sweatshirt

取っておきたくなるのは、自分自身を表せるもの。

「ほぼ毎日着るから重要だ」と語るスウェットは、徹底して自分自身に関連するものをセレクト。上の中央の一枚は、自身の故郷・テキサス出身のラップグループTrinity Garden Cartelのプート。実在するTrinity大学のカレッジスウェットに「Garden」と「Cartel」の文字を両腕にスクリーンプリントして作ったそうだ。「俺にとって、自転車は“鉄の馬”なんだ」と下の中央に置いたのは、フロリダ州で毎年開かれる有名なバイクの集会『Iron Horse Saloon』の'97年のマーチャンダイズ。チャリへの愛は、'90年代の〈KLEIN〉や〈Bridgestone〉からも伝わるね。右下のものはマサチューセッツ州にある老舗バー「The Black Dog」が作るグッズで、スタンドカラーが印象的。

'90sのもので、厚手の生地も好み。「俺って、見た目も中身も“Black Dog”な気がする」

棚の2段目の封筒の中身がジョシュの宝物。撮影できたごく一部も手袋必須でお取り扱い。

06 Catalog & Advertisement

本当は誰にも見せたくないインスピレーション源。

「創作のためのリファレンスとして、ブランドやメーカーの昔の紙資料は貴重だから」と、希少なものを探したり、他の人が目をつけなそうなディテールをチェックして保存したり。上に広げたのは、チューニングメーカーとしても名を馳せ、同時にポルシェを基に独特な車を製造しているドイツのメーカー〈RUF〉が「911」をベースに作った車種「SCR」の'70年代のカタログ。車好きの情熱が燃えて、本社に頼み込んで取り寄せたそうだ。右下の〈NIKE ACG〉の'90sの広告は「〈KLEIN〉の自転車が使われているから」。左下の、アニー・リーボヴィッツが撮った'80sのAMEXの広告も同じ理由だけど、それ、セットの端だよね!?　目のつけどころがコアだなぁ。

盟友〈LQQK Studio〉のキャップはこれまでリリースされたほとんどを持っている。

たまたまスリフトショップで見つけた、自身のラストネームが刺繍されたもの。

FBIの最重要指名手配に挙がるが、特に黒人コミュニティにおいてその影響力は多大。

07 Cap

頭の上のことには、いろんなアンテナが立つんだな。

ジョシュは、会うとほぼ毎回キャップをかぶっているけど、それにしても1000個所有ってすごい。帽子については割と自由な視点・基準で楽しく選ぶみたいで、「値のつくヴィンテージの定番」という〈RALPH LAUREN〉の「POLO TENNIS」(中上)や「POLO YACHT」(同・右中)もあれば、「上質でかぶり心地がいい」というシンプルな評価の〈Patrik Ervell〉(中下)、イタリアの名門バイクメーカー〈Colnago〉(右下)、「ヨットは紳士の遊びなのに“HOOD(治安の悪い地元)”ってのが面白い」という〈Hood Yacht System〉(左中)、「閉鎖してしまった帽子工場の放出品の中からたまたま見つけた」というGoldman Sachs社の記念品(中央)など。

「どう並んでいるか、順番が重要だ」とこだわってサイズ・ジャンル別に積み上げたタワー。

08 Book

自分の人生に伴走してくれる本があるのは幸せだ。

左下は母からもらった、アメリカの最高級家具ブランド〈Baker Furniture〉のヒストリーブック。右上は「あなたを見ていると主人公のアレックスを思い出す」と中学の担任に教わった小説『時計じかけのオレンジ』。共に思い出深く、よく読み返すそうだ。イタリアの名門バイクメーカー〈Cinelli〉の歴史をまとめた一冊や、1905年の創業初期のモデルも事細かに描写しているという〈ROLEX〉のアーカイブ本はリファレンスとして重宝し、レーベル「Rap-A-Lot」を主宰するJames Princeの自伝本『The Art & Science of Respect』(本人からジョシュ宛てにサイン入り！)と社会活動家Assata Shakurの自伝は、黒人として生き抜く術を教えてくれるそう。

STYLE ICON 6

『ファイト・クラブ』のブラッド・ピット

「サングラスは〈オリバーピープルズ〉しか掛けない。クラシックなハリウッドスタイルで、イタリア製っていうのもよくて。ブラッド・ピットが『ファイト・クラブ』で3種類くらい着けていたのはクールだったよね」

STYLE ICON 5

ヴィンテージの服

「服の基本はヴィンテージ。〈チャンピオン〉のカラフルなリバースウィーブにフランネルシャツを重ね着するのが好きだし、ハワイアンシャツは冬でもセーターのインナーに着たりする。'80sや'90sのバンドTは特に力を入れて集めていて、色のあせ方とか、穴のあき方、ボクシーなフィット感も好きだし、シングルステッチのディテールもいいなと思ってる。イーストビレッジにある『Metropolis』はバンドTを買うのにおすすめで、『Dinosaur Jr.』のも『AKIRA』のもそこで見つけたよ」

STYLE ICON 7

カート・コバーン

「この写真のカート・コバーンはジャックパーセルを履いているけど、'80年代のオールスターは最強！　できるだけ違う色のものを集めているんだ」

STYLE ICON 9

サーストン・ムーア

「『ソニック・ユース』のサーストン・ムーアがファッションでのスタイルアイコン。オックスフォードシャツか〈ラルフ ローレン〉のゴルフポロを着てギターを奏でている姿が最高に好き。カジュアルでアカデミックなパンクスタイルなんだ」

STYLE ICON 8

ライアン・マッギンレー

「ポケットに入るから『Yashica T4』で撮影してたんだ。トイカメラって感じだけど、ドイツのレンズが搭載されていて光を本当にちゃんとキャッチするんだよ。ライアンも初期の頃このカメラでよく撮っていて、それに影響されて買ったんだ」

STYLE ICON 10

『タクシードライバー』のロバート・デ・ニーロ

「ミリタリーものはどんなものでも好きで、最近はこのM-65ジャケットを買ったよ。『タクシードライバー』から出てきたような気分になれるしね(笑)。あとは、リップストップ生地のトロピカルカーゴパンツもお気に入り」

してた。このときからスケートに興味があったから、着るものは近所のモールのスケートショップのものだったんだ。〈ブラインド〉〈ショーティーズ〉〈ワールドインダストリーズ〉などで、ほぼクローゼットの中が占められていたくらい。

今は、全体的に色味を気にするから、カラフルなニットをよく着ているよ。特に〈アクネ ストゥディオズ〉のものが好きで毎年買っているけど、毎回サイズが小さい気がして、1サイズ大きめを買い続けてる(笑)。デニムは私のDNAに確実に入っている感じ。だって母が〈リーバイス〉で働いていたんだもの。上下でデニムスタイルをする場合は映画『Badlands』(地獄の逃避行)のマーティン・シーンのようにしなきゃね。総合的には、「ソニック・ユース」のサーストン・ムーアのスタイルが好きかな。音楽とは真逆のプレッピーなスタイルをしているのがよくて。ギャップって大切だよね。

1: Getty Images 3: Everett Collection/Aflo 4: ©Allstar/amanaimages 6: Everett Collection/Aflo 7: ©Credit Hugo Dixon_Idols/amanaimages 8: Shutterstock/Aflo 9: Retna UK/Aflo 10: Everett Collection/Aflo

あの人のスタイル。

My Style Icon Archive

アイコン・アーカイブ。

誰しも、現在のスタイルに行き着くまでには、様々な影響を受けては、自分って人間を見直しているのだよ。

STYLE ICON 4

『トップガン』のトム・クルーズ

「ヴィンテージショッピングが好きなんだ。前に買った〈アルファ インダストリーズ〉のB-15フライトジャケットもそんなノリで買ったよ。着たら『トップガン』気分だし、当時の着方なんかも結構いいよね」

STYLE ICON 1

バム・マージェラ

スケートボードシーンのレジェンドのひとり。グレースがハマったMTVのTVショー『Viva La Bam』は、街中でやりたい放題やりまくる『CKY』(スケート色強め)、『jackass』(おバカ番組)の後継。

STYLE ICON 2

おじいちゃん

「祖父はライフスタイルのインスピレーション。建築家でNYではジャズの演奏もしたことがあって、ミッドセンチュリーのデザインにも詳しかったの。この〈ハーマンミラー〉のロッキングチェアも受け継いたんだ。インテリアと私の服装のテイストって真逆だよね」

STYLE ICON 3

『地獄の逃避行』のマーティン・シーン

「マーティン・シーン演じるキットはジェームズ・ディーンに憧れているからデニムの上下なの。デニムパンツは股の周りが色落ちしていて線が入ったようになっている“タイガーストライプ”が入ったものを探してるんだ」

Grace Ahlbom

Photographer

グレース・アルホム｜1993年、サンフランシスコ生まれ。写真家。「プラット・インスティテュート」で写真を学びながら、ライアン・マッギンレーのアシスタントに。神保町好き。

上着の「パブリック・ネミー」もの。

スウェットパンツは〈シュプリーム〉。

〈ビルケンシュトック〉のボア付きの「ボストン」。

ソックスは日本で買った〈キャピタル〉。

とにかくバムが刺激的だった。すべてを真似していたくらい！

正直、コロナになってからあまり自分の格好を気にしなくなったけど、今日はいているようなスウェットパンツがこの冬のスタイルかな！　これは〈シュプリーム〉。クラシックなアメリカンアイテムが好きだけど、実は日本でたくさん買っているってのがおかしいよね。

私がスタイルという点で最初に影響を受けたのは、スケーターのバム・マージェラ。中学生の頃に、彼のTVショー『Viva La Bam』に夢中で、今でも全部のDVDを持っているくらい(笑)。たいがいゴスなスタイルなんだけど、特にホットピンクと黒の組み合わせが好きだったなあ。彼が宣伝するものはほぼ持ってたよ。〈アディオ〉のスケートシューズ、〈エレクトリック〉のサングラス、所属してた〈エレメント スケートボード〉のものとかね。今でも〝バム〟が私のスタイルのベースにはあると思ってる。

7歳くらいから写真には興味があって、父に使い捨てカメラを買ってもらっては、自作のジャンプ台でスケートしている友達を撮って、現像して、フォトアルバムに入れて、ステッカーでデコレーション

photo: Akira Yamada (Grace), Linda Schaeffler (Isolde), Jack Orton (Stephen), Naoto Date (Kagami), Wataru Kitao
coordination: Momoko Ikeda (Grace), Takaaki Miyake (Stephen)　edit: Tamio Ogasawara

STYLE ICON 1

曾祖父の作った トースティングフォーク

「小さい頃に祖母の家に遊びに行くと、いつもこれの話をしてくれたんだ。僕が生まれるだいぶ前だからよくわからないけど、曾祖父はエンジニアだったらしい。柄のところも美しくデザインされているよね」。自身の中にあるデザインやクリエイティブのルーツともいえる、家族とのつながりを示す大切な一品。

Stephen Mann

Stylist

ステファン・マン｜1984年、イギリス・ケント生まれ。スタイリスト、クリエイティブコンサルタント。スニーカーはある期間ハマったらずっと同じものを履き続けるタイプ。

キャップはNYの〈NOAH〉のもの。

昔買った〈タカヒロミヤシタザソロイスト〉のスカーフ。

週3日は着ている〈オーラリー〉のセーター。

NYの〈エメレオンドレ〉のTシャツ。

大阪発の〈サムライジーンズ〉のデニム。

〈ニューバランス〉と〈JJJJound〉コラボの「992」。

STYLE ICON 2

宮下貴裕

「〈ナンバーナイン〉の2008AWと2009AWのコレクションは特にお気に入りだよ。毎シーズンパリに行くと、最初に訪れるのがタカヒロのショールームだったんだ。ハットは〈TAKAHIROMIYASHITATheSoloist.〉で、NYのアーティストのShin Murayamaによるもの。リビングに置いてあるよ」

STYLE ICON 3

UNDERCOVER 2008AW

「ジュン（高橋盾さん）には数回会っただけだけど、このシーズンのアンダーカバーは印象的なコレクションだったから覚えている。ロックダウン中に屋根裏で見つけて、素敵なルックブックなので引っ張り出してきたんだ」

STYLE ICON 4

アウトサイダーたち

「スケートボードや音楽にどっぷり浸かってきたわけではないし、カルチャーの人間でもないから、自分のトーンを持っている人に憧れはある。ラリー・クラークは好きな写真家だし、日本の不良を撮った写真集も好きな一冊。Brian Willsherというイギリス人アーティストの作品も好きで、彼も作家としてはアウトサイダーだったと思う。リハビリの一環としてこれらを作っていたからね」

僕の場合は着心地のいいものを毎日同じように着るだけなんだ。

僕のスタイルを一言で言うと〝つまんない〟かな（笑）。クオリティがよくて普遍的で、ずっと着られるようなアイテムが好きだから、今日着ているような〈オーラリー〉のセーターを繰り返し着ているんだ。その代わり、好きなものを見つけたらとことん着る。着心地が同じようなものを選んでしまうし、いい気分になれる服に袖を通したいからね。

10代後半から20代前半までは、スニーカーカルチャーは辿ってきたけど、ある特定のサブカルチャーのコミュニティに属することはなかったんだ。傍観者的な存在だったし、社交的でもないから、遠くから自分の好きなものをひたすら見つけていた感じかな。ケントの郊外に住んでいて、『The Face』や『i-D』を読んだりしていたけど、むしろそれしかなかった。雑誌を読むことが唯一、外の世界とつながっているような気がしたよ。カルチャーなんて存在しないような街だったし、僕が好きなファッションは受け入れも、共感されもしなかった。だから、正直に言うと、スタイルアイコンは特にはいないんだ。ストリートで最高に格好いいやつがいたら、そいつが何をしていて、何を着ていて、どこでそれを買ったのかを聞いていたね。映画に出ている誰とか、特定の個人でなくて、もっと広い範囲の意味で〝人〟に興味があったんだ。

とはいえ、ある意味影響を受けたのは、タカヒロ（宮下貴裕さん）かな。〈ナンバーナイン〉の頃から知っているけど、彼のコレクションを見るたびに、僕の見聞や興味の幅が広がっていったんだ。強い美学を持っている彼と出会えたのは幸運だったし、ひとりの人間として、こんなふうになりたいと思わせられた。あと、会ったことも同じ空間にいたこともないけど、ステファノ・ピラーティは知っている男の中で一番格好いいと思っている。〈サンローラン〉でのコレクションも好きだったけど、彼の個人的なスタイルの強烈なファンでもあるんだ。

STYLE ICON 5

カラフルなもの

DAISUKE YOKOTAの写真集も、「エコパークポタリー」の陶器も、フラワーアーティストの東信のクリスタルのオブジェも、カラフルな色味のものが好きなんだ。

STYLE ICON 3

ピーター・ズントー

「ズントーは建築物の周りにある岩や川の石などの素材を生かしてコンテンポラリーと融合させています。私も〈ポリプロイド〉で行っているように、ヨーロッパの生地はドイツ生産、日本の生地は日本生産と、マテリアルの近くでものづくりをしたいと考えるようになりました。建築だと『ブラザー・クラウス野外礼拝堂』が好きですね」

STYLE ICON 2

ゴードン・マッタ＝クラーク

「建物を買い取って、切ったり、穴を開けたり、ずらして、そのまま展示したのがゴードン・マッタ＝クラーク。今までになかったことだし、ちょっとの視点を変えることでそれができるというのは、すごいことですよね」

Conical intersect, 1975

STYLE ICON 1

お父さん

「クラシックでエレガント。ヴィンテージの軍ものに、〈リーバイス〉のデニムパンツを組み合わせて、'60年代、'70年代のスタイルをやっていました。本当はこれよりももっと格好いい写真があるんだけど見つからなくて(笑)」

STYLE ICON 4

エディ・ヴェダー

「『パール・ジャム』は、最初は音楽から入って、そのラフな格好も好きになったわ。エディ・ヴェダーのヴィンテージのジャケットに、ミリタリーパンツをはき、ハイカットのスニーカーやヘビーブーツを合わせている感じとかね」

Isolde Auguste Richly

Fashion Designer

イゾルデ・オーギュスト・リッチリー｜ドイツ生まれ。〈ポリプロイド〉デザイナー。服の着方は、その日の気持ちが上がる一着を選んで、あとはシンプルにコーディネート。

〈ポリプロイド〉のリネンジャケット。

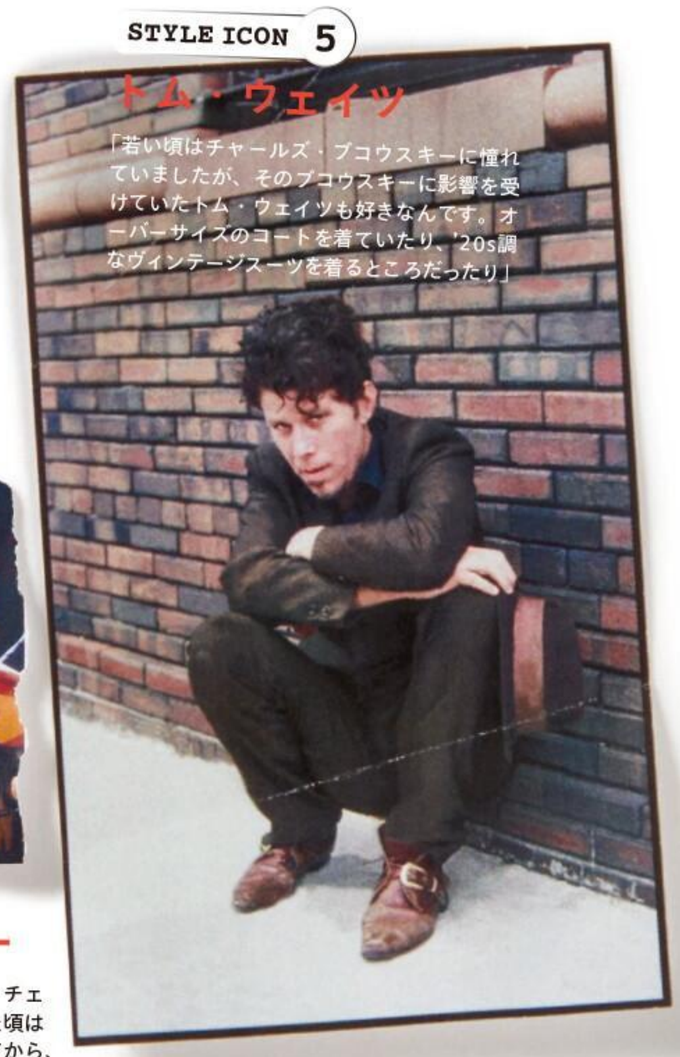
ヴィンテージTシャツを自分で墨染め。

ブーツは〈キャロル クリスチャン ポエル〉。

STYLE ICON 5

トム・ウェイツ

「若い頃はチャールズ・ブコウスキーに憧れていましたが、そのブコウスキーに影響を受けていたトム・ウェイツも好きなんです。オーバーサイズのコートを着ていたり、'20s調なヴィンテージスーツを着るところだったり」



Felt Suit, 1970

STYLE ICON 8

ヨーゼフ・ボイス

「ボイスを理解するのは難しいといわれているけど、マテリアルが重要かな。作品は脂肪やフェルトなどを使って社会を彫刻していたんだと思います。私の場合、服の素材を選ぶときにボイスの考え方がヒントになっているんです」

STYLE ICON 7

ブラント・ビョーク

「元『カイアス』のブラント・ビョークは、現代のミュージシャンなのに、スタイルは'70年代ミックスで、いまだにその格好でいるのが最高で。ヴィンテージのミリタリージャケットも着ていたりしているイメージです」

STYLE ICON 6

レイン・ステイリー

「レイン・ステイリーが『アリス・イン・チェインズ』をやる前のグラムロックだった頃は全然好きじゃなくて。グランジになってから、服に興味がなくなったような感じで逆に格好よくなったわよね」

ヴィンテージ好きの父と、現代アートのマインドから。

根本的な私のスタイルは、どことなくスティーブ・マックイーン似の父の影響が強かったと思います。まったく女性扱いをされずに育ちましたからね(笑)。父はアウトドア好きで、山に行ってはタフな道を延々と歩かされたり、何か家のものが壊れたら、ドリルを使い、電気系の修理まで私にやらせてくれていたんです。ティーンエイジャーの頃は、父が集めて着ていたヴィンテージの軍ものや〈リーバイス〉などのデニムをこっそりよく着ていました。父のものだから、着方はオーバーサイズ。母には止められていたし、通っていた中学は保守的な学校でしたので、からかわれたりもしましたが、このときに私のスタイルが出来上がったんだと思います。写真もあったんだけど、どこにいったのかしらね。

年頃にはグランジの自由なフィーリングに影響を受けました。「パール・ジャム」のエディ・ヴェダーのスタイルとかね。お洒落を気取ってコーディネートしていなくて、あくまで自然体で、完璧にマッチさせてないのがいいなって。音楽はずっと聴いていたんだけど、当時はどんな服装をしているのかの手がかりが少なくて、24歳くらいのときに初めて見た目を知ったのですが(笑)。

高校時代はアートの学校に通い、プロダクトデザインを学んでいました。その頃からの素養があったと思いますが、建築家のピーター・ズントーや現代美術家のヨーゼフ・ボイス、ゴードン・マッタ＝クラークなどにも影響を受けています。彼らの場合は、服装うんぬんじゃなくて、マテリアルに対する考え方や、物事の切り取り方、視点のずらし方などをとおして、私を形作るものの一部となったと思っています。ローカルのものを使って、生かして、現代的にコンバインドさせてみたりね。もちろん、彼ら自身のスタイルは格好いいけど、もっと内側から磨いていかないと、自分らしいスタイルって身に付かないって思うんですよね。

2: ©2020 Estate of Gordon Matta-Clark/Artists Rights Society(ARS), New York & JASPAR, Tokyo G2413 Harry Gruyaert/Magnum Photos/Aflo 3: akg-images/Aflo, ©Zoonar/Welling/amanaimages, ©Alamy Stock Photo/amanaimages 4: Getty Images 5: Getty Images 6: Getty Images 7: Hirohito Okayasu 8: ©VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2020 G2413 ©Bridgeman Images/amanaimages

All Japan Snap!

今年の冬はみんなどんな服着てる?

日本全国8都市でシティボーイたちのスタイルサンプルを収集すること173人。ぼんやり眺めているだけでも面白いし、レザージャケットが着たくなった!

今吉星七 18
学生 福岡

- Sweatshirt – Sud Sud Ouest
- T-Shirt — Hanes
- Pants — Sud Sud Ouest
- Shoes — New Balance
- Bag — Uniqlo

「『ポパイ』を読んで買ったんですよ!」というスウェットのセットアップは近所の散歩から学校の授業まで、スタンダードスタイル。

篠原大輝 22
学生 京都

- Coat — Lemaire
- Sweater — Uniqlo and JW Anderson
- T-Shirt — Uniqlo
- Pants — Hi Fi Fnk
- Shoes — Converse

『KYOTOGRAPHIE』に感動して、同写真祭の常設スペース「DELTA」まで、滋賀からバイト通い。今日は素材違いの黒で統一。

窪添晃希 21
学生 松山

- Jacket — FTC
- Sweatshirt – Noroll
- Pants — FTC
- Shoes — Clarks Originals
- Hat — Noroll

アウトドア感の強いはっきりしたデザインのジャケットをどう街に馴染ませるか。ベージュのハットをかぶって試行錯誤中。

エリオット・ジョンソン 27
焙煎士 札幌

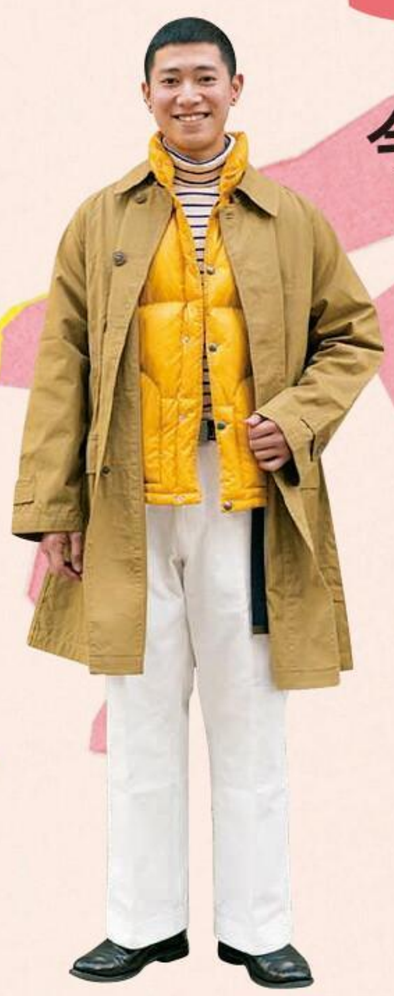
- Jacket — Wewill
- T-Shirt — Nike
- Hoodie — Bodhi × Maw
- Overall — Blurhms
- Shoes — Nike

『BARISTART COFFEE』の焙煎所で働くエリオットくん。「『エアフォース1』は僕の定番」と、この日も真っ白な一足で。

牧 稜太郎 21
山庄 スタッフ 福岡

- Hoodie — Apple Butter Store
- Pants — Dickies
- Shoes — Dc Shoes
- Apron — Alltimers

「『Apple Butter Store』の知人が作ってくれたパーカは僕にとって厨房のユニフォーム」。働くときも自分らしさを出したいものだね。



大塚素太 20
ビートメイカー 東京

- Jacket — Challenger
- Hoodie — Gildan
- Pants — Carhartt
- Cap — Vans
- Accessory — Mexican Coin

「ジャケットには縁あって手にしたピアスをピンズ代わりに刺しています」。シンプルな装いには、さりげないシルバーのアクセントを。

岡 龍亮 15
学生 東京

- Polo Shirt — Polo Ralph Lauren (used)
- Pants — Dickies (used)
- Shoes — Adidas
- Cap — Lacoste
- Skateboard — Baker

松浦瑛司 15
学生 東京

- Shirt — used
- T-Shirt — used
- Pants — Dickies
- Shoes — Converse
- Skateboard — Fucking Awesome

児玉柊太朗 13
学生 東京

- Jacket — New Balance
- Hoodie — used
- Pants — Dickies
- Shoes — Nike
- Skateboard — Wknd

東江 漠 27
Beams Street Umeda スタッフ 大阪

- Coat — Beams
- Sweater — Beams
- Pants — SSZ
- Shoes — Salomon × Beams
- Eyewear — Decomp

タートルネックセーターのパキッとしたオレンジを差し色に。それにしても、「ビームス」のスタッフってすぐにわかるよね。

桝永雅貴 23
Pres Trace Ink スタッフ 熊本

- Jacket — Jordan Brand
- Pants — Supreme
- Shoes — Birkenstock
- Cap — Yankees

「NYにいる人がスタイルアイコンです」。スウェットパンツはマーク・ゴンザレスデザイン。柄物をどう着こなすかが熊本スタイル。

小田一磨 23
Beams Kobe スタッフ 神戸

- Coat — Buzz Rickson's
- Down — Sierra Designs × Beams Plus
- Pants — Beams Plus
- Shoes — Sanders
- Belt — Rowing Blazers

コートの下に着たどこか懐かしいダウンのイエローも、パンツのホワイトも、冬でも爽やかなスタイルがよく似合う。笑顔も眩しい。

illustration: Taku Bannai photo: Naoto Date (tokyo), Yutaro Tagawa (tokyo), Naoki Harada (sapporo), Makoto Ito (kyoto), Masuhiro Machida (kyoto), Hironobu Iwamoto (osaka, kobe), Wakana Ono (matsuyama), Hisatomo Eto (fukuoka, kumamoto), Ittoku Kawasaki (fukuoka) text: Koji Toyoda, Ku Ishikawa, Minori Kitamura, Nozomi Hasegawa, Shintaro Kawabe edit: Tamio Ogasawara

STYLE ICON 1

子供時代の自分

「談志と同じ帽子をかぶって、ザクロを食べていますね。祖父のお葬式のときの写真なんですが、後ろは喪服姿ですからね。こんな帽子かぶって(笑)。プロゴルファー猿に完全に影響を受けている写真もありますね。スウェット上下にソックスインスタイルです」

Ken Kagami

Artist

加賀美 健｜1974年、東京都生まれ。現代美術作家。『ストレンジストア』も手掛ける。頭の中は派手だけど、服は普通が好み。下半身は〈無印良品〉にお世話になっている。

STYLE ICON 2

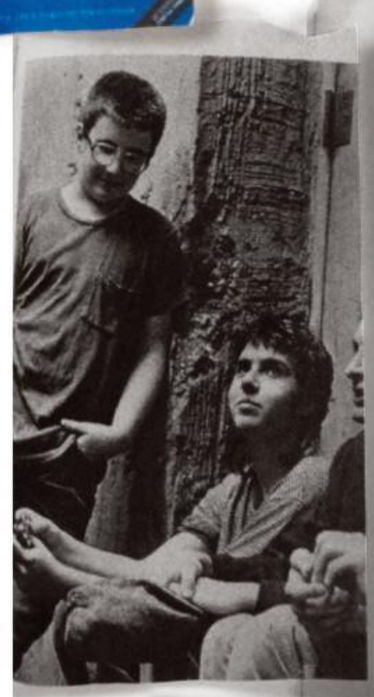
'80年代の雑誌

「今、よく買っているのが、当時は買えなかった'80年代の雑誌です。『スタジオボイス』の表紙の広告クリエイターの川崎徹さんなんて手にウンコ持っていますからね。ここ1、2年で'80年代のCMやコピー、インタビュー記事といったものが気になり始めています」

STYLE ICON 3

パンクバンド写真集の観客

「あくまで視点はお客さんに向いちゃいます。ジャケット着ているけど、スニーカーにハットのおじさんが、若者のライブに交じっていたり。ポケTに眼鏡の子はダサくていい感じだし、パンツみたいのかぶっている人もいたり」



STYLE ICON 4

サンフランシスコ

「2000年から2001年の9.11アメリカ同時多発テロのちょっと前までサンフランシスコに住んでいました。現地の若者のスタイルにやられて、〈ディッキーズ〉に手を出していましたね」

STYLE ICON 5

キー・ホイ・クァン

「小学生の頃のヒーローで、まさにスタイルアイコン。音楽とか映画には影響を受けたつもりはないのですが、キー・ホイ・クァンだけは別ですね。同時に出た特集本も持っていますよ」

STYLE ICON 6

忌野清志郎

「スタイリストのアシスタント時代に一度やり取りしたことがあって、ホテルの部屋に衣装を取りに行ったら、ちょうどシャワーを浴びてて、声を掛けたら、『そこに置いてあります』って、超キレイに服が畳んであったんです。すごくきちんとした方で、その上での『ザ・タイマーズ』なんだなって思いました」

小学生の頃に出合っていたものにあらためて影響を受けています。

ここ10年くらい、冬は毎日こんな格好をしています。N-3Bに、黒のスウェットとTシャツを着て、デニムパンツから黒いソックス、ベルト、下着までは〈無印良品〉。靴は汚ければ汚いほうがよくて、ほぼ白の〈ヴァンズ〉の「オーセンティック」。小学生の頃から『イトーヨーカドー』でUSA製の〈コンバース〉などを買っていましたが、大人になってもアメリカのスーパーでスウェットやTシャツを買うのが大好きです。N-3Bはアメリカのグラフィティーライターが着ていた印象で、住んでいたサンフランシスコだと若者がペンキとか付けたまま羽織っていたのが格好よくて。現地では上下〈ディッキーズ〉の作業着を着てライブを観に来るような人たちばかりを見てたかな。ピタッと小さいの着てすごく似合ってた。だからいまだに、パンクバンドの写真集を見ても、イアン・マッケイとかを見るんじゃなくて、客の服装に目がいっちゃう。でも、高校のときは渋カジブームで〈L.L.ビーン〉のダウンベストに〈レッドウィング〉のブーツを履いたり、専門学校のときは〈ヴィヴィアン・ウエストウッド〉のハットをかぶったりと、ちゃんとブームには乗っているんですよ(笑)。

最近だと、小中学生の頃に横目でチラッと見ていたようなもの、潜在的に影響を受けていたものに、あらためて興味があるんです。立川談志、ビートたけし、タモリ、志村けんといったところで、ファッションはもちろん、スピリットも。小4くらいの祖父のお葬式のときの写真(右上)なんですが、この帽子って当時談志がかぶっていたものと同じもの。杢グレーのスウェットにポロシャツの襟を出して着ていたり、スウェットパンツをソックスに入れたりと、写真にあるような子供のときのスタイルを今パクってやっています(笑)。自己模倣です。『グーニーズ』のキー・ホイ・クァンのスタイルにもめちゃくちゃ影響を受けていましたが、意外と普通の服が好きでしたし、今でもそれは変わっていないんです。

5: © Mary Evans/amanaimages

EURO MILITARY

アメリカじゃないミリタリーってどう？

ミリタリーはミリタリーでもヨーロッパものというのは、軍ものなのに品があって、普段の服としても違和感がない。

5 西園颯斗 22
建設業 ／ 東京

- Coat —— US Military (used)
- Hoodie —— used
- Pants —— French Military
- Shoes —— Timberland
- Skateboard – Fucking Awesome

「'90sのヒップホップカルチャーが好き過ぎて、全体のシルエットはゆったりさせちゃうんです」。カーゴパンツがフレンチだね。

4 松澤涼介 25
アパレル店スタッフ ／ 東京

- Jacket —— used
- Sweater —— used
- Pants —— British Military
- Cap —— Phigvel
- Boots —— Omar Afridi

古着屋で働いているのに古着っぽくないアイテム選びが好きだという松澤さん。スコットランド軍のセレモニーパンツが、まさにそれ。

3 山崎涼平 20
学生 ／ 東京

- Coat —— French Military
- Shirt —— Brooks Brothers
- Pants —— Netherlands Military
- Shoes —— Clarks Originals
- Tie —— Pierre Cardin

BDシャツとニットタイに、国をまたいだ2か国のミリタリーものを合わせていても、やっぱり軍ものって感じがしないのが不思議。

2 宮舘 大 22
PIZZA SLICE スタッフ ／ 東京

- Jacket —— Swedish Military
- T-Shirt —— used
- Pants —— used
- Shoes —— Paraboot
- Belt —— Hender Scheme

メゾンブランドのものと見まごうほどキレイなショートブルゾンは頻繁に通うという『中田商店』で見つけたスウェーデン軍のもの。

1 矢坂大地 20
学生 ／ 東京

- Coat —— Burberry (used)
- Shirt —— Brooks Brothers
- Pants —— French Military
- Shoes —— Kleman
- Belt —— Tory Leather

フランス軍のチノパンは、1952年に改良された後期モデル、通称M-52。「ツータックのワイドストレートシルエットが美しいんです」

10 矢野剛瑠 22
美容師 ／ 東京

- Coat —— Swedish Military
- Vest —— Stüssy (used)
- Pants —— Levi's
- Shoes —— Adidas
- Cap —— Clippers

クリッパーズのキャップをかぶったバスケ好きの矢野くん。この冬の相棒だというスウェーデン軍のスノーパーカをオーバーサイズで。

9 船越 拓 21
学生 ／ 京都

- Coat —— French Military
- Tops —— L.L.Bean
- Pants —— Dulcamara
- Shoes —— Troentorp
- Watch —— Hermès

'40sのモーターサイクルコートはベルトをギュッと絞ること。こんなエレガントなコートはフランス軍以外はなかなかないでしょ。

8 イトウタクミ 20
フォトグラファー ／ 東京

- Jacket —— French Military
- Sweater —— Polo Sport
- Pants —— used
- Shoes —— Nike
- Cap —— Goodenough

ユーロミリタリーは6着ほど持っているというイトウさんは、フランス軍がお好き。「デザインがよく、スラックスとも相性よしです」

7 嘉部晴章 24
学生 ／ 東京

- Jacket —— West German Military
- Sweatshirt - Champion
- Shirt —— Lacoste
- Pants —— Riccardo Metha
- Shoes —— Clarks Originals

レザーのフライトジャケットは'70年代の西ドイツ軍もの。「ジップにはスイスの〈riri〉が使われていたりと洒落ているんです」

6 野口倫太郎 26
会社員 ／ 東京

- Jacket —— Swiss Military
- Sweater —— C.E
- Jeans —— Levi's
- Shoes —— Blundstone
- Cap —— The National Skateboard Co.

「インナーやキャップにポップな柄を合わせて、ミリタリー臭が出過ぎないようにしています！」

DOWN JACKET

あらためて、シティなダウンジャケット。

確かにかさばるし、電車でも暑すぎるから敬遠してたが、軽くて、見た目にも暖かいって冬の最高の装いなわけで。

村松紺成 17
学生　東京

- Down Vest – used
- Jacket —— used
- Shirt —— Polo Ralph Lauren
- Pants —— Polo Ralph Lauren
- Shoes —— Clarks Originals

ダウンベストの下にはワークジャケット。まだまだ自由を謳歌する村松くんは高校生だ。憧れの人は？「アンディ・スペード！」

吉川隆成 23
家具職人　東京

- Down —— Eddie Bauer (used)
- Hoodie —— Russell Athletic
- Pants —— Dickies (used)
- Shoes —— Puma
- Hat —— Noroll

ダウンには珍しいプルオーバータイプは'80年代の〈エディバウアー〉。「『I&I』で見つけて、買わずにはいられなかったです」

小椋裕太 28
BILLY'S 福岡店 スタッフ　福岡

- Down —— The North Face
- Shirt —— Woolrich
- Pants —— Camber
- Shoes —— Gravis
- Hat —— Tento

今年の冬に密かに注目しているダウンコート。「パンツもコートに負けないようにボリュームがあるものを選んでいます」

與儀哲也 27
ミスタークリーン スタッフ　東京

- Down —— Gerry (used)
- Sweatshirt – Champion
- Pants —— US Army (used)
- Shoes —— Converse
- Cap —— New Era

アーミーチノはくるぶしでカットするのがこだわり。「丈が短いので、ボリュームのあるダウンコートがしっくりくるんです」

百武龍馬 21
Apple Butter Store スタッフ　福岡

- Down —— Noroll
- Hoodie —— Full Court Press
- Pants —— Noroll
- Shoes —— Stock No:
- Cap —— Pacs

「小学生の頃から、ダンスをするときも学校に行くときもオーバーサイズです」。〈ノーロール〉のダウンとはいいセンスだ。

灰野泰示 21
学生　京都

- Down —— Beams
- Shirt —— Polo Ralph Lauren
- Pants —— used
- Boots —— used
- Belt —— Workman

目を引くパンツはなんと鼓笛隊がはくもので、靴もなんとウェスタンブーツ。ダウンは「2サイズ上げてダウンコートっぽくです」。

若津基矢 27
Hotel Anteroom Kyoto スタッフ　京都

- Down —— Muji Labo
- Sweater — Polo Ralph Lauren
- Pants —— used
- Shoes —— Moonstar
- Scarf —— used

「見た目から暖かいのが好きなんです」とダウンジャケットに合わせたマフラーもダウン。ベルトに通した赤い手ぬぐいも見よ。

清野　拳 30
Beams Shinjuku スタッフ　東京

- Down —— Patagonia
- Sweatshirt – Warehouse & Co.
- Pants —— Beams Plus
- Shoes —— New Balance
- Eyewear — Moscot

〈パタゴニア〉にこんなクラシックな色味がありましたか。「内ポケットも大きく、軽いし保温性も耐水性も抜群。さすがなんです」

新堀大樹 23
Journal Standard Fukuoka スタッフ　福岡

- Down —— Willy Chavarria
- Cardigan — Nuna × Journal Standard
- Pants —— J.S Homestead
- Shoes —— Manebu
- Beanie —— Son of the Cheese

「コーチジャケットの形が好きで」というダウンは、前を開けて柄物のカーディガンが少し見えるくらいがナイス・チラリズム。

吉田圭吾 28
Super A Market スタッフ　東京

- Down —— Woolrich × Tomorrowland
- Shirt —— Dries Van Noten
- Jeans —— Bowery Blue Makers
- Belt —— Charvet
- Shoes —— F.lli Giacometti

今までダウンは着てこなかったという吉田くん。「スポーティすぎない形ですし、ダウンには珍しいキャメルカラーにやられまして」

竹村奈津子 25
Beams Boy Harajuku スタッフ　東京

- Down —— Sierra Designs × Beams Boy
- Sweater — used
- Shoes —— Clarks Originals
- Beanie —— Robert Mackie × Beams Boy
- Scarf —— Robert Mackie × Beams Boy

「〈ロバートマッキー〉別注の同柄のビーニーとマフラーがお気に入り！」。やっぱりダウンにはこういう温かみのある編み柄が合うね。

HAT STYLE in MATSUYAMA

松山で見つけたザ・ニューエイジ・“ハット”・クラブ。

ハット好きの店主の元に集まる人は、やっぱりみんなハットが大好き。

有原弘樹 23
整備士
- Jacket — used
- Sweatshirt — Creek Angler's Device
- Pants — Comfortable Reason
- Shoes — New Balance
- Hat — FTC

津吹大祐 24
会社員
- Jacket — Comfortable Reason
- T-Shirt — Voyage Utopia
- Pants — Comfortable Reason
- Shoes — Converse
- Hat — Passport

中田達也 21
会社員
- Coat — Comfortable Reason
- Shirt — used
- Pants — Noroll
- Shoes — Reebok
- Skateboard — Pass~port

藤原邦夫 29
会社員
- T-Shirt — Voyage Utopia
- Pants — Dickies
- Shoes — Adidas
- Hat — En Plein Air
- Socks — Whimsy Socks

重岡裕太 24
芸人
- Jacket — Patagonia
- Sweatshirt — En Plein Air
- Jeans — Polar Skate Co.
- Shoes — Clarks Originals
- Hat — Passport

小田悠介 20
学生
- Jacket — L.L.Bean
- Sweatshirt — Supreme
- Jeans — Carhartt
- Shoes — Vans
- Hat — Falconbowse × Jhakx

SHOP

THE NEWAGE CLUB

2019年オープンのセレクトショップ。店主の原口さんが好む、つばが短めのハットばかりが全8ブランド！ ○愛媛県松山市湊町3-10-6 ☎089·910·2153 12:00〜20:00 水休

原口聖矢 30
The Newage Club オーナー
- Jacket — Noroll
- T-Shirt — Voyage Utopia
- Pants — Whimsy
- Shoes — Converse
- Hat — Whimsy

菊池圭翼 27
酒店勤務
- Jacket — Noroll
- Sweatshirt — Whimsy
- Pants — Dickies
- Shoes — Last Resort AB
- Hat — Whimsy

石崎大記 25
The Newage Club スタッフ
- Jacket — Patagonia
- Sweater — Jhakx
- Pants — Stüssy (used)
- Shoes — Vans
- Hat — Rajabrooke

窪添晃希 21
学生
- Jacket — FTC
- Sweatshirt — Noroll
- Pants — FTC
- Shoes — Clarks Originals
- Hat — Noroll

本田一輝 22
会社員
- Jacket — Supreme
- Sweatshirt — Supreme
- Pants — Polar Skate Co.
- Shoes — Vans
- Hat — Noroll

BENCH COAT

コートはコートでもベンチコートで。

サッカー監督がよく着てるが、街でも意外と着れるのね。

内田 響 23
美容師 東京
- Coat — Nike
- Vest — Eddie Bauer
- Shirt — used
- Pants — Levi's
- Cap — used

シャツとニットベストの上にウールコートじゃなくてベンチコート。「黒のワントーンなら野暮ったくならないかなと思いまして」

若松優一朗 27
みかん農家 松山
- Coat — Le Coq Sportif
- Jacket — Cheap Monday
- Jeans — Levi's
- Shoes — Hamer's WholeSales × Car Service
- Cap — Los Angeles Dodgers

親父さんからもらったベンチコートのブルーに合わせてキャップはドジャース。「案外暖かいので、朝の犬の散歩の定番スタイルです」

田中 陸 25
俳優 東京
- Coat — Adidas (used)
- T-Shirt — Hanes
- Pants — Pendleton
- Shoes — used
- Socks — Maison Margiela

「3年前、冬のロケ撮影のために購入しました」という一着は仕事のとき以外にも普段使い。ちょっぴりモードな雰囲気すらある。

TAILOR MADE JACKET

かしこまらないけど、ちゃんとして見える。

ただキレイな格好をしたいわけじゃなくて、
普段の格好にテーラードジャケットを羽織りたいってだけ。

5 井上直哉 25
Tomorrowland PR 東京
- Jacket — Dries Van Noten
- Shirt — Tomorrowland
- Sweater — CABaN
- Pants — Studio Nicholson
- Boots — Crockett & Jones

「大きめのジャケットもダボッとしたパンツと合わせればバランスよく着られるような気がするんですが……、どうですかね？」

4 江崎裕支郎 25
会社員 熊本
- Jacket — Auralee
- T-Shirt — Comoli
- Pants — Descente ddd × Adam Et Ropé
- Shoes — New Balance

「ジャケットを着るときはフォーマル感を一切なくすようにしています！」。インナーにはフットボールシャツを合わせているな。

3 加藤太郎 26
Sowhat Vintage オーナー 東京
- Jacket — used
- Pants — Engineered Garments
- Shoes — Engineered Garments × Timberland
- Beanie — New Era

「街のおじさんがかぶっているのを見てポンポンビーニーが好きになりました」。いえいえ、ジャケットもとっても素敵です。

2 宮下 渉 26
家具職人 東京
- Jacket — Freak's Store
- Shirt — Polo Ralph Lauren
- Pants — Freak's Store
- Shoes — Converse
- Bracelet — Studebaker Metals

彼女とお出かけ中だった家具職人の宮下さん。インテリアデザインに携わる人はノーカラーが似合うってのは昔から決まっている。

1 小島 龍 24
L'échoppe 青山店 スタッフ 東京
- Jacket — Arc'teryx Veilance
- Sweater — LE
- Pants — Maison Margiela
- Belt — Jil Sander
- Shoes — Le Yucca's

「テーラードジャケットなのに〈アークテリクス ヴェイランス〉というのがポイントです」と小島さん。そういう外し方もある。

10 濱川璃久 20
学生 東京
- Jacket — Bergamo (used)
- Shirt — used
- Pants — Hermès (used)
- Shoes — Czech Military (used)
- Socks — Beams

「成人式で着たジャケットを普段使いしたくて」と柄シャツやフレアパンツを好きな'70年代のスタイルで統一。髪型も確かに'70s。

9 吉岡玲欧 27 東京
United Arrows & Sons スタッフ
- Jacket — United Arrows & Sons by Daisuke Obana
- Suit — United Arrows
- Shoes — Birkenstock
- Scarf — Hermès (used)

「このスーツは、少し飽きてきてしまったので裾を自分で切ったんですよね」。スーツをそんなふうに着る人って初めて見たかも！

8 紙屋和磨 22
会社員 福岡
- Jacket — United Arrows & Sons
- T-Shirt — Beauty & Youth
- Jeans — Levi's
- Shoes — Nike
- Beanie — New York Hat

米国生まれのブレザーに、〈ナイキ〉の「ジョーダン1」と〈リーバイス〉のデニム。「発祥の地に合わせて服を着るのがマイルールです」

7 石黒晴輝 23
L'échoppe 渋谷店 スタッフ 東京
- Jacket — Sun / kakke
- T-Shirt — Aubett
- Pants — US Military (used)
- Shoes — Le Yucca's
- Beanie — Yamaha

昔から古着ばかり着ているそうで、アメリカ軍のベイカーパンツにジャケットを合わせた。ベルトは弟さんのハンドメイドだって。

6 阿部 匠 21
Beams Fukuoka スタッフ 福岡
- Jacket — Beams
- T-Shirt — Goodwear
- Pants — Beams
- Shoes — New Balance
- Muffler — Beams

ポップな柄のマフラーを巻いたり、キーリングを付けてみたり。「ジャケットをとことんカジュアルに着るのが僕のスタンダードです」

URA-HARAJUKU

なんでそんなに裏原が好きなのか？

'90年代の原宿の裏のほうで起こった裏原文化。当時を知らない若者には新しいカルチャーなのだな。

裏原好きが集うのはオンラインの古着店『ブルールーム』。〈グッドイナフ〉に〈ア ベイシング エイプ〉もここで。

Shun 22
フォトグラファー

Jacket —— '80s L.L.Bean
Sweatshirt - '90s Neighborhood
Jeans —— '90s Stüssy
Shoes —— '00s Nike × Haze
Cap —— '90s Stüssy

コスプレをしたいわけじゃなくて、みんなその当時の古着が好きなだけ。〈ステューシー〉党で、デニムは毎日はくほどのお気に入り。

Hatsuki 24
Blue Room 共同オーナー

Hoodie —— '00s Undercover
Sweatshirt - '90s Subware
Pants —— '90s Vivienne Westwood
Shoes —— Wtaps × Dr. Martens
Cap —— New Era

当時の藤原ヒロシさんの格好には衝撃を受けたそうだ。スケシンさんのグラフィックが入ったスウェットにボンデージパンツで。

神仲アナン 19
トラックメイカー

Jacket —— '00s Fuzz Rez Zweep
T-Shirt —— '00s Undercover×Wtaps
Jeans —— Levi's 501 66
Shoes —— Nike
Hat —— Yagi × Kangol

スタジャンは、'00年代の伝説的バンド「ザマッドカプセルマーケッツ」のメンバーによるブランド。こんなのもあったのか。

葛西智裕 24
Blue Room 共同オーナー

Jacket —— '00s Transport
Shirt —— '90s Stüssy
T-Shirt —— '90s A Bathing Ape
Pants —— '90s Good Enough
Shoes —— Nike

〈トランスポート〉のスタジャンに、〈グッドイナフ〉のフライトパンツ。裏原の王道的組み合わせも、今は立派なヴィンテージだ。

JUN INAGAWA 20
漫画家

Jacket —— '90s Stüssy
Sweatshirt - Yagi
Jeans —— Levi's 501
Shoes —— Reebok
Gloves —— used

'90年代後半の裏原では〈ア ベイシング エイプ〉と〈ステューシー〉の二択だったデジタルカモ。JUNくんは〈ステューシー〉派だ。

SADMON 23
美容師

Jacket —— '00s A Bathing Ape
Sweatshirt - Uniqlo
Jeans —— '00s A Bathing Ape
Shoes —— Nike × Tom Sachs
Beanie —— '00s A Bathing Ape

カニエやファレルも愛した〈ア ベイシング エイプ〉をオーバーサイズで。'00年代初頭のNIGOさんのBボーイスタイルを信奉中。

JOY INAGAWA 20
モデル

Hoodie —— '90s Bounty Hunter
T-Shirt —— '90s Number (N)ine
Pants —— used
Shoes —— Nike
Wallet Chain — used

当時のスケートパンクスのような雰囲気のJOYくん。裏原のパンク担当〈バウンティハンター〉のスウェットパーカがお似合い。

田波 輝 22
I&I スタッフ 東京

Jacket —— used
Shirt —— used
Pants —— Levi's
Shoes —— Dr. Martens
Belt —— handmade in Jamaica

「レザージャケットは気が引き締まる」と田波くん。チラリと見えるラスタカラーのベルトがチャーミング。ジャマイカ製だって。

田坂桃之輔 19
学生 東京

Jacket —— Gap (used)
Hoodie —— Gap (used)
Pants —— Marithé + François Girbaud (used)
Shoes —— F.lli. Giacometti
Beanie —— used

「表革のジャケットだからラフに着たくて」と、シンプルなパーカを中に着て、パンツは太めに。ビーニーは深めに。

鹿内颯太 22
学生 東京

Jacket —— used
Hoodie —— Mossi (used)
Pants —— Ralph Lauren (used)
Shoes —— Red Wing (used)
Beanie —— Adidas (used)

「どんなものと合わせてもサマになる気がして、友達と遊びに行くときにはだいたいこれを着ています」。おっしゃるとおり！

森岡拓未 20
学生 東京

Jacket —— Taubers (used)
Pants —— Carhartt (used)
Shoes —— Dr. Martens (used)
Cap —— Disney (used)
Bike —— Eimei

「浅いキャップをかぶったり、淡いデニムはいたり、アメリカの田舎にいるおじさんをイメージしながらこのレザーを着ています」

LEATHER JACKET

いよいよ男らしくレザーを着るときが来た！

今回、日本全国を回ってみて気づいたのは、みんな自分らしくレザージャケットを着ているってこと。

渡邊真伊 21
学生　東京

- Jacket —— Burberry
- Shirt —— The Ad+
- Pants —— Name.
- Watch —— Grand Seiko
- Shoes —— Dr. Martens

ムートンジャケットは40年前にお父さんが購入したもの。「服を大切にする父から『着ていいよ』と言われたときは嬉しかったですね」

宮内洸生 22
学生　札幌

- Coat —— used
- Sweater —— used
- Pants —— Alvana
- Boots —— Clarks Originals
- Cap —— used

札幌の古着屋『Unplugged』でバイトしている宮内くんが着るのはスエードコート。「緑や茶で渋い雰囲気を出すのがマイブームです」

吉川透真 22
美容師　東京

- Jacket —— Eddie Bauer
- Pants —— Red Kap
- Hat —— Noroll
- Scarf —— used
- Bag —— L.L.Bean

帰省前とのことで〈L.L.ビーン〉のトートを携えて。動きやすく汚れも気にならない〈エディー・バウアー〉のレザージャケットも相棒。

上間龍太郎 23
飲食店スタッフ　東京

- Coat —— used
- Shirt —— Polo Ralph Lauren
- Pants —— Red Kap
- Shoes —— Vans
- Cap —— Mitchell & Ness

古着のラムレザーのカーコートをバサッと羽織ったスタイルは、「お父さんの服を借りたようなサイズ感がお気に入りなんです」。

善福湧太 22
I&I スタッフ　東京

- Jacket —— used
- Shirt —— used
- Pants —— Levi's (used)
- Shoes —— Clarks Originals (used)
- Tam —— Comfortable Reason

「柔らかくて形が格好よかったのでついに！」と、昨年人生初のレザージャケットを手にした善福くん。レザーのイメージも変わるね。

Billard Corentin 25
会社員　東京

- Jacket —— Zara
- T-Shirt —— Zara
- Pants —— Zara
- Shoes —— Nike
- Socks —— Zara

仕事でパリからやって来たビラルドは、休日にはDJもやっているんだとか。「寒い日にレザーを羽織ることが多いね！」

Taro Imai 23
Jackpot スタッフ　東京

- Jacket —— Schott
- Shirt —— Dries Van Noten
- Pants —— Wrangler
- Shoes —— Celine
- Ring —— vintage

「見た目はザ・アメリカンにレザーを着ますが、シャツやシューズにヨーロッパものを加えて、ごちゃ混ぜにしたのがこだわりです」

渡辺大地 23
グラフィックアーティスト　東京

- Jacket —— used
- Sweatshirt - Champion
- Pants —— Noah
- Shoes —— Nike Sb
- Hat —— used

「スケートをするのでそれっぽい服装も好きですが、レザージャケットを着るとザ・スケーター感が出なくて気に入っています」

梁川昂志郎 22
学生　東京

- Jacket —— Umit Benan (used)
- Shirt —— Wales Bonner
- T-Shirt —— Insonnia Projects
- Pants —— Nicholas Daley
- Shoes —— Converse

ラムスエードのシャツをジャケットのようにシャツの上から羽織る。「一見すると、レザーっぽくない淡い色味が着やすくて」

NEW KYOTO

京都は行くたびに新しいものができているなあ。

デザイン集団に20代の古道具店、履物職人のセレクトショップ。この2年で新しいことを始めた京都人のスタイルサンプル。

みんな〈Mission Work Shop〉のメッセンジャーバッグを愛用。自転車まで運べちゃう。

OFFICE

NEW DOMAIN

大学でのプロジェクトから始まったデザインファーム。建築や3Dモデリングなど各々の強みを生かして家具デザインやアーティストとの協働など幅広く活動中。newdomain.jp

1 西野亮介 32
デザイナー
- Jacket — Onfadd
- Anorak — Diaspora Skateboards
- Pants — Onfadd
- Shoes — Adidas
- Cap — Supreme

2 長尾崇弘 33
デザイナー、大学教員
- Shirt — Dickies
- T-Shirt — Champion
- Shorts — Dickies
- Shoes — Adidas
- Belt — The Real Mccoy's

3 鈴木 光 24
CGデザイナー
- Jacket — Kenzo (used)
- Shirt — Mistergentleman
- T-Shirt — Champion
- Pants — Issey Miyake
- Shoes — Vans

4 佐藤 開 23
プロダクトデザイナー
- Down — The North Face
- T-Shirt — Pro Club
- Jeans — Gourmet Jeans
- Shoes — Salomon
- Watch — Casio

5 湯浅敬介 24
画家
- Jacket — US Military
- Sweatshirt - used
- Jeans — Lee
- Shoes — Adidas
- Belt — unknown

6 川島航平 25
空間デザイナー
- T-Shirt — Pro Club
- Jeans — Uniqlo U
- Shoes — Vans
- Belt — Hender Scheme
- Bike — Custom Made

7 加藤 周 23
学生
- Jacket — British Military
- Shirt — South2 West8
- Pants — French Military
- Shoes — Russian Military
- Ring — self-made

8 東 那摘 25
建築家
- Sweater — used
- Vest — Mountain Research
- Pants — Maison Eureka
- Boots — Blundstone
- Ring — used

9 蛭田康介 19
学生
- Jacket — Engineered Garments
- Shirt — South2 West8
- Shirt — Uniqlo And JW Anderson
- Pants — prAna
- Shoes — New Balance

SHOP

履物 関づか・岩倉AA

京都の履物店で10年修業を積み、独立した関塚さんの履物工房に、服や器が並ぶセレクトショップが同居。昨年オープン。下の3人は居合わせたお客さん。
Instagram: @aa_sekizuka

関塚真司 38
履物職人
- Coverall — Man-tle
- T-Shirt — Sun/kakke
- Socks — Hakimono Sekizuka
- Sandals — Hakimono Sekizuka
- Eyewear — Jacques Durand

藤井一輝 22
学生
- Jacket — Barbour
- Sweatshirt - French Military
- Jeans — Kiji
- Shoes — Yuketen
- Bag — Counterpoint

濱田照平 22
学生
- Coat — Atha
- T-Shirt — Sun/kakke
- Pants — itten.
- Shoes — Novesta
- Bag — Engineered Garments

光地生馬 22
学生
- Coat — Swedish Military
- Pants — Brú Na Bóinne
- Shoes — Novesta
- Eyewear — Oliver Peoples
- Bag — Engineered Garments

1 櫻井仁紀 24
ものや店主、家具デザイナー
- Jacket — US Military
- Sweatshirt - Gildan (used)
- Pants — used
- Shoes — German Trainer
- Earring — Cos

2 吉田卓史 24
ものや店主、プロダクトデザイナー
- Jacket — used
- Hoodie — used
- Pants — Bukht
- Shoes — Adidas
- Socks — Gucci

SHOP

ものや

京都工芸繊維大学在学中の2019年にオープンさせた古道具屋兼デザイン事務所。それぞれがデザインのインプットとなりうる古物を市場や家屋の解体現場から買い集めている。Instagram: @shop_monoya

1 ハシグチケント 27
バッグデザイナー
- Coat — Swedish Military (remake)
- Sweater — Marni
- Pants — Dulcamara
- Shoes — Onitsuka Tiger × Anrealage
- Eyewear — Lunor

2 大田美由希 26
酢橘堂店主
- Tops — Auralee
- Pants — Caph
- Shoes — Dr. Martens
- Earring — vintage
- Socks — Hoffman

SHOP

酢橘堂

左京区にある元美術学校をリノベした複合施設「The Site」内に2019年にオープン。北欧で買い付けた花瓶や器をメインにハシグチさんが作るバッグも販売。
Instagram: @sudachidou

DESCENDANT'S WORK STYLE

仕事着がこれって夢があるね。

自分らしい服で働くってやっぱりいい。〈ディセンダント〉のみなさんも生き生きしている。

7 **木村友亮** 25
販売スタッフ
- Coat — Descendant
- Hoodie — Descendant
- Shoes — Wtaps × New Balance
- Beanie — Descendant

「スニーカーが大好きなんで先に靴を決めてから服を選びます」。今日は〈ダブルタップス〉×〈ニューバランス〉の「992」に合わせて。

6 **神垣天普** 25
販売スタッフ
- Jacket — Descendant
- Hoodie — Descendant
- Pants — Descendant
- Shoes — Adidas
- Eyewear — Moscot

チームきっての読書家である神垣くん。本だけでなく、〈ディセンダント〉の定番2タックパンツ「DC-3」も心からLOVE。

5 **田巻侑真** 32
営業
- Jacket — Descendant
- Sweatshirt - Descendant
- Jeans — Descendant
- Shoes — Supra
- Belt — Descendant

西海岸のヒップホップが好きなだけに、黒でオーバーサイズが基本。でも、フリースシャツの下から覗くスウェットのピンクが優しげ。

4 **中島未来之** 34
生産管理
- Cardigan — Descendant
- T-Shirt — Descendant
- Jeans — Levi's
- Shoes — Adidas
- Cap — Descendant

スタジオにこもってデスクワークのため、脱ぎ着がしやすいTシャツにカーディガンが定番。今年はレンガ色がお気に入り。

3 **石川裕一** 34
営業
- Shirt — Descendant
- T-Shirt — Descendant
- Pants — Descendant
- Shoes — Vans
- Hat — Descendant

「働くときは基本ワークウェアです」。〈ディセンダント〉の中でもワークライン「DWU」が好きで、今日のシャンブレーシャツもそう。

2 **小形慎太郎** 32
営業
- Jacket — Descendant
- T-Shirt — Descendant
- Jeans — Descendant
- Shoes — Converse
- Belt — used

営業だけど羽織るのはテーラードジャケットじゃなくてカバーオール。その分ってわけじゃないけど、髪型はきちんと。

1 **嶋田之義** 47
生産管理
- Jacket — Descendant
- Hoodie — Descendant
- Jeans — Descendant
- Shoes — Vans
- Cap — Descendant

"先生"と慕われている嶋田さん。仕事中は1枚で暖かいフリースが相棒。肩が凝るという理由で、重ね着は極力避けるそう。

14 **渡辺大輔** 38
営業
- Jacket — Descendant
- T-Shirt — Descendant
- Pants — Descendant
- Shoes — Vans
- Cap — Descendant

スケートボードにキャンプが趣味で、平日も変わらずゆるめのスケートスタイル。ジェットキャップと〈ヴァンズ〉で営業活動。

13 **井上直之** 47
GM
- Jacket — Descendant
- Tops — Descendant
- Pants — Descendant
- Shoes — Adidas×Descendant
- Beanie — Descendant

「冬は空気を溜め込むサーマル・オン・フリースが鉄板の組み合わせです」。決まりごとを作っているのが、いかにも仕事着らしい。

12 **中村海也** 26
販売スタッフ
- Jacket — Descendant
- T-Shirt — Descendant
- Pants — Descendant
- Shoes — Converse
- Earring — Careering

中村くんしかり、さりげなくピアスが似合う人は、決まって服装がシンプルだ。「いつも全身ネイビーやブラックばかりです」

11 **鈴木秀明** 44
営業
- Jacket — Descendant
- Sweatshirt - Descendant
- Pants — Descendant
- Shoes — Adidas× Descendant

オリーブドラブにブラック、ほんの少しのグレー。この3色のカラーパレットで日々ローテーション。まるで傭兵のようなスタイル。

10 **藤白将輝** 26
販売スタッフ
- Jacket — Descendant
- T-Shirt — Descendant
- Pants — Descendant
- Shoes — Vans
- Beanie — Descendant

ファティーグシャツを何枚も集めるほどミリタリーもの好きで、本日はCPOジャケットを着て接客。2020年入社のフレッシュマン。

9 **江原勢人** 25
販売スタッフ
- Shirt — Descendant
- T-Shirt — Descendant
- Pants — Descendant
- Shoes — Adidas
- Hat — Descendant

休日はラッパーの江原くん。店頭は意外と寒いらしく、冬は暖かい素材のパンツをはいている。最近は、ツイード地がお気に入り。

8 **中島裕介** 36
デザイナー
- Coat — Descendant
- Tops — Descendant
- Jeans — Descendant
- Shoes — Vans
- Beanie — Descendant

細身のブラックデニムを愛用中。「ボリュームのあるB-9型のコートと合わせて、『サウスパーク』の丸いシルエットを意識しました」

川辺圭一郎 31
Tomorrowland PR 東京

- Coat —— Tomorrowland
- Suit —— Caruso
- Shirt —— Mp Massimo Piombo
- Tie —— Nicky
- Shoes —— Gucci

川辺さんはイタリアンスタイルにコートでアクセント。「北イタリアで狩猟のときに着られるヘリンボーン柄のツイード生地です」

コートとジャケットの色に合わせた、オリーブとブラウンのストライプのネクタイはイタリアの〈ニッキー〉。ピンは〈ベルフィオーレ〉、ローファーは〈グッチ〉とイタリアで統一。

ジョシュア 32
東京
Auralee セールスマネージャー

- Coat —— Auralee
- Suit —— Auralee
- Shirt —— used
- Tie —— Caruso
- Shoes —— Engineered Garments × Tricker's

「30代を迎えてやっとスーツとの距離が縮まった気がします」。クラシックなスタイルを少し着崩して。

正装でもロールアップをしているのは、高校生からのマイウェイ。パンクカルチャーから影響を受けたそうだ。左右非対称なデザインの靴がよく見えるし、何より自分らしさって大事。

阿由葉銀河 23
東京
Beams House Marunouchi スタッフ

- Coat —— Invertere
- Suit —— Caruso
- Sweater —— B:ming by Beams
- Shoes —— Crown
- Eyewear —— Bj Classic Collection

「Vゾーンが広くてスポーティなので、決めすぎずにです」。4つボタンのダブルを軽快に着こなすってなかなかすごい。

ウールのニットだと意外とカタい感じになってしまうそうで、タートルネックはコットン地。フラットシューズでも違和感なくまとまっているのは、品のある黒のスエード素材ゆえ。

仁保榛斗 27
The Lakota House 勤務 東京

- Suit —— International Gallery Beams
- Shirt —— Brooks Brothers
- Tie —— Gierre
- Shoes —— Alden
- Belt —— K.T.Lewiston

アメトラ好きとはこのこと。「ボタンダウンに細めのタイ。靴はシェイプがキレイなものにして野暮ったくないようにしました」

〈ブルックスブラザーズ〉のボタンダウンシャツに合わせるのは、ミラノのネクタイブランド〈ジエレ〉。足元は〈オールデン〉のVチップで。

山田耕平 32
J.M. WESTON 青山店 スタッフ 東京

- Coat —— Aquascutum (used)
- Suit —— Fiveone
- Shirt —— Fiveone
- Tie —— Charvet
- Shoes —— J.M. Weston

トレンチコートやオーダーメイドのスーツに、フレンチらしさを効かせる山田さん。「結局フランスものが好きなんです(笑)」

ベージュのスーツには、〈シャルベ〉の黒いシルクタイを合わせて引き締まった印象に。〈ジェイエムウエストン〉定番の「ゴルフ」にはキルトを付けて。

森田健翔 26
東京
Tomorrowland 渋谷店 スタッフ

- Coat —— Mackintosh × Tomorrowland
- Suit —— Caruso
- Shirt —— Errico Formicola
- Tie —— Tomorrowland
- Shoes —— Manolo Blahnik

基本はグレー系でまとめ、ネクタイと靴で全体の印象に軽やかさを出した。「2、3色でまとめるのが僕の決まりごとでして」

ネクタイを際立たせるため、締め方はダブルディンプルで。タッセルローファーはなんとイギリスの〈マノロ ブラニク〉。気になるし、欲しいぞ!

5 出口大樹 33
製造業

- Jacket —— Arc'teryx
- Sweatshirt - Creek Angler's Device
- Pants —— Polo Sport
- Shoes —— Salomon
- Cap —— Patagonia

2 福田蓮太郎 24
会社員

- Jacket —— Wild Things
- T-Shirt —— Creek Angler's Device
- Shirt —— Timberland
- Pants —— Gildan
- Hat —— Macpac

6 仙波亮祐 26
EPOCH スタッフ

- Jacket —— Patagonia
- Sweatshirt - Camber
- Boots —— Fishing Max
- Bag —— Plano
- Beanie —— NFL

3 田中琢朗 31
美容師

- Jacket —— Cloudveil
- Sweatshirt - Creek Angler's Device
- Pants —— Cloudveil
- Shoes —— Garmont
- Cap —— Ibex

定番の釣りスポットは神戸空港近くの埠頭。「うーん今日は当たりなしです」と悔しげな仙波くん。

7 中永創太 23
会社員

- Jacket —— Eddie Bauer
- Sweatshirt - Creek Angler's Device
- Pants —— The North Face
- Bag —— Creek Angler's Device
- Hat —— Creek Angler's Device

4 細川宗一郎 24
会社員

- Jacket —— Patagonia
- Sweatshirt - Creek Angler's Device
- Pants —— The North Face
- Shoes —— The North Face
- Beanie —— A.P.C.

1 永井健一 21
会社員

- Jacket —— used
- Hoodie —— Stortil
- Pants —— Dickies
- Cap —— Rei
- Bag —— Coach (used)

7

6

5

SUIT

仕事のスーツはきちんと着るに限る。

せっかくスーツを着るのであれば正しく着たい。例えばファッションの世界で働く人たちはこんな感じだ。

鈴木修史 28 東京

Beams Men Shibuya スタッフ

- Coat —— Kaptain Sunshine
- Jacket —— Beams Plus
- Pants —— Beams Plus
- Tie —— Kenneth Field
- Shoes —— Alden

アイビー好きの鈴木さん。「金ボタンのブレザーに、右下がりのレジメンタルタイ。足元はローファーとコテコテです(笑)」

ストライプのオックスフォードシャツは〈インディビジュアライズドシャツ〉。アイビー学生の象徴的アイテム、コインローファーも〈オールデン〉とアメリカずくめ。

松原将平 30 東京

Edifice NEWoMan新宿店 スタッフ

- Coat —— Édifice
- Suit —— Édifice
- Tie —— Breuer
- Shoes —— Calmanthology
- Bag —— Pelle Morbida

「スーツを着るときは、清潔感が大事」と話す松原さんはネイビーとグレーの2色をベースとしたシックなフレンチスタイル。

スタイルに合わせて、ネクタイも当然フランスの老舗〈ブリューワー〉で。センターディンプルをきつめにまとめると、首元に柔らかさが出るという。靴は正統派のストレートチップ。

行田恭樹 25 東京

Beams Roppongi Hills スタッフ

- Coat —— London Tradition
- Suit —— International Gallery Beams
- Shirt —— International Gallery Beams
- Tie —— Fiorio
- Shoes —— Church's

よく見るとスーツの生地は細畝。シャツは花柄、ネクタイはニット、靴はウィングチップと結構遊んでいるのね。でもちゃんとしてる。

柄シャツにはシルクよりもまろやかなニットタイが合わせやすいそうだ。パンツの裾をダブルにするとボリュームが出るので、ゴツめの靴も収まりがいい。

吉井 聖 27 東京

Beams F Shinjuku スタッフ

- Coat —— Cini
- Suit —— Custom Tailor Beams
- Sweater —— John Smedley
- Boots —— Simon Fournier
- Belt —— L'Aiglon

オーダーしたというスーツの生地はイギリスの〈フォックスブラザーズ〉。チョークストライプを着られるようになれば大人だ。

〈チーニ〉のコートはマントがモチーフ。ハイゲージニットと、〈シモン・フルニエール〉のロングノーズのブーツで、エレガントにまとめた。

FISHING STYLE in KOBE

いつもこんな格好で釣っています。

釣りもストリートファッションも好きな神戸のフィッシングスタイル。

SHOP

EPOCH

'90年代のアウトドアウェアを多く扱う古着店。釣り好きを筆頭に、街で着ている人をよく目にする〈Creek Angler's Device〉を全国で唯一取り扱う店ということもあってか釣りにハマった若者が多く集まる。○兵庫県神戸市中央区割塚通7-1-27 ☎078-222-1224 12:00〜20:00 不定休

WOOL JACKET

福井海東 23
画家/小説家　東京

- Jacket — L.L.Bean
- Pants — Ralph Lauren
- Shoes — Clarks Originals
- Cap — New Era

愛犬のまい泉くんと散歩中だった福井くん。散歩のお供は犬用カートと、中学生の頃から着ているという古着のウールジャケット。

SWEAT SHIRT

NZA 37
BENCH オーナー　京都

- Jacket — Wild Things Tactical
- Sweatshirt - Bench
- Pants — Lee
- Shoes — Nike

普通の格好を普通にできるようになるには時間がかかる。「スウェットのWACKWACKのグラフィックが気に入ってます」

SHELL JACKET

田中脩馬 20
会社員　神戸

- Jacket — Arc'teryx
- Sweatshirt - Fake Ass Flowers
- Pants — Nautica
- Shoes — Reebok

「居心地が良すぎて1年で10回ほど通いました！」と神戸の『EPOCH』に遊びに来ていた田中くんは愛知県在住。

TRACK JACKET

橋本 奎 25
Car Service デザイナー　東京

- Jacket — Adidas (used)
- Sweater — Carhartt Wip × Slam Jam
- Pants — Wrangler
- Shoes — Puma

最近は知人から譲り受けた'80sのトラックジャケットに袖を通すことが多いそうで、本日はキレイめにスラックスと合わせて。

TIELOCKEN COAT

大窟滉介 25
会社員　東京

- Coat — Cinoh
- T-Shirt — Uniqlo
- Pants — used
- Shoes — Blohm

「だらしなく見えないように、コートだけはちゃんとしたものを着ています」と〈チノ〉を着用。靴だけはバーガンディ。

STADIUM JACKET

金澤捷安 19
学生　東京

- Jacket — used
- T-Shirt — used
- Pants — Banana Republic (used)
- Shoes — Vans

キレイな丸刈りの金澤くん。「スタジャンは形とデザインがシンプルなので、フレアパンツをはいてシルエットを変えるのが好きです」

PLAID SHIRT

CORDUROY PANTS

阪本拓海 25
会社員　東京

- Jacket — used
- Pants — Kaptain Sunshine
- Cap — used
- Scarf — used

キャスケットに色の入ったスカーフという、フランスのおじさんのようないでたちの阪本くん。パンツも細畝でパリジャンっぽく。

SOUTIEN COLLAR COAT

PALM 28
ミュージシャン　東京

- Coat — Uniqlo and JW Anderson
- Sweatshirt - Gildan
- Jeans — Levi's (used)
- Shoes — Vans

いつも着ているスウェットに、はき込んだデニムと〈ヴァンズ〉。それにウールコートを適当に羽織ったであろう感じがス・テ・キ。

MONSTER PARKA

髙垣 崚 23
学生　京都

- Coat — US Military (used)
- Jeans — Bukht
- Shoes — Nurse Shoes (used)
- Bag — Japanese Military

「鞄は蚤の市で買った太平洋戦争で日本軍が使っていたもの。あ、デッドストックですよ。靴は看護師が履くやつです」。クセがあるね。

HOODIE

ヤマザキコナツ 25
Face Records 宮下パーク店 スタッフ　東京

- Shirt — Pendleton (used)
- Hoodie — Sportswear (used)
- Pants — used
- Shoes — Clarks Originals

レコード店で働くヤマザキさんは、古いもの好き。もちろん、洋服も古着。ヒッピースタイルを取り入れるのが最近のお気に入りだ。

T-SHIRT

葛島星哉 24
アーティスト　東京

- Jacket — Carhartt Wip
- T-Shirt — Abnovice
- Pants — Sundays Best
- Shoes — Vans

「寒くなってもお気に入りのグラフィックTシャツを着たいから、下にシャツを着ています！」。ジャケットの着丈の短さが最高。

LAUNDRY BAG

櫻井 力 22
フリーター　東京

- Jacket — Sears
- Pants — Levi's
- Shoes — Dr. Martens
- Bag — Eddie Bauer

「ファスナーの開閉でサイズが変わるランドリーバッグは登山や小旅行の相棒」とのこと。脱力した雰囲気に鮮やかな赤もよく馴染む。

CARGO PANTS

松田孝介 24
Stumptown Coffee Roasters バリスタ　京都

- Hoodie — FTC
- Pants — Steven Alan
- Shoes — Adidas
- Eyewear — Kaneko Optical

「Ace Hotel Kyoto」の1階でバリスタをしている松田くんは、「パーカにチノパンと制服のエプロンで、いつもこんな格好ですね」。

高橋 元 22
学生　東京

- Jacket — used
- Shirt — Chaps Ralph Lauren
- Pants — US Military
- Shoes — Converse

ジャケットは原宿の『Un Old Joke』で。'90年代のヒップホップに影響を受けることが多いそうで。ナイス・アフロ。

STANDARD

結局、着たい服って変わらないのさ。

いつまでたってもこれだけはやめられない。みんなもそういう服って持っているんじゃない？

TURTLE NECK SWEATER

本多惟楓 19
学生　東京

- Jacket — Supreme (used)
- Sweater — John Smedley
- Pants — Men's Tenoras
- Shoes — Clarks

「上京したてで冬服がなくて……」と先輩のジャケットを借りている本多くん。借り物も自分らしくお気に入りのタートルネックと。

DUFFLE COAT

木佐貫玲央 21
学生　熊本

- Coat — El Conductorh
- Pants — Nowhaw
- Shoes — Clarks Originals
- Hat — Elephant Tribal Fabrics

「スタンダードなデザインのダッフルコートでも、ダンスをやっているのでついビッグサイズのものに袖を通してしまいます」

RAIN COAT

JERSEY PANTS

松下海斗 21
京都
Beams Japan Kyoto スタッフ

- Sweatshirt - Loopwheeler for Graphpaper
- T-Shirt — Beams Japan
- Pants — Localina × Otsuka
- Shoes — New Balance

全身超オーバーサイズ！「パンツは学校の制服や体操服を製造している〈大塚ユニホーム〉の別注ジャージですごく快適です」

SNOW PARKA

関 和真 30
京都
Pilgrim Surf+Supply Kyoto スタッフ

- Jacket — Pilgrim Surf+Supply
- Shirt — Pilgrim Surf+Supply
- Pants — Pilgrim Surf+Supply
- Shoes — Vans

スウェーデン軍のM62スノーパーカがベースのジャケット。「リサイクルウールを使っていて暖かいので、この冬はずっとこれっす」

梅原大輝 26
アパレル会社勤務　東京

- Coat — Patagonia
- Pants — Patagonia
- Shoes — Adidas
- Eyewear — French Vintage

〈パタゴニア〉のレインコートをさらりと着た、お洒落なアーバンアウトドア。「マフラーは祖母のチリ土産で、アルパカです」

WORK JACKET

倉掛慈温 20
学生　福岡

- Jacket — Eddie Bauer (used)
- Pants — used
- Shoes — Lantiki
- Necklace — Lantiki

お気に入りはお父さんからもらった真っ赤なジャケット。「色は派手だけど形がシンプルだからパンツのシルエットを選ばないです」

SWEAT SHIRT

村岡達哉 19
学生　東京

- Sweatshirt - Polo Ralph Lauren (used)
- Pants — Levi's (used)
- Shoes — Vans
- Cap — used

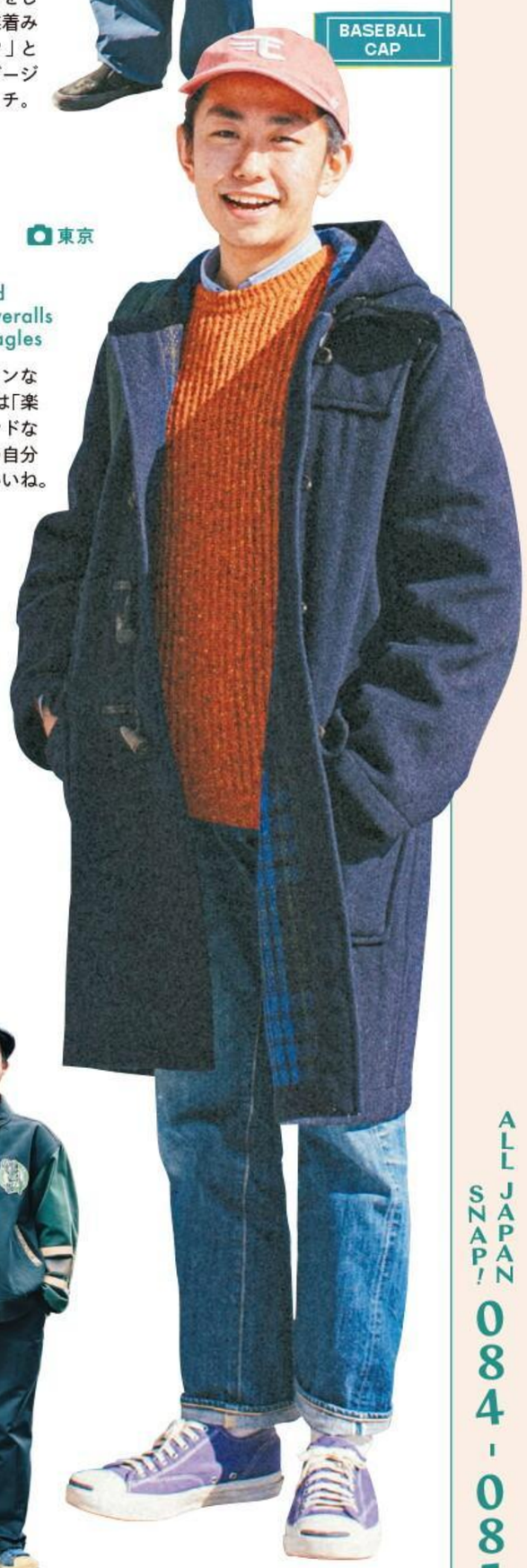
「基本は古着で、ほとんど毎日今日みたいな格好をしています」。スウェットのサイズ感がなかなか絶妙ですな。

DERBY JACKET

飯村和輝 20
フリーター　東京

- Jacket — used
- Sweatshirt - used
- Pants — Uniqlo
- Cap — Noah

夜通しスケートボードをしていた飯村くん。「作業着みたいじゃないですか？」と自然に笑う姿とダービージャケットがベストマッチ。



BASEBALL CAP

成田峻平 23
会社員　東京

- Coat — Gloverall
- Sweater — Timberland
- Pants — Canton Overalls
- Cap — Rakuten Eagles

「出身が宮城で大ファンなんです」と、キャップは「楽天イーグルス」。トラッドな着こなしに何かひとつ自分のルーツが入るっていいね。

CHESTER COAT

三池大祐エドワード 20
学生　東京

- Coat — Rageblue
- Sweater — used
- Pants — used
- Shoes — Rageblue

コートは高校生のときにお母さんからプレゼントでもらったもの。「革靴を履いたり、ちゃんとした服装のときはこれを着ています」

TABI BOOTS

冷水寧音 24
Beams Japan Kyoto スタッフ　京都

- Jacket — US Military (used)
- Sweater — Ray Beams
- Jeans — Levi's
- Boots — Maison Margiela

毎月服に20万円弱使ってしまうという冷水さん。「学生時代から憧れていた『タビブーツ』をやっと買えました。ほんま最高です」

WORK JACKET

森本凌太 23
自転車店勤務　京都

- Jacket — Carhartt (used)
- Shirt — 430
- Pants — Red Kap
- Shoes — C1RCA

バンドと自転車店を掛け持ちする森本くんはストリートの正装、ワークウェア上下で。「ビストは〈リーダーバイク〉の『722』っす」

STADIUM JACKET

井上 蒼 22
井上商店 店主　熊本

- Jacket — Celtics (used)
- Pants — Flash Second
- Shoes — A Bathing Ape
- Cap — Kangol

スポーツチームのスタジャンが大好物。ワッペンが結構付いていたり、色も入りがちなので、コーディネートは極力シンプルに。

BEANIE

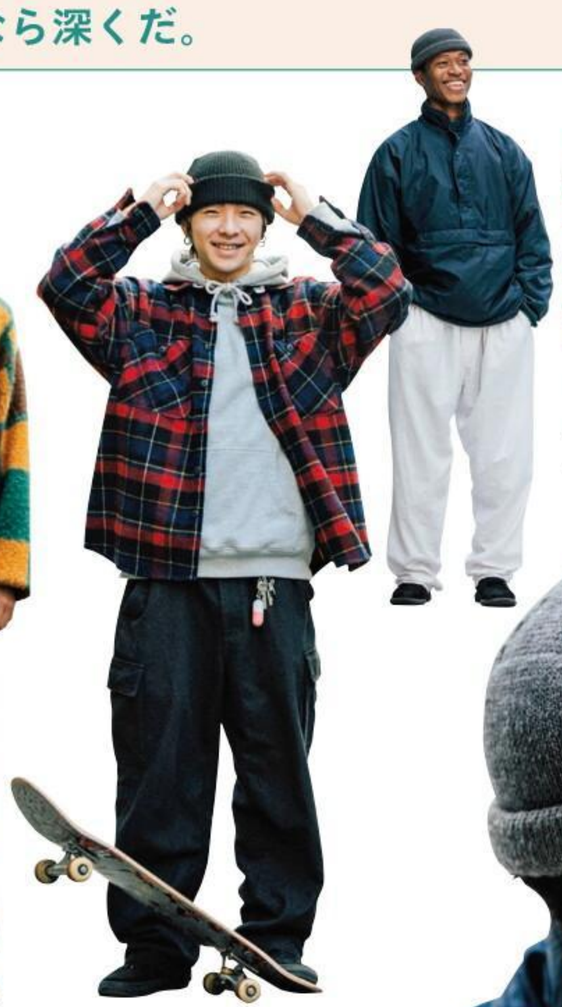
かぶるなら深くだ。

ただ寒いからって理由だけじゃないとは思うけど、
ビーニーは深くかぶるのが男の中の男ってもんだ。

原　慎太郎 21
学生　福岡

- Jacket — Eddie Bauer (used)
- Sweater — Perry Ellis (used)
- Pants — Overcoat
- Shoes — Alden
- Beanie — Bal

蛍光色のビーニーにはリフレクターの糸が織り込まれているそう。「昼はもちろん夜のイベントでDJをするときもかぶっています」



ウォー・モハメド 20
学生　東京

- Jacket — Eastern Mountain Sports (used)
- Sweatshirt - used
- Pants — used
- Shoes — used
- Beanie — unknown

サッカー部に所属していて普段はジャージばかりというウォーくん。休日は決まって古着にニット帽。かぶると気持ちもOFFモード。

伊藤大輝 20
学生　東京

- Jacket — Supreme
- Inner — Polo Ralph Lauren
- Pants — Sansqulotte Policy
- Shoes — Vans
- Beanie — Supreme

「デニムがワイドシルエットなので、全身でバランスを取るために、頭にはめるようにかぶっています」。ピタッとビーニー。

国広信一 22
学生　東京

- Cardigan — Beams
- Shirt — Comme des Garçons Shirt
- Shoes — Alden
- Beanie — Beams
- Eyewear — Shuron

東福生の『DOSUKOI PIZZA』でバイトしている国広くん。派手なカーディガンとベージュのビーニーの合わせも心なしかアメリカン。

平野　塁 19
SSW スタッフ　東京

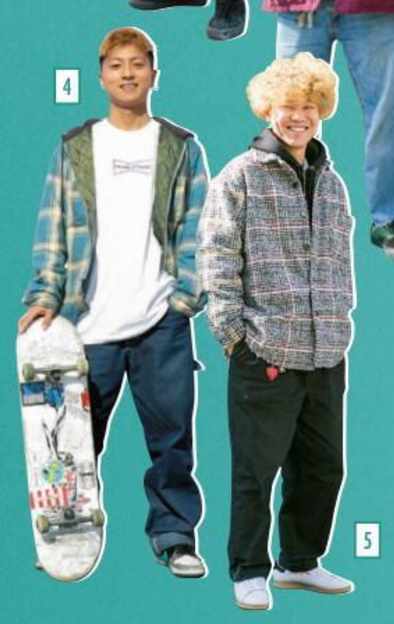
- Jacket — used
- Hoodie — used
- Pants — Gap (used)
- Shoes — Vans
- Beanie — Noah

パンツの素材と色味に合わせてウールのビーニーをかぶるのがこだわりだそう。この手のものは各種各色、何枚持っていても使える。

SKATE STYLE in OSAKA

西のスケーターも見てみたい。

陽気なファサードが気になっていた『GOOD TIMES』。
集まる人もみんな若くて個性的！ まさに大阪！



SHOP
GOOD TIMES SKATE SHOP

昨年9月、中学時代から一緒に滑っている仲良し3人組が地元にオープンさせたスケートショップ。近くの公園にスケートボード仲間が多いみたいで、この日もワイワイ友達が集まってきた。〇大阪府大阪市平野区加美東6-14-34 ☎080·7640·0851 11:00〜20:00 火休

1 川邊　駿 23
スケーター

- Jacket — La G-wear
- Hoodie — Fucky Fucky
- Pants — Paint & Buff
- Shoes — Diamond Footwear
- Cap — Eipril

2 川野和夜 23
スケーター

- Sweatshirt - Fucky Fucky
- T-Shirt — Verdy × Knthw
- Pants — Gu
- Shoes — Adidas
- Beanie — Fucky Fucky

3 馬場亮太 23
フォトグラファー

- Hoodie — Wasted Youth × Bounty Hunter
- T-Shirt — Cherry Los Angeles
- Pants — Dickies
- Shoes — Dc Shoes
- Socks — FTC

4 森　一成 22
スケーター

- Jacket — Wasted Youth × Phingerin
- T-Shirt — Wasted Youth
- Pants — Dickies
- Shoes — Nike
- Socks — Wasted Youth

5 鷺地　滉 22
Good Times Skate Shop スタッフ

- Jacket — Fucking Awesome
- Hoodie — Good Times
- T-Shirt — Good Times
- Pants — Fucking Awesome
- Shoes — Adidas

6 川西　昂 22
Good Times Skate Shop スタッフ

- Jacket — Carhartt
- Hoodie — Good Times
- Pants — Levi's
- Shoes — Vans
- Cap — Nothin' Special

7 川口修司 23
Good Times Skate Shop スタッフ

- Jacket — Creative Drug Store × Girls Don't Cry
- Sweatshirt - Good Times
- Pants — Alfred Dunner
- Shoes — Vans
- Cap — Fucky Fucky

V-NECK SWEATER

いよいよ来たな、Vネック。

来る来ると言われ続けて何年たったのだろう。2021年、Vネックのニットがいよいよ気になってきた。

5 安部 光 21
学生 ／ 東京

- Jacket — used
- Sweater — Lacoste (used)
- Pants — Wrangler
- Shoes — Nike
- Eyewear — Jins

「清潔感を出したいときに、このVネックセーターを着ています」。中に着たTシャツとシューズも真っ白でクリーン！

4 尾角晋之右 21
学生 ／ 京都

- Coat — Bal
- Sweater — John Blair (used)
- Pants — Propper
- Shoes — Timberland
- Cap — Belief NYC

武骨なM-65コートもVネックを合わせるとマイルドに。「コートには友達からもらった古着のライナーを無理やり付けてます……」

3 湯川 陸 19
Beams Kobe スタッフ ／ 神戸

- Coat — Beams
- Sweater — Jamieson's Knitwear
- T-Shirt — Hanes
- Pants — Beams
- Shoes — Clarks Originals

イギリスの〈ジャミーソンズ〉のシェットランドセーターのVネックに「自分で作った」というビーズのネックレスを合わせた。

2 内多泰貴 26
アパレル会社勤務 ／ 神戸

- Jacket — Burton
- Sweater — Eastern Mountain Sports
- T-Shirt — Creek Angler's Device
- Pants — Wrangler
- Shoes — Clarks Originals

「オープン時から他で買い物をした記憶がありません」ともらいものの靴以外は神戸の『EPOCH』で購入。Vネックもスウェット感覚。

1 印南拓人 20
学生 ／ 東京

- Jacket — Barbour (used)
- Shirt — Polo Ralph Lauren
- Sweater — used
- Pants — Dickies (used)
- Shoes — Adidas (used)

深いVラインのものってこういうふうに着るといいんだね。明るい色味もいいし、古着の〈バブアー〉との合わせもいい感じ。

10 黒沼疾風 24
Tomorrowland PR ／ 東京

- Jacket — Dries Van Noten
- Sweater — Tomorrowland Tricot
- Vest — Raffa Molina × Tomorrowland
- Jeans — Cantate
- Shoes — Le Yucca's

「エレガントすぎないように」と、タートルネックセーターに柄物のベストを合わせたスタイルで。でも、いい具合にエレガントよ。

9 田子一夢 23
学生 ／ 東京

- Sweater — A.P.C.
- Pants — Auralee
- Shoes — Converse
- Beanie — used
- Pouch — Masu

「Vネックは首周りが広い分、肌の露出がやや増えるので、インナーや小物は黒のものを合わせてスッキリとさせるようにしています」

8 濱名篤史 20
学生 ／ 東京

- Jacket — Federico Curradi
- Vest — used
- Shirt — Banana Republic
- Pants — used
- Boots — Clarks Originals

「ニットベストとスラックスは地元、神戸の『昭和モダン package』で買いました。デザートブーツは雑誌の懸賞で当たったんです(笑)」

7 松藤暁彦 20
学生 ／ 東京

- Jacket — Harley Davidson (used)
- Sweater — Lacoste
- T-Shirt — Hanes
- Pants — Comme des Garçons
- Shoes — Timberland

「ビッグシルエットのものを着るとルーズになりすぎてしまうから、インナーにVネックセーターを合わせてちょっと上品にしました」

6 平田 基 27
イラストレーター ／ 京都

- Coat — Par Ici
- Sweater — Banana Republic (used)
- Shirt — Uniqlo
- Pants — Converse (used)
- Shoes — Naot

「Vネックセーターの下にスタンドカラーシャツを合わせるのが好きなんです」。これはまったくもって通なコーディネートだ！

when you become an adult —— Elaiza Ikeda —— 3170W
a tale of three themes about music - Ryohei Matsunaga - 2444W
talk about books and movies — Yosuke Yamaguchi —— 2400W
feel like I am becoming jeanne d'arc —— Maho Shimao — 1095W
pop-eye cinema —— Sho Miyake —— 885W
stay home shopping —— SEX Yamaguchi —— 600W
bonjour paris —— Ramdane Touhami —— 1575W
ascension please! —— Tamura King —— 1155W
heard on the street —— Peter Arkle —— 300W

ISSUE 886 FEBRUARY 2021

Popeye Journal

photo: Tetsuo Kashiwada
styling: Harumi Fukuda (ikeda)
hair & make: Ayaka Kanno (ikeda)
text: Yusuke Monma

池田エライザの 大人になるもんか。

第8回

GUEST

リリー・フランキー

●1963年、福岡県生まれ。イラスト、デザインをはじめ、文筆、写真、音楽、俳優など多分野で活躍。初の長編小説『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』で2006年本屋大賞を受賞した。出演する映画『騙し絵の牙』（池田エライザと共演）は3月26日公開。

「大人になれるかな？」と「大人になるもんか！」の狭間で揺れる女優・池田エライザが、ゲストの方々と「大人」について考える連載。今回はNHKの音楽番組『The Covers』で共演するリリー・フランキーさんをゲストにお迎えして、リリーさんも出演した池田監督作『夏、至るころ』の話に触れながら、今後に向けたアドバイスをもらいました。

池田エライザ（以下E） この連載の概要なんですけど——。

リリー・フランキー（以下L） エラ子が大人になりたくないっていう話でしょう？

E あ、大人になりたいっていう話です。なりたいけど、あれこれ考えるうちに、大人ってつまらないのかなってひねくれちゃって。

L 俺はポパイの連載で大人と子供の違いを書いたことがあるけどね。子供の頃はグラビアとかを見て、会ったこともない人でひとりでしてたのに、いつしかその少年も経験のある人を思い出しながらするようになる。そうしたらもう大人。おじさんです。

E やだー。

L 名文だったね。まあでも、エライザは子供っぽいところと大人っぽいところが共存してるから、それは永遠に溶け合わないと思いますよ。

E 結局そうなんですかね。

L 子供っぽいところを持ったままおばあさんになる。いちばん面倒くさいばばあになるんです。

E あはは！ これまでいろんな方にゲストに来ていただいて、大人って言ってくれる人もいるし、子供って言われることもあって、今がいちばんわからなくなってます。目指す場所がわからなくなってきてる。でも何かになりたいという漠然としたものはあって、今のままじゃ嫌。

L でも映画を作ったわけだし、そんな人これまでいなかったじゃない？ 活躍する24歳の女優でありながら映画監督もやるって。

E まあ、縁があったというまでなんですけどね。

L 縁があっても撮るには度胸がいるからさ。前にエライザはどんなクリエイターか取材で聞かれて、臆病さと大胆さを持つ人って答えたんだけど、いちばん大切なことだよね。現場の演出も手際がいいし、自分が俳優だからわかるんだろうけど、若い俳優さんたちをちゃんとケアする。それなのに人間的には姉御肌な感じが全然ない。

E ないですね、円滑に物事を進めてるだけで。

L やっぱり根本にある暗さは、どれだけ派手な服を着ても隠しようがないんだと思う。ただ暗いといっても、世の中の人にしてみたら俺やエライザは暗い部類の人じゃないですよ。

E じゃないですね。おしゃべりは好き。人も好き。

L 俺たちの暗いところは、好きなものが増えるほど嫌いなものも増えていくっていう。だからいつもプラマイゼロにしかならない。

毎月、旬の食材とレシピを料理人・原川慎一郎がご紹介。柑橘といえば夏。ではなく、冬！苦味と酸味を味わう簡単サラダ。

〝シチリアの太陽をたっぷり浴びて……〟なんていわれるように、夏のイメージが強い柑橘類ですが、実はその多くは冬が旬。国産のレモンも今がおいしい季節！とつい力んでしまうのは、柑橘は僕の大好物だから。なかでも金柑は種まで丸ごと食べられる栄養豊富な食材で、昔からのどに優しい薬としても扱われてきたほど。この小さな1粒で、酸味も甘味も苦味も織り混ざる複雑な味わいを楽しめるのは大きな魅力です。熟れ具合によってそのバランスの違いを選べますが、旬だとそれぞれの味が強くなります。ハウス栽培よりも、気候の変化・厳しさに耐えて自然になった実のほうが旨味が凝縮されているはずだから、近所の家の庭なんかで見かけたらもいでかじってみるといいかも、というのは冗談ですが(笑)、あらゆる味覚を素直にまっすぐ楽しむ食べ方はサラダで間違いありません。

作り方はとても簡単。材料をボウルに入れて混ぜるだけ。食材の切り方に気をつけるとひと口がより愉快になります。にんじんはピーラーで薄切りにすると調理が楽だし見た目もいい。金柑は輪切りにしたり、ゴロッと切ったりとカットを変えれば食感の違いが面白くなりますよ。

料理の話。

TIMEX PRESENTS

CHEF:
SHINICHIRO HARAKAWA

原川慎一郎　はらかわ・しんいちろう｜1978年、静岡県生まれ。神田の「the Blind Donkey」を経て、長崎県雲仙市で新しいレストランを近日オープン予定。Instagram: @beard_shin_harakawa

KUMQUAT

VOL. 3
今月の旬：金柑

中国の長江中流域を原産とする、暖地に育つ常緑性の低木。日本の主な生産地は宮崎県など。春に定植し実がなるまでに約3年（！）。冬に収穫を迎える。その実は柑橘類の中で最小で、果物には珍しくカルシウムも豊富。

illustration: Luis Mendo
photo: Hiromi Kurokawa
text: Ryota Mukai

今月のTIMEX

MK1 Mechanical Camper

ベトナム戦争の時期に開発された米軍用の腕時計に端を発する「Camper」は、シティボーイの大定番であり、進化を続けてきた。6年前にオリジナルに忠実なフォルムで復刻され、4年前には36㎜径の小ぶりなケースが堅牢なステンレススチール製も。そして今回は、いよいよ手巻きだ。「Camper」はリーズナブルだから何度も買い替えてきたけど、ついに一本を永く愛用するときが来たのかも。¥26,000（タイメックス／ウエニ貿易☎03-5815-3277　www.timexwatch.jp）

今月のレシピ

金柑とにんじんのサラダ

材料（2人分） 玉ねぎ…1/8個、粗塩…適量、レモン…1/2個、オリーブオイル…大さじ1、にんじん…1本、金柑…3個、フェンネルシード…適量、しょうが…適量

作り方 ①大きいボウルに、玉ねぎのみじん切りを小さじ2程度、塩、レモンの搾り汁を入れて混ぜ、オリーブオイルを加える。②にんじんをピーラーで薄切りしながら❶に加える。力加減を調節して厚さを変えながら切ると、いろんな歯応えを楽しめる。③金柑のヘタを取り、種ごとカットして❷に加える。熟れ具合はヘタの周りの色味で確認。緑なら酸味が強く香りも爽やか。オレンジなら程よく熟れていて甘味も増している。どの色のものを選ぶかで好みの味に調整。④❸に塩、フェンネルシード、すり下ろしたしょうがを加えて混ぜたら盛り付ける。

illustration: Makoto Wada

SAKEROCK●インストバンドとして2000年に結成。解散は2015年。メンバーは星野源、伊藤大地、浜野謙太、田中馨。『songs of instrumental』(2006年)はカクバリズムからの2作目で、結成時のメンバー野村卓史もゲストで参加した。星野が歌う「スーダラ節」、ハナレグミが歌う「インストバンドの唄」など、歌とインストの垣根をなくした名作だ。

西田敏行●『西遊記』『池中玄太80キロ』『釣りバカ日誌』など主演したヒット作品は昭和から数知れず。三枚目的なキャラクターでありながら豊かな演技力で見る者を引きつけ、年齢を重ねても人気俳優であり続ける。『探偵！　ナイトスクープ』の2代目局長としては涙もろさが印象的だった。歌手としても「もしもピアノが弾けたなら」の大ヒットを持つ。

カーミット●『セサミストリート』にも登場するマペットの人気者で、モデルはカエル。生みの親ジム・ヘンソンは数々のマペットを生み出し、自身で操りながら声優も担当した。『セサミ』でも特に人気の高いキャラであったカーミットはのちに番組から独立。ハリウッドのウォーク・オブ・フェイムに名前が刻まれた唯一のマペットでもある。

今月の一枚

Inner City Pop
ISAYAHH WUDDHA

カセットで自主制作したファースト『urban brew』はひそかに評判を呼び、海外でアナログLPとしてリリースされたほど。このセカンドでは、自身に宿る異郷感を宅録メロウ・ファンクと融合させ、さらにポップに押し進めている。

第8回 ONGAKU三題噺

文・松永良平

1. SAKEROCK　2. 西田敏行　3. カーミット

京都市を南北に流れる鴨川は、上流では鴨川(賀茂川)と高野川に分かれている。その2本の川が合流する場所は市民や観光客がのんびりと過ごす自然公園として愛されていて、通称を「鴨川三角州(鴨川デルタ)」という。

秋の晴れた朝、ぼくはある番組のインタビュアーとして三角州にいた。スタンバイ中に対岸をぼんやり眺めていたら男の子が現れ、河川敷に座ってギターを弾きはじめた。はっきりとメロディはわからないが、絵になる光景だったので、iPhoneで撮影した。ギターの音もうまく録れてたらいいんだけど。

そういえば、この鴨川の両岸にピアノ線を張って、エオリアン・ハープのように風で音を鳴らすシーンが出てくる音楽漫画があった。それは、さそうあきら『ミュジコフィリア』。'90年代初め以来、さそうさんの漫画には魅了され続けている。かわいさやペーソスを感じる絵柄なのに、ストーリーには人生の苦い現実や愛の残酷を見逃さない鋭いまなざしがあり、不意にイメージを奔放に羽ばたかせる描写もすごい。2011年から'12年にかけて連載された『ミュジコフィリア』、'90年代の『神童』、'00年代の『マエストロ』は、さそうさんの音楽漫画三部作にあたる。

2008年、初めての単行本を出すにあたってぼくは編集者に表紙のイラストはさそうさんに描いてほしいと提案した。そのとき、最初から絵のモデルにしてほしいと決めていたバンドもあった。そのバンドとはSAKEROCK。さそうさんとの打ち合わせで、彼らのアルバム『songs of instrumental』のCDをドキドキしながら渡した記憶がある。やがて描きあがったイラストを見て、うれしさで思わず声が出た。あれは音楽を聴かずには描けないイラストだったといまでも確信している。

さそうさんが『ミュジコフィリア』以前に描いた2本の音楽漫画は、ともに映画化され、高い評価を得ている。映画版『神童』('06年)では、奔放な天才少女ピアニスト、成瀬うたを公開当時14歳の成海璃子が演じた。映画版『マエストロ！』('15年)では謎めいた老指揮者、天道徹三郎を西田敏行が演じ、鬼気迫る存在感を見せた。『ミュジコフィリア』は、クラシックだけでなく、コンテンポラリーな実験音楽やクラブ・ミュージックも登場する大胆な作品で、連載当時よりもいまのほうが映画化に向いている気がする。鴨川を使ったあのエオリアン・ハープの音もスクリーンで聴いてみたい。

ちなみに、『マエストロ！』の小林聖太郎監督は、『探偵！　ナイトスクープ』の初代局長の上岡龍太郎の息子さん。西田さんは去年まで2代目局長だった。ふたりの局長が一本の映画ですれ違っていた。「(初代局長に)よろしくお伝えください」「こちらこそ後をよろしくお願いします」なんて会話がふたりの間であったのかどうか想像したくなる。

三角州での取材が終わり、撤収をしようとしていたら、向こう岸からポロンと音が聴こえてきた。さっきギターを弾いていた男の子のところに友人が合流したっぽい。学生か、京都のバンドマンなのか、ふたりで何か話しながら音合わせをしている。表情まではわからないけどいい感じなので、もう一度iPhoneを向けて動画を撮った。

この音はバンジョーかな。ギターに比べてバンジョーの音色は風に乗りやすいみたいで、おぼろげではあるけど、さっきよりは音色やメロディが聴き取りやすい。

バンジョーという楽器は、カントリーやブルーグラス、ディキシーランド・ジャズで使われるアメリカの古典的な楽器というイメージが強いけど、その源流はじつはアフリカにあると聞いたことがある。いま川向こうから聴こえてくる響きの強さにも、その出自が関係しているのかもしれない。打楽器とは違い、弦楽器なら音色とメロディで、より繊細な感情を遠くまで伝えられたのではないか。

ブルーグラス・ミュージックでのバンジョーは、テンガロンハットを被ったプレイヤーがテケテケと速弾きで機械的な技巧を競うせわしない楽器だけど、もっとスローにポツリポツリとバンジョーの弦が静かにはじかれるとき、その音色はせつなさや愛しさといった人間的な感情を帯びる。想像だけど、アフリカで鳴ってた頃のバンジョーの原型は、たぶん、そのスローなほうだったんじゃないかな。

ビーチ・ボーイズ、ハイ・ラマズ、映画『ハロルドとモード』のラストシーン……。ぼくが好きなタイプのバンジョーの名演も、スローなほうが多い。「レインボウ・コネクション」のイントロで鳴ってるのも好きだ。'00年代初めに日本のテレビドラマの主題歌としてカーペンターズによるカバーが使われた記憶があるが、オリジナルは『セサミストリート』でおなじみのマペット人形の生みの親、ジム・ヘンソンがプロデュースした映画『マペットの夢みるハリウッド』('79年)の主題歌で、マペットのカーミットがあの"マペ声"で歌っている。作者はポール・ウィリアムスとケン・アッシャー。あのオリジナル・バージョンのイントロが鴨川のバンジョーにいちばん似てた気がする。友達の肩をポンと手で叩いて労うような、気のいい音が聴こえた。

この話には後日談がある。あの日に撮った2本の動画を「今夜見るはずの夢みたいな景色だった」とツイートしたら、台湾と日本にルーツを持ち、京都在住で活動する宅録ミュージシャン、ISAYAHH WUDDHA(イサヤー・ウッダ)から「これ友達です」と反応があったのだ。"賢いユリシーズ"というバンドをやってる友人だという。そのご本人からも自分だと認める連絡があった。そのやりとりをきっかけにして、ウッダくんからは新作のCDが送られてきた。こうして鴨川の向こう岸から風に乗って聴こえた音が、1枚のCDになって届いた。これって、渡りに船？　渡りにバンジョー？　うまいたとえがまだ思いつかない。

まつなが・りょうへい｜大学時代の友人たちと音楽雑誌『リズム&ペンシル』を1999年に創刊。レコード店勤務のかたわら音楽関係の執筆やインタビューに携わる。近著に平成の音楽シーンを振り返る自伝的エッセイ『ぼくの平成バンツ・ソックス・シューズ・ソングブック』(晶文社)。

I　そうですね。でも嫌いなものが何かって言われたらよくわからないです。

L　それは自分の何かじゃないですか？　例えば映画を一本撮ったのに、次はこうしなきゃって100%満足しきれないとか。でもそれはものづくりにいちばん必要な感性だと思うけどね。一方で若い女優が映画を撮るなんて、って何か言ってやろうと思ってる邪悪な人間たちの中に飛び込む勇気もあるわけだから。

I　だって言う人は言うと思うんですよ。

L　まあ、世の中の暇な人が言う分には放っとけばいいけど、こういうのって同業者も言うじゃない？　エライザのやったことがクリエイティブとして素晴らしいのは、そういう人たちの嫉妬心を煽ったところ。嫉妬されないクリエイターって、いいものを作ってないっていうことじゃん。チャレンジしてないってことだから。

I　確かに監督をしてから、距離をおこうとする人が増えたような気がします。

L　みんな羨ましいんだと思うよ。俺も若い時は映画撮りたいと思ってたもん。でも年を取ると面倒くさい。（樹木）希林さんがよく「結婚は若いうちにしなきゃ駄目。分別がついたらできないんだから」って言ってたけど、映画も若いうちに撮ったほうがいいの。例えばソフィア・コッポラだって、最初に映画を撮った時はやんや言われたもんですよ。あのフランシス・フォード・コッポラの娘だし。

I　うん、そうでしたよね。

L　でも今、文句を言う人が誰もいないのは、ちゃんと撮り続けて成果を残してるから。そういう意味ではエライザももうスタートしたわけだしね。

I　でも舞台挨拶で話すとか、めちゃくちゃ苦手なんです。この前の連載で、私はインタビューが怖いっていう話を一生さんとして。

L　三宅？

I　高橋一生さん（笑）。一生さんは瞬発力で答えるって言ってたけど、私はこう答えたら派手な女だと思われるんじゃないかって、いろいろ気にしちゃうんです。だから「私そんな人じゃないです」っていうことしか言えなくて。

L　でもそういう怯えって誰でも持ってるものだから、強がらずに、何でも口に出して言っていったほうがいいんじゃない。

I　どこか強がっちゃうんですよね。こう見せたいとか、本当はこうじゃないとか。

L　それは俺もエライザもありがちだね。よく見せようと思ってる自分に自分自身が気付いちゃうと、違う部分を見せとかないとってなる。そんなの誰も気にしてないのに。

I　そうそう（笑）。それでうまく伝わらないんです。

L　『The Covers』[*1]をやってて、エライザと一緒だとやりやすいのは、例えばゲストの人が言った一言への反応がほとんど俺と同じなんだよね。だからエライザは今こう感じてるだろうなってすぐわかるし、俺がこの曲好きだから、たぶんエライザも好きだろうなとか話を振りやすい。エライザはルックスがいいだけに表に出てるけど、もしそうじゃなかったら、俺らみたいにものを書く仕事をしてるのは確実ですよ。

I　そうですね、芸能界に入る前は、自分は絶対に小説家になるって思ってましたから。今も書いてはいるんだけど、書いてる途中で、これ、自分の名前は出したくないなと思っちゃうんです。自分の名前が出ると思った瞬間に怖くなってきて。

L　それならペンネームを付けるのがいいんじゃない？　俺はめっちゃいろんなペンネームを付けてやってきましたよ。昔は写真を撮る時に「犬田犬」って名乗ってたし、土門拳のイメージかなんか知らないけど（笑）、今でも音楽は「Elvis Woodstock」でやってるし、そのほうが気分転換になる。

I　なりそうですよね。あとみんな付加価値を付けたがるじゃないですか、「サブカル女子」とか。よく言われます、サブカルって。

L　サブカルは辛酸なめ子で打ち止めだと思ってたけど、まだいたんだ（笑）。

I　それが私には悪口めいて聞こえるんです。だって私は全然サブカルじゃないから。仕事でオートクチュールも着るし、メジャーなドラマやアニメも観るのに、仕事を深掘りすればするほどサブカルって言われちゃう。それを気にしない大人っぽさが欲しいです。

L　エライザのことをサブカルって呼ぶ人は、エライザに知的コンプレックスをくすぐられてるのかもしれないけどね。

I　これで『鬼滅の刃』が好きだって言ったら、ミーハーって呼ばれるんですよ。

L　さすがに『鬼滅の刃』は俺も観ましたよ、5話まで。でもまだ面白いと思えない。『愛の不時着』も5話まで観たけど、それ以上に『日本統一』っていうVシネマにハマってる俺はやっぱりサブカルと言われてもしょうがないのかな。『日本統一』は、ようやく主人公が東京以外を統一するところまで来たけど。

I　生きづらさみたいなものは感じたことないですか？

L　俺は最初からメインカルチャーと程遠いところにいたから。昔はサブカルがファッショナブルなものだったしね。俺とかみうら（じゅん）さんとか杉作（J太郎）で、ちょっと汚れになったけど。まあ、俺やエライザみたいにモデル上がりはまわりにキャンキャン言われるんだよ。

I　モデル上がり？（笑）　でも私みたいな人は結局、ずっと変われないんですかね？

L　いや、エライザみたいな人は、根本は変わらないけど、年とともにコクが出てくるはずだから。

I　あはは。いいワードをいただきました（笑）。

L　そのうちコクと深みが出て、フォンドボーみたいになっていくと思いますよ。

「強がらずに、何でも口に出して
言っていったほうがいいんじゃない」

池田：セーター¥70,000、スカート¥50,000（ともにJUNKO SHIMADA ☎03-5652-5650）

池田エライザ●1996年、福岡県出身。2009年度「ニコラモデル・オーディション」グランプリ受賞を経てデビュー。女優の他、NHK-BS『The Covers』の司会も務める。自身の原案をもとに、初めて監督に挑戦した映画『夏、至るころ』（出演：倉悠貴他）が全国順次公開中。

*1　『The Covers』●ジャンルを超えたアーティストたちが影響を受けた名曲の数々をカバーするプログラム。リリー・フランキーと池田エライザがMCを務める。NHK-BSプレミアムにて次回は1月10日、17日（日）22:50〜『The Coversラブソング・セレクション』を放送。

GUEST

山口洋佑
イラストレーター

BOOK 荒野の古本屋……森岡督行
BOOK 近代芸術の解析 抽象の力……岡崎乾二郎
MOVIE ブンミおじさんの森……アピチャッポン・ウィーラセタクン
MOVIE 天才マックスの世界……ウェス・アンダーソン

第105回

本と画の映はなし。

自分の外側にあるものばかり見てしまいがちで。特に男性はそうした傾向が強いように思います。どんな仕事をしている、どんな車に乗っているとか、能力やステータス、社会的な規範など自分の外にあるものばかりを社会的競争の中で求められ、〝交感〟ができない。映画『天才マックスの世界』の主人公の高校生マックスはそうした一般的な男性とまったく異なっていて、好奇心の赴くまま、あらゆるクラブ活動に参加してやりたい放題やっている。うまくできるかどうかなんて関係ない。たとえ先生だろうが本気で好きになるし、同級生の父親だろうが友人にもなるしライバルにもなる。自分の感情に対する徹底的な率直さに惹かれるんですよね。そんなマックスと交流することで、人生に冷めていた同級生の父も変わっていく。〝感染〟していくんですね。そして同時に、彼らの姿を観ている僕自身もまた〝感染〟しているんです」

出会い、交感することで何かが伝わる。つまり〝感染〟する。「長い歴史の中で、世界中の人々が、それぞれのやり方でそれを表現してきたんじゃないか」と語る山口さんもまた、その一員であるだろう。絵を描くことを通じて、大いなるものとの一体化を目指す。その姿は、荒野で一人、時空を超えて繋がるトンネルを掘り進める「坑夫」のそれなのである。

やまぐち・ようすけ｜1977年、東京都生まれ。国内外の雑誌・書籍、CD、ファッション、広告などで活動。著書に『星と花の庭』(パーンロムサイ)、『ピタンくん』(若芽舎ミニ絵本シリーズ)。2月末に森岡督行氏との共著『ライオンごうのたび』(あかね書房)が発売予定。

『荒野の古本屋』森岡督行　東京・茅場町のビルの一室に“自分の砦”を築いてみた――オルタナティブ書店の旗手が語る、銀座『森岡書店』誕生前夜の物語。¥1,650／晶文社　『近代芸術の解析 抽象の力』岡崎乾二郎　「物質、事物は知覚をとびこえて直接、精神に働きかける」。現代日本を代表する造形作家が、抽象芸術が追究してきた具体性・直接性を通して近代芸術の展開を語る美術論。¥3,800／亜紀書房

photo: Ichisei Hiramatsu
text: Kosuke Ide

描く対象に目を向け
その形をなぞるのでなく
自分の心を見て
交感し、繋がること。

「今、〝コーフ〟が気になってるんですよね」と山口洋佑さんが言った時、一瞬何のことだかわからなかったのだが、ほどなくしてどうやらそれが「坑夫」であると諒解した。坑夫とは読んで字のごとく「炭坑や鉱山の坑道で採掘作業をする労働者」のことであるが、その坑夫が気になるとはこれ如何に。

「今、坑夫が気になっている」人が世界中に何人いるのか知らないが、しかし山口さんが坑夫という存在にひっかかったのは、それ以前に坑夫にひっかかった人がいたからなのであった。

「銀座・森岡書店の店主・森岡督行さんの『荒野の古本屋』に夏目漱石の『坑夫』というマイナーな小説をめぐるエッセイがあって。森岡さんは若い頃に『坑夫』の文庫本を買ったものの、いまひとつ楽しめず、数ページ読んだまま、当時住んでいた戦前の古いアパートの元石炭置場に放置していた。その4年後、村上春樹の小説『海辺のカフカ』の中に漱石の『坑夫』が登場する場面を発見して、これまた戦前創業の名曲喫茶に行って再び読み始めるのですが、やっぱりなぜか読めない……という話なんですが、その過程で森岡さんは『自分が「坑夫」という本と単語に遭遇した必然がわかったような気がしてきた』と書いていて。『現実のどこかに異界の入り口が存在している』、自宅の石炭置場と名曲喫茶が地下トンネルで繋がっているという〝妄想〟を始める。そんなふうに、ある出会いに何らかの必然性を感じて、そこに自ら入り込んでいく姿がまさに〝坑夫〟というか。森岡さん自身、1960年代に銀座を撮影していた幻の写真家を発掘して写真集を刊行したりしていて、それもやっぱり坑夫だなあと。どんなに素晴らしいものを作っていても、誰かがそれを発見して残さなければ、歴史の中に埋もれてどんどん消えていってしまう。僕らが今それを目にできるのは、過去に坑夫がいたおかげであって。ありがたいなあと。誰もいない、まさしく〝荒野〟で一人で掘り進めていく作業は寂しい。だけど、その心細さとワクワクが同居している感じがいいなあと思うんです」

その感覚はよくわかる。こうした原稿を書く際にも、過去の資料をあたる機会は数多くあるわけで、その資料もまたかつてどこかの誰かが書き残しておいてくれたものなのだ。「寂しさ」を抱えつつも掘り進めた坑夫が、ありがたくもそこにいたのである。

「以前、読んだ保坂和志さんの『考える練習』という本の中に、『こんなことを感じている、考えているのはもしかしたら自分だけかもしれないと不安に思うことがあっても、実は必ずどこかに同じようなことを考えた人が存在している』ということが書かれていて、すごく勇気づけられました。そういう、自分が普段から朧気に感じていることを言葉にしてくれた一冊が岡崎乾二郎さんの『抽象の力』です。この中で岡崎さんは『見えるかたちとして成立している表現はいかなるものであれ偶有的でかりの姿(仮像)でしかありえない』と書いていて、19世紀ドイツの教育学者フレーベルが考案した『恩物(ガーベ)』と呼ばれる積み木について触れています。立方体の積み木を回転させると円柱に変容するように、操作することによって別の幾何形態が直感的に把握できる。つまりそれは、自然界に存在するすべての事物がやがて一つに統一される性格(部分的全体性)をあらかじめ備えていて、身体行為をともなった事物と事物の交感のプロセスが統一へ向かう方向を示し、やがて視覚対象としては定位できない全体の把握へと到達することが抽象の本質なんだと。例えば、現代では一般的に、写真のように単一の消失点を持つ絵画が写実的＝リアルだと考えられていますが、実際に僕らは風景を写真のように見ているわけではないですよね。人間の視界は広く色々な場所が同時に見えていて、バラバラに知覚した情報を脳内で統合して空間全体を捉えている。であるならば、見るとは、絵を描くとはどういうことなのか。印象派から後期印象派、キュビスムに至る近代美術史の流れの中で、常にこうしたテーマが問われ続けてきたという事実を、岡崎さんは膨大な知識を駆使して掘り下げています」

人間が視覚を超えた情報を「直に捉えている」、つまり画家は「見えたものをただ描くのではない」ということ。近代絵画が追求してきたこの問題に、山口さん自身が身体を通して気づきを得たひとつのきっかけがあったという。

「ちょうど2019年、タイのチェンマイにある『バーンロムサイ』という孤児院の施設に滞在して制作をしたのですが、庭に出て絵を描いていると、周囲360度すべてが木々で、自分がそこに溶け込んでいくような一体感を感じたんです。タイのお寺には水の神様がいて、日本と同じ稲作文化だからか、アニミズム的な感覚がある。アピチャッポン・ウィーラセタクン監督の『ブンミおじさんの森』を観た時にも、そうしたタイの精霊文化みたいなものを強く感じました。病で死が近いブンミおじさんの元に、亡くなった妻や息子が現れる。幽霊みたいなものですが、彼らの存在をごく自然に、生きている人たちが受け入れるんです。その生死の曖昧な感覚は日本にも昔はあったはずで、死んだ先祖が帰ってくる『お盆』などの行事があったり。こうした文化は世界中のあらゆる原始文明が持っていたものだと思いますが、それが東南アジアには色濃く残っているんですね。ブンミおじさんが彼ら家族とともに山に入っていく、その様子は胎内回帰のようでもあり、そこでは未来や過去といった時間の概念も曖昧になっている。この映画ではそうしたSF的な世界が、自然と無理なく繋がってしまうんですね。僕自身、タイの庭で絵を描きながら、すごく集中している時、何か言葉にはできないような大きなものと繋がって、自分との境がなくなっているような感覚を起こしました。その時、うまく言えないのですが、〝祈り〟に近い感覚を得たんです。僕は特定の神や宗教に信仰心を持っているわけではないですが、もしかしたら〝祈り〟ってこういうことなのかもしれないなと。こういう感覚って、視覚情報だけに頼っているとわからなくなる気がするんですよね」

何かの作業にひたすら集中している状態とは、まさしく「身体行為をともなった事物と事物の交感のプロセス」に他ならない。「例えばりんごが置いてあって、それを見た瞬間、僕らは何かを感じたり思ったりせざるを得ないわけですが、それはりんごが能動的に働きかける力を持っているとも言え、その交感の中で、主体と客体との境は曖昧になっていくということを岡崎さんの言葉から知った」のだと山口さんは言う。

「だから、向こう側にある対象ばかり見て、その形をなぞるだけでなく、こちら(自分の心)を見るべきなんですよね。それが表現になって、うまくいった時、見る人に何かが伝わる。だけど、人はつい

『天才マックスの世界』監督：ウェス・アンダーソン／出演：ジェイソン・シュワルツマン、ビル・マーレイ、オリヴィア・ウィリアムズ、メイソン・ギャンブル他／1998年。ラッシュモア校に通うエキセントリックな少年マックスは、人並み外れた才能を持ちながらも落第を繰り返す落ちこぼれ。だがそんな彼が学園の美人教師クロスと出会って恋に落ち、片思いに。“親友”でもある学園理事ハーマンとライバル関係に陥ってしまう……。

『ブンミおじさんの森』監督：アピチャッポン・ウィーラセタクン／出演：タナパット・サイサイマー、ジェーンジラー・ポンパス、サックダー・ケァウプアディー他／2010年。タイ東北部の村。腎臓の病により死を間近にしたブンミは、妻の妹ジェンを自分の農園に呼び寄せる。ある日の夕食の席、19年前に亡くなった妻フエイが姿を現す。数年前に行方不明になった息子・ブンソンも猿の精霊となって現れ……。カンヌ国際映画祭最高賞受賞作。

| 第6回 |

いつも妙な服を着ている友だちの件。

ファッションが好きで真剣に考え、人一倍金も使うのに、まったく結果につながらない。人生そのもののように虚しい。

彼のセンスは、いつだってとてもひどい。おれのこの友だちは、着るものすべてがまるで出鱈目だ。悪口を言ってるんじゃない。うまく行っていないとき、うまく行っていないよと率直に指摘してあげる。本当の友だちの役割ってそういうものだろう？

着ているものを褒められると、むしろ心配になるようなタイプ。パジャマでもキツいレベルのTシャツを、自分の一軍ローテーションに起用するようなタイプだ。彼の繰り出す想像もつかない服選びのセンスには、おれは楽しませてもらうこともあれば、恥ずかしい思いをすることも、落胆することもある。その時の状況による。

第一の問題はサイジングだ。セーターはいつもピタピタで、パンツはいつも太すぎる。

ブランド選びもまずい。新進気鋭の謎ブランドか、安いブランドのいずれかを好み、ベーシックなブランドは選ばない。そして、どうしたわけかいつもレアものを探している。定番ものに興味がないのはまあ別にいいが、ヤバイやつを見つけた、と買ったばかりの逸品を得意げに着て登場するときは、みんなの顔にさっと当惑の表情が広がる。そしてこちらにお構いなしに、買ったばかりのUネックのセーターだかマスタード色のパンツだかの感想を求め、周囲をどん底に叩き落とす。

素材の選び方も、どうもおかしい。「これさ、ミッドシーズンものだよ」なんて言いながら、妙に凝ったカットのリネンジャケットを着ていたり。あえてヒネってヘンプのスニーカーを履いたり。

メガネへのこだわりもこの男の特徴だ。見たことのないような三角形やら六角形やらのメガネを、日によって使い分ける。もちろん誰もこの友だちのメガネについてはコメントはしないが、居心地が悪くて仕方がないのは事実だ。

この男はまあ、とにかく難しい。一番やっちゃいけないミスは、イベントか何かに行くとき、いつもより少しドレスアップして来るように伝えてしまうことだ。音符の描かれたシルク素材のシャツとメキシカンタイに、先の物凄く尖った靴を選ぶだろう。

この友だちの頭の中はどうなっているのか。どうした訳ですべての局面で間違った選択肢を選んでしまうのか？　まずは、環境の問題がある。この友だちの父親はきっとダンディなおっさんじゃないはずだ。彼はファッションの勘所を学ぶ師を持てなかった。

それ故に、人生のどこかのタイミングから、間違いだらけのファッションの体系を独自に編み出していった。これが問題の根幹だ。彼の目に映るファッションは、解像度の低い曖昧なものだ。重要なディテールの違いが感知できないし、色の印象にも鈍感だ。たとえばバギーパンツを買いに行くと、彼はごく普通にXXLサイズのパンツを買ってくる。「それさ、バギーじゃなくてただの太いパンツだよ」と指摘すると、「同じようなもんだよ。太いしさ」と答えるはずだ。

こんな友だちをどうすれば助けられるのか？　いろいろやってみた結果だが、正直に言えば、できることはまあなにもない。センスに謎の自信を持っているからアドバイスでもしようものなら「いつもおれが着てる服にけちばかりつけてくる」と逆上されるのがオチだ。無駄なことはしないに限る。救いのない話で申し訳ないけど。

ラムダン・トゥアミ｜74年フランス生まれ。1803年パリに創業した香水・化粧品ブランド〈オフィシーヌ・ユニヴェルセル・ビュリー〉オーナー。好きな食べ物は、うどん。

戦場はもともと子供相手の駄菓子屋であり、販売価格は10円。納得の小麦加工品なのだ。

小学校低学年の頃、1日のお小遣いは100円だった。この100円でいかにバリエーションに富んだ駄菓子選択をするかが日課となっていた。棒状ドリンクにあんこ玉、梅ジャムとミルクせんべい、いかの酢漬け串にカステラ串。最後に余った20円でアイドルのブロマイドくじなど引けばちょうど100円。甘さ、酸っぱさ、しょっぱさ、そして推しアイドルの所有というかなりの満足度をメイクできる。ところが、これを365日ほぼ毎日やっているとたまにバグる日がやってくる。軒先の20円ビデオゲームに全額溶かしてしまったり、キン消しガチャ1発勝負なんてのもなかなかのチャレンジだったが、同じ駄菓子を10個買うという友達の笑いを誘いたいだけの力技をおぼえてしまったのだ。『餅太郎』、または『どんどん焼』10個を駄菓子屋の前でバクバク食べる。水分なしではとてもつらかった思い出が蘇る。

今は『大入り餅太郎』をお茶とともに楽しむようになった。もちろん一気にひと袋。

せくやま（せっくす・やまぐち）｜神奈川県生まれ。ダンサー、雑誌編集者などを経て、現在はDJなど。Bリーグ・川崎ブレイブサンダース専属アリーナDJとしても活躍。

edit: Izumi Karashima

第8回

人格と経験値上げ

みんな、アセンションしてる？
タムラキングと考える、時事と哲学と次元上昇。

みちえ（以下な）たまに首席発表直前の感覚が蘇ることがあって、時間とか関係なくすべての次元は並行してるから、当時の感情が全部リプレイされる感じ。他人の感覚すら共有できてしまって、すべてが自分のことのように感じて辛い。　NASA（以下N）電車の中で急に尻の穴を出した想像をすると、出したのと同じくらい落ち込むしね。多分前に本当に尻の穴を出した人がいて、その人と同期してるんだと思う。　な想像って簡単にコミットできる夢だから。この間夢の中でインスタのストーリーズに裸の写真上げちゃって、起きてすぐ友達に「見てないよね！」ってLINEした。当然誰も見てないんだけど、たとえ夢でも私の中では事実だし、上げたのと同じ。　N脳がリアクションとった時点で体も反応するからね。だから僕も尻の穴出したのと一緒。　なでもさ、人と会えば会うほど人格って増えるじゃん。　N増える。僕も病院で解離性障害って言われたけど、人格を増やしまくってるからじゃないかな。　な統合が間に合わないんだよね。　Nその場面ごとに適切な人格ってあるしね。なみの部屋のドアを開けるときはお父さんの人格のほうが入りやすいじゃん。「（コンコン）入るぞ」。　なわかる！　感謝するときはおばあちゃんの人格。「ありがとうねえ～」。　N挨拶するときはNYの黒人。「ワッサ！　ワッサ！」　なほとんど「おっさん！　おっさん」にしか聞こえない！　お互いにいろんな人格になってるからたまにバグってお兄ちゃんも私も奥さんの人格になったりして。　N二人で「ごはん、できてるわよ」。　なカップルの待ち合わせも、私が男でお兄ちゃんが女になっちゃって。　N「ごめん、待ったあ？」　な「全然待ってねっし！」。ひい～、かゆい～！　Nあとよく出るのが、〝ヤンチャな転校生がクラスに馴染めず帰ったのを追っかける、のちに仲良くなるヤンチャな同級生〟。「おい、リュウザキぁ！」　なその人格ある！　N語尾に必ず「ぁ」を入れる。　な自分の中に人格が多ければ多いほど経験値が増えて、クリエイティブの幅が広がる気がする。でもさ、まなちゃんは常にまなちゃんだよね。　まな（以下ま）どうかなあ。　Nいや、まなちゃんはクリーチャー系だよ。よくパジャマのズボン肩まで引っ張って変な動きしてたじゃん。　なああ、GIF動画にしたやつね（※インスタのGIF機能などで「タムラキング」で検索）。そういえば私、最近自転車買ってあげたり物質的なお姉さんやるようにしてる。姉の人格が一切ないから。　まそうでもないよ。　なそう？　いつもラスボスみたいな感覚で接してるのに？　ていうかまなちゃん、私のこと「なみちゃん」て呼ぶじゃん。もしかしたらお姉ちゃんじゃないのかもしれない。　ま家族がそう呼ぶから……。　なでもお兄ちゃんはお兄ちゃんじゃん。悲しい！　N（眉毛を片方つり上げる）　なんで今悪役の人格!?　統合が全然進まない！

長男のNASA、長女のなみちえ、次女のまなの3人によるヒップホップユニット。神奈川県茅ヶ崎市出身。YouTube「タマキンTV」配信中。

text: Neo Iida

| 第8回 |

モー娘。で平和活動！

今、泉力哉監督の『あの頃。』を2月の公開に先駆けて観てきました。劔樹人さんによるコミックエッセイ『あの頃。男子かしまし物語』が原作の、松坂桃李さんが2004年のハロヲタを演じた青春映画です。

2000年代前半は、わたしもハロプロに狂っていました。劇中で主人公が夢中になっていた松浦亜弥のコンサートを観に名古屋まで駆けつけたことも。同じくハロみーんなモー娘。はじめハロプロメンバーを心の底から応援してたこと、映画を観てあらためて思い出しました。

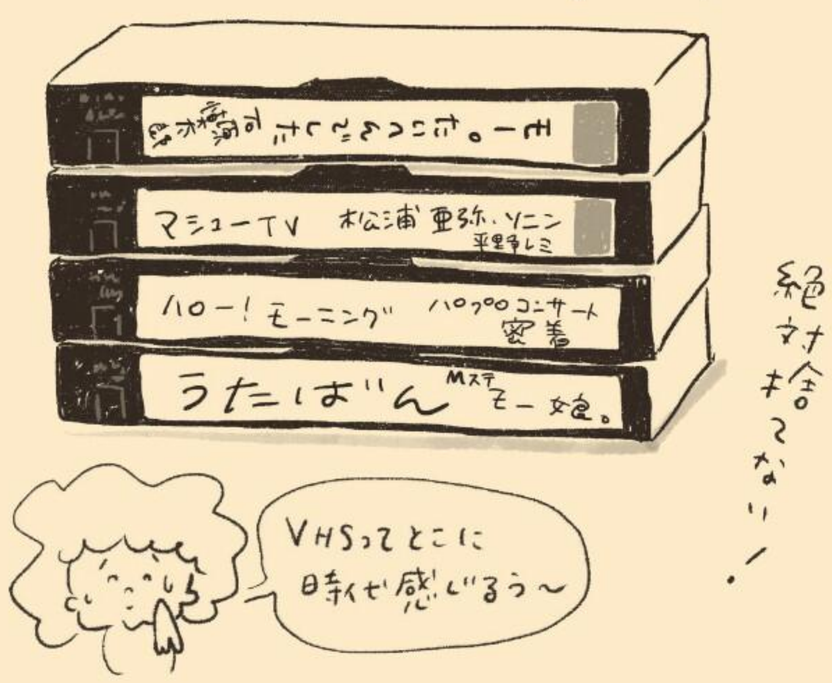
当時、あまりに毎回良い曲ばかり出すので「ハッピーサマーウェディング」が発売された時は次の新曲が出るのが怖くなったのを覚えています。ごっちんが入ってからの勢いがヤバすぎる。今がピークだろうから、ここから減速するのを見たくない……！　しかし、が訪れるのでは……なんて思ったり。いまだに、まだ12歳だった辻ちゃん加護ちゃんのことを考えると、心の深い部分がジワ～っと癒されるもんなあ。

今、どうやったらそんな自分のアイドルを見つけられるんでしょうか。「2020アイドル」で検索するとすごいたくさんグループがある上に、それぞれの人数が多い！　なんでこんなに人がいっぱいいるのよ！　そしてソロで活躍してるプロにハマっていた友人たちは映画『ピンチランナー』でメンバーが着ていたものと同じオレンジのジャージをお揃いで着たり、杉作J太郎さんは加護ちゃんの分身としてキティちゃんといつも一緒にいたり。モー娘。きっかけに諍いがあり、友情が生まれ、mixiが盛り上がっていた時代。宇多丸さんも大張り切りで絶賛ヲタ活動の真っ最中だったっけ。本当に、みんな、それは全くの杞憂で。それから「I WISH」「恋愛レボリューション21」「ザ☆ピ～ス！」とヒット連発。その間にハロプロのシャッフルユニットで珍曲出したり（「サマーれげぇ！レインボー」など）、ミニモニ。やらプッチモニも誕生したりで応援する方も本当に忙しかった。

もしあの頃くらい夢中になれるで、本当に、平和でした。アイドルが現れたらまた心に平和現役アイドルは2次元が多い。

以前は、親が「モー娘。なんて全員顔が一緒」なんて言おうものなら、目クジラたてて怒ってたけれど、今じゃ正直ももクロの見分けもちょっと怪しくなってきてる。

アイドルで平和活動するならまず顔と名前を一致させないとな……。



しまお・まほ｜漫画家、エッセイスト。1978年、東京都生まれ。自身初となる恋愛小説「スーベニア」が好評発売中。

| 第72回 |

『スタントウーマン』

ハリウッドの知られざるヒーローたち

ある一級のプロフェッショナルたちのオーラや風格を捉えた映画だ。ザ・職人映画、ザ・仕事映画。職業へのまっすぐなリスペクトに満ちた、きもちのいい映画だ。

数々の有名な映画のスタントたちが登場する。例えば『マトリックス』のトリニティのスタントがバイクでのチェイスシーンについて語る場面など、まるで初めて『マトリックス』を観るような気分になるし、もう一度『マトリックス』のアクションを1から見直したくなった。同じく、あるスタントがドリフトの練習をする場面でも、「車と踊るように」と語るベテランの言葉に導かれて、まるで初めてドリフトを見るような気持ちになる。

あるスタントが落下の練習をする場面。「久しぶりだから基礎から確認したい」と言ってイントレを登り、数メートルの高さからの背面落下の練習をするのだが、ただ練習場面を捉えただけなのに、やはりこちらも緊張して見守る。

『LOGAN/ローガン』『ワンダーウーマン 1984』『ジャンゴ 繋がれざる者』『X-MEN：ダーク・フェニックス』をはじめ多数の映画で活躍する女性スタントパフォーマーたちの姿を捉えたドキュメンタリー。全国公開中。

©STUNTWOMEN THE DOCUMENTARY LLC 2020

スタントたちは自身の過去の大怪我についてはユーモア混じりに話す一方で、同僚の事故死について語るときは涙をこらえきれない。その姿にプロフェッショナリズムを感じ、尊敬の念を新たにする。

若手からベテランまで様々な人種のスタントたちが出てくるのだが、その顔に刻まれた皺、また体軸が全くブレない姿勢ゆえだろうか、こう言ってよければまさにホンモノとしか言いようのないオーラが放たれていて、それを眺めているだけで全く飽きない。なかでも、終盤で中心的に語られるメリッサ・スタッブスの渋さに憧れた。彼女がアクション監督として、片手で無線機を持って現場のスタッフたちに指示を出している場面があるのだが、ただ街角に立っているだけなのに、「このひとはすごいひとだ」と一発でわかる。

この映画に登場するスタントたちと同じように、僕が日本の撮影現場で出会った各部のスタッフの職人オーラもすごかった。長い時間をかけて厚く太くなった大木の幹のような、静かな風格。そういう人たちと一緒に働くのは緊張するが楽しいし、そういう風格を持つ人間をカメラで捉えてみたいとも思う。

みやけ・しょう｜映画監督。監督作に『きみの鳥はうたえる』など。監督を務めたドラマシリーズ「呪怨」がNetflixで公開中。

| 第8回 |

餅太郎&どんどん焼

餅太郎のジャケには花咲かじいさんと桃太郎的な絵が。老人2人による餅つきも気になる。

小さい頃から好きで食べ続けている駄菓子がある。株式会社菓道の『餅太郎』と『どんどん焼』だ。前者が塩味で後者がソース味の揚げおかき風スナック菓子である。

風と書いたのにはワケがある。〝餅〟と謳っているのに主原料は米ではなく小麦なのだ。「え？　じゃあ本当は小麦太郎じゃん！」って感じなのだが、この駄菓子の主

Popeye Notes

photo: Nagahide Takano
text: Tamio Ogasawara
cooperation: Takahiro Goko

2

PORTER CLASSIC

こういう服を気張らず、ためらわず、毎日の生活の中で着られるような大人になりたい。そもそも、チャイナにアロハをハイブリッドしちゃうような洒落た服が作れるのは〈ポータークラシック〉だけ。中綿入りで暖かく、着ればその日一日気分よし。各¥46,000（ポータークラシック／ポータークラシック 銀座☎03·3571·0099）

1

HERMÈS

カードケースってひとつあれば十分なのに、いいものを見つけるとどうしても欲しくなっちゃうから不思議だ。〈エルメス〉のものは、3か所に1枚ずつ入るような機能性がデザインとなっていて、その触り心地も、滑らかで柔らかくて、もううっとり。¥65,000（エルメス／エルメスジャポン☎03·3569·3300）

3

AKIRA SHOJI

京都の木工職人である荘司晶さんが指物の技術をもとに作り出す鍋敷き。木には堅くて軽く、水に強いキハダを使い、日本に昔からあるような美しく繊細な造形に仕上げる。上が「結び」で、下が「擬宝珠」（ぎぼし）。古くささなんてなく、むしろモダンデザイン。さあ、鍋の季節だ。各¥6,400（工藝 器と道具 SML☎03·6809·0696）

4

LEMAIRE

シンプルこの上ないデザインながら、程よくテーパードの効いたキレイなストレートシルエット。デニムパンツをスラックスのように品よく仕立てるのが〈ルメール〉だ。冬こそ映えるホワイトデニムに、春が待ち遠しいライトオンスのインディゴも。どちらもマイ・スタンダード間違いなし。左¥51,000、右¥66,000（ともにルメール／エドストローム オフィス☎03·6427·5910）

5

BALENCIAGA

過去のアートワークを分解し、生地ごと大胆にコラージュした〈バレンシアガ〉のフーディ。ロゴものなのに、一見どこのものかわからない作りはなかなかに巧妙でユーモラス。こちらは青山店のリニューアルを記念したもので、買えるのも世界でここだけ。¥130,000（バレンシアガ／バレンシアガ クライアントサービス☎0120·992·136）

coordination & translation
: Momoko Ikeda

From PETER ARKLE 僕は冬のNYが一年の中で一番好きだ。街が静かになって、家でくつろぐのに最適な季節だからね。そんな冬のNYの風物詩がアイススケート。今回はセントラル・パークに行ってみたんだが、月曜日午後だというのに、結構な人で賑わっていたよ。青空と紅葉した木々に囲まれたスケートリンク上でみんな自由に滑ってるんだけど、大体の人がそううまくないってのがいいんだよね。転んで笑いあったりするのが醍醐味さ。

ピーター・アークル | イラストレーター。スコットランド出身で1995年よりNY在住。『The New Yorker』『The New York Times』などで活躍中。「リアルライフのほうが作り上げられた話よりずっと面白い」と、日々ストリートの出来事を記録している。peterarkle.com

聞こえるニューヨーク

HEARD ON THE STREET

illustration by PETER ARKLE

聞いても教えてもらえない、ニューヨーカーの本音を聞くため、NY在住のイラストレーターは街で聞き耳を立てることにした。今日は冬の名物、セントラル・パークのアイススケートリンクへ。

13

DANJIL

『danjil』にある〈ギルダン〉のスウェットは色がいい。他ではあまり見かけない薄いパープルにセーフティピンクとかね。'90年代のNFLもののランチバッグもかわいすぎ。マジでサンドイッチとか入れて使いたい。町田まで行った甲斐があった。スウェット各¥2,800、ランチバッグ各¥1,000（すべてdanjil☎042·720·8703）

11

ARAHEAM

鹿児島の〈ヴィーナスターオーガニクス〉による〈アラヘアム〉オリジナルの植物由来100%のマスクスプレー。シュッと吹きかければ爽やかなグリーンの香りにマスクが包まれる。ルームスプレーはそれぞれカボスとレモンのエッセンス入りで、部屋もかぐわしくなる。各¥1,800（アラヘアム／アラヘアミー☎080·9458·0108）

12

THE MOTT HOUSE TOKYO

結局〈スリーピー・ジョーンズ〉のパジャマが一番。今時期は起毛フランネルが気持ちよくて、パンツにはポケットがあるのもいい。柄もお洒落。パーカはNYの〈5BORO NYC〉のスケートもの。茶色っていいね。パジャマ各¥27,000、パーカ¥8,000（すべてTHE MOTT HOUSE TOKYO☎03·6325·2593）

15

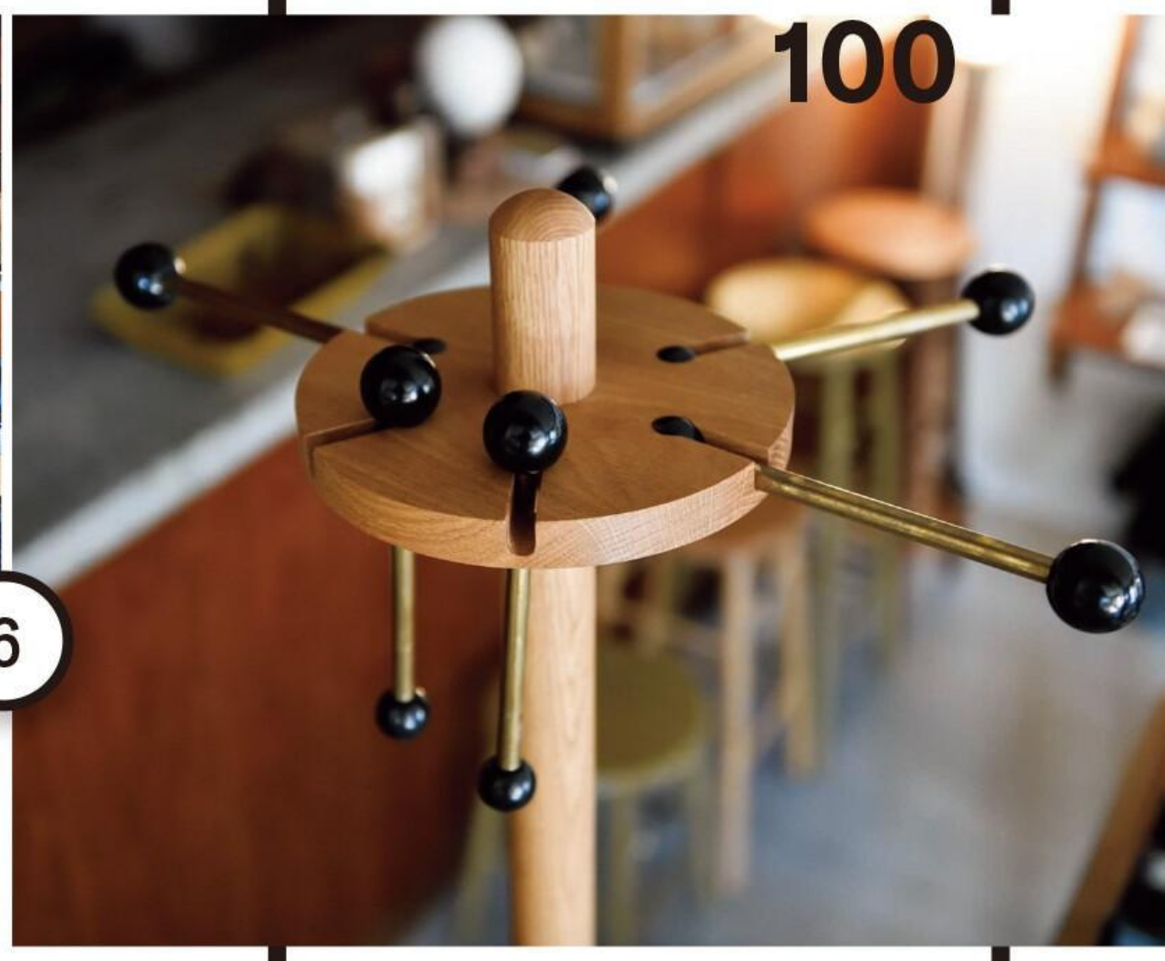
GOLDWIN × KAPTAIN SUNSHINE

〈ゴールドウイン〉と〈キャプテンサンシャイン〉が作ったのは、1着で何度も美味しいスノージャケット。防風、耐水はもちろんのこと、光電子のインナーダウンは取り外しても、単体で着てもいい設計。カーキの色味もまたいいんだな。¥70,000（ゴールドウイン×キャプテンサンシャイン／ゴールドウイン原宿☎03·6419·7920）

14

UNIQLO U

パリで生まれる〈ユニクロ ユー〉はほんのりモダンな日常着。この春夏の新作は見た目も着心地も軽やかなフーデッドコートに、ミリタリー風味の効いたコットンツイル素材のジョガーパンツ。どちらもフレッシュなホワイトベージュでどうぞ。コート¥9,990、パンツ¥3,990（ともにユニクロ ユー／ユニクロ☎0120·170·296）



6

MOBLEY WORKS

『ブルペン』で見つけた〈モーブレーワークス〉のコートハンガー。機械のレバーに使われるようなインダストリアルな真鍮とベークライトに、オークの組み合わせが際立つ可動式。なかなかいいコートハンガーと出合わないなと思っていたので嬉しい限り。欲しい！　¥90,000（MOBLEY WORKS／BULLPEN☎03-6407-0526）

8

CONVERSE

2021年の〈コンバース〉は「ジャックパーセル」が気になる予感。群青色のキャンバス地がヘルシーな一足は、見るからにクラシックな'70年代の復刻アレンジモデル。一方、見慣れた定番モデルはゴアテックス仕様で雨ニモ負ケズ。上¥9,000、下¥15,000（ともにコンバース／コンバースインフォメーションセンター☎0120-819-217）

POLYPLOID

〈ポリプロイド〉の新作を2点。シナモン色が素敵な雲彩染めのツイルジャケットは、7つのポケット付きで鞄いらず。しかもちゃんと手染め。肘が隠れるくらいのビッグTシャツはヘビーウェイトだけど軽やかでとても柔らかな着心地とくる。ジャケット¥59,000、Tシャツ¥16,000（ともにポリプロイド／ライコス☎03-6317-7470）

7

PROPS STORE

キャンバスショルダーバッグは〈L.I.F.E〉とペインターのMasashi Ozawaさんと〈W.Z.SAC〉のコラボもの。スウェットとキャップは2020年にNYで始まった〈オンプレ ネール〉。いつ行っても良きものと出合える！　スウェット¥14,000、キャップ各¥7,000、バッグ各¥14,000（すべてプロップスストア☎03-3796-0960）

10

LOOP EQUIPMENT

〈LOOPEQUIPMENT〉のクラフトビールは缶のデザインから旨そうでしょ。トロピカルな香りのモザイクホップを使ったHAZY IPAの「HYBRID」と、「HYBRID」をベースに紫蘇フレーバーで仕上げた「RELAX」。キャンプに持っていこうっと。「HYBRID」¥680、「RELAX」¥720（ともにLOOPEQUIPMENT　loopequipment.com）

9

TET'S ROOM

TET'S ROOM
TET'S ROOM

徹の部屋
VOLUME 08

photo: Wataru Kitao
text: Tamio Ogasawara

POSTER

ポスター好きで、額装好き。貴重なものもたくさんあるのに、
徹さんの部屋にはたったの一枚も飾られていないのはなぜだろう。

'70年代のものにはエディションが付いていて、これは70/320。もともと折りたたんで配給されたオリジナルポスターなので折りジワもついています。シルバーのフレームに額装しました。

映画以外のアートショーやバンド、スケートものなどのポスターです。左上の2枚はフューチュラが1997年にロンドンで行った展示のもので、これは観に行きました。「PUBLIC ENEMY」は2ndアルバムのヨーロッパツアーもので、しんちゃん（スケシンさん）にもらったやつ。マイク・バレリーのサイン入りの〈SPEED METAL〉や、〈DOGTOWN〉、スケートパンクバンドの「JFA」、バーバラ・クルーガーのものも、だいたいもらいものですね。

これらはNYで買った映画ものです。1974年の『THE TEXAS CHAINSAW MASSACRE』（悪魔のいけにえ）は今だとかなり貴重なはず。やっぱり'70年代ものはエディション付きで、74/282って入ってますね。『Apocalypse Now』（地獄の黙示録）はデザインがキレイで、'70年代のラス・メイヤーのエクスプロイテーション映画は、メインストリームにはない作りなのが好み。内容は全然面白くないですが（笑）。あと、どのポスターもデカいですよ。

「THE CLASH」のものですね。昔、完ちゃん（高木完さん）の友達のお店で見つけて、すぐに買っちゃいました。黄色の「KNOW YOUR RIGHTS」のものはサンフランシスコの友達が送ってきてくれたのですが、説明がなかったからいまいちよくわからずで。

一人暮らしを始めたばかりの頃に部屋に飾ったのが、『THX 1138』のポスターです。ジョージ・ルーカスが学生時代に制作した短編映画が元になった1971年のデビュー作で、20代前半の頃にNYのポスター屋で買いました。確か、『Movie Material Store』という店で、当時は半地下に下りて、カウンターに両手をついた店主がいきなり「何がいい？」って待ち構えているようなところで、欲しいタイトルを伝えたら奥から出してくれるというハードボイルドシステム。僕はモタつかないようにタイトルを言って、お金もないので値段を見てから、何枚か買ったのかな。グラフィティライターのスタッシュに「お前ら映画好きだろ？」と連れていってもらったのですが、宣伝用のロビーカードなども置いてありましたね。

そもそもは、『THE ART OF ROCK』というエルビスから'60年代のカウンターカルチャー、'70年代のニューウェーブくらいまでのポスター集を、リック・グリフィンが描いた「グレイトフル・デッド」ものが欲しいなあと眺めていたので、ポスターへの興味はロウブロウアーティストが最初だったのかと思います。でも、そのときにはもうすでに高くて結局一枚も買えなかった。ポスターって所有者を映すものだし、その人の核が見えるもの。趣味が出がちだから、今は逆になんだか飾りづらくて。かといって、額装しないとその存在も忘れてしまいそうで、どうしたものかと困っています（笑）。

西山 徹
WTAPS / DESCENDANT / FPAR
director

にしやま・てつ｜1974年、東京都生まれ。額装は昔から恵比寿の『ジンプラ』で。額にもブームがあり、木目や黒枠、妙にデコラティブなもので作ってみたりと多種多様。希少な『悪魔のいけにえ』のポスターは実勢価格を知ってみたいそう。

18

CUP AND CONE

たっぷりとした身幅に、いつものTシャツの裾がちょっとだけはみ出る絶妙な着丈に、ちょうどよい締まり具合の裾のリブ。着るとわかるが、ほんといい形のスウェットである。こだわりの感覚が近いので安心して買えるのもいいところ。パーカ¥14,000、クルーネック¥12,300（ともにCUPAND CONE　www.cupandcone.jp）

16

17

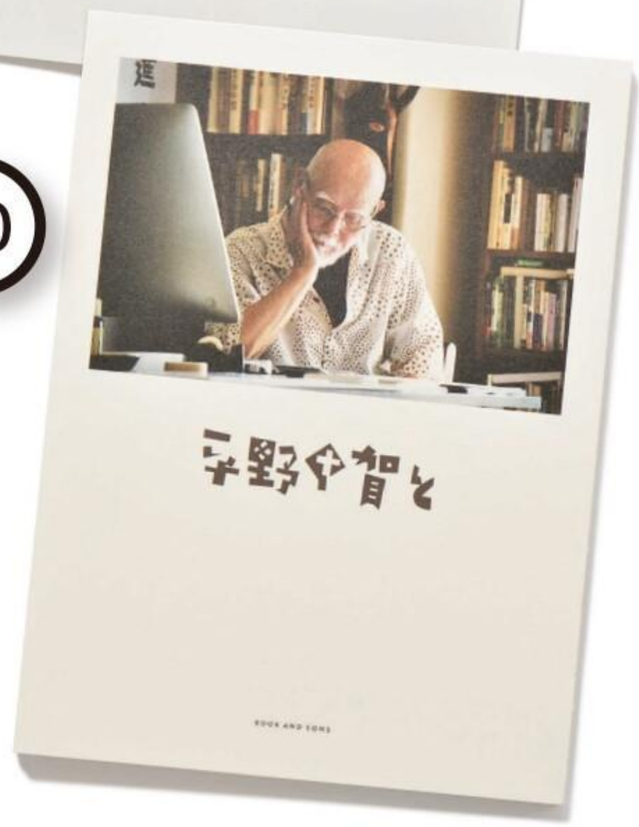
MANHATTAN PORTAGE BLACK LABEL

〈マンハッタンポーテージブラックレーベル〉からは、現代の路上に馴染むコーデュラツイルナイロン生地のメッセンジャーバッグを。意外と見ないオリーブカラーの新色で、小ぶりなサイズも使い勝手よし。自転車に乗る人も、乗らない人にも。¥25,000（Manhattan Portage BLACK LABEL Showroom☎03·6434·0853）

AURALEE

まだまだ冬だが、春めくライトブルーが眩しい〈オーラリー〉のウェザークロスコート。腰のベルトをギュッと縛って着るもよし。ただ羽織るだけでものすごく雰囲気の出るウールドビーのハーフコート。ちょっとしたジャケット感覚で着てみたいね。コート¥74,000、ハーフコート¥78,000（ともにオーラリー☎03·6427·7141）

20



KOGA HIRANO

装幀家、グラフィックデザイナーである平野甲賀さんは間違いなくレジェンドのひとりだが、僕らからすると、いつも『ポパイ』でも撮ってもらっている平野太呂さんの親父さんだ。初めてその仕事に触れたのは、今思えば、沢木耕太郎の『深夜特急』だったはず。昨年、学芸大学の『BOOK AND SONS』で行われていた刊行記念展示も見に行ったのだが、一目で甲賀さんだとわかる仕事っぷりに感動を覚え、描き文字“画文集”の決定版『平野甲賀と』を買い、家で真似して描いてみたりしている。¥4,000（BOOK AND SONS☎03·6451·0845）

19

SIERRA DESIGNS × CASSIDY HOME GROWN

カリフォルニア州バークレーの隣町、リッチモンドに誕生した〈シエラデザインズ〉。〈キャシディ・ホームグロウン〉とのコートは、誕生の地にある自然公園の名をとり「アルバラドパークコート」と八木沢さんが命名（しかもオフィシャル）。ラウンドカラーに渋くエルボーパッチ付き。¥38,000（原宿キャシディ☎03·3406·3070）

Text & Artwork by
Isao Makino

08

ボトルキープ

のみ歩きノート

画と文　牧野 伊三夫

あちらこちら飲んでまわっている友人から、まだ一度もボトルキープをしたことがない、あれは、どういうときにするものなのかと聞かれた。それで、自分がはじめてしたのはいつだったろうと思い出そうとしてみたが、もう忘れてしまった。

しかし確かなことは、そのほうが安かったからだ。今はそんなに飲めないが、若かった頃はバーへ行くと、ウィスキーのハイボールを二十杯ばかり飲んでいて、なにしろ質より量であった。一杯ずつグラスで注文していたらけっこうな金額になって手に負えないので、割安のボトルをキープして飲んだ。それに、飲みはじめはアルコールの分量が少ないほうがさっぱりとした爽快な味わいをおいしく思うが、何杯かおかわりをしていると物足りなくなってくる。ウィスキーのハイボールなんかは、ダブルで、トリプルでと、だんだんとバーテンダーに濃く作ってもらい、しまいには、氷なしでとか、ストレートで、などと注文するようになる。こうして徐々にアルコールへの欲求が増していくのは、まるで蒸気機関車が走り出すときのようである。もう見たことのある人は少ないと思うが、駅舎のホームにとまった蒸気機関車は、シュウウウーッ、と音をたてて車輪に白い水蒸気を吐き出すと、ゴッと小さく吠えてわずかにレールの上で車輪が回転して、ゆっくり起き上がるように動きはじめる。そして、ゴォーッ、ゴウッ、ゴッゴッゴッ、ゴゴゴゴ、とスピードを上げていき、やがてトトトトト、とフル稼働で風を切って走り、調子にのって、ピヨーッ、なんて汽笛を鳴らしたりする。

いくぶん安く飲めるが、もちろんボトルを入れるのは、何度か飲みに行って、その店の常連になりたいと思うようになってからだ。中野のバー「ブリック」には、二十代の頃から三十年通っていた。この店の開店は一九六四年で、壁は東京大空襲のときに焼けた煉瓦でできていた。戦後、ウィスキー文化を広めるために創刊され、小説家の開高健や山口瞳が編集した雑誌「洋酒天国」を額装して飾っていたりして、懐かしい時代の雰囲気が漂う店だったが、残念ながら去年の春、閉店してしまった。僕はこの、マカロニをぶよぶよになるまでやわらかく茹でたマカロニサラダが好きで、家で作るときも真似て作った。他に、昔の洋食屋で出されたような親指ほどの小さな蟹クリームコロッケや、卵の上に蒸されたハムがのったハムエッグ、メニューに「スペイン風オムレツ」と表記されたチーズとトマトの入ったトルティーリャなどを出し、どれもウィスキーハイボールによく合った。

この店でボトルを入れたのは、通いはじめて四、五年経った頃だったと思う。あるとき、練馬区立美術館で当時心酔していた画家山口薫の展覧会を観ての帰りだった。そのとき僕は、絵を見た感動さめやらず、山口にあやかろうとしてボトルに記す名前を「山口」にしてもらったのだが、その後店が閉店するまで、ずっと、そのボトルの名で呼ばれていた。

ボトルを入れるのは、安く飲むというだけでなく、常連客となる切符を買うようなものではないかと思う。一人でやっているような小さな店で入れるときは、お店に対してこれからよろしく、という気持ちを伝えるようでもある。それで、下手な酔っぱらい方などできないなと、ちょっと緊張したりもする。

オーセンティックなバーなどでは、入れて次に行ったとき、カウンターに腰かけて名前を告げると、自分の入れたボトルが目の前に置かれ、

「飲み方はどうなさいますか」

などと聞かれるようになる。ハイボールで、とか水割りでとか伝えるが、バーテンダーに自分の好みの割合で酒を作ってもらえるのもうれしい。あるいはそうでなくても、仲間たちとテーブル席に座って氷や炭酸をもらって、にぎやかに自分のボトルで酒を作りながら飲むのも、また愉快だ。そして、さらに通うと、ただ座っただけで目の前にボトルが置かれるようになる。店の人に顔を覚えてもらえたこのとき、ようやく常連として認めてもらえたと感じる。

そういうものだと思うが、酔っぱらった勢いで変な入れ方をしたこともあった。友人と二人、高円寺の小杉湯へ行き、そのあと、もつ焼の「一徳」で飲んだ帰り道だった。もうかなり酔っぱらっていたが、どこかでもう一杯飲んでしめくくりたい気分でふらふら酒場が軒を連ねる通りを歩いていると、店の入り口に破れた芝居のチラシなどをベタベタ貼った怪しげな雰囲気の漂う「唐変木」というバーを見つけ、まァここでよいかと飛び込みで入った。ところが、この店が思いのほか、自分好みの店だったのである。地下にある薄暗い店内は他に客の姿もなく静かだったが、ジャズのレコードの棚とレコードプレーヤーがあった。壁には、カレンダーの裏に書くような素朴な手書き文字で「ポップコーン」とか「焼きそば」などの七〇年代の学生酒場を思わせるような気安いつまみが並んでいる。カウンターのなかに、いかにも昔から店を守っているという雰囲気の、落ち着いた感じのママが一人いた。僕はそこによろよろして腰かけたと思う。ウィスキーの水割りを注文すると、これまた家庭用の冷蔵庫で作ったのと同じ白い気泡の入った氷が浮いて出てきた。その気安い雰囲気が実によくて、すっかり開放的な気分になった。僕はきっとまた来るだろうとボトルを入れることにした。そして、名前を書くよう白いマジックを渡されると、そのうれしさが爆発してしまったのだろう、ウケをねらってボトルにでかでかと「フェラッチオ」などと書いた。今思うと、その頃、性愛をテーマにした絵を描いていたせいもある。ママはチラッと見て、気づかぬふりをしたが、きっと頭のおかしい変な客だと思ったに違いない。

「あのう、僕は絵描きでね、父がイタリア人なんです。カラバッチオの親戚」

などと、さらにつまらぬ悪ふざけをしていたが、もちろんまともに相手をしてくれるわけがない。こういうことはめったにやらないのだが、飲み歩いていると、たまに馬鹿なことをやりたくなるのだ。ママは相当のヴェテランであるらしく、顔をしかめながらも、笑ってしばらく付き合ってくれた。

おかげでその夜は、沈没するまで愉快に飲むことができたが、問題はそのあとである。後日、ボトルのことなど忘れて仕事仲間の女性を連れてその店へ行くと、ママに

「あーら、おフェラちゃん。こんばんは」

などとからかわれて赤面することになる。以来、誰と行っても、ママはいたずら目で僕をフェラチオさんと呼ぶのだ。

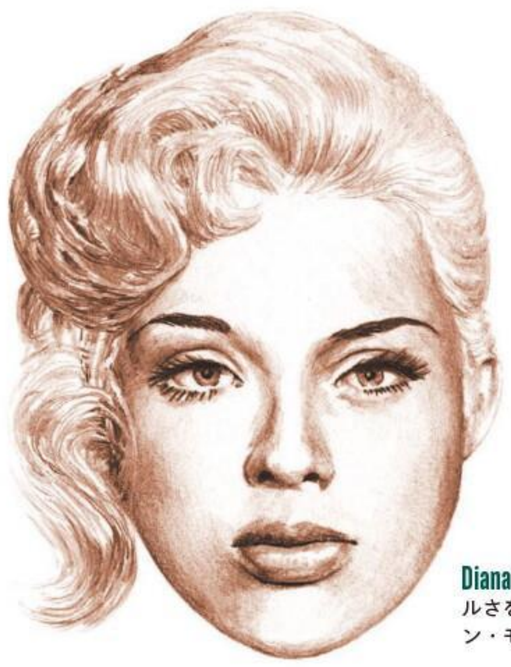
まきの・いさお｜画家。1964年、福岡県生まれ。東京の広告制作会社でグラフィック・デザイナーとして勤めた後、画家として活動。酒好き、風呂好き、料理好きとしても知られる。近著に、日々のこと、旅のことをまとめたエッセイ『アトリエ雑記』（本の雑誌社）。

第8回 「魅惑のドース」

前号のジェーン・アッシャーで出演作としてとりあげたイエジー・スコリモフスキの『早春』(1970)には、1950年代のイギリス映画界でセックス・シンボルとして活躍、キッズのオナペット(いまや死語か)NO1だったダイアナ・ドースが特別出演している。浴場で働く『早春』の少年は有閑女性客への特別奉仕で稼いでいるが、その少年の相手役がドースなのだった。少年はドースに強引に抱き寄せられ、その肉体に埋没、窒息しそうになる。この彼女を見て、往年のファンは心に痛みを感じたかもしれない。彼女の肥満体質はティーンのときから危惧されていたが、そのとおりの姿を見せたのが、『早春』だったからだ。かつての面影は消え、肉塊にちかい変容であったが、しかし、臆せず体当たりで笑いをとりにくるあたりがドースの真骨頂なのだ。すでに'60年代を通じて、俳優ロッド・スタイガーとの不倫、ギャングとの付き合いほかのスキャンダルで"スカーレット・ウーマン"(聖書にでてくる淫婦)よばわりされていたこともあり、恐れるものはなにもない。

思い返されるのは、1931年生まれのドースの本名は、ダイアナ・メアリー・フラックであったことだ。フラックからドースへ、なぜ変えたか? FLUCKと英語にすればわかるように、ほとんどFUCK寸前、いや同然といっていい。ティーンでデビューの少女にさすがにこれはまずいだろうという配慮であったが、結局は無意味だった。ドースは数々のファッキンなスキャンダルを通じて、この本名にイメージを戻したといえるからである。

大戦後から1950年代初めのドースは、その輝くブロンド、可愛さ、そしてなにより豊満な肉体をスクリーンにふりまき、英国産マリリン・モンローとして話題となった。アメリカのMM(マリリン・モンロー)、フランスのBB(ブリジット・バルドー)、イタリアのCC(クラウディア・カルディナーレ)、そして英国のセックス・シンボルはわたしDD(ダイアナ・ドース)よ、というのが、ドースの自慢であった。



Diana Dors (1931-1984)ダイアナ・ドース。女優。セクシャルさを売りにしたコメディに出演して人気を博し、英国のマリリン・モンローと呼ばれた。歌手としてレコードも残している。

ビートルズの面々も、少年時代にドースのことはよく耳にしたにちがいない。ちょっと見では、ジェーン・マンスフィールドとまちがいそうな蝋人形がドース像として『サージェント・ペパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド』のジャケットに登場する。実際、ある美術評論家のポップ・アート論では、この蝋人形をマンスフィールドとしていたが、責められない。似ているかといわれれば、ビミョーだからだ。

『サージェント・ペパーズ』のメイキングを追った記録写真も残されているが、そこでは、着衣前のドースを見ることができる。彼女はMMやBBと異なり映画でもグラビアでも裸になったことは一度もない、という意味ではダミーとはいえ、貴重だ。

そういえば、裸にさせられ、レイプされる危険性を彼女が感じたときがあって、それは、有望な女優発掘のために、映画会社RANKがはじめたチャーム・スクールにおいてのことだった。あるプロデューサーから自室によびだされた15歳のドースに、ちょっと太り気味のようだからボディ・チェックをしたい。脱いでくれる? 秘書のノックで難をのがれたが、パワハラ、セクハラ、まったく薄汚い世界であることは世の東西を問わない。このプロデューサーが唯一正しかったのは、ドースの太りやすい体質への危惧であろう。

彼女の若いころの出演作で、当時の全国的なサイクリング・ブーム、地域対抗ラリーの熱狂の気分を記録した作品に『A Boy, A Girl and A Bike』(1949)があるが、このときも自転車が壊れそうである。ちなみに、『サージェント・ペパーズ』のカバーを構成したポップ・アーティスト、ピーター・ブレイクも少年時代サイクリング・ラリーの熱狂者だったが、走行中に転倒、あごの骨折で顔面変形、内気な性格になったのは、思春期のこの自転車転倒事故ゆえだったと語ったことがある。大戦後、誰もが歓喜の声を上げて英国内を走り回っていたのである。

出演作はおびただしいが、ドースが主演しての最高作が、J・リー・トンプスン監督の実話に基づくフィルム・ノワール『Yield to the Night』(1956)であることはまちがいない。夜に身を任せて、といった意味合いだが、愛人を38口径の拳銃で射殺し、英国で最後の絞首刑者となった女性ルース・エリスの映画化だ。犯意すべてを認め、淡々と死刑の日を待つ彼女をドースは疲れた顔でみごとに演じて喝采を集めた。疲れた顔には演技以前の理由があって、ドースは当時の結婚相手から日々DVを受けていて、体も痣だらけであった。男を射殺したいという思いは、演技を超えてヒロインへの没入となったはずである。

この作品は英国代表としてカンヌ映画祭に出品され、ドースもカンヌに足を踏み入れた。しかし、この地で話題をさらっていたのは、もうひとりのDDであった。アルフレッド・ヒッチコック『知りすぎていた男』出演のDD(ドリス・デイ)である。カンヌの陽光に女性殺人者ものは暗すぎた。

『Yield to the Night』をめぐっては、事実は小説並みに興味ぶかい、といっておきたい。というのは、ルース・エリスは、射殺事件を起こす4年前に1本の映画『Lady Godiva Rides Again』(1951)に出演している。英国のビューティー・コンテストをめぐっての軽い作品だが、英国戦後風俗研究には欠かせない。このころは芸能界進出への希望があったにちがいない。ここから自堕落な生活がはじまり、バー勤め、売春と落ちていき、嫉妬にかられての事件となる。ドースはこの作品にゲストとして出演していたのである。お互い、数年後の運命を知らずに……。

photo/Science & Society Picture Library/aflo

10代のドースは駐留アメリカ軍兵士にとって、モンローの代用品と思えたにちがいない。また、彼女はドライヴ好きで、しかも愛車は巨大なアメ車のキャデラックだった。車と女のド派手な構図、つまり英国ポップ・アート図像の先駆はまちがいなくドースであった。

photo/Science & Society Picture Library/aflo

photo/Science & Society Picture Library/aflo

photo/Getty Images

DVDの輸入盤として、以前に『DIANA DORS THE COLLECTION』が存在するが、日本語訳つきのセットとか欲しいところである。ドースのクレバーで大胆、しかも詳細なゴシップ群を自ら語り下ろしたのが『FOR ADULTS ONLY』(A STAR BOOKS、1978)。ルース・エリスにかんしてはフランク・ジョーンズ『女性殺人者たち』(青弓社)ほかあり。

たきもと・まこと | 元編集者。映画、音楽、美術、文学など豊富な知識を曖昧な記憶でつなぎとめたかのような魔術的な原稿に定評が。

AT THE AGE OF 20

上左／NSCの同期とは今でも仲良し。これは学生時代、プライベートで沖縄旅行に出かけたときに現地のカラオケボックスで撮ったもの。左からアインシュタイン河井ゆずるさん、ビタミンSお兄ちゃん、藤崎マーケットトキさん、そしてウルフカットの濱家さんと、見切れているアキナの山名文和さん。上右／結成まもなくインディーズのお笑いライブ『キタイ花ン』に出場していた頃。左／結成1年目で『M-1』2回戦に進んだふたり。エントリーナンバーは789。以降毎年、準決勝あるいは準々決勝まで勝ち進み、2017年からは3年連続で決勝に進出した。

編成され、濱家さんは見事Aクラスに。

「でも全然おもんなかったです。当時のネタが、『新しいアンパンマンのタイトルを考えよう』『アンパンマンとニコール・キッドマン！』『いやそんな役者と出るかあ！』。これでAクラスやったんで（笑）」

後輩とはスピード解散。濱家さんはNSC在籍中、4回の解散を経験している。

「僕、男前とばっかり組んでたんですよ。キャーキャー言われようと思って（笑）。喋ってて『うわ、おもんな！』って思うと、こいつやないんやろなってすぐ解散して」

学校には実家から通っていた。芸人の道を選んだ息子を、父親は「専門学校で手に職を付けたほうがええんちゃうか」と心配し、母親は「好きなことやり」と背中を押してくれた。同期の天竺鼠や藤崎マーケット、和牛たちと過ごす時間も楽しくて、1年はすぐに過ぎ、卒業。Aクラスの濱家さんならすぐに劇場所属？

「それがね、卒業したら全員フリーになるんです。吉本所属でもなんでもなくて、劇場のオーディションを受けないと舞台に上がれない。自力で挑戦するしかない」

5番目の相方とも解散。ひとりでオーディションを観に行くと、やたら面白いピン芸人がいた。それが山内さんだった。

「すぐ『組まへん？』って電話しました。あいつずっとCクラスやって、僕がコンビ解散してCクラスに落とされたときに、『番号教えてもらっていい？』って言われたのを思い出して。あいつもコンビ組みたかったらしくて『ぜひぜひ』って感じで。それでネタ合わせしてみたら、もうめちゃくちゃ面白くてびっくりしたんですよ。それまで腹抱えて笑うなんて一度もなかったんです。漫才っぽいものを作ってただけやったんでしょうね。山内と組んで、お笑いがめっちゃおもろなって」

六本木のネオンに驚いた、いつか勝負をする街、東京。

コンビ名は漢字表記の「鎌鼬」に決めた。吉本以外のインディーズライブに顔を出し、オーディションを受け続けて1年ほどたった頃、ようやく劇場入りが決まった。それが2000年代の若手芸人の拠点、今はなき「baseよしもと」だった。

「当時のトップ3組が千鳥さん、笑い飯さん、麒麟さん。怖かったです。みんなめちゃくちゃ尖ってたし、大悟さんも人相悪くて。全然喋りかけられへんかった」

劇場は実力主義のピラミッド型。頂点に鎮座するトップ組の下に入れ替え制の1軍、2軍、3軍が控えており、かまいたちは3軍からコツコツと戦った。

「調子は良かったです。『M-1』も2度目の出場から準決勝まで行けたし、結成3年目で『ABCお笑い新人グランプリ』も獲った。生意気やったと思います。俺みたいなおもろいやつそら売れるわ、賞獲るのも当たり前やんな、っていう痛ーいヤツ。本当はそんな人間やないのに、芸人はそうならないかんと思い込んで」

とろサーモンの久保田さんに可愛がられ、大悟さんとも飲みに行くように。テレビにも少しずつ出始め、24歳くらいで15万～20万円の給料がもらえるようになった。でも、そこからが長かった。

「部活の延長線みたいな感覚やったんですよね。ギャンブルして、パチンコして、酒もめちゃくちゃ飲んで。劇場に寝泊まりしてた時期もありました。その頃から会社に借金するようになって『今なんぼ借りれますか？』って限度額いっぱい借りて、バーッと使うんです。生活費じゃなく、ただ遊ぶ金。で、元金が減ったら『なんぼいけます？』ってまた借りる。なんであんなことしてたんやろ……。」

理由なき反抗を続けていた頃、たまに東京の仕事が入ることがあった。定宿は当時六本木にあった『ホテルアイビス』。

「この仕事するまで東京に来たことがなくて、初めて交差点の〝ROPPONGI〟ってサインを見たときは『六本木や！』って興奮しました。怖くて遊びに行かれへんかったけど、これが東京なんやなって」

山内さんとの暗黙の了解が、「『キングオブコント』か『M-1』で優勝したら東京で勝負しよう」だった。だから、東京は憧れの地というより、絶対に来るべき約束の場所。その後、26歳で『ふくらむスクラム!!』のレギュラーが決まり東京に呼ばれるも、番組はすぐに終了。「いったんステイや」という山内さんの言葉で、再び大阪で足場を固めた。

「それまで気楽にやってきたのに、初めて『あ、ダメかも』と思って、余計にお酒に走りました。酩酊するまで飲んで、師匠の現場にも遅刻して、28歳で痛風に」

大阪の賞レースは獲れても、全国の大会に指がかからない。自堕落な生活は、コンプレックスの裏返しだったのかもしれない。そんな濱家さんを、山内さんはただ見守っていたという。

「見放してたのかも（笑）。でもあいつは優しいし、本人が気づかん限り変わらへんってタイプなんで。大人なんですよ」

29歳、『せやねん！』で千鳥の後任となり、ロケ芸人として奮闘。賞レースを次々と狙いながら、東京行きの切符を手にするまで6年の月日を要した。

「昔の話が記事になるたび、『こいつ何なん？』って思うんです（笑）。酒に溺れて、売れへんのを人のせいにして……。もっと頑張れたと思います。20代は空洞でしたね。そうやな、それがいちばんやな」

取材メモ

今やプライベートでは良き夫、良きパパとなった濱家さん。心を入れ替えたきっかけを尋ねると、「完全に奥さんです」とキッパリ。30代に入って奥さまと出会い、ふとした別れ話の際に怒涛のダメ出しをくらい、「ここまで言ってくれる人はおらん！」とハッとしたのだとか。それから「借金の返済計画立てる、貯金する、仕事の悪口は言わない」といった奥さまチェックのもと、クリーンな体に。最近の趣味は「家にいいお酒を揃えて晩酌すること」。

空洞のまま突き進んだ若手時代。
時おり仕事で訪れた東京は、
相方と約束を交わした勝負の地だった。

二十歳のとき、何をしていたか？

VOLUME 7

濱家隆一

芸人 37歳

はまいえ・りゅういち｜1983年、大阪府生まれ。2004年に相方の山内健司さんとかまいたちを結成。『かまいガチ』（テレビ朝日系）、『かまいたちの机上の空論城』（関西テレビ）などに出演。1月12日から新番組『これ余談なんですけど…』（ABCテレビ）放送開始。

at 六本木交差点

謎の自信だけが常にあった、〝イチビリ〟な大阪時代。

「どう考えても大事な1年！」。2020年、かまいたちの濱家隆一さんは、そう自らにハッパをかけてきた。大阪で名を馳せたのち『キングオブコント2017』の覇者となり、東京へと進出したのが2018年。以降『アメトーーク！』や『ロンドンハーツ』といった全国ネットのバラエティ番組の打席に立ち続け、フジモンさんにイジられ、かまいたちは瞬く間にゴールデンタイムの主砲となった。芸人ならば次こそ〝冠〟。関東初の冠番組『かまいガチ』が始まった2020年は、「大事な1年」がまさに具現化した年だった。

堅実な芸人人生を歩んできたような濱家さんだが、「若い頃はほんま何も考えてませんでした。ただのバカ（笑）」と苦笑い。でも、妙な自信だけはあったという。

「『ごっつええ感じ』が大好きやったんで、小さいときから芸人になるって決めてました。下調べもせず、ただお笑いといえばダウンタウンやろ、吉本やろって」

高校時代は茶髪にピアス姿で野球部の主将を務めながら、学祭で漫才のマネごとをしていた。「調子のってる〝イチビリ〟やった」というクラスのお調子者は、卒業したらNSC（吉本総合芸能学院）に入ると宣言。だが、入学金と1年間分の授業料で約40万円が必要とわかり、高校卒業後1年かけてバイトで金を貯めることに。

「でも遊び呆けてました（笑）。居酒屋バイトの先輩とカラオケして、麻雀して。普通、お笑いやるぞと思ったら劇場に通うとかネタ書くとか、あるじゃないですか。でも何もせず、『NSC入ったらすぐ売れるんやろうな』って思ってました」

ともあれ1年後にはお金も貯まり、濱家さんは野球部の後輩とコンビを組み入学。晴れてNSC大阪26期生になった。約700人の生徒がネタ見せで実力別に

photo: Takeshi Abe　text: Neo Iida

のびのびと茂る藤棚、年季の入った栗皮色の引戸、風になびく白暖簾。寡黙だが、そこに在るというだけで場を制してしまう大物俳優のような存在感、1965年創業の『すし乃池』だ。店主の野池幸三さんが店を開いたのは40歳。ということは……え、えーと、今……95歳？　……全然見えません！と本気で驚いてしまうほどの矍鑠としたお姿。「寿司はもうあまり握らないけれどね」と、つけ場は熟練の板前さんに託しつつも、日々店に立ちお客さんと言葉を交わす。更には「今日はちょっと近くの大樹を守るための会合に出かけててね」と取材前に一仕事終えてくるマルチタスクっぷり。彼はすし乃池を営む傍ら谷中地区町会連合会の会長も務める押しも押されもせぬ谷中のドンなのだ。

生まれは信州長野県。「畑と田んぼだらけの場所だった」という旧更級郡稲里村で育ち、国鉄職員（ゼネラルストライキを大展開！）を経て劇団員になった。芝居が大好きだったが、兄のように慕った座長が実家の東京の寿司屋を継ぐと決め、劇団は解散。そりゃあ仕方ねえと野池さんも上京を決意し、寿司屋を手伝うことになった。店の名は『吉野鮨本店』。なんとそこはトロ握り発祥の店と言われる江戸前寿司の老舗（今もあります！）。当時25歳の野池青年は「寿司なんか見たことねえ素人」だったが「そこで本物の寿司を覚えたのがよかったな」と振り返る。それから15年の修行を経て、結婚をきっかけに独立（店の目の前の高島屋の医務室で働く看護師さんとの恋だった！）。築地が近くて田舎みたいな雰囲気があって……と探して辿り着いたのが谷中だった（と、駆け足で野池さんライフヒストリーをお送りさせていただきました！）。

谷中と言えば60以上の寺院が連なる寺町。「お寺があるから参拝や法事のたびに、みんな店に来るんだよ。で、持ち帰れるものもって言うから煮穴子を折に詰めるようになってね」。フワッフワの穴子にキリっと甘すぎないツメのバランスが最高な穴子寿司は、評判が評判を呼び、いつしか乃池の名物に。「町の声に応えなきゃ。町と一緒に生きることで商売は成り立つんだから。地域あっての寿司屋だよ」

その言葉の通り、野池さんは谷中の町づくりにも積極的に関わっている。時には谷中のシンボル・ヒマラヤ杉伐採を阻止したり、谷中の景色を守るために高層マンション計画に反対したりと、政治家顔負けの行動力で谷中の町らしさを守ってきた。谷中は空が広くてのんびりした空気があって素敵だな〜。なんて何も知らずにぼんやり思っていたけれど、それは自然のものでなく、野池さんや仲間たちの並々ならぬ努力と「残そう」「守ろう」という意思の積み重ねの上に成り立つものだったのだ。「行政が町を作るんじゃないよ。ここに住んでいる者ひとりひとりが町を作るんだ」と、野池さん（a.k.a市民の鑑）は力強く語る。「この木は切って欲しくない。この道路は広げちゃいけない。どんどん言っていいんだ。声にしていくことが民主主義なんだから」。気づけば街路樹が切られていたり、大好きな路地が無くなっていることがもはや当たり前になってしまって、いちいち感傷にも浸っていられないような東京。私はスクラップ＆ビルドの都市のあり方に諦念すら抱いていたが、そんなのはバカだと頬を叩かれた気がした。行動もしないで諦めてしまうなんて。寿司を握ることも、町の政治に関わることも、不可分のものとして真剣に向き合い続けてきた野池さん。自分たちの大切なものは、自分たちで守らなきゃ。今、野池さんの言葉に触れることができて本当によかった。

#僕の私の味な店

みんなの「味な店」を大募集中！　ハッシュタグ「#僕の私の味な店」を付けて投稿してみよう。みんなで広げよう「味な店」のおいしい輪！

文・平野紗季子

野池さん
リスペクト！

ひらの・さきこ｜1991年生まれ。フードエッセイスト。小学校の頃から食日記をつけ続けるごはん狂。小社Hanakoの人気連載をまとめた『私は散歩とごはんが好き（犬かよ）。』が好評発売中。Instagram: @sakikohirano

地域あっての寿司屋だよ。

上／信頼厚き板前の土井建二さん。「50年くらいいるんじゃないかな」と野池さんに盛られていたが、実際は30年ちょっと。中／「寿司屋は半分人生を売ってるんだ。他の料理屋とは違う。自分を晒してその場で握るからね。そこでお客さんとも会話があるでしょう。話には人生が出るから。人生を磨かないと寿司もダメなんだ」。野池さんの寿司屋論は深い。下／谷中の好きなところは「田舎と似た空気があるところ」。人間が助け合う距離にいられるのが人間本位の町。経済本位で作られた町だとそれが難しい。人間の声が届く距離、安心できる距離、助け合える距離。だから路地のある町を馬鹿にしちゃいけないよ、と野池さんは語る。野池さんあっての谷中。谷中あっての『すし乃池』。

上／でろりと輝く、穴子エッセンス100%の濃厚なツメ。チョコファウンテンじゃなくてツメファウンテンが欲しい。中／たくさんの常連さんの笑顔。「お客さんから教わることばかりだよ。寿司屋はありがたいね。話しながら商売できるから。でも自分が勉強していないと、お客さんは来ないからねえ」と野池さん。下／穴子寿司をはじめ、折で持ち帰れるお寿司多数。冬季限定で本昆布〆のさば寿司も（¥1,800）。「折で持ち帰っても食べられるのが寿司だよ。“すぐ食べられなきゃ寿司じゃねえ”ってのは江戸っ子ぶってるけど、本当は違うな」

続 味な店 其の27

over 80（店主が）の店　part 2

寿司を握り、町を愛す。
下町谷中に野池幸三あり。

上は開店したばかりの『すし乃池』にて。ということは今から50年以上前の写真。店の棚には分厚いアルバムがたくさん置かれていて、乃池の日々や常連さんの笑顔が並ぶ思い出編や、谷中の町の歴史文化を紐解くヒストリー編など見応え抜群。紺色の湯呑みはオリジナル。“谷中は寺町。花のまち”。人の心が生きる町。

乃池名物の穴子寿司（¥2,500※税込み）。「持ち帰っても硬くならないように」と仕上げられた穴子は、寿司界の高級羽毛布団か？　と思うほどのフワフワ食感。極めてふっくらと煮たのちに、さっと炙ると香ばしさが引き立ちエアリーな口溶けも増す。酢と塩しか使わず甘みのない江戸前のシャリにのせ、穴子の濃厚なツユだけを煮詰めた魅惑のツメを刷毛でササッ。「穴子に穴子のっけたようなもんだ」と言うくらいに穴子の旨味がぎゅっと凝縮された逸品。風味の余韻も永遠に。ちなみに野池さんの好きなお寿司は……「田舎育ちだから寿司はそんな食べねえんだよ（笑）」とのこと。「おしんこが好きなんだよ！　味噌汁とごはんとおしんこで十分なんだ」

1965年創業、堂々たる町寿司の名店。一見入りにくそうだが、肩肘張る必要はない、と野池さん。「寿司なんてパッと屋台で食うようなもんだったからね。普通に楽しく、来てもらえればいいんだよ」。テイクアウトの折詰は要電話予約。
〇東京都台東区谷中3-2-3　☎03-3821-3922　11:30～LO13:30・16:30～LO21:30、日・祝11:30～LO19:30　水休

上・下／いわゆるグラフィティーのイメージからは外れるような、ポップさが特徴。けれど、それだけではないドープさが素晴らしい！　中／最近のキャンバス作品では影の使い方が秀逸。

上／『DUSTY ARTS』から見下ろす広島市。地面は山の斜面になっている。左／移動のお供には広島の味、『むさし』の山賊弁当を。

「Onomichi U2」の元は1943年にできた船荷用の倉庫。海沿いにあって気持ちがいい。中は広々していてレストランやホテル、自転車屋まで揃う。厚いコンクリート製のテーブルがかっこいい。

コーヒー(¥450〜)はギャラリーでも飲める。『BLANK』○東京都杉並区高円寺北2-18-9　☎なし　13:00〜19:00　展示はInstagram (@blank_koenji)で確認。

住んでわかった高円寺のB面。寂れた「あづま通り」にNY仕込みの新ギャラリー。

高円寺に引っ越して約半年。毎日歩く通勤路は「あづま通り」だ。と言ってもご存じないだろう。ここは駅を北口に出て古道具屋『権ノ助』を通過し、黄色い庇の居酒屋『一徳』を曲がった先の通り。本屋、魚屋、納豆の自動販売機だってある、ごく庶民的な商店街……だったのだが、昨年9月にオープンしたギャラリー『BLANK』が新風を巻き起こしている。

最初の展示はなんと〝人〟。歌人の木下龍也さんがデスクに座り、通りを眺めていた。「木下龍也人形……？」と思わず二度見したが、怪し過ぎたので一旦素通り。ガラス張りの扉の脇から中を覗いてみると、壁中の短冊に短歌が書いてあるので展示だとわかった。中に入ってひとしきり話すと、「天才」を自称する嫌な奴という感じではもちろんなく、共作した谷川俊太郎さんを尊敬するめっちゃいい人でした。聞けば、斜向かいのコーヒーショップ兼ギャラリー『CLOUDS GALLERY+COFFEE』の姉妹店だというのでこちらも初入店。オーナーの大久保花恵さんはNYでギャラリーとカフェにそれぞれ勤めた後、帰国。二つを兼ね備えたこのショップを2017年にオープンした。「あづま通りは高円寺の〝寂れたほう〟だけど(笑)、アートを見てゆっくり過ごすにはぴったりの場所だから」と、『BLANK』も作ったという。

確かにあのヒヤッとした感覚は地味な「あづま通り」だからこそ。酔狂不在の高円寺のB面がここに。

迎 亮太

ライター

むかい・りょうた｜1993年、福岡県生まれ。国立市の本屋『増田書店』で文庫を担当する兼業ライター。

絶景の山の高床式建築から、巨大な港の倉庫まで。広島にある谷尻誠さんの建築。

広島といえば、カープ・『むさし』の山賊弁当・谷尻誠さん。11月ANAのアートプロジェクトに参加した僕は、長期滞在していた広島で他にも見たいと考えたのが冒頭の三つである。谷尻誠さんは、『hotel koe tokyo』などを手掛けた建築家で、広島と東京を拠点に活動されている方。僕は弟子時代にお会いする機会が何度かあり、ストイックで気さくな人柄から谷尻さんの建築に興味を持ったのがはじまり。出身地である広島にも建物は多く、今回は中でも印象に残ったふたつをご紹介。

2003年にできた広島市毘沙門台にあるカフェ『DUSTY ARTS』は高低差がある地形を活かした高床式建築。景色が見渡せるように壁面がガラスになっている。もうひとつは、尾道の海運倉庫をリノベーションした商業施設「Onomichi U2」。こちらは2014年にできたもので、コンクリートの躯体や鉄扉をそのまま活かしたデザインは、古いものと新しいものが上手く融合しているように思える。

ふたつの建築の間には11年もの月日が経っているけど、コンクリート、鉄、モルタルなど使われている材質が同じだという事もあり、1本芯の通ったデザインをし続けているのだと感じた。無機質な印象のある素材が使われているが、どこか居心地の良い空間は、谷尻さんが使う人の事を考えたデザインが詰まっているからなのだろう。僕が撮る写真も芯があり、誰かにとって心地いいものでありたい。

中川 淳

フォトグラファー

なかがわ・じゅん｜平野太呂氏に師事。ANAのアート企画“COM”に参加中。Instagram: @ana_art_com

自由なスタンスから描き出される、グラフィティーの新たな可能性。

日本にも世界にも、素晴らしい作品を作っているアーティストは沢山いる。当たり前なことだけど、そんな当たり前なことに気付く為には出会いが必要だ。そういう出会いを作りたくて、自分は『stacks』というzineを作っている。今回は、『stacks issue 2』に参加してもらった、スペイン出身のアーティストであるImon Boy (Instagram: @imon_boy) を紹介したい。スペイン南部に位置する、地中海屈指のリゾート地であるマラガ出身で、今もその素晴らしい環境で暮らす母親想いのグラフィティーライターだ。と言っても、彼が追求するのはシティーゲームとしてのそれではなく、純粋に描くという行為を楽しんでいる。「正直に言うと、僕はグラフィティーというカルチャーのことを、よく知らないし気にしていないんだ。自分がグラフィティーにドップリ浸かってるとも思っていないし。ただ、スプレーを使ってペイントしてるってだけで。グラフィティーは自分にとっては純粋に楽しいものなんだ。街で描くのは友達と会う口実にもなるし、リラックス出来るしね」と、こんな調子。コロナのせいで、世界各地で開催予定だった個展やグループ展が延期・中止になってしまっているみたいだけど、最近はより一層作品製作にフォーカスしているみたいで、今年は日本でも個展を開催予定。それまでは彼のInstagramを通して、彼のポップだけどシリアスな世界観を楽しんでもらいたい。

山下丸郎

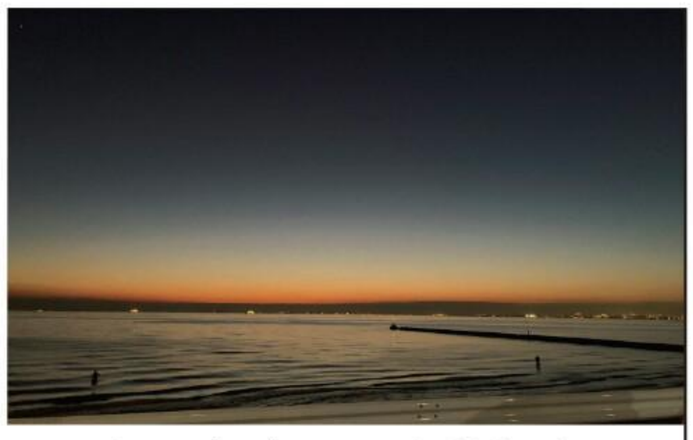
『stacks bookstore』店主

やました・まるろう｜1982年、東京都生まれ。色々やりながら、'20年より『stacks bookstore』をスタート。

GO TOなしの年末年始、いかがお過ごしでしたか。
穴場とか隙間とか、今年もいろいろヨロシクどうぞ！

POPEYE FORUM

CULTURE PARADISE ! 2021 FEBRUARY



露天風呂に浸かりながら、眺めることのできる東京湾の景色。夕暮れ時は特に、ご覧のとおりの絶景が目前に広がる。

『JFA夢フィールド 幕張温泉 湯楽の里』（千葉県千葉市美浜区美浜26 ☎043·205·4126）は、2020年7月にOPENしたばかりで、まだ建物もピカピカ。

幕張に見つけた新・サウナ大陸は、都会人のオアシスだった。

古い友人から久しぶりの連絡。「凄いスーパー銭湯が出来たから行かない？」。新・サウナ大陸発見に心を躍らせた俺は、彼を乗せて幕張へと車を走らせた。道中、助手席で突如ナッツを食べ出した彼。昔はカップ麺ばかり食ってなかったっけ？　急ぐ俺が高速に乗ろうとすると、「下道でゆっくり行こう。」と彼。昔はいつもセカセカ仕事ばかりしてなかったっけ？　そうこうしてるうちに、割とすぐ到着して驚いた。その名も、『JFA夢フィールド 幕張温泉 湯楽の里』。

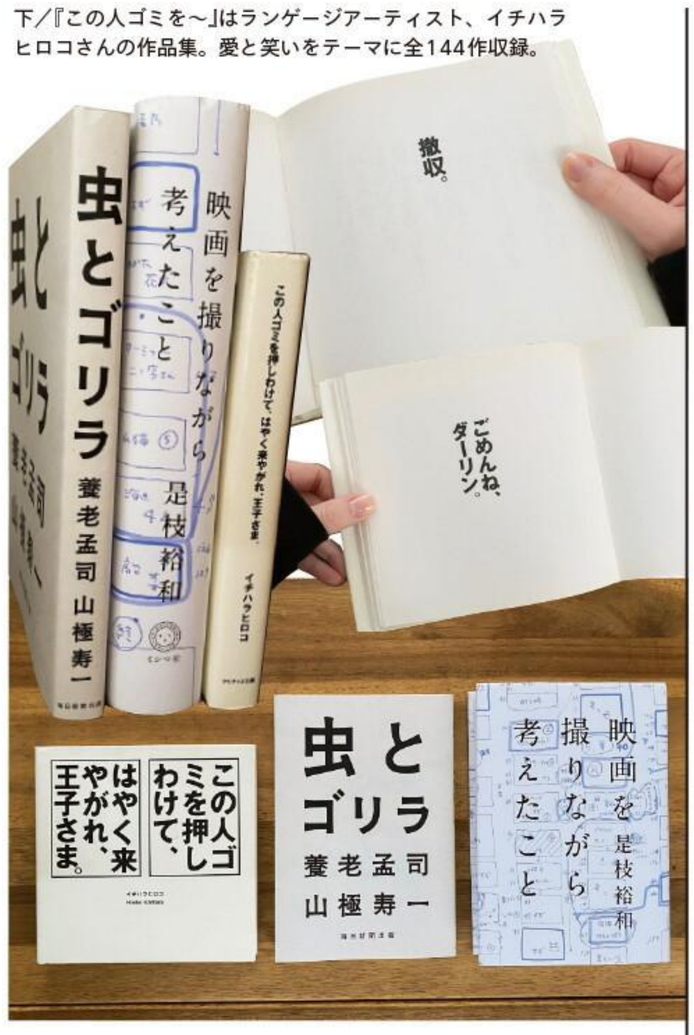
こんなオーシャンビューのある露天風呂が都心近郊にあるなんて誰が想像しただろうか。疲れも東京湾の如く埋め立てられていく！ふと横を見ると、ほっそりとした彼。昔はあんなに太ってたのに。聞くとオープンした夏から、ここに通ってるうちにストレスフリーとなり、健康オタクになったらしい。オートロウリュウ付きサウナも水風呂の温度も食事処も充実。値段もリーズナブル。何よりまだバレてないという秘境感。夕暮れ時、目の前の海辺に腰掛けて語り合った。相棒、なんで早くに教えてくれなかったんだよ。「お前に教えるとすぐバラすから」と一喝。「ここは俺ら2人の秘密の場所にしよう」と固く誓いを交わし、帰路に就いた。

ここはいずれ都会人のオアシスとして必ず名を上げるだろう。このコラムが彼に見つからない事を祈る。すまん。人に言わずにいられないよ、こんな凄い風呂。

古舘佑太郎
ミュージシャン・俳優

ふるたち・ゆうたろう｜1991年、東京都生まれ。「2」のギター・ボーカル。主演作に映画『いちごの唄』。

下／『この人ゴミを〜』はランゲージアーティスト、イチハラヒロコさんの作品集。愛と笑いをテーマに全144作収録。



左から『この人ゴミを押しわけて、はやく来やがれ、王子さま。』¥1,500／三修社、『虫とゴリラ』¥1,500／毎日新聞出版、『映画を撮りながら考えたこと』¥2,400／ミシマ社

「撤収。」……思わず〝？〟な、新年の素直な心を揺さぶる3冊。

新年が好きだ。曇りなき正月の空気をくぐり抜け、1月の心はちょっと素直。本を読めば、言葉がぐんぐん入ってくる。素直な心と読書は相性がいいもんよ。

イチハラヒロコ『この人ゴミを押しわけて、はやく来やがれ、王子さま。』の初読の衝撃は忘れられない。「撤収。」「プレゼント中。」「ごめんね、ダーリン。」。白地に黒太字ゴシックで書かれたほんの一言。説明はない。でもそこに、たしかな個人がいる。その存在感を手掛かりに、読者はそれぞれの頭で言葉を解凍する。うれしさや、おかしさ、切なさ、寂しさが動き出す。言葉はいつも受け手の頭のなかで完成するということを、この本はよく教えてくれる。毎日使う「言葉」というものを新年に改めて体験してみてほしい。

是枝裕和『映画を撮りながら考えたこと』を読んでいると、「本当のこと」は簡単じゃないのだと安心する。この本にはきちんと対象と向き合う姿勢が延々と描かれる。年のはじめに、この真摯さに浸っておけば、結界のように自分を悪しきものから守ってくれそうだ。

『虫とゴリラ』は解剖学者の養老孟司先生と霊長類学者の山極寿一先生の対談本。「正しそうな何か」が次から次へと移ろう世の中だけど、それ、本当に素敵？　人間、生物の根本を見つめ直すことは、つい急ぎたくなる毎日に立ち止まるきっかけを与えてくれると思う。引き続き混迷が予想される2021年、大いに立ち止まるために。

伊藤 紺
歌人、ライター

いとう・こん｜1993年、東京都生まれ。著作に歌集『肌に流れる透明な気持ち』、短歌詩集『満ちる腕』。

右／『船岡温泉』（京都府京都市北区紫野南舟岡町82-1）は国の登録有形文化財に登録されている。左／『村屋』（京都府京都市左京区左京区吉田牛ノ宮町25-7）はかなりカオティックな居酒屋。

雑居ビルの地下にある『West Harlem』は音もいい。京都府京都市中京区紙屋町366 B1 ☎050·1016·0099

温泉、鴨川、クラブに居酒屋……、京都での週末ルーティン。

京都生活64日目。こちらに来てから度々DJでお世話になっているクラブ『West Harlem』で朝を迎え、凛とした表情の鴨川を眺めながら帰路へと就く。しばし寝た後は、家からほど近い『船岡温泉』にて疲れを抜く。

だいぶ週末のルーティンが板についてきた。この場所では、歴史的な建造物や街並みからみる人々が紡いできた歴史の所在、銭湯などの生活文化の名残り、そして鴨川や作庭された庭園の池などに佇む鴨などの生態系が意識せずとも視界に入る。そうした景色と隣り合わせになった時、ここまで自然や歴史が丁寧に〝保存されている〟ことに度々感銘を受ける。自然と人工の境界線がある種カオスに混じり合っているその姿には、もはや無機質なビル群が並ばれるよりもヒトの存在を感じやすいだろう。そんな我々ヒトという生命体が残してきた音の歴史をボーダーレスに探すのであれば『ヒト族レコード』（営業日などはHPをチェック）に訪れるのが良い。そのあとは出町柳の居酒屋『村屋』でレコード談義。クラシックな建物から漏れ出る妖しい光は異様な光景で、カオティックな内装は日本の伝統的なモチーフも散見されるが、あくまでも時間軸のはっきりしない夢のような景色が広がっていく。

過去から現在そして未来と時間の連続性を感じさせる街並みから解放されながら酔いも深まってゆき……。今日もこうして人知れず物語が紡がれてゆくのだった。

Kotsu
DJ

コツ｜1995年、千葉県生まれ。CYKクルーの一員で、ソロでもギグを敢行中。2020年10月、京都に移住。

edit: Rio Hirai, Ryota Mukai

インスタグラムで気になっていた「スニーカーカスタム」の世界。発売されていないカラーリングを施したり、経年変化をわざと出した「ビンテージ加工」や「ダメージ加工」などなど、メーカーが発売した商品をさらに、こだわりを持って改造するスニーカーマニアたちが熱いことになっている。今回お話を聞いた福岡在住のKENJI GRAPHICSさん（36歳）はスニーカーカスタムを専門とするプロで、マニアの中でも異彩を放つ存在だ。そもそもこのシーンはどう拡大していったのか？ 「3〜4年前にアメリカで『アンジェラスペイント』っていうスニーカー専用の塗料が流行り始めたんですよ。するとスニーカーカスタムのアーティストが出始めて、NBAの選手が高値で買ったりするアート作品的な世界観が広がっていったんです」なるほど。そしてその改造はスニーカーを分解して別のパーツを付け、縫製し直し、デザインごといじってしまうことすらあるという。確かに車やプラモデルの世界に、このようなカスタムカルチャーがあるが、スニーカーにここまでやるとは驚く。「ただ、僕のスタイルはそこまで既製品のデザインを壊さず、スパイスを加える感じですね。特にビンテージ加工やダメージ加工は得意としているところです」確かにKENJIさんの作品を手に取ってみると、最新のスニーカーに、経年変化によるソールの黄ばみや、ゴムやレザーの接地面に現れる接着剤のはみ出し、ペイントの割れや日焼け跡などを入れ、独特の風合いを表現している。これは強烈な世界だなぁ。いや単純にカラーリングを変えると言っても、質感をそのままに、色ムラを出さぬよう塗り分けるだけでもかなりの苦労を想像してしまう。「はみ出しちゃダメなところにマスキングする時間は塗る時間より長いです（笑）。色は塗料をそのまま塗るのではなく、色味を調合して、ムラが出ないようにエアブラシで丁寧に。それでいてレザーの質感を残して、履いても剥げないラインを探るという作業ですね」うーむ。これはよっぽど好きな人じゃないとできない仕事。KENJIさんは2年ほど前からオーダーを受け付け、お客さんの要望に合わせてカスタムをしている。「カスタムによって材料費などが変わってくるので金額は内容を伺いながらその都度相談してますね」そして現在、50足以上の“世界に一つだけのカスタムスニーカー”を作り出した。そんなKENJIさんに青春について聞いてみると…「ずっと今でも青春です。僕、兄弟がいるんですけど、弟はちゃんと大学行って役所に勤めてて。親からは自分の好きなことで食べていけると思うなよって言われてました。でも自分は絶対好きなことしかやらない！ って人間だったので。ちゃんと好きなことで生計を立てて、親の家を建てることが見返すってことだと思うので、それまではやめられません」と熱い思いを語ってくれた。そして最後にPOPEYE読者にメッセージをお願いすると「スニーカーカスタムって今始まったばかりの世界だと思うんですけど、ジーンズのダメージ加工があるようにまずは一般の人にも知ってほしいし、応援してくれる人を探しています」とのこと。KENJIさんのスニーカーカスタム道はまだまだ続くのだ！

青春歌
「STREET DREAMS」 ZEEBRA

何だって本気でやりゃ叶う
成さねばならぬ だから成せばなる
きれいごと だとか言うな マジでうるせえ
俺のこの人生で証明するぜ

「中学生の頃に盛り上がっていたヒップホップカルチャーがスニーカー好きになるきっかけで。その当時を象徴する曲です」

2010718-001

おかむね・しゅうご｜テレビディレクター。代表作に『BAZOOKA!!!』『全日本コール選手権』シリーズなど。著書『煩悩ウォーク』もヒット。

text: Shugo Okamune

KENJI GRAPHICSさん

愛するスニーカーを
カスタムする青春さん。

けんじ・ぐらふぃっくす｜1984年、千葉県生まれ。福岡県在住。服飾の専門学校を卒業した後、アパレル業界へ。デニムのダメージ加工など、身につけた技術を生かし、独自のスニーカーカスタムをスタート。

第31回

青春狂の詩

岡宗秀吾

ただ「好きだから」という気持ちだけで一つのことに熱狂し続ける人たちがいる。そんな“青春”の輝きを愛する、TVディレクター岡宗秀吾が、彼らの魂に触れるドキュメント。

大根仁が行く！東京タイアップデート

オレことシティおじさん大根仁は「下心満々、向こうさえその気ならお持ち帰りも辞さない！」という決死の覚悟だが、相手は「会社及び商品のPRが目的。LINE IDすら教えるつもりはありません」的な気持ちでやってくるこの連載…って、先月号の「ガールフレンド特集」は良かったなあ。長澤樹ちゃん、黒島結菜ちゃん、上白石萌歌ちゃん、その他たくさんの一般シティガールたち、みんな可愛かったー!! こんなゲスな文言で始まる連載が彼女たちと同じ誌面に載っているのが申し訳ないやら、恥ずかしいやら、我ながらキモいやら…。オレだって出来れば、早朝の駒沢公園でパンを食べたりしたいわ！ 昼過ぎに待ち合わせて下町のサンドウィッチ屋さん巡りしたいわ！ まあ、そんなデートが似合うわけもなく、オッさんはオッさんらしく夜の帳が下りてからのデートを楽しむことにしましょう。というわけで週末のエビハチ(恵比寿駅前夜8時)の待ち合わせにやって来たのは、久々のアラサー女子・松尾亜美さん。ボア付きのレザージャケットに黒革のロングスカート、童顔ながらロングヘアがよく似合うザ・大人の女！ である。そして人懐っこい笑顔、このギャップがたまりませんなあ。こんな素敵な女性とは是非シックな店でシッポリと行きたいものだ。「何食べようか？ イタリアン？ フレンチ？ 最近よく行く西海岸シーフードの店が近くに…」「いえ、普段大根さんがよく行く居酒屋とかがいいです」「そうなの？」「はい、大根さんみたいな人がどんな店に行っているのか興味があって」「なるほど…」オレが自ら常連客を名乗れる店といえば、ここからタクシーで10分ほどの松見坂にある某蕎麦屋だが、そこは蕎麦屋のくせに居酒屋メニューがやたらと充実していて、尚且つ近所に住む常連客しかおらず、このご時世でも喫煙オーケー、酒はビール・いいちこ・日本酒のみという潔い店だが…ダメだ。如何せん客筋が下品過ぎる。こんなキレイなコを連れていったら衆目に晒されてしまう。「そうねえ、じゃあすぐ近くにある美味しい貝の刺身と炭火焼が食べられる店に行こう」「うわあ、素敵ですね」恵比寿駅から徒歩3分、駒沢通りを入ってすぐというロケーションにもかかわらず、その店『炭福あこや』の周辺は驚くほどに静かだ。店の前には恵比寿神社という小ぢんまりとした神社があり、穴場&パワースポット感も兼ね備えている。「ちょっとお参りして行こうか」「マジですか？ ww」2人で境内に入り、小銭を賽銭箱に投げ入れ、二礼二拍一礼で手を合わせる。こっそり隣を見ると、亜美ちゃんは目を閉じて何か願い事をしている。境内を出て、再び礼をしながら「何をお願いしたの？」「え？ 内緒ですww」おおー、なんか良いねー。店に入ると、他に客は一組しかおらず、カウンターで乾杯。オレはビール、亜美ちゃんはレモンサワーだ。「はぁ～、美味しい…」レザージャケットを脱いだ亜美ちゃんは黒ニットのタートルネック。胸の緩やかなラインが美しい稜線を思わせる。うんうん、大人っぽいぞー。早朝公園のパンや下町のサンドウィッチ屋さんでは味わえんだろ、この感覚は!! おっと、ここで亜美ちゃんの仕事を紹介しておくと、ベンチャー系コスメメーカーの広報ガール。だが、この仕事を始めたのはつい最近で、大学を卒業してから7年間、空港の免税店で働いていたらしい。「ってことは成田空港とか、羽田空港？」「はい、成田で2年、羽田で5年働いてました」言われてみれば、フライト前の浮き足立った時間に立ち寄る空港の免税店には亜美ちゃんのようなビューティーな店員さんが多いような気がする。「そこでコスメを扱っていたの？」「そうですね。元々美容には興味があったんですけど、免税店を辞めたあとは一度美容クリニックに就職して。でもそこは私の美に対する意識とは違うなって気づいて」「美の意識？」「ちょっとめんどくさい話をしてもいいですか？ ww」「全然オーケー！ オレはね、女子のめんどくさい話がこの世で一番好きなの」我ながらあばら骨の2～3本も折りたくなる返答だが、まあ聞こう。「私、美には3種類あると思っているんですね」「ほう」「まず男ウケの美、わかりやすく男の人を惹きつける美」「まあそうね。オレはそれを専門に撮ってきたかな」「モテキとかまさにそうですよね。次に女ウケの美。女性から見て格好が良いタイプ」「ふんふん、ちょっと強めのやつかな。男はちょっと引き気味になる」「そうですね。あっ、大根さんのドラマ『共演NG』の鈴木京香さんはそんなカンジでした」「確かにちょっと強い女を意識したメイクとかスタイリングだったね」「はい、最高でした！」「で、3つ目は？」「自分ウケの美です」「ん？」「異性とか他人に向けた美ではなく、自分が自分を好きになる美。私は美容に求めているのはこれなんだってことに気づいたんですよ、最近なんですけど」「なるほどね…」軽い気持ちで聞き始めたものの、亜美ちゃんが言っていることは、実はものすごく深いのではないか？ つまりこれは【自意識と他者】という、生きていく上で最も重要で、最もめんどくさい、永遠に答えの出ないテーマの話だ。「今の会社に入って、私が考える美の意識がハッキリとわかったんですよ」と言いながらバッグから自社製品を取り出す亜美ちゃん。若干、如何わしい商法に引っ掛かってるような気もしたが亜美ちゃんの目は真っ直ぐ純粋だ。「これはデリケートゾーンをケアするクリームなんですけど」「デリケートゾーンってことは…」「はい。日本の女性はまだまだデリケートゾーンへの意識が低過ぎるんです」「そうなの？」「男性もですけどね。ちなみに大根さん、下の毛の処理は？」「え？ してないよ」「私はもう7～8年前からケアしてます」「…ってことは…ツルツル？ ってこと？」どこに目線を持っていくべきか迷ったが確かに亜美ちゃんは顔もツルツルだ。「はい、ツルツルです。人生変わりますよ、ツルツルだと色々と」と微笑む亜美ちゃん。「その話は二軒目で聞こうか？」「えー、いいんですか？ 嬉しい！」やはりオレにはこういうデートがお似合いのようで…。

今月のデート相手

松尾亜美さん (30)
Mellia PR

VOL.
93

photo & text: Hitoshi Ohne
title & illustration: TANAKA KATSUKI

☆大募集☆

大根さんとデートをしたい広報・PR担当の方を募集しています。我こそは！ という方は企業名と貴方の簡単なプロフィール、お写真を添えてtokyo-date@magazine.co.jpまでメールにてご応募ください。

おおね・ひとし｜映像ディレクター、映画監督。1968年、東京都生まれ。『共演NG』が面白かったなぁと余韻に浸っていたらBlu-ray、DVD BOXの予約受け付けが始まっていた！ 特典映像付きだって！

今月のタイアップ商品

これからは全身もデリケートゾーンも等しくケアする時代！ まずは〈Mellia〉のこの2本があれば大丈夫！ イヴピアッツェローズの香りがするデリケートボディウォッシュ（¥3,400）と、ニオイ、乾燥、かゆみなどのトラブルを改善するデリケートボディクリーム（¥6,800）だ！

T-SHIRT TO WATCH

映画とTシャツと私

BY
KUNICHI NOMURA

VOLUME
07

ロスト・イン・トランスレーション
監督：ソフィア・コッポラ｜2003年、アメリカ／日本｜102分

CM撮影のため来日したビル・マーレイ演じるハリウッドスターのボブと写真家の夫に同伴して来日したスカーレット・ヨハンソン演じるシャーロットの出会いと別れを描く。ソフィア・コッポラ監督の半自伝的作品でアカデミー賞脚本賞など数々の映画賞を受賞した。カラオケボックスのシーンでビルが裏返して着ているのが今回のTシャツ。ちなみに劇中でビルが歌ったのはBrinsley Schwarzの「(What's So Funny 'Bout) Peace, Love, and Understanding」。

今月はちょっと特別な一枚。人生の転機になった一生宝物のTシャツ。

時はアッという間に過ぎるというけれど、本当だよね。ソフィア・コッポラ監督の出世作にして傑作『ロスト・イン・トランスレーション』(以下『LIT』)の撮影を手伝っていたのは俺が30歳のときだからもう17年経ってしまった。一昨年の春か、ソフィアが家族と来日していたときに、映画を撮影した渋谷のカラオケボックスに行った。ソフィアの娘も一緒にそこでカラオケをしながら、2人で「人生って不思議だよな」っていう話をした。俺たちはいつの間にか50近くの歳になり、もう娘たちの世代がすぐに映画の頃の主人公の歳になるのだから。そして俺はもう映画の中のビル・マーレイの年齢を超えている(笑)。

思えば『LIT』はいろんな意味で特別なものになった。個人的にいえば初めて撮影現場に立ち会い、端役で出演した映画で、あれからいろんな知り合いの映画に大小含めて絡むことになったけど、それは『LIT』がきっかけだったし、それまで街で見かけることが少なかった外国人観光客が「トーキョーハクールデス！」と大勢押しかけてくるようになったきっかけも間違いなくこの映画だった。30歳以降の俺の人生も、俺が住む街東京も、『LIT』以前、以後と分けられるくらい影響を受けたのだ。

映画をわずか27日間で撮り終え、主役のビルが先に離日する前の夜、今はない中華料理屋の地下で打ち上げパーティがあった。俺はもらったばかりの初代iPodを持っていて急遽、そこにあったミキサーに繋いでDJをした。昔のディスコやソウル、みんなで汗まみれになって踊ったなぁ。小さなクルーで作った映画だったから家族のようになっていて、撮影が終わった高揚感と、翌日から皆バラバラになるという寂しさと。あの晩こそ映画そのものだった。そのときにもらったのが、ビルが映画で着ていたTシャツのサンプル。アクリル製のありモノボディにタイトルがプリントされたこのTシャツは、汗は吸わないし、着辛いけれど、一生の宝の一つです。

NOW SHOWING. 今買うならこの映画。

ヒッチャー ニューマスター版
監督：ロバート・ハーモン

クリストファー・ノーラン監督が好きな映画ベスト10に挙げた1986年公開のサイコ・スリラー作品がHDリマスターされて上映。ルトガー・ハウアー演じる殺人鬼ヒッチハイカーを車に乗せたことで悪夢が始まる……。¥3,182(テロファクトリー visurama.shop-pro.jp)

野村訓市｜1973年、東京都生まれ。海外放浪の旅を経て、雑誌編集、執筆活動を中心に活動する。毎週日曜日20:00〜『TUDOR TRAVELLING WITHOUT MOVING』(J-WAVE)のナビゲーターを務める。

photo: Hirokazu Kobayashi text: Kunichi Nomura

私の BEST DISHES 3

vol. 105

理想のカレースタンドで食べる3皿。

趣味はお酒を飲むのと猫の動画を見るのと理想的なカレーショップを探すコト。鮭カレーを作り過ぎてちょっと嫌になったので丑年だからビーフカレー研究中な私が思うしっくりくるちょーどイーンドなカレーを紹介させていただきたいと思います。

先ずは渋谷にあった頃から何だかちょーどイーンドなカレーだなぁ～と思ってた『カレーハウス チリチリ』。少し前に移転して今は戸田公園。埼玉……遠くへ行ってしまわれたのですね……と寂しく思ってたのですが埼京線で1本だし駅降りてすぐだし渋谷の時より行きやすいのかも！　嬉しい！　この店ではマサラを感じていきたいから「ポークマサラ」にトッピングレタス。トッピングレタスって他のカレー屋さんで見かけないし面白いですよね。オススメ！　それと玉葱のアチャールも大事！　健康大事！　カレーは油少なめで軽いんだけど満足感があってとにかく馴染む！　馴染むのよ！　毎日食べるならこーゆーカレーなのかもなー理想的だなーなんて思いながらひとくちふたくち食べるとふわふわしてくる。スパイスの効果かしら？　身体が喜ぶとは『チリチリ』のカレーのことなのかもなと思ってしまいます。

『新川デリー』は店の照明、明るさ具合のせいか何だかちょっとだけ優しい気持ちになる。上野の『デリー』ならカシミールだけど、ここでは辛さもちょっとだけ優しめの、「インドカレー」を辛さ2倍で。サラリとした味わいでちょーどイーンド！　カレーを飲み物とするならきっとこーゆーカンジなんだろうな。ざくろラッシーもいーですね。

次は『アジアカレーハウス』。今だね！　ココは！　なかなか旅行に行けない今こそ行きたいお店！　扉を開けたらもうそこはバングラデシュ！　旅気分が味わえます！　錦糸町の少し怪しげな雰囲気はちょっと入りにくいけど、入ってしまえばアラ！　意外と居心地がいい！　なんだかすごく落ち着く！　こちらでオーダーするのは日替わりの「TODAY'S SPECIAL」。フィッシュとマトンと野菜とダルスープにドリンク付き！　ご飯おかわりもできる！　目の前に出てきたら真剣に向き合わなきゃって思うそんなカレー。ここに居る間は何もかも忘れてただカレーと向き合う。厨房からベンガル語かな？　の鼻歌が聴こえてくる。夜明けを待つ祈りのようにも聴こえる。

今日もありがとう！　ごちそうさまでした！

今月のグルマン

小林雄一

『しゃけ小島』共同オーナー

こばやし・ゆういち｜1978年、福島県生まれ。2008年、代田橋にしゃけ料理専門店『しゃけ小島』を友人らとオープン。店の隣に立ち飲み店『しゃけスタンド』を作った2016年頃からカレー作りにハマり、店でも鮭カレーを提供。海外や日本全国のカレーを食べ歩いている。

1

『カレーハウス チリチリ』の ポークマサラ レタストッピングと玉葱アチャール

戸田公園で開業後、2003年に渋谷に移転。昨年3月に古巣に帰還した。爽辛の「ポークマサラ」は今回の移転時バラ肉に替えトロトロに。レタストッピング（¥200）と玉葱アチャール（¥70）も。¥1,200※価格は税込み

埼玉県戸田市本町4-11-19　☎048-452-8100　11:00～LO14:00　月・火・水休

インド流製法を独自アレンジ。スパイスたっぷりで全身ととのう。

2

辛さを増してもなお上品。お米が進むサラサラインドカリー。

『新川デリー』の インドカレー辛さ2倍とざくろラッシー

上野の名店『デリー』から暖簾分けして2001年に開業。本場の味を日本人向けに改良した「インドカレー」は辛さ調整可能。チーズ、玉葱のキムチ、きゅうりのピクルスでご飯も進む。季節のざくろラッシー（¥430）も美味。¥950

東京都中央区新川1-28-35　☎03-3297-8922　11:00～22:00　日・祝休

3

ご飯とおかずがどん、どん、どん。錦糸町のバングラデシュめし。

『アジアカレーハウス』の TODAY'S SPECIAL

錦糸町駅南口にあるカウンターだけのバングラデシュ料理店。「TODAY'S SPECIAL」は、肉（ビーフ、チキン、マトンから選択）、魚、野菜の3種のカレーにライスとダルとドリンク付き。素材は日替わり。¥1,200※税込み

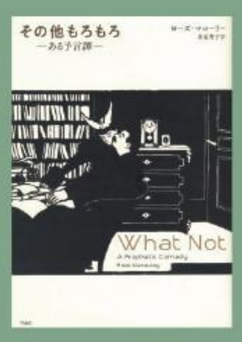
東京都墨田区江東橋3-9-24　☎03-6240-2520　19:00～4:00、土・日11:00～15:30・17:00～4:00　無休

TO DO
LIST
/THREE

BOOK

1

2



3

4

5

6

7

8

1.『アンダーランド 記憶、隠喩、禁忌の地下空間』

ロバート・マクファーレン著　岩崎晋也訳

英国の丘陵の下に広がる洞窟から、鉱山の地下深くのダークマター観測所、果ては北欧の島の地下に造られた核廃棄物の墓まで、世界各地の“アングラ”とその関係者の思いを綴った変化球的紀行文。¥2,700 ／早川書房

2.『そして映画館はつづく——あの劇場で見た映画はなぜ忘れられないのだろう』

フィルムアート社編

コロナ禍で経営難に陥っている映画館も結構あると聞く。今、映画館はどんな課題を抱え、どんな未来を見据えているのか。全国の劇場支配人や番組編成担当者の言葉を通じてそれを伝える一冊。¥2,000 ／フィルムアート社

3.『その他もろもろ ある予言譚』

ローズ・マコーリー著　赤尾秀子訳

100年以上前に書かれた、フェミニズム・ディストピアSFが翻訳。第1次世界大戦後の英国を舞台に、知能レベルで国民をランク分けする脳務省に勤めるキティの恋物語を強烈なブラックユーモアで描く。¥2,200 ／作品社

4.『アルマ』

ル・クレジオ著　中地義和訳

ノーベル文学賞作家ル・クレジオによる本作は、自身のルーツであるモーリシャス島が舞台の物語。かの島の調査に訪れた大学人フェルサンを主人公に、その地をめぐるさまざまな“声”を詩情豊かに綴る。¥2,800 ／作品社

5.『うつせみ』

鈴木創士

“僕”を語り手として展開するのは、彼の家で暮らす破天荒な“おじさん”と“おじいさん”と一緒に過ごした日々の記憶。何かに似ているなと思ったら、そうか、映画『ありがとう、トニ・エルドマン』だ。¥2,200 ／作品社

6.『ミルクマン』

アンナ・バーンズ著　栩木玲子訳

北アイルランド紛争の傷を背景とする、本を読みながら歩くことが好きな少女の成長物語。彼女は反体制派の大物から声をかけられたことをきっかけに、旧弊なコミュニティから孤立していく。¥3,400 ／河出書房新社

7.『アメリカから遠く離れて』

瀬川昌久、蓮實重彦

1924年生まれのジャズ評論家と1936年生まれの映画批評家という、リビング・レジェンドたちの対談本。テーマは、アメリカの映画や音楽を中心とする、少年期から現代までの互いの文化体験。¥2,400 ／河出書房新社

8.『映画みたいなことしない?』

エヒラナナエ、カナイフユキ他

4人のイラストレーターが、思わず真似したくなるような映画のワンシーンを紹介した一冊。『女は女である』から『(ハル)』まで、なんせ50作もあるんだから、きっとひとつはお気に入りが見つかるはず。¥1,800 ／雷鳥社

TO DO
LIST
/FOUR

MOVIE

1

© Lee Films du Worso

2

© 2020 UNIVERSAL STUDIOS

3

© Shadowhouse Films and Boo-Ums 2020

4

© 2019 Dickensian Pictures, LLC and Channel Four Television Corporation

5

© 1996 ALLIANCE COMMUNICATIONS CORPORATION, IN TRUST

6

© A North American Star System Production / Rapid Eye Movies

7

© 2019 RECTANGLE PRODUCTIONS - PALLAS FILM - POSSIBLES MEDIA II - ZEYNO FILM - ZDF - TURKISH RADIO TELEVISION CORPORATION

8

© 2019 Scudetto Pictures Limited

1. 公開中『ハッピー・バースデー 家族のいる時間』

監督／セドリック・カーン

母アンドレアの誕生日を祝うべく集合した家族に、ひょんなことから巻き起こる波乱を描く。アンドレアに扮するのは大女優カトリーヌ・ドヌーヴ。彼女はもちろん、次男を演じたヴァンサン・マケーニュもいい味出してる。

2. 1/15全国公開『ザ・スイッチ』

監督／クリストファー・ランドン

女子高生と連続殺人鬼の心と体が入れ替わる、ホラーコメディ版『君の名は。』。この設定が思いついただけで、勝ちは決まったも同然。しかも殺人鬼の体を演じるのはヴィンス・ヴォーンなんだから、つまらないわけがない。

3. 1/15全国公開『ズーム／見えない参加者』

監督／ロブ・サヴェッジ

みなさーん、オンライン会議していますか？本作はコロナ禍のロンドンを舞台に、Zoom上で交霊会を開催した男女が異変に巻き込まれるホラー。だけど、アイデアー発勝負に終わらない、ヒネりが利いているのがいい。

4. 1/22全国順次公開『どん底作家の人生に幸あれ！』

監督／アーマンド・イアヌッチ

空想好きのデイヴィッドの人生はまさに数奇。突如として極貧生活へ突き落とされるも、叔母の支援で名門校に入学し、晴れて順風満帆と思いきや……的な。原作はディケンズの名作『デイヴィッド・コパフィールド』だ。

5. 1/29全国順次公開『クラッシュ 4K無修正版』

監督／デヴィッド・クローネンバーグ

ド変態文学史上に燦然と輝く同名小説が、映画界屈指のド変態監督クローネンバーグによって実写化されたのは1996年のこと。あれから数十年、4K版になって帰ってきた。描かれるのは自動車事故に性的興奮を抱く男女。

6. 1/29全国順次公開『サン・ラーのスペース・イズ・ザ・プレイス』

監督／ジョン・コニー

謎多きフリージャズマン、サン・ラーが脚本＆音楽＆主演を務めた1974年の作品が、日本初公開。ジャズの力による同位体瞬間移動で、地球ではない惑星へと黒人を移送すべくサン・ラーが奮闘するオカルトSF巨編だ。

7. 1/29全国公開『天国にちがいない』

監督／エリア・スレイマン

イスラエルはナザレに暮らす映画監督が、新作の企画を携えて、パリやNYを巡るドタバタコメディ。しかし、そこに滲むのは、アイロニーに満ちた文明批評だ。つまり、まるでジャック・タチの映画のようだってこと。

8. 2/5全国順次公開『ディエゴ・マラドーナ 二つの顔』

監督／アシフ・カパディア

2020年に逝去した、アルゼンチンの伝説的サッカープレーヤー、マラドーナ。他の追随を許さぬ技術を持つ一方、私生活ではドラッグや“黒い交際”など、スキャンダルが絶えなかった彼の人生に肉薄するドキュメンタリー。

面白いことはすぐチェック。
今月の予定はここから埋めていこう。

1月の TO DO LIST

Ⓚ 映画・書籍担当ライター。『USムービー・ホットサンド――2010年代アメリカ映画ガイド』にて、アレックス・ロス・ペリー論を寄稿する。著書に『みんなの映画100選』。

Ⓨ 音楽・アート担当ライター。古着店を営みつつ編集業をこなす小誌のスーパーサブ的存在。ginza magにて「編集者・コクブユウがGINZAガールに薦めるプレイリスト」を連載中。

Ⓚ 今月号は世界9か国でスナップを撮っているみたいよ。ワールドワイドだよね。

Ⓨ すごいね。日野浩志郎主宰の新レーベル「NAKID」の第1弾『Infoldings』も、ある意味ワールドワイドだったな。イギリスの電子音楽家MARK FELLとフランスのパーカッショニストWill Guthrieのコラボレーションアルバムなんだけど。以前、インドネシアで滞在制作をしたWill Guthrieの経験をさらに飛躍させて、ガムランや南インドのカルナータカ音楽の多拍子、ポリリズムの可能性について二人で話しながら作ったらしいので。

Ⓚ なんか難しそう。そもそもポリリズムって何？　パフュームの曲？

Ⓨ 複数の異なるリズムや拍子が同時進行する音楽のことだよ。〝ポリ〟っていうのは〝複数の〟って意味。つまり、スナップ特集も、『Infoldings』も、国籍的にポリってる。

Ⓚ ポリってる……。そういえば、パレスチナ系イスラエル人監督のエリア・スレイマンの新作『天国にちがいない』もポリってたなぁ。スレイマン自身が演じている映画監督が、新企画の売り込みにパリやNYのプロデューサーを訪ねる中で、不条理な出来事に遭遇しまくるってコメディなんだけど。

Ⓨ ポリってるねぇ。

Ⓚ でしょ。面白いのは、この監督が各地で穏やかじゃない風景を目撃するところで。パリでは戦車とか、NYでは警察の暴力とかね。スレイマンに言わせると、「世界をパレスチナの縮図として提示しよう」という意図があるらしいよ。つまり、欧米諸国でもパレスチナと同じ問題を抱えているんじゃないですか？ってことだと思うんだけど。

Ⓨ ポリ（ティカル）ってるねぇ。で、つまり何が言いたいの？

Ⓚ まぁ、このスナップ特集も、国別にいろんな違いが見えて楽しい半面、よく目を凝らしてみると実は同じようなところも見えてくるかもしれませんね、ってことかな。

TO DO LIST /ONE　MUSIC

1. ON SALE ALBUM『We Will Always Love You』The Avalanches
Modular Recordings Pty. Ltd.　オープン価格

Blood Orange、Neneh Cherry、日本からはコーネリアスなど全26組のゲストを眺めてるだけで幸せなThe Avalanchesの新作。個人的には「The Divine Chord ft. MGMT, Johnny Marr」のMVがキュートで好きでした。

2. ON SALE LP『Infoldings』MARK FELL & WILL GUTHRIE
NAKID　オープン価格

YPYこと日野浩志郎のレーベルNAKIDの第1作は現代電子音楽家・MARK FELLと仏パーカッショニストWILL GUTHRIEのコラボ作。とーっても複雑な構造なんだろうけど、聴いててシンプルに心地いい。ジャケも◎。

3. ON SALE CASSETTE DIGITAL『Ecco Funk』CRYSTAL
FLAU　¥1,100

1993年発売のメガドライブのビデオゲーム『Ecco the Dolphin』にインスパイアされたこのEPは、キアヌ・リーヴス主演『JM』に登場する元軍人で麻薬中毒のイルカ、ジョーンズのカメオ・セリフがちりばめられている。

4. ON SALE ALBUM『Hey u x』BENEE
Republic Records　オープン価格

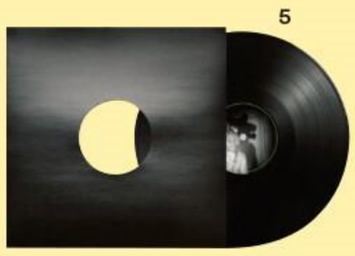
ガス・ダパートンとの「Supalonely」でライバーやティックトッカーたちをも乱舞させたニュージーランドの新星ベニーによる初フルアルバム。ジャケ派手だね。念願叶ったグライムスとのコラボは、ぜひ必聴で。

1

2

3

4

5


6

7

8

5. ON SALE 12inch『Fair Chance (feat. Ty Dolla $ign & Lil B) [Floating Points Remix]』Thundercat
Brainfeeder　¥2,300

2018年に亡くなったマック・ミラーの追悼の意味を込めて制作された楽曲「Fair Chance」。リミックスはフローティング・ポインツがBoiler Zoomで披露し話題となっていたが、ついに公式12インチリリース。

6. ON SALE LP『夢太郎』NENE
JET SET　¥2,800

ゆるふわギャングのラッパー NENEによる“妖怪”をテーマにした2ndソロ・アルバム『夢太郎』が、待ちに待ったLP化。全曲いいけど、「地獄絵図 ft. Nipps」のラウドなブーンバップは格別な傑作。

7. 1/22 ALBUM『The Wide, Wide River』James Yorkston and The Second Hand Orchestra
Domino　¥2,000

北欧の実力者James Yorkstonによる今時季聴きたくなるフォーキーな新譜。様々な一流ミュージシャンが集いミックスされた今作だが、なかでもCecilia Österholmが奏でるスウェーデンの民族楽器ニッケルハルパは必聴。

8. 1月下旬発売予定 12inch『TIME WARPS』RICHIE HAWTIN
FROM OUR MINDS　オープン価格

待ちに待った帰還。レーベルのキュレーターとしての影響力も大きい飽くなきパイオニアことRichie Hawtinが1999年の「Minus Orange」以来、ダンスフロアにフォーカスしたEP『Time Warps』をリリース。嬉しい限り。

TO DO LIST /TWO　ART

2021/2/6-3/28
『KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2021 SPRING』
@ ロームシアター京都、京都芸術センター、京都芸術劇場 春秋座 他

3人の共同ディレクターと、新アートディレクターで迎える新体制の「KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭」は今回で11回目！　上演を観賞するだけでなく、トークやワークショップなど、異なるフォーマットでも舞台芸術に限らず先端的な思考に触れることができるこのお祭りで今回気になるトピックは「音、京都、おっとっと、せいこうと」や、タイの演出家ウィチャヤ・アータマートによる演劇「父の歌（5月の3日間）」等。他にも盛りだくさんなので詳細はhttps://kyoto-ex.jp/で確認。

text: Keisuke Kagiwada, Yu Kokubu

CALM & PUNK GALLERY Exhibition View

photo: Yutaro Tagawa edit: Mayumi Yamase

Quentin Chambry

コンタン・シャンブリ｜アーティスト。1989年、フランス・レンヌ生まれ。若い頃よりスケートボードを始め、ビデオ制作やZINEを作り始める。地元の美術学校ではグラフィックデザインを専攻。卒業後は友人と住んでいた家で「Galerie 126」という名前のアーティスト・ラン・スペースを始め、その後同場所でアーティスト・イン・レジデンスを５年間運営する。作風は独特なジェスチャーより着想を得たドローイングと粘土を使った立体作品などを制作。１年前に東京に拠点を移し『CALM &PUNK』ギャラリーでアーティストNANOOKとの2人展や表参道の『MAT』での個展など、精力的に活動している。Instagram: @quentinchambry

GUCCI

2021年は、〈グッチ〉のブランド創設100周年のアニバーサリーイヤー！　そんな記念すべき年に、コラボレーション相手に選んだのは、なんと日本を代表するキャラクターのドラえもん（ちなみにドラえもんも昨年、コミック連載開始から50周年！）。クラシックな小さいGGパターンの上を縦横無尽に駆け回る漫画タッチのドラえもんのポーズは実に様々。ベースはブランド定番の大ぶりのトートバッグ。四次元ポケット並みにわっさわっさものが入る使いやすさは折り紙つき。他にもスマートフォンケースやウォレットなどがラインナップされていてどれもポップな仕上がり。ドラえもんとコラボしてる海外のブランドなんて見たことがないし、この特別感ったらない。

W43×H34×D18.5㎝。¥205,000（グッチ／グッチ ジャパン クライアントサービス☎0120·88·1921）©Fujiko-Pro

HELLO MY NAME IS.....

photo: So Mitsuya

LOUIS VUITTON

ロンドンで活躍するスケーターのルシアン・クラークとコラボレーションスニーカーを発表するなど、ラグジュアリーブランドとストリートカルチャーの橋渡し的アプローチがうまい〈ルイ・ヴィトン〉。今度はスケートシューズに着想を得た新型のスニーカーがリリース。シュータンにはスケートカルチャー特有のファイアパターンにオマージュを捧げた「LV」のシグネチャー、ディテールに目を向けてもオーリーガードなどスケートシューズ特有のデザインを取り入れている。コレクションブランドのシューズとなるとまだまだダッドスニーカーのようなボリュームがあるモデルが多いけれど、これはオーセンティックなスケートシューズがベースだから履き慣れたもんだ。

¥112,000※予定価格(ルイ・ヴィトン／ルイ・ヴィトン クライアントサービス☎0120·00·1854)

DIESEL

今まで全くレザージャケットを着たことがなかったのだけれど、このスタイルサンプル特集で表革を自分らしく着ている人たちを見ていたら、いよいよ欲しくなってきてしまった。いきなり「ザ・レザー」という見た目だと緊張するので、パッと見ではレザーと気づかれないくらいのもので。例えば〈ディーゼル〉には着慣れたトラックジャケットのような一着がある。柔らかくなめされたシープスキンレザーにパンチング加工を施すことで、表革特有のガシッとしたごわつきや重さはまるでない。シェイプのないストンと落ちた慣れ親しんだシルエットで、買って着た瞬間からしっとりと体に馴染んでくれるから、まるで昔から着ていたような感じがするってのもいい。

¥105,000（ディーゼル／ディーゼル ジャパン☎0120-55-1978）

CANADA GOOSE

ホッキョクグマの生息地を守るポーラーベアインターナショナル(以下、PBI)って聞いたことがある？ 〈カナダグース〉は10年以上PBIを支援していて、2020年には活動を紹介するドキュメンタリー「Bare Existence」もYouTubeで公開している。これがとにかく面白くて、日常生活でホッキョクグマと遭遇するカナダ北部のチャーチルが舞台になった映像を観終える頃には、その町で暮らす人にとって温暖化による環境の変化は目の前で起きていることだとわかるはず。この定番ダウン・エクスペディション パーカはPBIの支援モデルで、売り上げの一部が活動に寄付される。鮮やかなブルーとホッキョクグマのワッペンがその目印。僕は純粋にこのカラーリングの虜だ。

¥128,000（カナダグース☎03-6758-1789）

大袈裟にいえば、クルマってスニーカーのようなもの。足として備えれば、気になってた地方の名店や、キャンプ場に行くのも楽だし、“走る”ことの爽快感を思い出させてくれる。そんな思いを知ってか、日産の新型SUVはその名も「キックス」。つまりはスニーカーである。アウトドアギアのような精悍なルックスに惹かれるのだが、「e-POWER」搭載で、アクセルを踏んだ際の滑るような加速がたまらない。ガソリンで電力を生成する仕組みだから、充電スポット探しにも困らないし、高速道路の運転をサポートする「プロパイロット」機能も頼もしい。その上、残価設定型ローンだと月々2万1000円から。つまり毎月スニーカー1足分を我慢すれば、どんなハイテクシューズよりも軽快な“足”が手に入る。そろそろの一足、もとい一台は「キックス」から始めてもいいのかも？

オレンジとブラックで統一されたスポーティな車内。インパネ中央には、「キックス」の頭脳といえる「9インチナビ」を搭載。「NissanConnect」サービスと連動すれば、常に最新の交通情報を基にした最速ルートなど、多彩なサービスが使える。¥2,759,900～※税込み（日産自動車／日産お客様相談室☎0120-315232）

スニーカー感覚で、SUVに乗ってみてもいいんじゃないか？

NISSAN

text: Koji Toyoda

ISETAN FOR

FOODIE

フーディー

知を楽しむ、
食を楽しむ。

食のルーツを辿る
進化を探る

フーディーちゃんがピックアップ!
おうちでぬくぬく、
すごもりグルメ

甘〜い誘惑、いちごの世界。

多品種いちご図鑑／いちごスイーツコレクション

VOL.10

伊勢丹新宿店本館地下1階＝食料品
2021年1月2日㊏～2月28日㊐

ISETAN
www.isetan.co.jp

『FOODIE』最新号は、
伊勢丹新宿店本館
地下1階（食料品フロア）で
無料配布しています。
※なくなり次第終了します。

**「知を楽しむ、食を楽しむ。」
フードカルチャー誌『FOODIE』
伊勢丹新宿店からお届けします。**

『FOODIE』には「おいしさと出合う」情報が満載です。
この季節ならではの味覚や、気になるあの人のおすすめなど、
「日本と世界のおいしさ」を隔月でお届けします。

伊勢丹新宿店の
最新情報はこちらから

https://crossmedia.magazineworld.jp/ マガジンハウス

株式会社ノーブルスタイリング 03-6277-1604　www.noblestyling.com　https://www.facebook.com/noblestyling/

原点はスポーツカー。今再びその場所に。
「スポーツ・クロノ」コレクション

フェルディナント・アレクサンダー・ポルシェが 1972 年に世に送り出したタイムピース。マットブラックのダイヤルに白い時針と分針、赤い秒針が組み合わされたそのデザインは、911 とポルシェのレースカーの計器にインスパイアされたものでした。そして今、新しいポルシェ・パナメーラに標準装備される、ポルシェ・デザイン社で製造されたクロックをリストウォッチとして再現した「スポーツ・クロノ」コレクション。COSC 認定のムーブメントを搭載したモデルは、ポルシェのパフォーマンスを着用者の手首に転換します。

porsche-design.com/sportchrono-collection

クラフトビールはただの土産物なんかじゃない。
生き物のように奥深い、地域のコミュニケーションツール。

鎌倉市の材木店の一角に、6個の〝ヨ〟のグラフィックが妙に洒落た工場がある。煙突からはもくもくと煙が立ち、炊きたてのごはんのような甘い香り。ここはブルワーである吉瀬明生さんが代表を務める「ヨロッコビール」の醸造所。この日は仕込みの作業で、沸かした後のまだ熱がこもる釜の中に入り、洗浄作業の最中。「サウナいらずです」と笑う吉瀬さんは、3人のスタッフと共に年間30種類、缶でいうと月に約1万5000本のクラフトビールを製造している。聞けば、この場所には2019年に移転したばかり。開業から7年間は逗子を拠点にたった1人、現在の10分の1の規模で活動していたというから驚いた。

そもそも吉瀬さんがクラフトビールに出合ったのは、2007年、先輩に誘われて訪れた沼津「ベアードビール」のタップルーム。飲食店で働いていた30歳の頃だった。

「当時は飲食店といえども簡単な調理とサービス業という感じで、子供の頃から好きだった、ものづくりの世界に入りたいと思っていたんです。そんなときに特徴的な味わいに感動したのが『ベアードビール』。それまでビールは金色で透明で、特に味がしないという印象があったけれど、それが覆された。知れば知るほどこんなにバラエティ豊かで、面白い世界があるのかとハマっていったんです」

かくして吉瀬さんは、独学で「ヨロッコビール」を開業。行動力がすごい！　と言いたいところだが、そうするしかなかった。

「その頃の日本では地ビールという呼び方が一般的。情熱を注いで造られるビールは今より少なかったし、消費も低迷。働き口を探しに日本中を回っても、当時は人を増やそうと考える醸造所なんてあまりなかったんです」

ただ、「ならば自分で」と勢いよくスタートした当時を「大失敗だった」とも振り返る。

「ビール造りでは、酒類製造免許の取得のためにも、何より経験が重視されたんです」

修業先を見つけたくても見つからないのに、まさに八方塞がり。結局、ブルワリーで短期のアルバイトをさせてもらったり、研修や見学をしながら、ビール造りに必要な自然科学や醸造、機械や設備についての知識は、インターネットや洋書から独学した。そんな時期に、吉瀬さんはアメリカを訪れた。

「アメリカはすでにクラフトビールの文化が花開いていて、日本と定着度が違う。ポートランドのようにクラフトビールが盛んな街以外でも、鎌倉くらいの規模の街なら10〜20軒、田舎町でも1、2軒はブルワリーがあって、地元の人がその日の気分や好みによってお店を気軽に使い分けていたんです。こういった小規模なクラフトビールがたくさんある場所こそ、豊かな街なのかなと思いました」

地元のビールが愛される日本の将来を思い描きながら自分を鼓舞し、ついに2012年に「ヨロッコビール」を開業。アメリカから個人輸入した製造機を設置した当時の小さな工場は、「ガレージブランドのようだった」と吉瀬さん。〝ガレージ〟とはなんとも穏やかに聞こえるが、実際には楽とは程遠い生活だ。

「ビールは生き物みたいなもので、気が抜けないんです。仕込みから発酵・熟成、そしてパッケージングまでいくつもの段階がありますが、ミスが起きると後から修正することは難しい。醸造にかかる1〜2か月の間は連綿とした作業で、今でも休みの日は、あれどうなったかなって常に気になってしまいます」

苦労の末に出来上がった渾身のビールのラベルには、イラストレーターの花井祐介さんをはじめ、ローカルのアーティストを起用。新しいものを受け入れる逗子の土地柄もあってか、すぐに評判になり、ただの土産物ではない、正真正銘、地元の人の思いがこもったクラフトビール「ヨロッコビール」が誕生した。

「ビールはワインよりも気軽で、生活に溶け込みやすいし、コミュニティにいろんな形で貢献できるツール。地元の人にはずっと支えてもらっているので、地域に恩返しをしたいと思う気持ちが強いです。開業したての頃はエッジが効いたものや時代の最先端の味を追い求めていたけれど、今は自分が心から飲みたいものや、この地域の人たちに飲んでもらいたい味を造りたいと思うようになりました。もちろん地元の人に限らず、いろんな方にとっての、もう一つのビールの選択肢になってくれたら嬉しいですね」

吉瀬明生

きちせ・あきお｜神奈川県生まれ。飲食業を経て、2012年に逗子で「ヨロッコビール」を開業、2019年に鎌倉市に工場を移転。現在は日本各地で彼の造ったビールを味わえる。販売店はWEBで。www.yorocco-beer.com/

hello, Work

こんな仕事があったのか

Work 6　ブルワー　吉瀬明生

What's ブルワー

ビール職人。「海外にはビール醸造を専門に学べる機関もあるが、国内にはほぼないので修業がお薦め。醸造にかかる期間は1〜2か月、菌や微生物を扱うので、設備を清潔に保つために洗浄作業が多いです。几帳面な人が向いているかも」と吉瀬さん。「ヨロッコビール」ではラベルの貼り付けや配達もブルワーが行う。

photo: Kento Mori　text: Ryoko Iino

PICK-UP

〈ルシード〉老け顔の象徴にアプローチ、《ルシード アドバンスドケアシリーズ》。

ミドル男性向け本格スキンケアクリーム2種を発売中。シワ改善有効成分ナイアシンアミドを配合し、目じりのシワやほうれい線に働く《薬用リンクルフォースクリーム》(¥2,000)、シミ対策有効成分トラネキサム酸を配合した《薬用メラノクリーム》(¥1,500)。

(㈱マンダムお客さま相談室☎0120・37・3337)

〈gwmaverick〉再生羊毛による生地を採用、サスティナブルなコレクションを展開中。

100%リサイクルウールファブリック「毛七」による、オリジナルビッグチェック柄アイテムを展開。ウール7割、化学繊維3割の混紡で高い強度と耐久性を誇る再生素材。今秋冬コレクションは《Despatch Riders Coat》《Euro Work Pants》など8アイテム。

(ゴールドウイン カスタマーサービスセンター☎0120・307・560)

ポートランド発「Stumptown Coffee Roasters」数量限定ギフトアイテムを販売スタート。

アジア初進出のエースホテル京都1F「Stumptown Coffee Roasters」が4アイテムを展開。ここでしか買えないホリデーマグ、個性的な絵柄のトランプ、オリジナルのニット帽、強い酸味と芳醇な香りが特徴の、エバーグリーンホリデーブレンドコーヒー豆。

https://www.acehotel.com/kyoto/

〈JASON MARKK〉×〈東急ハンズ〉PREMIUM ESSENTIAL KIT発売中。

LA発シューアクセサリーブランドの定番キットとコラボ。クリーニングブラシをスタンダードからプレミアムへアップグレードしている。柔らかい天然豚毛のブラシは、デリケートな素材のクリーニングに対応。東急ハンズのロゴやカラーが入る特別なデザイン。

税込¥2,640。東急ハンズ各店舗とネットストアhttps://hands.net/で販売中。

〈ティファニー〉全国のブティックで「ティファニー ブライダル フェア」開催中。

© Tiffany & Co.

《ティファニー トゥルー》《ティファニー®セッティング》など、オリジナリティ溢れる多彩なリングが揃う。期間中婚約指輪を購入すると、リングケースへのエンボスサービスの特典が。結婚指輪をセットで購入するとオリジナル婚姻届を進呈。1月24日(日)まで。

(ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク☎0120・488・712)

英国発アウトドアブランド〈カリマー〉、エシカルなプロダクト4型を発売中。

マイクロプラスティック問題に取り組むポーラテック社の新素材を採用した《PA parka》《PA pants》はストレッチ性が高く、トレーニングに最適。ポリエステルが原料のリサイクル粒中綿を封入した《indie hoodie》《indie cardigan》はシックなデザインが魅力。

直営店とウェブサイト、取扱店舗で販売中(カリマー インターナショナル☎03・3221・6883)

〈コンバース〉ビビッドカラーをポイント使いしたレトロな《オールスター》。

オフホワイトに、切り抜き加工のアンクルパッチ、ライニングやインソール、踵やシューレースチップへビビッドカラーを差し込んだデザイン。シンプルながらさり気なく目を惹くカラーリングが魅力。グリーン、レッド、パープルの3色。2月発売予定。各¥7,000。

22.0〜28.0、29.0、30.0㎝。(コンバースインフォメーションセンター☎0120・819・217)

〈GANZO〉新リメイク企画「RINATUS(リナトゥス)」受注スタート。

革の醍醐味である経年変化を楽しんでほしいとの想いから、愛着ある革製品を〈GANZO〉の職人の手で新たな製品へ生まれ変わらせるリメイクプロジェクトをスタート。本店・六本木店・大阪店で11メニューを受注する。約3か月で完成。上記ロゴの刻印も可能。

(GANZO本店☎03・5774・6830)

〈UGG®〉カリフォルニアの夜空にちなむ、12×12コレクションの第11弾。

毎月異なるテーマでユニークな限定版スニーカーを発表するコレクションに、《CA805 X Milky Way》が数量限定で登場。ブランドの故郷の美しい星空に着想を得て、煌くスワロフスキー®をちりばめ、光り輝く夜空の星のディテールをデザインした。¥36,000。

銀座店と公式サイト、UGG@mosとatmosなどで発売(UGG®/ Deckers Japan☎0120・710・844)

American Authentic Sports Brand

nexus
BRANDS
ネクサスブランズ株式会社
TEL : 03-6228-7711
E-mail : info@nexusbz.com

シティボーイの憂鬱 71

illustration: Yoshikazu Ebisu　text: Ryota Mukai

ああ、嫌だ、本当に嫌だ。
僕らの「憂鬱だなぁ」を告白する連載。

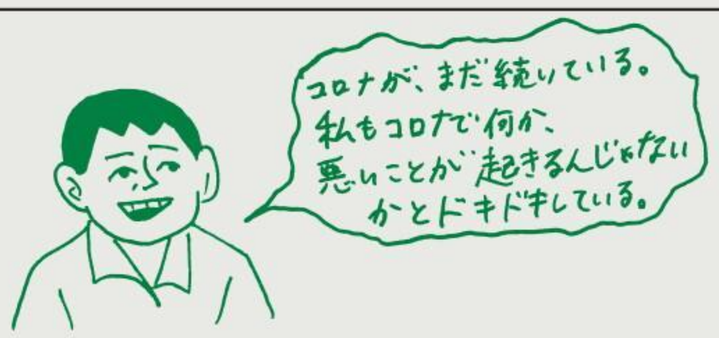
今月のユウウツ

「顔まわりが忙しい。」

かねて悩みの種だった「顔まわりが忙しい問題」が寒さの深まりと呼応して、一層混迷を深めている。そう、マスクのことだ。普段から僕は、眼鏡にキャップと顔まわりがごちゃつきがちなので、マスクを着けても大差なかったのだけど冬は別。とっておきにと準備してきたマフラーはどうしたらいいのか……。その点、マンドーことマンダロリアンに学ぶことは多い。彼は映画『スター・ウォーズ』シリーズに連なるディズニープラス配信の傑作ドラマ『マンダロリアン』の主人公で弱きを救う戦士。そして、いつでも同じアーマーを着ているのだ。“ベスカー”という鋼でできたこの鎧は、宇宙一の強度を誇る。巨大生物の胃酸に浸っても溶けることはなく、ブラスターを被弾しようともぐんぐん前に進める。その上、ライトセーバーすら頭上で両腕をクロスして受け止められるのだ。強すぎ！　ともかく彼は全身を覆うこのアーマーを決して脱ぐことがない。水を飲むときさえ顔が見えないように仮面をひょいと持ち上げるだけ。強者は感染対策も万全なのである、というわけではもちろんない。それは彼が守るべき教え「我らの道」だから。求道者は自ずとスタイルを確立する。

だけど、ベスカーじゃあるまいし、もちろんそんなストイックな真似はできない。それに、こちとらまだまだ着たい服はたくさんあるのだ。どんなに活躍の期間が短くともダウンベストはやっぱり着たいし（建物の中で脱ぐタイミングが難しい）、花見の夜にめちゃくちゃ寒い思いをしようとスプリングコートだって諦められないし（つい昼の陽気につられがち）、防風の必要もないのにレザージャケットにも手を出しちゃうし（みんないつ着てるの？）、ベースボールキャップ→コーデュロイのキャップ→ニットキャップって季節に応じた流れも自分の中ではあるし（サマーコーデュロイをどこに挟むか、いまだに悩ましい）。助けてマンドー。

これじゃ新年から歩く煩悩の塊じゃないか。やはり鎧を着ようか……と、同じく『マンダロリアン』が好きな編集部のTさんに相談すると、僕以上に「顔まわりが忙しい問題」を憂いていた。「マスクは当然着けるとして、キャップはかぶりたいし、日中は日差しが強いからサングラスもかけたい。でも、ひと目見て怪しいでしょ？　鏡に映る自分がどうにもピンク映画を観に行くときの鳥山明にしか見えないんだよなぁ」。“マスク＋キャップ＋サングラス＝ピンク映画に行く鳥山明”の等式が脳内で成り立つのはたしかにしんどい（若い読者の方には伝わりづらくてすみません）。「それにマフラーを巻いたら、顔まわりが密も密。しかもマフラーとマスクって顎のあたりでぶつかってさ。なんかもやっとするよね」。そう！　それなんですよ……。「いっそマスクにダーっとマフラーみたいな長い布を付けてくれないかな。名付けて“マスラー”。どう？」とドヤるTさん。鳥山明の等式もなかなかだが、この発想もなかった！　結局密には変わりないが、語感も“ベスカー”に似てるし、これぞ「我らの道」かもと思えなくもない。どうか、この憂鬱を吹き飛ばすべく、誰かマスラーを作ってください〜！



エビスさんの今月のユウウツ●

えびす・よしかず｜漫画家、タレント。1947年生まれ。この連載にさらなる憂鬱を添えてくれていた蛭子能収さん。残念ながら絵を描いてくれるのは今回で最後。連載スタートから約6年間、ありがとうございました！

NEXT ISSUE 887

POPEYE 3月号は2月9日発売！

特集・部屋とシティボーイ。

僕たちが知りたいのは一人暮らしのための手頃でファインな部屋作り。
やっぱり「好き」が詰まった個性的な部屋っていいよね。
今年はアク強めの“バッドテイスト”なインテリアも調べてみた。
ショップガイドも付けておいたけど、まずは部屋の片付けからかな？

慧学教育培训

淘宝店铺仅此一家

名为"慧学教育培训"

请注意辨别！！！

以确保杂志后续正常更新

（其他店铺均为二次销售）

关注微信

第一时间了解杂志更新情况

不定期分享免费杂志

微信号：yi2maomao

关注淘宝店铺

24小时自助下单自动发货哦

微信　　淘宝